

令和5年度

主要施策の成果説明書

松 島 町

<主要施策の成果説明書について>

主要施策の成果説明書とは、地方自治法第233条第5項に基づき、当該決算に係る会計年度における主要な施策の成果を説明する書類として作成するものである。

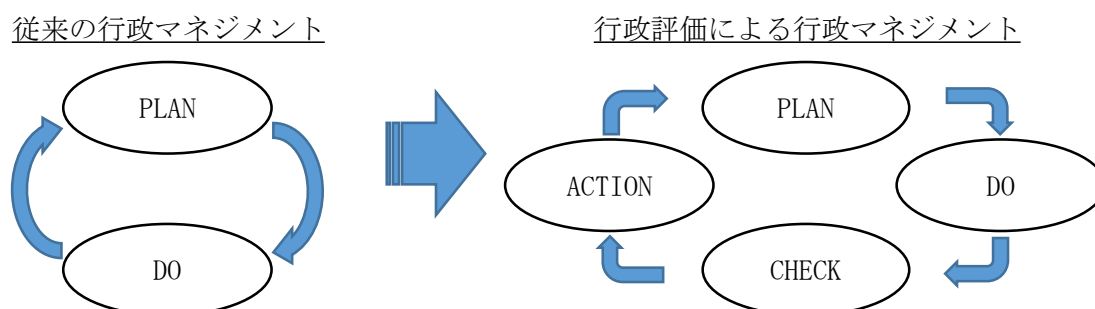
この作成にあたっては、町民に対する説明責任や行政の透明性確保を目的として、令和元年度説明書から松島町行政評価制度の評価結果も併せて記載している。

1 松島町行政評価制度とは

行政評価制度とは、行政活動の目的を明確にしながら成果目標を設定し、その活動に対して投入された予算や人件費、成果物等を総括的に勘案しながら評価を行い、その評価結果に基づく改善を次の行政活動の企画・立案に反映させていく仕組みである。

これにより、全ての行政活動を計画（PLAN）、実行（DO）、評価（CHECK）、改善（ACTION）のマネジメントサイクルの中で行うことで、常に施策や事業の目的・目標を確認し、その遂行状況を把握・評価することにより、問題や課題を速やかに発見し、その見直し・改善等を行うことで、次の計画（PLAN）をより良い状態にしていくことを目的とした制度である。

また、行政活動を客観的に評価し、その評価結果を行財政運営に反映させることはもとより、町民に対して評価結果を公表することで、町民に対する説明責任や行政の透明性確保も目的としている。



2 導入目的

真に地域や時代のニーズにあった行政サービスを展開していけるよう、継続的に政策・施策を構成する事務事業の見直しを図り、業務の改善・改革に取り組む仕組みとして、次のような行政運営を目指すことを目的として導入した。

- ・長期総合計画における“まちづくり政策”の着実な実現、住民満足度の向上
- ・事業の選択、改廃等における住民や関係者への適切な説明責任の確保
- ・職員の改善改革意識の醸成
- ・行財政改革の推進

3 運用状況

平成28年度の導入以降、平成30年度までの3カ年を試行期間と位置付け、全職員を対象とした基礎研修等によりその目的などの情報共有を行い、全事務事業に対する評価の実施及び施策評価のマネジメントサイクルの実践を行うことにより制度構築を行った。

令和元年度からは本格運用を開始しており、今後ますます財政状況が厳しくなっていくことが想定される中、継続的に政策・施策を構成する事務事業の見直しを図りながら、必要な行政サービスを提供できるよう取り組んでいるところである。

< 主要施策の成果説明書の見方 >

							①当該費目の予算額と決算額を記載しています。		
款	項	目							
担当部署名							(単位:千円)		
予算の 執行 状況	予算額	①	決算額	②					
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
目的	③						②財源内訳には、国庫支出金、県支出金、地方債、その他、一般財源の区分により内訳を記載しています。		
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	④	⑤	⑥	⑦	⑧				
実績	⑨						⑥ ※Aタイプの場合 松島町行政評価制度におけるの必要性評価3項目（必要性・妥当性・公平性）各5点の平均点を記載しています。 4.1～5.0…ますます必要性が高くなっている 3.1～4.0…依然、必要性が高い 2.1～3.0…必要である 1.1～2.0…必要性が低くなりつつあり、改善が必要 0.0～1.0…必要性がなく、早急な改善が必要 — …Bタイプ、Cタイプ の事業のため評価なし		
							⑦ ※Aタイプ、Bタイプの業務の場合 松島町行政評価制度における有効性評価3項目（適切性・有効性・効率性）各5点の平均点を記載しています。 4.1～5.0…適切且つ効率的に実施しており、目標以上の成果・達成度であった 3.1～4.0…適切且つ効率的に実施しており、目標水準に達している 2.1～3.0…概ね目標水準に達している 1.1～2.0…目標水準をやや下回っており、改善が必要 0.0～1.0…目標水準を大きく下回っており、早急な改善が必要 — …Cタイプ の事業のため評価なし		
課題 方向性	⑩						⑧当該事業の目的がどのように達成されたのか、施策の執行においてどのような成果が出たのかを記載しています。		
							⑨当該費目の予算執行に係る実績を記載しています。		
							⑩当該施策の現況や課題と併せて、今後の方向性を記載しています。		

＜松島町行政評価制度における評価項目について＞

○必要性評価

行政として当該事務事業を引き続き実施していく必要があるかどうかを、下記3項目により評価する。

評価項目	点数とその定義
必要性	事業の必要性が事業開始時と比べて小さくなっていないかを評価する。 [5点]ますます必要性が高くなっている [4点]依然、必要性が高い [3点]必要である [2点]必要性が低くなりつつある [1点]必要性がなくなっている
妥当性	行政の関与が必要な事業かどうかを評価する。 [5点]法的な制限などがあり、行政が実施すべき事業である [4点]行政以外には実施できない事業である [3点]行政が行うことが妥当な事業である [2点]民間等でも実施でき、民間等で行うことが妥当な事業である [1点]民間等で実施すべき事業である
公平性	受益者に偏りがあるかどうかを評価する。 [5点]広い範囲に対して便益を提供しており、偏りは見られない [4点]広い範囲に対して、概ね広く便益の享受がなされている [3点]目的となる対象者に対して、便益を提供している [2点]限定された個人や団体等にものみ便益がもたらされており、改善が必要である [1点]実施による便益を提供できておらず、早急な改善が必要である

○有効性評価

行政として当該事務事業が機能しているか、有効なものであるかを、下記3項目により評価する。

評価項目	点数とその定義
適切性	事業の実施手段・プロセスが目標に対して適切なものを評価する。 [5点]現在の手法が最も適切である [4点]現在の手法が適切性が高い [3点]現在の手法が一般的であり、特に問題はない [2点]現在の手法にはやや問題があり、改善の必要がある [1点]手法を変更する必要がある
有効性	事業の目的や目標とされる成果が達成されているかを評価する。 [5点]目標以上の成果・達成度であった [4点]目標水準に達している [3点]概ね目標水準に達している [2点]やや目標を下回っており、改善が必要である [1点]目標をかなり下回っており、早急な改善が必要である
効率性	費用対効果など事業効率が十分な水準にあるかを評価する。 [5点]効率は相当高められている [4点]効率は徐々に高まっている [3点]比較的効率的である [2点]効率は徐々に低くなっている [1点]効率はかなり低下している

目次

◆一般会計

款		項		目		ページ
1	議会費	1	議会費	1	議会費	1
2	総務費	1	総務管理費	1	一般管理費	4
				2	文書費	8
				3	広報広聴費	10
				6	財産管理費	14
				8	企画費	16
				9	交通安全費	21
				10	諸費	23
				11	電子計算費	25
				12	町民バス運行費	26
				13	施設管理費	29
				15	地上デジタル放送無線共聴施設管理費	31
				17	ふるさと納税費	32
				18	地方創生費	35
				19	新型コロナウイルス感染症対応地方創生事業費	36
				20	物価高騰対応重点支援地方創生事業費	38
		2	徴税費	1	税務総務費	39
				2	賦課徴収費	
		3	戸籍住民基本台帳費	1	戸籍住民基本台帳費	43
		4	選挙費	3	宮城県議会議員選挙費	45
				4	松島町長選挙費	46
				5	松島町議会議員補欠選挙費	
		5	統計調査費	1	統計調査総務費	47
				2	指定統計費	48
3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	49
				2	障害者福祉費	51
				3	老人福祉費	56
				4	国民年金費	59
				5	介護保険対策費	60
				6	保健福祉センター管理費	61
				7	電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業	63
				8	物価高騰対応重点支援給付金事業	64
				9	物価高騰対応重点支援給付金事業(第二号)	
		2	児童福祉費	2	児童措置費	65
				3	保育所費	66
				4	母子福祉費	68
				5	子ども医療対策費	69
				6	子育て支援事業費	70
				7	児童福祉施設費	73
				8	児童館費	74
				9	低所得の子育て世帯に対する 子育て世帯生活支援特別給付金事業費	76
				10	低所得の子育て世帯への加算給付金事業費	77

款		項		目		ページ
4	衛生費	1	保健衛生費	1	保健衛生総務費	78
				2	予防費	80
				3	健康館費	83
				4	母子衛生費	84
				5	環境衛生費	86
				6	公害対策費	90
				7	新型コロナウイルスワクチン接種対策費	91
				8	長寿健康対策費	93
		2	清掃費	1	塵芥処理費	94
				2	し尿処理費	95
5	労働費	1	労働諸費	1	勤労青少年ホーム費	96
				2	労働諸費	98
6	農林水産業費	1	農業費	1	農業委員会費	99
				3	農業振興費	101
				4	農地費	104
				5	園芸振興費	106
				6	畜産振興費	107
		2	林業費	2	林業振興費	108
		3	水産業費	2	水産業振興費	114
				3	漁港管理費	116
7	商工費	1	商工費	2	商工業振興費	117
				3	観光費	118
				4	文化観光交流館費	125
8	土木費	2	道路橋梁費	2	道路維持費	127
				3	道路新設改良費	129
		3	河川費	1	河川総務費	131
		5	都市計画費	1	都市計画総務費	132
				3	公園管理費	134
				5	街路事業費	137
		6	住宅費	1	住宅管理費	138
				2	木造住宅等震災対策事業費	140
9	消防費	1	消防費	1	非常備消防費	141
				2	水防費	143
				3	災害対策費	145
				4	避難施設管理費	147

款		項		目		ページ
10	教育費	1	教育総務費	2	事務局費	149
		2	小学校費	1	小学校管理費	151
				2	教育振興費（小学校）	153
				3	学校保健衛生費（小学校）	155
		3	中学校費	1	中学校管理費	157
				2	教育振興費（中学校）	158
				3	学校保健衛生費（中学校）	160
		4	社会教育費	1	社会教育総務費	162
				2	公民館費	165
				3	文化財保護費	168
				4	町民の森費	171
				5	地域交流センター費	173
				6	町史編纂費	174
		5	保健体育費	1	保健体育総務費	175
				2	海洋センター費	177
				3	給食施設費	178
		6	幼稚園費	1	幼稚園費	181
11	災害復旧費	1	農林水産業施設災害復旧費	1	農地災害復旧費	184
				2	農業用施設災害復旧費	185
		2	公共土木施設災害復旧費	1	公共土木施設災害復旧費	186

◆特別会計

国民健康保険特別会計	187
後期高齢者医療特別会計	190
介護保険特別会計	192
介護サービス事業特別会計	199
観瀾亭等特別会計	200

一 般 会 計

一 般 会 計

1	款	1	項	1	目	議会費									
担当部署名				議会事務局										(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳										
	116,472		112,833		国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源		
														112,833	
目的															
町議会における会議の内容や経過などの情報を町民へ提供し、議会に対する理解を深める。また、議員が町の課題などを的確に把握し、解決するための方策を調査・研究できるよう補佐する。あわせて議長が瑕疵のない議事運営を行えるよう補佐する。															
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果									
	議会事務経費		B	-	3.3	目標水準に達している。常任委員会の調査や議員活動を補佐することができた。									
	会議録作成経費		B	-	3.3	目標水準に達している。迅速に会議録を公開をするため、会議録反訳業者と綿密に連絡を取ることで目標を達成できた。									
	議会広報広聴経費		B	-	3.3	目標水準に達している。議会だよりを年4回発行することで、町民に対し議会活動への理解が深まるよう努めた。									
実績	【議会事務経費】														
	1 会議の開催状況														
	○定例会														
		会期	日数	審議 件数	原案 可決	修正 可決	否決	撤回	継続 審査	審議 未了	一般質問 人数 件数		備考		
	第1回	3月1日 ～ 3月15日	15	28	28	0	0	0	1	0	8	14	令和4年度(参考)		
	第2回	6月8日 ～ 6月12日	5	25	25	0	0	0	0	0	6	13			
	第3回	9月22日 ～ 10月6日	15	25	25	0	0	0	0	0	5	9			
	第4回	12月7日 ～ 12月11日	5	16	16	0	0	0	0	0	9	15			
	第1回	3月1日 ～ 3月18日	18	28	28	0	0	0	1	0	6	8	令和6年		
	○臨時会														
		会期	日数	審議 件数	原案 可決	修正 可決	否決	撤回	継続 審査	審議 未了	備考				
	第1回	7月10日	1	2	2	0	0	0	0	0	令和5年				
	第2回	12月21日	1	1	1	0	0	0	0	0					
	第1回	2月5日	1	1	1	0	0	0	0	0	令和6年				

(次頁へ続く)

(次頁へ続く)

1	款	1	項	1	目
実績	【会議録作成経費】				
	会議時間		88時間	1,518,000円	
	・ 定例会（年4回）			57 時間	
	・ 臨時会（年2回）			3.5時間	
	・ 決算審査特別委員会			21.5時間	
	・ デジタル推進特別委員会			1 時間	
	・ 議員全員協議会			3 時間	
	・ 議員懇談会			2 時間	
	【議会広報広聴経費】				
	広報「議会だより」の発行				
・ 発行回数		年4回（定例会ごと）	※発行月	5月・8月・11月・2月	
・ 発行費用		1,047,200円			
・ 発行部数		1回あたり5,500部			
【議員の報酬等経費・その他の議員活動】					
1 委員会調査・審査					
(1) 総務経済常任委員会					
○委員会開催日数 11日間					
○所管事務調査					
◇DXを活用したまちづくりについて					
※調査期間 令和4年9月～令和5年9月					
◇体験交流による地域活性化について					
※調査期間 令和5年12月～令和6年9月まで					
○付託事件審査					
◇請願第1号					
消費税のインボイス制度の実施延期を求める意見書の提出について					
※調査期間 令和5年3月～6月					
○行政視察					
◇大阪府泉佐野市、三重県志摩市（2泊3日）					
日程 令和5年5月9日～11日					
・ 泉佐野市 泉佐野市におけるeスポーツの取り組みについて					
・ 志摩市 「書かない窓口」及び「しまなび」の運用等について					
(2) 教育民生常任委員会					
○委員会開催日数 7日間					
○所管事務審査					
◇文化財を活用した学校教育について					
◇小中学校の安全対策について					
※調査期間 令和4年3月～令和5年9月					
◇郷土愛を育む学校給食のあり方について					
※調査期間 令和5年12月～令和6年12月まで					
○行政視察					
◇奈良県明日香村、奈良県田原本町、滋賀県守山市（2泊3日）					
日程 令和5年7月12日～14日					
・ 明日香村 ①小中学校の文化財教育の取り組み					
②小中学校の安全対策への取り組み					
・ 田原本町 ①小中学校の文化財教育の取り組み					
②小中学校の安全対策への取り組み					
・ 守山市 小中学校の文化財教育の取り組み					
(次頁へ続く)					

（次頁へ続く）

1 款	1 項	1 目
実績	(3) 広報広聴常任委員会 ○委員会開催日数 25日間 (常任委員会2日間 広報分科会15日間 広聴分科会8日間) ◇議会広報紙の編集・発行及び配布 ◇議会における情報通信技術の活用 ◇議会報告会及び一般会議の開催に必要な企画及び調整 ◇広報及び広聴の活動により明らかになった政策課題の整理 (4) デジタル推進特別委員会 (令和4年6月9日設置、令和5年9月22日調査終了) ○開催日数 4日間 (特別委員会1日間 第一小委員会2日間 第二小委員会1日間) ◇情報通信技術を活用した議会運営の業務効率化と多様な情報発信の調査・研究に関する事項 (5) 議会運営委員会 ○委員会開催日数 13日間 ◇議会開会に伴う議会運営についての審査 ◇議長の諮問事項及び議会活性化に伴う調査研究 2 その他の会議 (1) 全員協議会 ○開催日数 1日間 (開催日 令和5年12月21日) ・協議4件 ①令和6年度国民健康保険税税率改正 (案) について ②松島町障がい者計画 (第4期) (案) について ③松島町高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画 (案) について ④松島町観光振興計画 (案) について (2) 議員懇談会 ○開催日数 2日間 (開催日 令和5年10月4日、10月23日) ・議場について (3) 一般会議 ○開催日数 1日間 (開催日 令和5年7月5日) ◇松島の観光について 参加者：一般社団法人松島観光協会7名・議員13名 (4) 議会報告会 ○開催場所 12行政区 ○開催日 令和5年11月4日～11月26日 ◇常任委員会の所管事務調査について 参加人数：185名・議員14名	
	課題 方向性 議会活動を町民に理解してもらえるよう議員と連携して情報発信に努める。また、議員の調査研究に係る事務作業を補佐し議長が円滑に議会運営が行えるよう、他自治体議会事務局と情報交換を行いながら事務局機能の向上に努める。	

一 般 会 計

2	款	1	項	1	目	一般管理費					(単位:千円)
担当部署名				総務課総務管理班							
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳						
	278,512		274,580		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
					877		2,365	271,338			
目的	職員の労働環境を整備し、スキルアップを図るための職員の研修を実施することにより、人材育成、組織の活性化を図る。										
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	職員衛生管理経費		C	—	—	職員のほか、新たに会計年度任用職員についても人間ドックを受診できるようにした。 ストレスチェックについても全職員（会計年度任用職員含む）を対象として実施し、心身の健康管理に対する意識啓発に努めた。					
	研修経費		A	4.0	3.0	市町村職員研修所等が主催する県内研修への参加のほか、中止していた県外研修にも職員を派遣することができた。 また、職場内研修を実施することにより職務に必要な基本的知識、技能の習得に貢献することができた。					
実績	【職員衛生管理経費】										
	健康診断										
	・ 職員等健康診断実施状況										
	健 診 区 分				職員	会計年度 任用職員	計	受診区分 割合			
	定期健康診断				45人	53人	98人	41.4%			
	人間ドック（30歳以上の職員で希望者）				127人	12人	139人	58.6%			
	町福利厚生事業				59人	10人	69人				
	市町村共済事業・地方職員共済事業				68人	2人	70人				
	未受診者				0人	0人	0人	0.0%			
	計				172人	65人	237人	100.0%			
	・ 受診結果										
	受 診 結 果 区 分		職 員		会計年度 任用職員		計	受診結果 区分割合			
			定期健診	人間ドック	定期健診	人間ドック					
	異常なし		1人	0人	0人	0人	1人	0.4%			
軽度異常の項目あり		16人	11人	13人	0人	40人	16.9%				
要経過観察の項目あり		23人	46人	22人	6人	97人	40.9%				
要治療の項目あり		0人	7人	4人	0人	11人	4.7%				
要精密検査の項目あり		5人	63人	14人	6人	88人	37.1%				
（うち要医療継続項目あり）		(4人)	(56人)	(25人)	(7人)	(92人)					
計		45人	127人	53人	12人	237人				100.0%	
・ 各種がん検診等受診状況（職員）											
健診区分		対象区分		受診人数							
脳ドック		希望者		18人							
子宮がん検診		希望者		28人							
乳がん検診		希望者		27人							
前立腺がん検診		希望者		1人							
(次頁へ続く)											

(次頁へ続く)

2 款	1 項	1 目
-----	-----	-----

・ストレスチェック実施状況

区分	対象者数	受験者数	高ストレス 判定者数	高ストレス 割合
職員	158人	154人	27人	17.5%
会計年度 任用職員	65人	63人	6人	9.5%
合計	223人	217人	33人	15.2%

※対象者は、病休及び育休・産休の職員を除く

・心と身体の健康相談会（個別相談会）相談者数 2人

【研修経費】

職員研修
(研修所等派遣)

実績

研修名	研修の目的	研修内容	受講者数
新規採用職員研修	採用から半年が経過し、より地域住民の視点に立った行政の担い手としての使命や、公務員として必要となる基礎知識と技能を学ぶことで職務遂行能力の向上を図る。	・公務員としての使命 ・コミュニケーション ・地方自治のしくみ ・自治体職員とまちづくり ・地方公務員制度 ・CS接遇	11人
一般職員研修Ⅰ	職場で中心的な役割を担っていく中堅職員を目指し、さらなる職務遂行に必要な知識を習得するとともに、環境の変化に対応するために必要な能力の向上を目指す。	・まちづくりの視点 ・発想力、創造力育成 ・行政執行と法の関係論 ・自己管理能力向上	7人
一般職員研修Ⅱ	中堅職員として、魅力あるまちの創造や地域課題を解決するための政策形成の基礎知識と職場内におけるマネジメント能力の向上を図る。	・地域活性化と行政の役割 ・チームマネジメント ・政策形成入門	9人
監督者研修Ⅰ	監督職員としての職務を自覚し、町を取り巻く環境の変化や地域の課題を的確に捉え、チームリーダーとしての職務遂行能力の向上を図る。	・財務会計実務 ・監督者としての心構え	5人
管理者研修Ⅱ	今日の公共団体を取り巻く環境の変化や行政課題を的確に捉え、管理者として組織を効率的かつ効果的に運営するため必要となるマネジメント能力の向上を図る。	・マネジメントの語義 ・企業と地方自治体のマネジメントの違いや自治体マネジメントの留意点 ・管理職の責務と役割の確認 ・戦略、事業、職員、組織のマネジメント ・事業スクラップの基本的な考え方 ・部下指導の理念	5人
クレーム対応研修	苦情やトラブルの本質を学び、豊富な自治体事例の活用により、特に難クレーム・不当クレームに対する実践的な対応力を身につける。	・クレーム対応の基礎知識、技法 ・公務員の業務に特化したクレームの対応技法	1人

(次頁へ続く)

2 款	1 項	1 目
-----	-----	-----

実績	研修名	研修の目的	研修内容	受講者数
	条例・規則作成研修 (基礎編)	法制執務の基礎や条例規則の立案形成などを学び、実務遂行能力の向上を図る。	・法制執務 ・法のしくみ ・基礎的な法令用語や法令文の表現 ・条例規則概論 ・条例規則の立案方式	2人
	条例・規則作成研修 (実践編)	基礎的な条例・規則の立案方式の理解をさらに深め、実践的な立法技術や法令読解力の向上を図る。	・法制執務概論 ・条例規則の立案方式 ・条例立案過程での留意点 ・新旧対照表の基礎知識	1人
	民法研修(総則・物権・債権編)	法律の仕組みなどの基礎知識から、自治体職員として、業務遂行上必要となる民法の知識について、事例や判例を通して修得する。	・民法の概要 ・契約について ・時効について ・総則、物権、債権に関する各論について	2人
	後輩がぐんぐん伸びるティーチング・サポーティング・コーチング講座	コーチングをはじめとする様々な技術の基本を修得し、後輩職員の成長を支援するに当たり、必要な職務能力の向上を目指す。	・1on1コミュニケーション ・ティーチングの基本スキル ・サポーティングの基本スキル ・コーチングの基本スキル ・GROWモデル作成	1人
	コミュニケーション研修	職場や住民との良好な人間関係を築くため、また、職務を円滑に遂行するために必要となる、コミュニケーションに関する知識や技能を、様々な演習を通して学ぶ。	・コミュニケーションの基本 ・コミュニケーションスキル向上 ・アンガーマネジメント	2人
	タイムマネジメント研修	限られた時間を有効活用するために必要な知識や技術を学ぶとともに、計画的かつ効率的な業務の遂行に必要な能力の向上を図る。	・タイムマネジメントの基本 ・職場での課題分析 ・時間管理や業務計画のポイント ・実践に向けた具体的な手法	3人
	新規採用職員研修 (県町村会)	町村等の新規採用職員に対し自治体職員として必要な知識や基本的な心構えを習得させ、勤務能率の向上を図る。	・地方自治とは ・予算のしくみ ・文書の取扱い ・接遇 ・仕事の進め方	11人
	行政課題研修Ⅲ (県町村会)	町村が抱える行政課題に対し、的確に対応するための知識の習得及び解決能力の向上を図る。	・地方分権改革、提案募集方式について ・まちをおもしろくする ・ヒトづくりについて	2人
	地域保健と住民の健康増進 (市町村職員中央研修所)	地域保健及び地域住民の健康増進についての専門的知識の習得と実務遂行能力の向上を目指す。	・地域保健と医療制度の現状 ・効果的な保健指導の技法 ・健康日本21(第2次)の最終評価と次期健康づくり計画の方向性 ・地域保健の実践	1人
	訴訟等実務 (全国市町村国際文化研修所)	訴状や答弁書の作成など訴訟実務に直結した演習を通して、専門家と連携しながら様々な訴訟等に対応できる実務能力の向上を図る。	・訴訟を見据えた事前対応及び訴訟が提起された場合の対応 ・京都市の取組 ・自治体訴訟の動向 ・自治体職員に求められるリーガルマインド	1人
研修所等派遣研修受講者数				64人

(次頁へ続く)

2 款	1 項	1 目
-----	-----	-----

実績	(職場研修)				
	研修名	研修の目的	研修内容	受講者数	
	新規採用職員研修	入庁して日の浅い職員に対し、町役場職員として必要な知識を身につける。	(総務課総務管理班) ・松島町役場で働く上での基礎管理	11人	
	アサーティブコミュニケーション研修 (2回開催)	主張と尊重を両立するアサーティブコミュニケーションの方法を学び、職場での良好な人間関係の構築を目指す。	(株式会社 ギョウセイ) ・アサーティブコミュニケーションの理解を深める ・円滑なコミュニケーションのコツを学ぶ ・アサーティブコミュニケーションの実践	54人	
	職場におけるハラスメント対策について	管理職を対象として、パワーハラとなる言動の事例やセルフチェック、パワーハラにならない部下への指導について理解を深める。	(一般社団法人 日本産業カウンセラー協会) ・パワーハラスメントについて ・ハラスメント防止への取組	40人	
	会計事務担当者研修	入庁5年以内の職員及び希望者を対象として、効率的な会計業務を行うため、基礎的な会計事務の方法を身につける。	(会計課) ・会計事務とは ・会計事務の注意点(歳出・歳入)	33人	
	職員ストレスチェックに係るセルフケアセミナー (4回開催)	ストレスチェック結果を基に、職員一人一人の心の健康づくりを啓発し、セルフケアの推進を図る。	(一般財団法人 宮城県成人病予防協会) ・メンタルヘルスとは ・働く人のストレスの現状 ・ストレスとは ・職場のメンタルヘルス ・ストレスの対処法	114人	
	職場研修受講者数				252人
	【一般庶務経費】				
	・顧問弁護士への法律相談 7件 (契約、商標登録、法令の解釈に関すること) ・障害者雇用状況(令和5年6月1日現在)				

職員数	法定雇用率	法定雇用定数	障害者である職員数	実雇用率	不足数
167	2.6%	4人	5人	3.0%	0人

※職員数等は障害者任免状況通報に係る算定方式によるもの
(会計年度任用職員含み、教育委員会事務部局を除く)

【能登半島地震職員派遣】				
・派遣期間等				
派遣期間	派遣人数	支援業務	派遣先	
R6. 1. 19～R6. 1. 27	2	被災家屋調査	石川県能登町	
R6. 3. 14～R6. 3. 21	2	罹災証明受付業務	石川県能登町	

| 課題方向性 | 引き続き人間ドックや健康診断、ストレスチェック等を実施し職員の健康維持を図るほか、衛生委員会を通じた職場環境の改善に努めていく。 職員の能力・資質の向上を図るため、市町村アカデミー研修への派遣を再開し、希望する職員が受講できる環境を構築するとともに、職場研修も引き続き実施していく。 | | | | |

一 般 会 計

2	款	1	項	2	目	文書費				
担当部署名				総務課総務管理班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	5,430		5,126					2	5,124	
目的	町が保有する情報の公開を図るとともに、町の諸活動を町民に説明する責務を果たすことで、公正で民主的な行政の運営に資する。 文書收受・整理については、正確かつ適切な事務処理を通して、適正な公文書管理を実施する。 規程形式文書審査については、例規システムを活用し、法令等改廃情報の把握や適切な審査を行う。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	情報公開事務経費		B	—	3.3	松島町情報公開条例に基づき、適切な情報の開示を行い、町民の知る権利の充実を図ることができた。また、開示請求の対象者を全ての人に拡大したことにより町政の透明化が図られた。				
	文書法令関係経費		C	—	—	日々送付される文書について、事務部局ごとに遅滞なく適切な処理及び保管を実施し、適正な公文書管理ができた。 また、例規システムを活用することにより改廃情報を適切に把握し、迅速な審査及び適正な条例の制定・改正を行うことができた。				
実績	【情報公開事務経費】									
	・松島町情報公開条例及び松島町個人情報の保護に関する法律施行条例の規定による開示等の件数									
	(単位:件)									
	処理内容	開示 請求件数	全部開示 決定件数	部分開示 決定件数	不開示 決定件数	文書不存在	不服申立 処理件数			
	件数	6	4	1	0	1	0			
	【文書法令関係経費】									
	・総務管理班において行った文書整理、文書收受及び文書保存の冊数									
	(単位:冊)									
	文書整理		区分		文書引継冊数		文書廃棄冊数			
	冊数				307		14			
(単位:件)										
文書收受		事務部局		収受総数						
		町長の事務部局		2,540						
		教育委員会		386						
		選挙管理委員会		43						
		農業委員会		128						
		固定資産評価審査委員会		0						
		計		3,097						
(次頁へ続く)										

(次頁へ続く)

2	款	1	項	2	目	
実績	・ 文書保存 (単位：冊)					
	事 務 部 局		保 存 総 数			
	町 長 の 事 務 部 局		3,305			
	教 育 委 員 会		59			
	選 挙 管 理 委 員 会		261			
	農 業 委 員 会		96			
	固定資産評価審査委員会		2			
	計		3,723			
	※令和6年3月31日現在における庁舎書庫内保存文書冊数					
	【例規関係審査・追録等経費】					
・ 規程形式文書審査事務取扱規程第2条の規定による審査実施件数 (単位：件)						
区 分		条 例	規 則	訓 令	そ の 他	計
件 数		32	16	5	40	93
・ 松島町例規集編纂等業務委託					2,486,000 円	
課題方向性						
書庫内に保管している保存文書の適切な管理に努めていく。 例規システムの活用を促進し業務の効率化を図っていく。						

2 款	1 項	3 目	広報広聴費					
担当部署名			企画調整課					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	6,860	6,747				925	5,822	
目的	あらゆる機会をとらえて情報の提供を行うとともに、地域または全町の建設的な意見を集約して、相互理解のもとに、まちづくりを推進する。							
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	広報紙発行経費	B	-	3.0	視認性に考慮しつつ、町内のイベントや地域の身近な情報から町政や町の動向まで、町民にとって有益な情報がまとまっている紙面づくりができた。			
	広報事務経費	B	-	3.0	登録者数が飽和状態になりつつあるSNSもあるが、町民に必要な情報が届くようにLINEのセグメント配信を開始し、町ホームページや他SNSも活用して行政情報等の即時発信をすることができた。			
	広聴事務経費	C	-	-	住民生活における問題解消に繋がる機会として、定期的に相談会を開催することで、毎月多数の住民相談を受け入れることができた。			
実績	【広報紙発行経費】							
	広報まつしま発行		3,104,640 円 1ページあたり2.10円 (税抜き)					
	・発行回数及び部数		毎月 5,600部 (年間 67,200部)					
	・配布先		町内全世帯及び関係機関					
	【広報事務経費】							
	(近年におけるアクセス数等の推移の状況については別頁 (12頁・13頁) 参照)							
	1	松島町ホームページの管理・運営						
		・アクセス数		令和5年4月1日～令和6年3月31日 1,514,300 件				
		・外国語翻訳機能利用回数		令和5年4月1日～令和6年3月31日 3,374 件				
	2	松島町フェイスブックアカウントの管理・運営						
	・アクセス数		令和5年4月1日～令和6年3月31日 99,433 件					
	・フォロワーの増減数		令和5年4月1日～令和6年3月31日 34 件					
3	松島町インスタグラムアカウントの管理・運営							
	・フォロワーの増減数		令和5年4月1日～令和6年3月31日 401 件					
	・投稿への「いいね」数		令和5年4月1日～令和6年3月31日 9,013 件					
	・投稿数		令和5年4月1日～令和6年3月31日 64 件					
4	松島町ラインアカウントの管理・運営							
	・友達登録者の増加数		令和5年4月1日～令和6年3月31日 278 件					

(次頁へ続く)

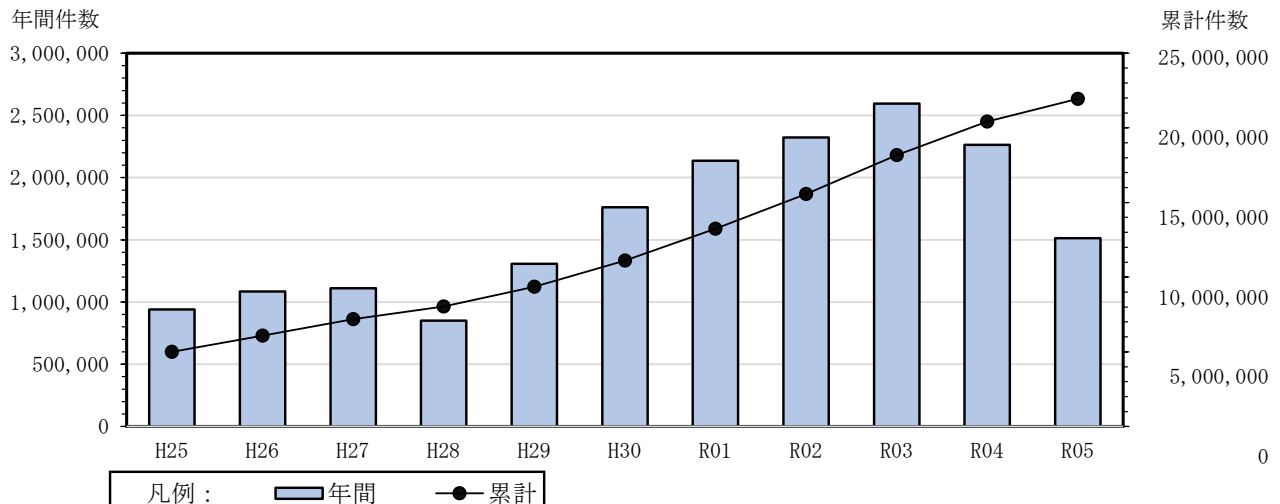
2 款	1 項	3 目
実績	【広聴事務経費】 行政相談及び法律相談 41件 ・行政相談（毎月第1火曜日） 3件 ①行政関係（1件） ②その他（2件） ・弁護士無料法律相談（毎月第2金曜日） 38件 ①近隣トラブル関係（2件） ②金銭関係（9件） ③婚約・離婚関係（1件） ④相続関係（10件） ⑤その他（16件）	
	課題 方向性 広報紙の発行については、限られた紙面の中で町民が必要とする情報を取捨選択し、読みやすく、わかりやすい表記方法や紙面構成に引き続き努める。また、デジタル社会における情報発信のツールとして、町ホームページの他にも各種SNS、テレビ回覧板をそれぞれの特性に応じて活用し、町内外へ適宜情報を発信する。 広聴事務については、行政相談及び法律相談の相談日時を広報や町ホームページにて引き続き周知し、住民の困り事を解消できる相談会の定期開催体制を維持する。	

【松島町ホームページ閲覧状況】

・アクセス数

令和5年 4月1日 ～ 令和6年3月31日
平成9年10月 開設 ～ 令和6年3月31日

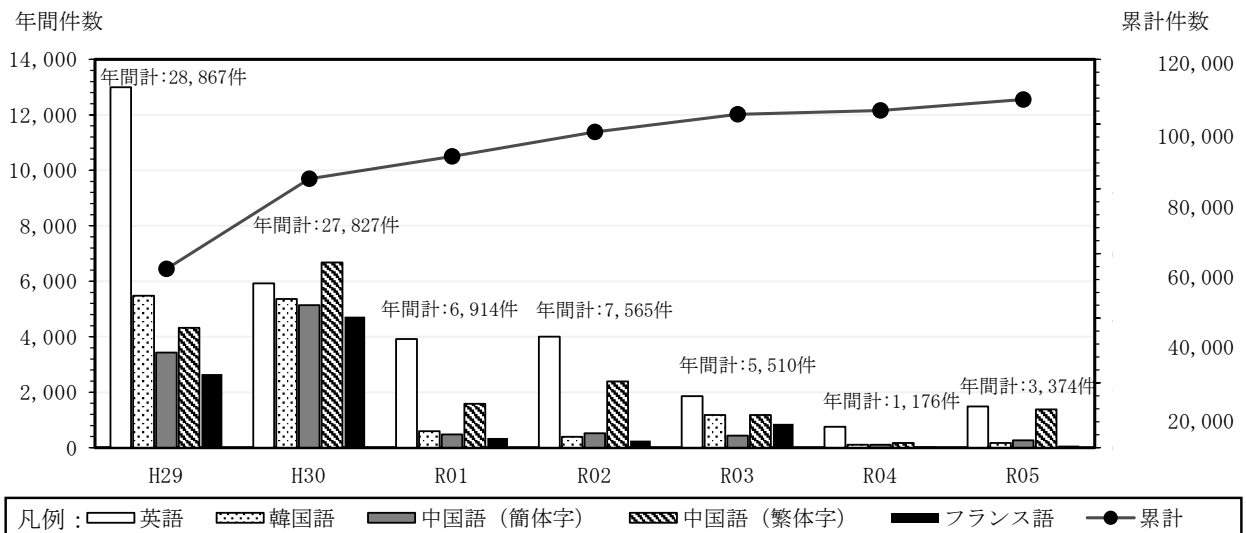
1,514,300 件
21,942,481 件



・外国語翻訳機能利用回数

令和 5年4月1日 ～ 令和6年3月31日
平成24年4月 開設 ～ 令和6年3月31日

3,374 件
107,600 件



・言語別利用回数

① 年間件数 (令和5年 4月1日 ～ 令和6年3月31日)

■ 英語	1,489 件
■ 韓国語	169 件
■ 中国語 (簡体字)	264 件
■ 中国語 (繁体字)	1,381 件
■ フランス語	71 件

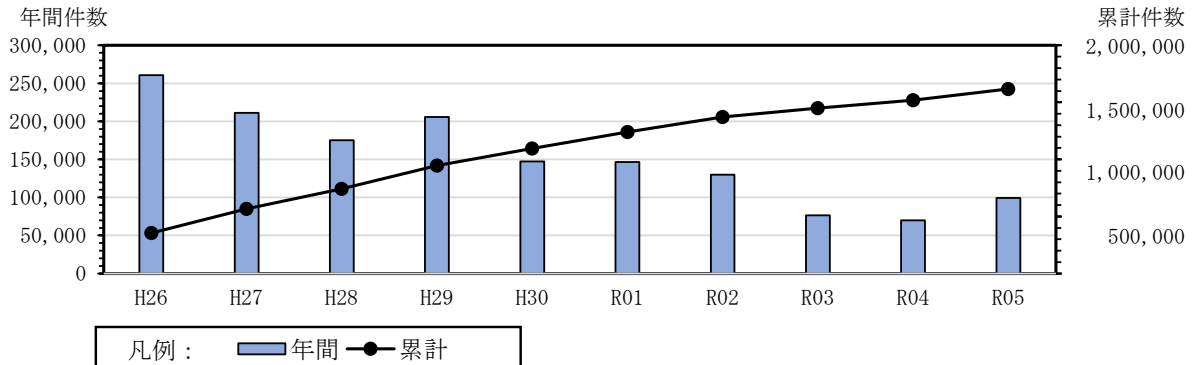
② 累計件数 (平成24年4月 開設 ～ 令和6年3月31日)

■ 英語	39,648 件
■ 韓国語	22,572 件
■ 中国語 (簡体字)	13,204 件
■ 中国語 (繁体字)	21,487 件
■ フランス語	10,689 件

【松島町フェイスブックアカウント閲覧状況】

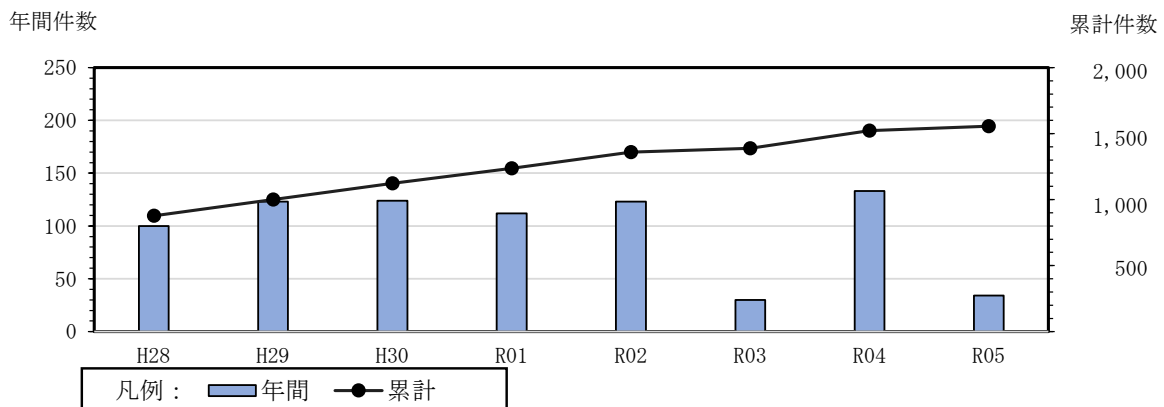
・アクセス数

令和 5年4月1日 ～ 令和6年3月31日 99,433 件
 平成25年4月 開設 ～ 令和6年3月31日 1,617,264 件



・フォロワーの増減数

令和 5年4月1日 ～ 令和6年3月31日 34 件
 平成25年4月 開設 ～ 令和6年3月31日 1,556 件



【松島町Instagram閲覧状況】

・フォロワーの増減数

令和 5年 4月1日 ～ 令和6年3月31日 401 件
 平成30年10月 開設 ～ 令和6年3月31日 1,776 件

・投稿への「いいね」数

令和 5年 4月1日 ～ 令和6年3月31日 9,013 件
 平成30年10月 開設 ～ 令和6年3月31日 37,314 件

・投稿数

令和 5年 4月1日 ～ 令和6年3月31日 64 件
 平成30年10月 開設 ～ 令和6年3月31日 464 件

【松島町ライン登録状況】

・友達登録者の増加数

令和 5年 4月1日 ～ 令和6年3月31日 278 人
 令和 3年10月 開設 ～ 令和6年3月31日 1,444 人

一 般 会 計

2	款	1	項	6	目	財産管理費				
担当部署名				財務課財政班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	163, 882		155, 505				80, 200	6, 513	68, 792	
目的	財政班所管町有財産の維持管理に努めながら、貸付等により資産の有効活用を図っていく。また、財務諸表を作成することにより、本町の財政状況等を把握していく。 さらに公用車による事故防止等の啓発や、適切な契約事務等について一層の効率化を図っていく。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	庁舎外施設維持管理経費		B	-	3. 3	契約の複数年化や他施設との合併発注を積極的に活用することで事務処理の効率が上がり、庁舎等施設の適切な維持管理に努めることができた。				
	契約事務経費		B	-	3. 3	入札監視委員会の審議において指摘事項はなく、入札及び契約事務手続きの適正化が認められた。				
	普通財産管理経費		B	-	3. 7	普通財産の適切な維持管理に努めるとともに、貸付や払い下げを行い、資産を有効に活用することができた。				
	公共財産管理経費		B	-	3. 7	公共物（共用財産）の適切な維持管理に努めるとともに、貸付を行い、資産を有効に活用することができた。				
	松島フットボールセンター管理経費		B	-	3. 0	宮城県サッカー協会と協力し、松島フットボールセンター施設の適切な維持管理に努めることができた。				
	地方公会計整備事業		A	3. 7	4. 0	令和4年度決算の統一的な基準による財務書類を作成し、同規模自治体平均値と比較した分析を実施した。				
	各種基金管理		A	3. 7	3. 0	基金を適切に運用した。				
実績	【庁舎外施設維持管理経費】									
	・修繕料	役場庁舎空調機修繕料他	(7 件)	630, 300 円						
	・手数料	防火シャッター危害防止装置用バッテリー交換手数料他	(10 件)	1, 508, 457 円						
	・委託料	宿日直・清掃業務委託他	(8 件)	9, 600, 230 円						
	・用地賃借	庁舎用地賃借料	(1 件)	11, 580, 360 円						
	・機器賃借等	電話交換機等設備リース料他	(7 件)	925, 906 円						
	・備品購入	デジタルサイネージ購入	(1 件)	412, 500 円						
	【公用車管理経費】									
	・修繕料	公用車修繕料	(1 件)	47, 300 円						
	・手数料	安全運転管理者講習手数料他	(2 件)	27, 680 円						
	・車両賃借	公用車リース料	(5 件)	3, 759, 258 円						
	・研修会等	安全運転適性検査（12月19日開催：20人参加）								
	・ドライブシミュレーター危険予知トレーニング									
	・動体視力反応検査									
【契約事務経費】										
・委託料	入札参加資格登録業者情報入力業務委託（令和5年度追加分）			148, 500 円						
	情報入力業者数			(59 者)						
	・建設工事			(19 者)						
	・設計コンサル			(8 者)						
	・物品・役務			(39 者)						
・入札監視委員会										
7月31日開催	審議案件（建設工事	3件	業務委託	3件)						
1月23日開催	審議案件（建設工事	3件	業務委託	3件)						

(次頁へ続く)

(次頁へ続く)

実績	【公共財産管理経費】				
	・委託料	自然公園他草刈等業務委託他	(4 件)	12,028,700 円	
		うち、町有地崩落防止等設計業務委託	6,749,100円	(繰越明許費)	
	・工事請負費	町有地法面崩落防止工事	(3 件)	73,515,200 円	
		松島字狐ヶ岩屋地内、高城字馬場一、馬場二地内			
	【松島フットボールセンター管理経費】				
	・修繕料	給水ポンプ修繕料	(1 件)	286,000 円	
	・手数料	簡易専用水道施設検査手数料他	(2 件)	124,667 円	
	・委託料	機械警備業務委託他	(6 件)	1,057,538 円	
	・機器賃借等	AED賃貸借料	(1 件)	32,736 円	
【地方公会計整備事業】					
・委託料	財務書類作成等業務		1,064,800 円		
〈令和4年度財務分析結果〉					
	指標	計算式	松島町	同規模団体 平均値	分析結果等
	純資産比率	純資産合計額÷資産合計額×100	85.9%	81.1%	企業会計でいう自己資本比率に相当し、この比率が高いほど健全であるといえる。同規模団体より良好な数値である。
	住民1人当たりの資産額	資産合計額÷人口	318万円	166万円	震災後に避難施設や避難道路を整備したことで、同規模団体を上回ったと分析される。
	住民1人当たりの負債額	負債合計額÷人口	45万円	32万円	新規発行の抑制により地方債残高は減少傾向だが、同規模団体を上回っている。今後は老朽化した施設の更新等により増加が見込まれる。
	資産老朽化比率	減価償却累計額÷取得価額等×100	66.7%	56.2%	100%に近いほど償却資産の老朽化が進んでいるといえる。6割以上が帳簿上の価値を失っており、更新の時期や費用に留意する必要がある。
	住民1人当たりの行政コスト	純行政コスト÷人口	64万円	38万円	減価償却費や他会計繰出金が大いため、同規模団体を上回っている。公営企業の収支バランスの適正化を進めていく必要がある。
	受益者負担割合	経常収益÷経常費用	2.7%	3.1%	経常費用に対する使用料・手数料の割合である。同規模団体平均値を下回っており、受益者負担の見直しの検討が必要である。
※同規模団体・・・人口1万～3万人未満の市町村					
※参考・・・宮城県内の同規模団体（11市町）					
蔵王町、大河原町、村田町、丸森町、山元町、七ヶ浜町、大和町、加美町、涌谷町、美里町、南三陸町					
【財産運用】					
	・行政財産目的外使用許可		(17 件)	317,811 円	
	・公共物使用許可		(50 件)	2,013,050 円	
	・土地貸付		(26 件)	2,156,612 円	
	・土地建物貸付		(3 件)	1,010,340 円	
	・土地売払い		(1 件)	751,996 円	
課題 方向性	経年による施設等の修繕や備品の更新、町有地の草刈及び支障木の撤去等の維持管理費の増加が見込まれる。引き続き、決算と財務諸表の分析を行いながら町有財産の貸付等の有効活用を図り、今後の財政運営に活用していく。				

一 般 会 計

2 款		1 項	8 目	企画費			
担当部署名			企画調整課				(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	18,036	15,588		2,300		500	12,788
目的	町民等の満足度を高める施策を効率的・効果的に推進し、誰もが「住んでよかった」、「今後も住み続けたい」と感じられるまちづくりを推進する。						
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果		
	企画事務経費(総合計画審議会)	B	-	4.0	令和6年2月に開催した総合計画審議会において、令和6年度から策定を進める次期松島町長期総合計画及び松島町過疎地域持続的発展計画についての報告を行い、総合計画審議会委員に対する周知が図られた。		
	企画事務経費(広域行政等)	B	-	3.3	塩釜地区広域行政連絡協議会において、各課から取りまとめた事項について宮城県及び宮城県議会へ要望活動を行った。また、同協議会において、若手職員を対象とした地域活性化のための事業研修を実施し、自治体間職員の連携強化が図られた。 仙台都市圏広域行政推進協議会において、「どこでもパスポート」を発行し、仙台都市圏域の小学校1年生に配布することで、公共施設の活用の促進と学習機会の創出が図られた。		
	長期総合計画関連費	B	-	3.7	令和6、7年度で策定予定の次期松島町長期総合計画に関する方針やスケジュールを検討し、令和6年2月に開催した総合計画審議会にて報告を行い、計画策定の準備を進めることができた。また、松島町過疎地域持続的発展計画に基づく事業について関係機関との調整を行った。		
	景観形成推進経費	B	-	3.3	事前協議や届出制度による景観形成に係る協議等や事業者からの事前相談に対して適切に対応することで、良好な景観形成に寄与することができた。		
	企業立地・誘致関連経費	A	4.7	4.0	宮城県主催の企業立地セミナー(東京・名古屋)に参加し、計86社の企業と情報交換を行うことができた。 また、初原地区の「松島イノベーションヒルズ」計画地において、令和6年2月から工事が着手されたことで、町内立地に関する問い合わせが増え、それらの企業に対し直接企業訪問や打合せを実施し、立地に意欲を示す企業の創出に繋げることができた。		
	定住促進事業費	A	3.7	3.7	東京都で開催された宮城県主催の移住イベントに2回参加し、地方移住を検討している方の個別相談に応じるとともに本町のPRを行い、移住先としての魅力発信が図られた。 また、移住者へのインタビューやアンケートを行い、移住者の実際の想いを掲載した「移住定住ガイドブック」を刷新し、町内外の関係施設に配架したことで、本町の取組や魅力等の情報発信を行った。		
	定住促進事業費(定住促進事業補助金)	A	3.7	3.7	定住促進事業補助金及び移住支援金について、移住・定住を検討している方からの問合せが増え、本制度が一因となり、町内への転入に繋がった。		
	国土利用計画法関連経費	C	-	-	一定規模以上の土地売買に関する届出について、国土利用計画法に基づいて町土の適正かつ能率的な土地利用を図ることができた。		
	行政評価事務経費	A	4.0	3.3	施策や事務事業について、事業の必要性や目的を明確化し、事業の活動に対して得られる成果などを客観的な数値を用いながら評価を行うことができた。		

(次頁へ続く)

【企画事務経費（総合計画審議会）】

・ 総合計画審議会の開催

開催日	内 容	場 所
令和6年 2月28日	○次期松島町長期総合計画の策定について ○松島町過疎地域持続的発展計画について (出席委員：12人、欠席委員：3人)	役場3階 大会議室

【企画事務経費（広域行政等）】

1 塩釜地区広域行政連絡協議会

(1) 協議会及び幹事会の開催（協議会2回、幹事会4回）

- ・ 宮城県に対する要望
- ・ 二市三町若手職員交流研修事業

(2) 宮城県に対する要望

- ・ 塩釜地区二市三町の圏域振興にかかる行政課題について

(3) 負担金

- ・ 塩釜地区広域行政推進協議会負担金

9,000 円

2 仙台都市圏広域行政推進協議会

(1) 協議会及び幹事会の開催（協議会2回、幹事会2回）

- ・ 国及び宮城県に対する要望

(2) 国及び宮城県に対する要望

- ・ 圏域振興にかかる行政課題について

(3) 「どこでもパスポート」事業の実施

- ・ 圏域の小学校1年生に対し約2万冊配布

(4) ホームページの公開

(5) 負担金

- ・ 仙台都市圏広域行政推進協議会負担金

68,000 円

実績

(次頁へ続く)

【景観形成推進経費】

1 松島町景観審議会の開催

開催日	内 容	場 所
令和6年 2月19日	○松島町景観計画の運用状況について ○再生可能エネルギー発電設備設置の新たな規制措置に関する検討について 町内における太陽光発電設備の現状及び条例策定も含めた今後の方針について説明した。 (出席委員：9人、欠席委員：1人)	役場3階 大会議室

2 景観計画の運用状況について

(1) 景観条例における事前協議 48 件

景観条例に基づき、町全域を対象に事業の企画・提案などの段階から事業者と景観形成に関する協議を実施した。

- ・ 建築物 8 件 (松島：6件、高城：1件、磯崎：1件)
- ・ 工作物 40 件 (松島：5件、高城：2件、本郷：4件、磯崎：12件、手樽：4件、北小泉：3件、幡谷：2件、根廻：6件、初原：1件、桜渡戸：1件)
- ・ 開発行為 0 件
- ・ 土砂の採取等 0 件

(2) 景観法における届出 10 件

景観法に基づき、「特別名勝松島」指定区域外における行為の届出に関する審査事務を実施した。

- ・ 建築物 0 件
- ・ 工作物 10 件 (手樽：1件、北小泉：3件、根廻：4件、初原：1件、桜渡戸：1件)
- ・ 開発行為 0 件
- ・ 土砂の採取等 0 件

実績

【企業立地・誘致関連経費】

1 企業誘致に関する取組

- ・ 宮城県企業立地セミナーin Nagoya、宮城県企業立地セミナーin Tokyoに参加

開催日	内 容	場 所
令和5年 11月9日	○宮城県企業立地セミナーin Nagoya セミナーにて直接情報交換を実施した企業 44社 (参加企業：135社)	名古屋東急ホテル (愛知県)
令和6年 1月22日	○宮城県企業立地セミナーin Tokyo セミナーにて直接情報交換を実施した企業 42社 (参加企業：157社)	ロイヤルパークホテル (東京都)

- ・ 町内立地に向けた協議を実施した企業 29 社

(次頁へ続く)

【定住促進事業費】

- 1 移住・定住イベントへの参加 2回

名 称	開 催 日	場 所	内 容	問 合 件 数
みやぎ移住・交流フェア	令和5年 11月18日	ふるさと 回帰支援 センター (東京都)	東京圏在住の20～40代に対して移住定住を促進することをテーマとし、自治体ブースを設置して来場者の相談会を実施した。宮城県内35市町村および来場者206組276名が参加した。	11件 (14名)
宮城で探そう！ 私らしくいる ためのローカル lifeセミナー &相談会	令和6年 2月4日	ふるさと 回帰支援 センター (東京都)	UJIターンをねらいとし、移住定住を具体的に検討する機会として自治体ブースを設置して来場者の相談会を実施した。 宮城県内10市町と来場者37組47名が参加した。(参加自治体：気仙沼市・名取市・栗原市・蔵王町・川崎町・松島町・利府町・色麻町・美里町・南三陸町)	6件 (6名)

- 2 個別移住相談 3人

県外在住の移住希望者が来庁し、移住相談を実施した。また、宮城県が運営するインターネットサイト「みやぎ移住ガイド」を通じて移住相談の希望があり、オンラインにて相談を実施した。

- 3 移住・定住促進ガイドブックの作成

・発行部数 2,700部 603,381円

【定住促進事業費（定住促進事業補助金）】

- 1 松島町定住促進事業補助金

・交付数 町内：1世帯 2名 町外：17世帯 49名 8,500,000円

- 2 松島町移住支援金

・交付数 1世帯 5名 2,200,000円

【空き家バンク】

- 1 新規登録及び売買等契約成立件数

(単位：件)

区 分	建 物			土 地	計
	戸建て住宅	空き部屋	事務所・店舗		
年度当初登録数①	6	15	2	14	37
年度内新規登録数②	3	3	0	1	7
年度内売買等契約成立数③	4 (4)	13 (9)	2 (1)	9 (4)	28 (18)
年度末登録数 (①+②-③)	5	5	0	6	16

※括弧内数字は、所有者都合で空き家バンクへの登録を取り下げた件数

(次頁へ続く)

【国土利用計画法関連経費】

- 1 土地売買等届出書 6件（松島：2件、高城：2件、北小泉：1件、桜渡戸：1件）
国土利用計画法に基づき、土地の投機的取引や地価の高騰を抑制するとともに、適正かつ合理的な土地利用の確保を図るため、市街化区域は2,000㎡以上、市街化区域を除く都市計画区域は5,000㎡以上、都市計画区域外は10,000㎡以上の土地取引をしたときに届け出るもの。
- 2 土地有償譲渡届出書 3件（松島：2件、高城：1件）
公有地の拡大推進に関する法律に基づき、公有地拡大の計画的な推進を図り、地域の秩序ある整備と公共の福祉の増進に資することを目的として、都市計画施設等の区域内に所在する土地200㎡以上、市街化区域内の土地5,000㎡以上、市街化調整区域を除く都市計画区域内に所在する土地10,000㎡以上を有償で譲渡しようとするときに届け出るもの。

【行政評価事務経費】

- 1 松島町行政評価システムリース 1,782,000 円
行政サービスの向上や行政運営の改善を図ることを目指し、施策や事務事業について必要性や目的を明確化し、事業に対して得られる成果などの評価を行い、評価結果を踏まえて今後の方向性を検討・整理し反映させるもの。

【子ども版タウンミーティング】

実績

1 出前講座

団体名	開催日	参加人数	内 容
第一小学校	令和5年11月 9日	45人	「松島町長期総合計画（子ども版）」を用いて、町政やまちづくりについての説明後、グループに分かれて、町の「よいところ・よくしたいところ・よくするには」を観点にしたワークショップを実施した。
第二小学校	令和5年11月29日	18人	
第五小学校	令和5年10月20日	14人	

2 こども未来アカデミー

団体名	開催日	参加人数	内 容
第一小学校	令和6年 1月26日	44人	児童がグループごとにまとめた、まちづくりへの意見について発表会を実施した。 また、各小学校において、町長と児童との意見交換会を実施した。
第二小学校	令和6年 1月25日	19人	
第五小学校	令和5年12月15日	15人	

- ・ 児童の発表に対して町長が感想を伝え、質疑応答等の双方向のやり取りを経て、児童がまちづくりに関心を深め、松島への郷土愛を育む体験とすることができた。
- ・ 参加した町内小学校の6年生児童 計85名にアカデミー修了証書を配布した。

課題
方向性

本町における人口減少や少子高齢化の課題に対する各種施策の見直しや検討を行い、国際観光都市として特色のある松島町の魅力を活かし、時代に取り残されず、進化し続けるまちづくりを目指していく必要がある。
これらを踏まえ、令和6年度より進める次期長期総合計画の策定に向けたまちづくり検討委員会や検討庁内委員会等の中で、現長期総合計画に基づく各施策の評価と課題の整理を行うとともに、新たなまちづくりを見据えた次期計画の策定を推進していく。

一 般 会 計

2	款	1	項	9	目	交通安全費																																						
担当部署名				総務課環境防災班					(単位:千円)																																			
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																																							
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																			
	7,666		7,140			256		106	6,778																																			
目的	住民や松島を訪れる方の安全を確保するため、事故防止に向けた交通安全意識の向上を図る啓発活動を推進するとともに、安全な道路交通環境を保持するための交通安全施設等の整備や危険箇所の改善に努める。 さらに、交通安全協会等の関係団体及び警察等の協力を得ながら安全運転の啓発と交通安全思想の普及を推進する。																																											
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果																																						
	交通安全指導啓発事業経費		B	-	3.7	関係機関・団体が連携を密にして、ドライバーに対する啓発活動や、子どもや高齢者の会合に出向いた事故防止の呼びかけ、広報車による広報活動などを実施し、交通事故の防止を図ることができた。 また、交通安全指導員による通学路における街頭指導や交通安全教室を実施し、交通安全ルールの周知や交通安全意識の向上を図ることができた。																																						
	交通安全施設整備事業経費		B	-	3.3	交差点における視認性を高めるため、カーブミラーの設置及び老朽化したカーブミラーを交換し、安全・安心な交通環境を整備した。																																						
	臨時運行許可事務経費		B	-	3.7	自動車臨時運行に伴う許可申請の審査及び許可について、道路運送車両法第34条第2項の規定に基づき適正な受付業務を行うことができた。																																						
実績	【交通安全指導啓発事業経費】																																											
	1 交通安全指導員による街頭指導 (交通安全指導員数17人)																																											
	(1) 総出動回数 延べ 905回 (月平均 延べ75回)																																											
	(2) 出動内容 ①交通安全日街頭指導 ⑥松島流灯会 海の盆 ②春の交通安全運動 ⑦全日本実業団対抗女子駅伝競走大会 ③秋の交通安全運動 ⑧かき祭り ④交通安全教室交通指導 ⑨各種行事の街頭指導 ⑤松島パークフェスティバル ⑩各地区行事の街頭指導																																											
実績	2 松島町内における交通事故発生件数の推移																																											
	<table><tr><td></td><td>令和5年</td><td>令和4年</td><td>令和3年</td><td>令和2年</td><td>令和元年</td><td>平成30年</td></tr><tr><td>発生件数</td><td>24</td><td>29</td><td>32</td><td>23</td><td>31</td><td>35</td></tr><tr><td>(前年比)</td><td>(△ 5)</td><td>(△ 3)</td><td>(9)</td><td>(△ 8)</td><td>(△ 4)</td><td>(△ 5)</td></tr><tr><td>死者数</td><td>0</td><td>2</td><td>0</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>傷者数</td><td>32</td><td>34</td><td>39</td><td>30</td><td>41</td><td>42</td></tr></table>										令和5年	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年	平成30年	発生件数	24	29	32	23	31	35	(前年比)	(△ 5)	(△ 3)	(9)	(△ 8)	(△ 4)	(△ 5)	死者数	0	2	0	2	0	0	傷者数	32	34	39	30	41	42
		令和5年	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年	平成30年																																					
	発生件数	24	29	32	23	31	35																																					
(前年比)	(△ 5)	(△ 3)	(9)	(△ 8)	(△ 4)	(△ 5)																																						
死者数	0	2	0	2	0	0																																						
傷者数	32	34	39	30	41	42																																						
※期間は、各年1月1日から12月31日まで																																												
3 交通安全教育																																												
・小学校・幼稚園における交通安全教室 5回 (松島第一小学校、松島第二小学校、松島第五小学校、松島第一幼稚園、松島第五幼稚園)																																												
(次頁へ続く)																																												

(次頁へ続く)

2 款	1 項	9 目
実績	4 交通安全思想普及活動 ・春の交通安全町民総ぐるみ運動 運動期間 :5月11日～5月20日(10日間) ・秋の交通安全町民総ぐるみ運動 運動期間 :9月21日～9月30日(10日間) ・交通安全施設の点検 毎月 5 交通安全啓発活動 ・高齢者等事故防止啓発活動 5回(3施設) ・児童等事故防止啓発活動 3回(3施設) ・飲酒運転撲滅啓発活動 2回 ・広報車による啓発活動 毎月 6 交通安全団体に対する事業費補助 ・塩釜地区交通安全協会松島支部 250,000 円 ・松島町交通安全母の会 100,000 円 【交通安全施設整備事業経費】 1 交通安全施設整備事業 ・カーブミラー設置等工事 N = 12基 1,933,800 円 ○シングルミラー設置工 N = 9基 ○ダブルミラー設置工 N = 1基 ○シングルミラー撤去工 N = 2基	
課題 方向性	道路交通法の改正により、自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されるなど、交通事故の発生状況や法改正に即した取り組みが求められていることから、継続的な交通安全啓発活動に努める。 また、令和5年12月23日に達成した町内における「交通死亡事故ゼロ1年間」の記録継続のため、関係機関と連携し、高齢者への啓発活動や園児、児童への交通安全教室などを通じて、交通事故防止の徹底を図る。 カーブミラー等の交通安全施設については、住民からの要望や調査にて危険箇所を把握し、緊急性の高い箇所から整備を行う。	

一 般 会 計

2	款	1	項	10	目	諸費			
担当部署名				総務課総務管理班・総務課環境防災班・企画調整課				(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳				
	200, 936		200, 604		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				23	325				200, 256
目的	自治活動の普及推進を図り、町民の自治意識の高揚と社会福祉の増進に寄与する。 警察や学校などの関係機関と連携して、防犯対策等の普及を図り、犯罪を未然に防ぎ住民の安全を確保する。								
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	自治振興経費 ※総務課 総務管理班所管		B	－	3.3	行政区長を通じ町と町民の連絡を密にすることで行政事務の円滑な運営が図られた。 行政区長移動研修会を実施し、他自治体の取り組みを視察することで行政区が持つ課題解決の一助となった。			
	表彰式典関係経費		B	－	4.0	表彰基準に基づき表彰者の選定を行い、文化観光交流まつりにおいて、善行者・功労者の表彰を行った。			
	災害補償等関係経費		B	－	3.7	全国町村会総合賠償補償保険に加入し、町の損害賠償責任に備えた。保険対象となる事案は発生しなかった。			
	防犯対策関係経費		B	－	3.3	各地区の防犯指導隊と連携し、春や夏、年末年始の地域安全運動などを通じて地域の防犯対策に努め、地域の安全安心及び防犯意識の高揚を図ることができた。 また、不審者情報等について、安全安心メールや各種SNSを通じて啓発し、犯罪の未然防止に繋げた。各地区が管理する防犯灯については、LED化に係る費用や電気料の助成を行う等、犯罪が発生しにくい環境づくりに寄与した。			
	自治振興経費 ※企画調整課所管		B	－	3.3	品井沼ステーション有限会社の運営を支援することで、品井沼駅の利便性及び周辺地域コミュニティの維持・活性化に繋がった。			
	自衛官募集関係経費		B	－	3.7	採用試験に係る情報や募集条件について広報周知等を実施し、自衛官採用に繋がる募集事務を推進することができた。			
実績	■総務課 総務管理班所管								
	【自治振興経費】								
	・ 行政区長等報償					113 人	18, 338, 040 円		
	・ 行政区長視察研修会		開催日	令和5年11月7日～令和5年11月8日					
			視察先	福島県伊達郡川俣町					
			参加者	行政区長10名・町長・事務局					
	【表彰式典関係経費】								
・ 善行者・功労者表彰式		開催日	令和5年10月29日						
		会 場	松島町文化観光交流館						
		表彰者	善行者（1名）功労者（13名）						
【災害補償等関係経費】									
・ 全国町村会総合賠償補償保険料						1, 392, 720 円			
・ 保険適用申請対応件数						0 件			
(次頁へ続く)									

■総務課 環境防災班所管

【防犯対策関係経費】

1 松島町における犯罪認知件数

	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年	平成30年
認知件数	62	45	37	33	86	66
(前年比)	(17)	(8)	(4)	(△ 53)	(20)	(△ 11)

※期間は、各年1月1日から12月31日まで

2 主な防犯活動

- ・地域安全運動による防犯パトロール等
 - 春の地域安全運動 (運動期間： 4月 15日 ～ 5月 14日)
 - 夏の地域安全運動 (運動期間： 7月 15日 ～ 8月 25日)
 - 全国地域安全運動 (運動期間：10月 11日 ～ 10月 20日)
 - 年末年始の地域安全運動 (運動期間：12月 1日 ～ 1月 7日)
- ・定期的な町内パトロール活動 (随時)

- 3 防犯指導隊への補助 6団体 360,000 円
- 4 防犯灯設置等補助 109 基 2,277,257 円
(松島区・高城区・本郷区・磯崎区・手樽区・下竹谷区・上竹谷区・幡谷区・初原区)
- 5 防犯灯電気料助成 1,488 基 2,827,807 円
(12行政区・品井沼街灯組合)

実績

■企画調整課所管

【自治振興経費】

- ・品井沼ステーション運営費補助金 900,000円

課題
方向性

■総務課 総務管理班所管

行政区長や行政員のなり手不足が課題となっているため、業務マニュアル等を作成し事務引継の負担軽減を図っていく。

善行者・功労者の表彰については、町への貢献に敬意を表し、引き続き年1回の表彰を実施する。

■総務課 環境防災班所管

社会情勢の変化により、犯罪の凶悪化や詐欺事件等の知能犯が増えていることから、犯罪に巻き込まれることがないよう、警察署や各地区防犯指導隊などの関係機関及び団体と連携して、防犯パトロールや安全安心メールによる情報提供等を実施し、安全安心に暮らすことができる生活環境の構築に努める。

地区管理防犯灯については、LED化に係る費用を町補助金の交付により負担軽減を図り、LED化を促進して夜間における犯罪の抑止を図る。

■企画調整課所管

品井沼駅の利便性及び地域コミュニティの維持・活性化に向け、引き続き運営にかかる支援を実施する。

自衛官募集事務については、継続して広報周知等を実施し、円滑な自衛官採用に繋げる。

一 般 会 計

2	款	1	項	11	目	電子計算費				
担当部署名				企画調整課					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	79,067		78,979		3,344			5,568	70,067	
目的	情報通信ネットワークの管理・運用、電算システムによる事務処理の高度化・効率化を進めるとともに、デジタル・トランスフォーメーション（DX）に係るハード・ソフト両面の最適化を図り、新たな住民ニーズへの対応、行政サービスの利便性向上に努める。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	基幹系システム経費		A	4.3	3.7	住基・税務・福祉等の庁内各業務において、データセンターを活用したクラウドシステムの運用・保守を行い、業務継続性の確保や事務の効率化及び適正化により、職員負担の軽減が図られた。				
	公会計システム経費		A	4.3	3.7	財務会計・契約管理・人事給与等の庁内各業務において、柔軟な制度対応や事務の効率化及び最適化の実現に向け、効果的かつ適切なシステムの運用を行った。				
	地域情報システム整備事業経費		B	-	4.0	庁内情報ネットワーク環境下で使用するハードウェア及びソフトウェアの安定運用や東北・新潟の7県で共同調達している自治体情報セキュリティクラウドを用いることでセキュリティレベルの確保やインシデント対応ができた。				
	デジタル推進事務経費		A	4.0	3.0	令和7年度までに移行義務化されている自治体情報システムの標準化・共通化に向けて、計画的かつ円滑な移行を実現するために移行に係る準備として、システムの事前調査を実施した。				
実績	【基幹系システム経費】									
	1 基幹系システム大量データ作成業務委託								464,640 円	
	2 基幹系システム賃借料								51,156,734 円	
			(ハードウェア、ソフトウェア、LGWAN及びセキュリティ強化対策保守含む)							
	3 自治体中間サーバー・プラットフォーム利用負担金								3,101,000 円	
実績	【公会計システム経費】									
	1 公会計システム賃借料								12,926,900 円	
			(ハードウェア及びソフトウェア保守含む)							
	【地域情報システム整備事業経費】									
	1 地域情報システム賃借料								5,536,512 円	
実績	2 宮城県自治体情報セキュリティクラウド運用費負担金								849,900 円	
	3 地方公共団体情報システム機構（J-LIS）一般事業負担金								45,000 円	
	4 宮城県高度情報化推進協議会会費								7,000 円	
	【デジタル推進事務経費】									
	1 標準準拠システム移行支援業務委託								3,344,000 円	
課題 方向性	令和7年度末までの自治体情報システムの標準化・共通化に向けて、次期総合行政ネットワーク（LGWAN）の更改、政府共通のクラウドサービス利用環境であるガバメントクラウドへの接続が必須となっている。DX推進本部及び推進検討委員会での意見を踏まえ、庁内ネットワークの再構築、事務用端末の新規入替の作業を滞りなく実施していく。さらに情報セキュリティ対策として、設備等ハード面の対策に加え、職員に対しても情報倫理の向上を図っていく。									

一 般 会 計

2	款	1	項	12	目	町民バス運行費					(単位:千円)	
担当部署名				総務課環境防災班								
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳							
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	34,691		32,520					897	31,623			
目的	公共交通空白地域における生活利便性の向上、福祉の増進を図るとともに、高齢者や学生をはじめとする交通弱者の移動手段として町内全域に町営の路線バスを運行させ、交通地域格差の是正に努める。 また、持続可能な公共交通体系を目指し、町民の地域間交流を促進させ、活力のあるまちづくりに寄与する。											
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果						
	町民バス運行事務経費		A	3.7	3.0	運転手の勤務表や報酬支払い業務、日報管理等の町民バス運行に係る事務処理を行い、適切な運行管理を行った。 また、地域公共交通会議を開催し、自家用有償旅客運送の登録期限更新による更新登録及び令和6年度からの運行業務委託について承認を受け、宮城運輸支局への更新登録並びに運行業務委託の契約締結に繋げた。						
	町民バス運行経費		A	3.7	3.0	高齢者や学生、通勤者の交通手段を確保し、生活環境の向上と福祉の増進、さらには交通地域格差の是正が図られた。 また、車両の定期点検等の維持管理及び修繕を随時行い、適切に車両の管理を行った。						
実績	○ 運行・利用状況											
	内容 路線		便数	運行日数	走行距離 (km)		利用人数 (人)		収入金額(円)			
	北松島線 〔中廻含む〕		10	308	97,365		13,463		287,700			
	松島東線		4	308	33,394		2,900		41,600			
	松島西線		5	308	38,213		7,905		145,300			
	定期券・回数券		—	—	—		—		316,980			
	計		—	—	168,972		24,268		791,580			
課題 方向性	町直営で運行している町営バスについては、令和6年度から運行管理の専門である民間事業者へ業務を委託することにより、より安全で安心な運行となることが期待されるが、委託者として車両の状態や運行状況の把握等を引き続き行い、快適な利用状態を保てるよう管理していく。 また、より利用しやすい町営バスとなるよう、受託者と協力して、利用者ニーズや動向等を把握する調査を行い、実情に即した時刻表やルート等の見直しを行う。											

令和5年度町営バス月別利用状況

(北松島線分)

月	運行 日数	走行距離 (km)	70才以上 無料カード 利用人数	一 般				中学・小学生				乳幼児 乗車券 利用人数	身体障害者 乗車券 利用人数	接種券 利用人数	合 計		備 考
				定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数	定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数				利用者数	使用料収入額 (円)	
4	25	7,908	506	15	63	105	183	35	26	45	106	0	315	0	1,110	25,500	
5	27	8,598	515	17	57	109	183	72	25	41	138	0	342	3	1,181	25,900	
6	26	8,594	503	19	65	109	193	80	18	26	124	1	354	0	1,175	24,400	
7	26	8,188	522	11	72	107	190	58	33	1	92	0	328	0	1,132	21,500	
8	27	8,184	465	6	66	103	175	0	18	4	22	0	276	0	938	21,000	
9	26	8,315	549	22	64	141	227	19	26	17	62	0	344	0	1,182	29,900	
10	26	8,387	515	20	85	124	229	61	25	6	92	0	374	0	1,210	25,400	
11	26	8,260	566	17	52	105	174	63	23	11	97	0	335	1	1,173	22,100	
12	24	7,553	533	14	52	94	160	38	11	29	78	0	319	0	1,090	21,700	29～31日連休
1	24	7,503	530	18	33	108	159	41	13	23	77	0	317	0	1,083	23,900	1日～3日連休
2	25	7,809	482	25	39	100	164	39	24	19	82	0	321	0	1,049	21,900	
3	26	8,066	623	8	39	117	164	11	15	11	37	0	316	0	1,140	24,500	
合計	308	97,365	6,309	192	687	1,322	2,201	517	257	233	1,007	1	3,941	4	13,463	287,700	
月平均		8,114	526	16	57	110	183	43	21	19	84	0	328	0	1,122	23,975	

(松島東線分)

月	運行 日数	走行距離 (km)	70才以上 無料カード 利用人数	一 般				中学・小学生				乳幼児 乗車券 利用人数	身体障害者 乗車券 利用人数	接種券 利用人数	合 計		備 考
				定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数	定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数				利用者数	使用料収入額 (円)	
4	25	2,720	218	0	0	2	2	19	10	20	49	1	11	0	281	2,400	
5	27	2,996	190	0	0	8	8	20	14	32	66	0	1	0	265	4,800	
6	26	2,979	217	0	0	11	11	22	9	30	61	0	4	0	293	5,200	
7	26	2,676	193	1	0	7	8	18	9	22	49	1	1	0	252	3,600	
8	27	2,449	221	0	0	4	4	10	5	2	17	0	4	0	246	1,000	
9	26	2,916	200	0	0	14	14	21	8	18	47	0	4	0	265	4,600	
10	26	2,927	197	0	0	8	8	18	10	30	58	0	6	0	269	4,600	
11	26	2,915	155	0	0	5	5	18	15	24	57	0	3	0	220	3,400	
12	24	2,601	145	0	0	9	9	29	0	11	40	0	3	0	197	2,900	29～31日連休
1	24	2,651	176	0	0	7	7	35	0	13	48	0	1	0	232	2,700	1日～3日連休
2	25	2,814	107	0	0	9	9	38	0	11	49	0	2	0	167	2,900	
3	26	2,750	171	0	0	9	9	16	0	17	33	0	0	0	213	3,500	
合計	308	33,394	2,190	1	0	93	94	264	80	230	574	2	40	0	2,900	41,600	
月平均		2,783	183	0	0	8	8	22	7	19	48	0	3	0	242	3,467	

(松島西線分)

月	運行 日数	走行距離 (km)	70才以上 無料カード 利用人数	一 般				中学・小学生				乳幼児 乗車券 利用人数	身体障害者 乗車券 利用人数	接種券 利用人数	合 計		備 考
				定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数	定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数				利用者数	使用料収入額 (円)	
4	25	3,130	452	0	2	69	71	0	2	6	8	0	78	0	609	14,400	
5	27	3,235	465	1	2	46	49	0	0	9	9	0	84	1	608	10,100	
6	26	3,246	493	8	1	49	58	0	1	16	17	0	95	0	663	11,400	
7	26	3,192	463	6	24	50	80	1	1	11	13	0	81	0	637	11,100	
8	27	3,333	480	2	10	62	74	0	5	7	12	0	65	0	631	13,100	
9	26	3,173	470	2	7	56	65	13	9	20	42	5	75	0	657	13,200	
10	26	3,203	577	6	7	58	71	32	4	7	43	5	79	0	775	12,300	
11	26	3,192	482	4	7	49	60	32	0	11	43	2	89	0	676	10,900	
12	24	3,091	523	0	6	57	63	17	0	21	38	1	67	0	692	13,500	29～31日運休
1	24	3,022	447	2	1	47	50	30	4	13	47	1	64	0	609	10,700	1日～3日運休
2	25	3,116	510	0	3	65	68	35	0	6	41	5	63	0	687	13,600	
3	26	3,280	501	1	2	50	53	28	0	10	38	1	68	0	661	11,000	
合計	308	38,213	5,863	32	72	658	762	188	26	137	351	20	908	1	7,905	145,300	
月平均		3,184	489	3	6	55	64	16	2	11	29	2	76	0	659	12,108	

(合 計)

定期券・回数券(円)	316,980
------------	---------

月	運行 日数	走行距離 (km)	70才以上 無料カード 利用人数	一 般				中学・小学生				乳幼児 乗車券 利用人数	身体障害者 乗車券 利用人数	接種券 利用人数	合 計		備 考
				定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数	定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数				利用者数	使用料収入額 (円)	
合計	308	168,972	14,362	225	759	2,073	3,057	969	363	600	1,932	23	4,889	5	24,268	791,580	

(回数券・定期券販売実績)

種類	回数券		定期券									販売金額 (円)
区分	一般	小中学生	中学生			高校生			一般(69歳以下)			
	2,000円	1,000円	1,800円	5,130円	9,720円	3,600円	10,260円	19,440円	6,000円	17,100円	32,400円	
販売数(件)	67	37	13	10	3	6	2	0	0	0	0	
												316,980

一 般 会 計

2	款	1	項	13	目	施設管理費				
担当部署名				総務課総務管理班・建設課管理班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	32,074		31,387				9,400	12,000	9,987	
目的	集会施設の適切な維持管理を行い、住民のための地域コミュニティの場として、安全かつ利用しやすい環境を提供する。また、公衆便所の適切な維持管理を行い、利用しやすい環境を提供する。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	集会施設指定管理経費		B	-	3.3	集会施設18施設について、行政区等への指定管理により適正な管理運営を行うことができた。				
	集会施設等維持管理経費 ※総務課 総務管理班所管		B	-	3.3	集会施設個別施設計画により廃止の方向性となっている施設のうち、地域との協議の整った8施設について解体工事を実施した。				
	集会施設等維持管理経費 ※建設課 管理班所管		C	-	-	集会施設の設備等修繕により適切な維持管理を実施し、地域住民のコミュニティ構築の場を提供した。				
	高城町駅前、愛宕駅前、 元禄潜穴公衆便所維持管理経費		C	-	-	公衆便所の清掃や修繕を行い、適切な維持管理を実施することにより、利用しやすい環境を提供した。				
実績	■総務課 総務管理班所管									
	【集会施設指定管理経費】									
	1 委託料									
	・集会施設 18施設		2,014,360 円							
	【集会施設等維持管理経費】									
	1 工事請負費									
	・集会施設空調設備取付その1工事 (垣ノ内集会場、本郷ふれあいセンター、華園集会場)		7,144,500 円							
	・集会施設空調設備取付その2工事 (北小泉・下竹谷地区コミュニティーセンター、上竹谷生活センター、 上幡谷生活センター)		5,495,600 円							
	・根廻分館バリアフリー化改修工事		2,937,000 円							
	・松島・根廻地区集会施設解体工事 (小石浜支館、蛇ヶ崎集会所、後根廻支館)		3,485,900 円							
	・北小泉地区集会施設解体工事 (滝ノ沢サブセンター、中出山集会所、後小泉サブセンター)		3,608,495 円							
	・下竹谷地区集会施設解体工事 (蒲サブセンター、中才サブセンター)		3,362,700 円							
(次頁へ続く)										

2 款	1 項	13 目																																							
実績	■建設課 管理班所管 【集会施設等維持管理経費】 <table> <tr> <td>1</td><td>需用費（修繕料）</td><td>554,906 円</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 華園集会所（外壁防水・換気扇）</td><td>396,000 円</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 本郷ふれあいセンター（通路誘導灯）</td><td>80,300 円</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 初原コミュニティーセンター（手すり）</td><td>40,656 円</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 上竹谷生活センター（女子トイレ大便器漏水）</td><td>37,950 円</td></tr> </table> 【高城町駅前、愛宕駅前、元禄潜穴公衆便所維持管理経費】 <table> <tr> <td>1</td><td>需用費（修繕料）</td><td>53,900 円</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 元禄潜穴公衆便所（手洗器漏水）</td><td>38,500 円</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 愛宕駅前公衆便所（トイレ照明）</td><td>15,400 円</td></tr> <tr> <td>2</td><td>委託料</td><td>341,000 円</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 公衆便所清掃業務委託</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>高城町駅前公衆便所（週2回）</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>愛宕駅前公衆便所（週2回）</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>元禄潜穴公衆便所（週2回）</td><td></td></tr> </table>		1	需用費（修繕料）	554,906 円		・ 華園集会所（外壁防水・換気扇）	396,000 円		・ 本郷ふれあいセンター（通路誘導灯）	80,300 円		・ 初原コミュニティーセンター（手すり）	40,656 円		・ 上竹谷生活センター（女子トイレ大便器漏水）	37,950 円	1	需用費（修繕料）	53,900 円		・ 元禄潜穴公衆便所（手洗器漏水）	38,500 円		・ 愛宕駅前公衆便所（トイレ照明）	15,400 円	2	委託料	341,000 円		・ 公衆便所清掃業務委託			高城町駅前公衆便所（週2回）			愛宕駅前公衆便所（週2回）			元禄潜穴公衆便所（週2回）	
1	需用費（修繕料）	554,906 円																																							
	・ 華園集会所（外壁防水・換気扇）	396,000 円																																							
	・ 本郷ふれあいセンター（通路誘導灯）	80,300 円																																							
	・ 初原コミュニティーセンター（手すり）	40,656 円																																							
	・ 上竹谷生活センター（女子トイレ大便器漏水）	37,950 円																																							
1	需用費（修繕料）	53,900 円																																							
	・ 元禄潜穴公衆便所（手洗器漏水）	38,500 円																																							
	・ 愛宕駅前公衆便所（トイレ照明）	15,400 円																																							
2	委託料	341,000 円																																							
	・ 公衆便所清掃業務委託																																								
	高城町駅前公衆便所（週2回）																																								
	愛宕駅前公衆便所（週2回）																																								
	元禄潜穴公衆便所（週2回）																																								
課題 方向性	■総務課 総務管理班所管 集会施設個別施設計画に基づき、廃止の方向性とした施設に関して地域の理解を得るため、引き続き丁寧な説明を実施していく。 ■建設課 管理班所管 集会施設や公衆便所は利用頻度が高く設備数も多いことから、故障や破損が発生した場合には適宜修繕が必要となる。日頃から適切な維持管理に努め、安全かつ利用しやすい施設環境を提供していく。																																								

一 般 会 計

2	款	1	項	15	目	地上デジタル放送無線共聴施設管理費				
担当部署名				企画調整課・建設課管理班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	2,299		1,796						1,796	
目的	町内で地形等の理由により地上デジタル放送が難視聴になっている地区（難視聴地区）に設置した地上デジタル放送無線共聴施設について、維持管理を実施する。 また、松島町テレビジョン放送共同受信施設運営費補助金を交付し、良好な地上デジタル放送の受信環境を維持する。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	地上デジタル放送無線共聴施設管理経費（補助金）		B	-	4.0	難視聴地区の組合に対して補助金を交付することで、良好な地上デジタル放送の受信環境維持に寄与した。				
	地上デジタル放送無線共聴施設管理経費（保守）		B	-	3.3	地上デジタル放送無線共聴施設の保守点検を行い、安定した運用ができるよう施設の維持管理を行った。				
実績	■企画調整課所管 【地上デジタル放送無線共聴施設管理経費（補助金）】 ・松島町テレビジョン放送共同受信施設運営費補助金 帰命院地区テレビ共同受信組合（133世帯）120,000 円									
	■建設課 管理班所管 【地上デジタル放送無線共聴施設管理経費（保守）】 1 地上デジタル放送無線共聴施設（受信・送信点11箇所）の維持管理 ・松島海岸、小石浜地区（受信点：3箇所 送信点：5箇所） ・反町、初原地区（受信点：1箇所 送信点：2箇所） 2 委託料1,419,000 円 ・地上デジタル放送無線共聴施設保守点検業務委託（年1回）1,078,000 円 ・三十刈地区受信点支障木伐採業務委託341,000 円									
課題 方向性	■企画調整課所管 松島町テレビジョン放送共同受信施設運営費補助金を引き続き交付し、難視聴地区における地上デジタル放送の受信環境の維持に努める。 ■建設課 管理班所管 地上デジタル放送無線共聴施設の維持管理を継続して行い、電波障害が発生した場合の対応を行うとともに、常に良好な地上デジタル放送の視聴環境の維持に努める。									

一 般 会 計

2 款	1 項	17 目	ふるさと納税費						
担当部署名			財務課財政班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳						
	90,655	87,926	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
						59,421	28,505		
目的	松島町を応援して下さる方からの寄附金を活用し、寄附者の思いに反映した魅力あるまちづくり事業を展開する。また、返礼品により町の魅力を発信するとともに、返礼品事業者の販路拡大と、松島町に対する興味・関心を高め、来町を促すことで地域の活性化を図ることを目的とする。								
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	ふるさと納税費	A	4.3	3.7	新たなポータルサイトの開設による寄附窓口拡大の効果もあり、前年度と比較して寄附金額の増加が図られた。また、14件の事業に対する財源として寄附金を活用することができた。				
実績	1 郵便振替・クレジット・アプリ・ポイント決済手数料								
	区 分 等				件 数	金 額			
	郵便振替手数料				1件あたり30円	14 件	420 円		
	クレジット決済手数料					334 件	512,139 円		
	JCB	寄附額の1.5%			63 件	97,830 円			
	VISA	寄附額の1%			108 件	120,967 円			
	DGフィナンシャル他				163 件	293,342 円			
	アプリ決済手数料				218 件	471,446 円			
	d払い	寄附額の2.5%~3.5%			6 件	5,857 円			
	アマゾンペイ				6 件	16,307 円			
	PayPay				8 件	40,865 円			
	楽天ペイ (ふるなび経由)				1 件	4,262 円			
	楽天ペイ (楽天経由)	寄附額の2.7%			197 件	404,155 円			
	ポイント決済手数料 (JREポイント)				寄附額の1%	7 件	1,112 円		
	手数料合計				573 件	985,117 円			
	2 オンラインワンストップ利用手数料								
	区 分 等				件 数	金 額			
	オンラインワンストップ利用				1件あたり150円	98 件	16,170 円		
	3 ポータルサイト掲載料								
	区 分 等				金 額				
	ふるさとチョイス	(平成30年5月~)			寄附額の10%	2,202,860 円			
	楽天ふるさと納税	(令和2年12月~)			寄附額の5.1%	775,803 円			
	ふるなび	(令和3年11月~)			寄附額の10~12%	1,203,070 円			
	ANAのふるさと納税	(令和3年12月~)			寄附額の8%	344,080 円			
	JRE MALLふるさと納税	(令和3年12月~)			寄附額の7%	121,737 円			
	JALふるさと納税	(令和4年12月~)			寄附額の8%	200,640 円			
	セゾン	(令和5年4月~)			寄附額の10%	107,910 円			
	auPAY	(令和5年4月~)			寄附額の10%	33,880 円			
	ポータルサイト掲載料合計				4,989,980 円				
	4 ふるさと納税業務委託料								
	区 分 等				金 額				
	データ管理・返礼品手配等	寄附額の5%			3,006,905 円				
	データ管理・返礼品手配・サイト掲載等(さとふる)	寄附額の12%等			633,468 円				
	返礼品代金	返礼品実費			18,318,137 円				
	返礼品送料	送料実費			542,909 円				
	業務委託料合計				22,501,419 円				
(次頁へ続く)									

(次頁へ続く)

2 款	1 項	17 目
-----	-----	------

5 寄附実績
・ 寄附受付窓口別

寄附受付窓口区分	件 数	寄附額
ふるさとチョイス	204 件	20,026,000 円
楽天ふるさと納税	197 件	13,608,000 円
ふるなび	77 件	10,937,000 円
ANAのふるさと納税	26 件	3,910,000 円
JRE MALLふるさと納税	57 件	1,581,000 円
JALふるさと納税	31 件	2,280,000 円
セゾン	9 件	981,000 円
auPAY	8 件	308,000 円
さとふる	52 件	4,731,000 円
自治体窓口等	16 件	1,040,000 円
合 計	677 件	59,402,000 円

・ 支払手段別

支払手段別区分	件 数	寄附額
郵便振替	14 件	700,000 円
クレジットカード決済	403 件	40,551,356 円
アプリ決済	242 件	17,059,260 円
ポイント決済	7 件	101,384 円
銀行振込	3 件	490,000 円
現金支払い	8 件	500,000 円
合 計	677 件	59,402,000 円

・ 返礼品カテゴリー別

返礼品カテゴリー区分	件 数	寄附額
米・パン 【 5 品目 】	50 件	852,000 円
①ひとめぼれ10kg ②ササニシキ10kg ③ササニシキ5kg×2袋 ④ひとめぼれ5kg×2袋 ⑤ひとめぼれ5kg×6袋		
野菜・果物 【 1 品目 】	5 件	60,000 円
①とまと		
水産物 【 1 品目 】	32 件	330,000 円
①かき		
加工食品 【 14 品目 】	128 件	3,792,000 円
①たけのこ ②味噌・梅干し ③うなぎ蒲焼(中) ④うなぎ蒲焼(大) ⑤うなぎ蒲焼5人前 ⑥うなぎ白焼6串 ⑦うなぎ白焼・蒲焼 ⑧うなぎ白焼12串 ⑨トマトジュース ⑩トマトジュース ⑪吟醬漬4切 ⑫吟醬漬5切 ⑬吟醬漬6切 ⑭吟醬漬12切		
菓子・スイーツ 【 7 品目 】	46 件	586,000 円
①勝新堂菓子詰合せ ②松華堂セット ③カキとコメと ④小さなカキとコメと ⑤こうれん3種 ⑥こうれん5種 ⑦ジェラート詰合せ		
酒類 【 1 品目 】	5 件	114,000 円
①松島の吟風		
セット・詰め合わせ 【 21 品目 】	74 件	1,336,000 円
①かまぼこ5種・米 ②おすすめかまぼこ・米 ③米・カキとコメと ④松島届け物 ⑤調味料 ⑥カキとコメと・ のり ⑦殻付きかき・生カキ ⑧米食べくらべ ⑨かまぼこ・むう・米 ⑩松島ブランド ⑪定番かまぼこ・米 ⑫さん直 ⑬かまぼこ・米 ⑭さん直プレミアム ⑮東北EGA0便 ⑯牛タンA ⑰サバと赤魚味噌漬け・牛タン ⑱吟醬漬・牛タン ⑲牛タンB ⑳牛タン・大福B ㉑牛タンC		
民芸・工芸 【 2 品目 】	4 件	68,000 円
①燻し竹箸3膳 ②燻し竹箸10膳		
宿泊券・チケット 【 20 品目 】	295 件	52,056,000 円
①観光プラン ②タクシー観光 ③大観荘宿泊券 ④壮観宿泊券 ⑤絶景の館宿泊券 ⑥絶景の館宿泊券 ⑦パレス松洲宿泊券 ⑧海風土宿泊券 ⑨海風土宿泊券 ⑩小松館宿泊券 ⑪一の防宿泊券 ⑫一の防宿泊券 ⑬センチュリー宿泊券 ⑭絶景の館日帰り入浴券 ⑮大観荘ペアチケットA ⑯大観荘ペアチケットB ⑰大観荘ペアチケットC ⑱絶景の館夜会食券 ⑲フォトウエディングプラン(洋装) ⑳フォトウエディングプラン(和装)		
その他 【 1 品目 】	0 件	0 円
①お墓参りサポートタクシー		
希望無し(返礼品を希望しない申出があった寄附)	2 件	53,000 円
対象外(災害支援ふるさと納税等返礼品の対象とならない寄附)	36 件	155,000 円
合 計 【 73 品目 】	677 件	59,402,000 円

(次頁へ続く)

2 款	1 項	17 目
-----	-----	------

・ 使 途 別

使 途 区 分	件 数	寄附額
道路、公園・緑地等の基盤整備に関する事業	86 件	9,696,000 円
環境、安全・防災に関する事業	103 件	6,088,000 円
福祉・保健・医療に関する事業	77 件	6,002,000 円
教育に関する事業	121 件	10,394,000 円
観光、歴史・文化に関する事業	118 件	12,370,000 円
産業振興、コミュニティに関する事業	23 件	1,077,000 円
魅力あるまちづくりを推進するため必要と認められる事業	149 件	13,775,000 円
合 計	677 件	59,402,000 円

・ 寄附金額別

寄附金額区分	件 数	寄附額
10,000円未満	34 件	38,000 円
10,000円以上30,000円未満	282 件	3,622,000 円
30,000円以上50,000円未満	58 件	1,798,000 円
50,000円以上100,000円未満	55 件	2,970,000 円
100,000円以上200,000円未満	77 件	11,200,000 円
200,000円以上	171 件	39,774,000 円
合 計	677 件	59,402,000 円

6 ふるさと納税基金

(単位：円)

使 途	積立残高	積立額	取崩額	残 高	充当事業
① 道路、公園・緑地等の基盤整備に関する事業	25,381,000	9,696,000	10,000,000	25,077,000	道路舗装6,000,000 品井沼地区道路整備4,000,000
② 環境、安全・防災に関する事業	23,395,850	6,088,000	2,500,000	26,983,850	松くい虫防除
③ 福祉・保健・医療に関する事業	24,836,000	6,002,000	9,500,000	21,338,000	障がい者計画3,700,000 子ども・子育て支援事業計画3,500,000 健康増進計画2,300,000
④ 教育に関する事業	20,076,773	10,394,000	7,567,000	22,903,773	こども英語ガイド167,000 二小放送設備購入2,400,000 ICT支援員配置5,000,000
⑤ 観光、歴史・文化に関する事業	26,988,864	12,370,000	6,600,000	32,758,864	松島海岸駅観光案内所運営2,300,000 観光振興計画1,900,000 賑わい空間創出2,400,000
⑥ 産業振興、コミュニティに関する事業	4,232,900	1,077,000	1,000,000	4,309,900	創業者支援
⑦ その他魅力あるまちづくりを推進するため、必要と認められる事業	319,591,000	13,775,000	12,000,000	321,366,000	集会施設エアコン設置
基金運用利子収入分	57,316	19,303		76,619	
合 計	444,559,703	59,421,303	49,167,000	454,814,006	

実績

課題
方向性

寄附金窓口となるポータルサイトを拡充した影響もあり寄附金は増加したが、高額な返礼品に寄附が集中したことで寄附件数は減少した。新たな返礼品の開発をすることで、町の魅力発信、返礼品事業者の販路拡大と松島町への興味・関心を高めることで地域の活性化を図っていく。

一 般 会 計

2 款	1 項	18 目	地方創生費						
担当部署名			企画調整課					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳						
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	155,637	13,481				13,402	79		
目的	松島町を応援していただける企業からの寄附金を、本町の重点戦略である「定住」、「子育て」、「交流」に係る事業の財源として充てることで、重点戦略の各種課題解決を図り、町の将来像である「集い、学び、働き、笑顔あふれる美しいまち 松島」を目指す。								
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	まち・ひと・しごと創生 寄付活用事業（企業版ふるさと納税費）	A	4.3	3.0	6事業者より企業版ふるさと納税の寄附をいただき、町の重点戦略に関する事業の財源に充てることで、本町の重点戦略の実現につながる事業の推進を図ることができた。				
実績	1 寄附実績								
	・ 重点戦略別寄附額 (単位:円)								
	重点戦略		寄附事業者数		寄附額				
	「定住」		4 事業者		2,200,000				
	「子育て」		1 事業者		100,000				
	「交流」		3 事業者		11,100,000				
	合 計		6 事業者		13,400,000				
	※複数の重点戦略に同一事業者が寄附した場合も合計は1事業者でカウント								
	・ 企業版ふるさと納税を財源とした重点戦略別事業充当状況 (単位:円)								
	重点戦略別事業		充当額						
	「定住」に関する事業		2,000,000						
	「子育て」に関する事業		0						
	「交流」に関する事業		7,230,000						
	合 計		9,230,000						
	・ 寄附受付窓口別寄附額 (単位:円)								
	区 分 等		寄附額		委託料又は手数料				
	株式会社エージェント		100,000		寄附額の11%		11,000		
株式会社トラストバンク		0		寄附額の11%		0			
株式会社七十七銀行		0		寄附額の11%		0			
自治体窓口		13,300,000							
合 計		13,400,000				11,000			
2 企業版ふるさと納税基金残高 (単位:円)									
重点戦略	前年度基金残高	積立額	取崩額	年度末残高	繰入事業				
「定住」	2,474,000	2,200,000	2,000,000	2,674,000	根廻・初原線 道路整備事業				
「子育て」	4,000,000	100,000	0	4,100,000					
「交流」	0	11,100,000	7,230,000	3,870,000	農村集落活性化 推進事業				
基金運用利子 収入分	536	2,246	0	2,782					
合計	6,474,536	13,402,246	9,230,000	10,646,782					
課題 方向性	令和5年度は、本町の政策や事業に対し賛同を得た6事業者からの寄附実績となったが、当初予算にて目標とした額には達しなかった。令和6年度も引き続き横断的な協力の下、職員による募集活動を実施するとともに、民間事業者が行っている企業版ふるさと納税マッチング支援や専用ポータルサイトを活用しながら目標額目指して取り組んでいく。								

一 般 会 計

2	款	1	項	19	目	新型コロナウイルス感染症対応地方創生事業費					(単位:千円)
担当部署名				総務課総務管理班・総務課環境防災班・企画調整課 町民福祉課こども支援班・産業観光課産業振興班・産業観光課観光班							
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳						
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	77,727		77,056		55,700				21,356		
目的	エネルギー・食料品等の価格高騰の影響を受けている町民や事業者に対し、生活維持や事業継続のための経済的な支援、観光誘客促進等に資するための各種事業を実施することにより、地域経済における景気回復を図るもの。										
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	No.1 行政区エネルギー価格等高騰対策支援事業		A	3.7	3.3	エネルギー価格等高騰の影響を受けている行政区に対し支援を行うことにより、地域コミュニティ活動の活性化が図られた。					
	No.2 防犯灯LED化促進補助事業		A	4.3	4.0	行政区に対し、補助金を交付して防犯灯のLED化を促進し、電気料金の負担軽減に繋げた。					
	No.3 暮らしを応援・住まいのリフォーム助成事業		A	4.0	4.0	町内業者によるリフォーム工事を対象とした工事費の一部助成の実施を通じ、住宅関連産業による地域経済の活性化や町民の住環境の向上につなげることができた。					
	No.4 新生児給付金事業		A	3.7	3.3	出生した子がいる家庭を対象に給付金を支給したことで、出生をお祝いするとともにエネルギー・食料品等の物価高騰の影響を受けている子育て家庭への生活支援を図った。					
	No.5 まつしま家計応援商品券配布事業		A	3.7	3.3	エネルギー・食料品等の物価高騰を受けている町民に対して、町内の事業所で使用できる商品券を配布し、家計負担の軽減及び地域経済の活性化を図ることができた。					
	No.6 松島お泊まりデジタルクーポン発行事業		A	3.0	4.0	エネルギー・食料品等の物価高騰の影響を受けている宿泊施設に対する支援として、旅行予約サイトで使用できるデジタルクーポンを発行し、施設の利用を促進することで誘客促進に寄与した。					
実績	■総務課 総務管理班所管 【No.1 行政区エネルギー価格等高騰対策支援事業】 1 交付件数 12 件 2 交付決定額 2,911,000 円 ■総務課 環境防災班所管 【No.2 防犯灯LED化促進補助事業】 1 交付決定件数 21 件 (265基) 2 交付決定額 10,000,000 円										
	(次頁へ続く)										

(次頁へ続く)

2	款	1	項	19	目
---	---	---	---	----	---

■企画調整課所管

【No. 3 暮らしを応援・住まいのリフォーム助成事業】

1 交付件数

工事の種類	件 数
大 工	29
電 気	15
管	17
塗 装	7
建 具	19
舗 装	1
造 園	1
水道施設	30
合 計	119

2 交付決定額 19,430,000 円

■町民福祉課 こども支援班所管

【No. 4 新生児給付金事業】

1 支給対象者数 39 人
2 給付金支給実績 3,900,000 円

■産業観光課 産業振興班所管

実績

【No. 5 まつしま家計応援商品券配布事業】

1 内容 町内全世帯に対して、5,000円分の商品券（A券3,000円分、B券2,000円分）を配布した。
2 日程 商品券使用期間 令和5年8月1日～令和5年10月1日
3 参加数 181店舗
4 交付決定額 30,725,000 円

■産業観光課 観光班所管

【No. 6 松島お泊まりデジタルクーポン発行事業】 10,000,000 円

1 内容 宿泊施設に対する支援として、旅行予約サイトで使用できるデジタルクーポンを発行する費用を助成した。
2 日程 デジタルクーポン券使用期間 令和5年8月20日～令和6年1月8日
3 参加数 14施設

一 般 会 計

2	款	1	項	20	目	物価高騰対応重点支援地方創生事業費				
担当部署名				産業観光課産業振興班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	44,684		43,463		39,632				3,831	
目的	エネルギー価格や物価高騰等により大きく影響を受けた住民生活に対して商品券の配布による家計負担軽減や、事業者に対する事業継続支援を行うことで、地域経済の回復を促すことを目的とする。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	No.1 松島ドドンパ商品券配布 事業		A	3.7	3.3	エネルギー・食料品等の物価高騰を受けている町民に 対して、町内の事業所で使用できる商品券を配布し、家 計負担の軽減及び地域経済の活性化を図ることができ た。				
	No.2 畜産業物価高騰対策支援 事業		A	3.3	3.0	エネルギー価格や飼料等の物価高騰を受けている畜産 業者の負担軽減を図るため飼料等購入費の一部を支援す ることで、事業継続を支援することができた。				
	No.3 農水産業物価高騰対策支 援事業		A	3.3	3.3	エネルギー価格や資材等の物価高騰を受けている農水 産業者の負担軽減を図るため燃油代の一部を支援するこ とで、事業継続を支援することができた。				
	No.4 水田作付転換農家物価高 騰対策支援事業		A	3.3	3.3	エネルギー・資材等の物価高騰を受けている農業者の 負担軽減を図るため肥料等資材購入費の一部を支援する ことで、事業継続を支援することができた。				
実績	■産業観光課 産業振興班所管									
	【No.1 松島ドドンパ商品券配布事業】									
	1	内容	町内全世帯に対して、5,000円分の商品券（A券3,000円分、B券2,000円分） を配布した。							
	2	日程	商品券使用期間 令和6年1月5日～令和6年2月25日							
	3	参加数	166店舗							
	4	交付決定額							32,539,993 円	
	【No.2 畜産業物価高騰対策支援事業】									
	1	交付決定件数							13 件	
	2	交付決定額							1,860,000 円	
	【No.3 農水産業物価高騰対策支援事業】									
	農業者分（園芸ハウス）									
	1	交付決定件数							3 件	
	2	交付決定額							1,105,600 円	
	漁業者分（かき養殖）									
	1	交付決定件数（宮城県漁業協同組合松島支所） ※漁協から交付を受けた、かき養殖業者数33件							1 件	
2	交付決定額							2,431,000 円		
【No.4 水田作付転換農家物価高騰対策支援事業】										
1	交付決定件数							41 件		
2	交付決定額							5,505,600 円		

一 般 会 計

2	款	2	項	1	2	目	税務総務費 賦課徴収費				
担当部署名				財務課税務班・特別滞納整理室					(単位:千円)		
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳						
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	73,682 46,723		72,848 42,592			9,341 10,747		569 962	62,938 30,883		
目的		課税資料の収集と課税台帳の整備をし、適正な課税を行う。 また、的確な滞納整理を行い、徴収率の向上及び収入未済額の縮減を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	納税貯蓄組合関係事務		A	2.0	2.5	納税貯蓄組合事務については、確実な納期内納入の確保に努めた。					
	住民税賦課事務		B	-	3.3	個人住民税賦課の申告受付については、全行政区対象相談日を期間中3日間設けたことにより、人の動きが分散された。					
	固定資産税賦課事務		B	-	4.0	固定資産税賦課事務については、令和6年度の評価替えに伴う土地・家屋の評価額の見直しを実施し、資産の的確な把握と適正な評価に努めた。					
	徴収関係事務		B	-	3.7	その他賦課関係事務については、軽自動車税や諸税など、申告書に基づき適正な課税に努めた。					
	その他賦課関係事務		B	-	4.3	徴収率については、現年課税分及び滞納繰越分を合わせた町税全体が98.6%（調定額1,846,633千円、収入済額1,820,159千円）で前年同様となった。また、現年課税分の調定額は令和4年度と比較して14,044千円増であったが、換価の猶予適用等を実施するなど、現年課税分を優先した納付を徹底したことにより徴収率を概ね維持することができた。					
	特別滞納整理事務		A	4.3	4.0						
	(参考) 国保税賦課徴収事務		B	-	4.0						
実績	1 個人町民税										
	・ 現年課税分の内訳										
	所得区分		課税額（千円）			納税義務者（人）					
	給 与 所 得 者		433,275			4,909					
	営 業 等 所 得 者		20,921			270					
	農 業 所 得 者		307			10					
	その他の所得者		52,897			1,317					
	家屋敷等のみ		49			14					
	計		507,449			6,520					
	内 訳	特別徴収にかかる課税	419,266			5,470					
	普通徴収にかかる課税	88,183			1,050						
※所得区分は、総務省統計の課税状況等調査区分による。											
※「その他の所得者」の主な者は、年金所得者、譲渡所得者である。											
・ 申告相談受付 期 間 令和 6 年 2 月 16 日 ～ 3 月 15 日											
場 所 松島町文化観光交流館											
件 数 確定申告 1,033 件											
町・県民税申告 515 件											
2 法人町民税											
・ 現年課税分の内訳											
区 分		課税額（円）			納税義務者（事業所）						
均等割		35,344,900			340						
税 割		17,284,400			138						
計		52,629,300			478						
※納税義務者（事業者）均等割のうち税割分も含む。											
(次頁へ続く)											

(次頁へ続く)

2 款	2 項	1 2 目
-----	-----	----------

3 固定資産税

・ 現年課税分の内訳

区 分	課税額 (円)	納税義務者 (人)
土 地	215,574,500	5,242
家 屋	416,356,500	4,872
償 却 資 産	384,759,900	245
国有資産等所在市町村交付金	3,096,100	3
計	1,019,787,000	10,362

4 軽自動車税

・ 現年課税分の内訳

区 分	課税額 (円)	課税台数 (台)
環境性能割 軽 自 動 車	1,972,300	88

区 分	課税額 (円)	課税台数 (台)
種別割	原動機付自転車	626,800
	軽 自 動 車	35,274,500
	小型特殊自動車	864,200
	二輪の小型自動車	1,032,000
計	37,797,500	4,915

5 町たばこ税

区 分	課税額 (円)	売上本数 (本)
製 造 た ば こ	92,064,055	14,051,291
計	92,064,055	14,051,291

実績

6 入湯税

・ 現年課税分の内訳

区 分	課税額 (円)	入湯者数 (人)
宿 泊	37,324,650	248,831
日 帰 り	2,216,650	44,333
計	39,541,300	293,164

7 都市計画税

・ 現年課税分の内訳

区 分	課税額 (円)	納税義務者 (人)
土 地	27,844,400	3,547
家 屋	43,244,200	3,440
計	71,088,600	6,987

(次頁へ続く)

8 徴収の状況

・ 現年課税分

区 分 税 目	令和5年度			令和4年度			比較増減		
	調定額 (千円)	収入済額 (千円)	徴収率 (%)	調定額 (千円)	収入済額 (千円)	徴収率 (%)	調定額 (千円)	収入済額 (千円)	徴収率 (%)
町民税	560,078	555,771	99.2	555,243	552,613	99.5	4,835	3,158	△ 0.3
(個人)	507,449	503,551	99.2	501,353	498,723	99.5	6,096	4,828	△ 0.3
(法人)	52,629	52,220	99.2	53,890	53,890	100.0	△ 1,261	△ 1,670	△ 0.8
固定資産税	1,019,787	1,016,818	99.7	1,017,350	1,014,687	99.7	2,437	2,131	0.0
軽自動車税	39,770	39,619	99.6	38,554	38,519	99.9	1,216	1,100	△ 0.3
町たばこ税	92,064	92,064	100.0	91,516	91,516	100.0	548	548	0.0
入湯税	39,541	39,541	100.0	35,026	35,026	100.0	4,515	4,515	0.0
都市計画税	71,089	70,726	99.5	70,596	70,277	99.5	493	449	0.0
計	1,822,329	1,814,539	99.6	1,808,285	1,802,638	99.7	14,044	11,901	△ 0.1

※国民健康保険税	201,922	194,796	96.5	208,167	201,943	97.0	△ 6,245	△ 7,147	△ 0.5
----------	---------	---------	------	---------	---------	------	---------	---------	-------

・ 滞納繰越分

区 分 税 目	令和5年度			令和4年度			比較増減		
	調定額 (千円)	収入済額 (千円)	徴収率 (%)	調定額 (千円)	収入済額 (千円)	徴収率 (%)	調定額 (千円)	収入済額 (千円)	徴収率 (%)
町民税	11,107	2,491	22.4	12,518	3,023	24.1	△ 1,411	△ 532	△ 1.7
(個人)	10,963	2,490	22.7	11,672	2,321	19.9	△ 709	169	2.8
(法人)	144	1	0.7	846	702	83.0	△ 702	△ 701	△ 82.3
固定資産税	12,065	2,768	22.9	44,210	34,433	77.9	△ 32,145	△ 31,665	△ 55.0
軽自動車税	117	28	23.9	201	20	10.0	△ 84	8	13.9
町たばこ税	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
入湯税	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
都市計画税	1,015	333	32.8	2,041	1,306	64.0	△ 1,026	△ 973	△ 31.2
計	24,304	5,620	23.1	58,970	38,782	65.8	△ 34,666	△ 33,162	△ 42.7

※国民健康保険税	30,384	5,717	18.8	34,023	4,300	12.6	△ 3,639	1,417	6.2
----------	--------	-------	------	--------	-------	------	---------	-------	-----

9 納税貯蓄組合関係

・ 納税貯蓄組合からの収入状況

税 目	収入件数(件)	収入金額(円)	組合数
個人町県民税	159	2,853,300	20
固定資産税・都市計画税	1,328	19,775,300	
軽自動車税	161	1,109,000	
国民健康保険税	724	7,212,500	
計	2,372	30,950,100	

※本表の件数は、期別単位で集計している。

・ 補助金交付額	町税関係 (一般会計)	629,123 円
	国民健康保険税関係 (国保会計)	180,865 円

10 口座振替の状況

税 目	口 座 振 替					
	請求(依頼) 件数(件)	請求(依頼) 金額(千円)	振替件数 (件)	振替金額 (千円)	振替不能 件数(件)	振替不能 金額(千円)
	①	②	③	④	①-③	②-④
個人町県民税	963	29,782	925	28,673	38	1,109
固定資産税・都市計画税	8,788	214,621	8,667	212,700	121	1,921
軽自動車税	621	3,996	614	3,937	7	59
国民健康保険税	5,776	61,357	5,664	59,698	112	1,659
計	16,148	309,756	15,870	305,008	278	4,748

※本表の件数は、期別単位で集計している。

(次頁へ続く)

2 款	2 項	1 2 目
-----	-----	----------

11 コンビニ収納等の状況

	税 目	現年課税分		滞納繰越分		計	
		件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)
コンビニ 収納	個人町県民税	2,054	44,440	56	838	2,110	45,278
	固定資産税・都市計画税	6,971	103,337	25	171	6,996	103,508
	軽自動車税	2,158	17,804	0	0	2,158	17,804
	国民健康保険税	4,578	45,182	249	3,133	4,827	48,315
	計	15,761	210,763	330	4,142	16,091	214,905
スマ ホ 決 済	個人町県民税	204	5,290	14	164	218	5,454
	固定資産税・都市計画税	204	3,923	4	71	208	3,994
	軽自動車税	41	353	0	0	41	353
	国民健康保険税	248	2,655	25	308	273	2,963
	計	697	12,221	43	543	740	12,764
Q R コ ー ド	個人町県民税						
	固定資産税・都市計画税	4,732	664,846	7	356	4,739	665,202
	軽自動車税	868	6,405	0	0	868	6,405
	国民健康保険税						
	計	5,600	671,251	7	356	5,607	671,607
合計		22,058	894,235	380	5,041	22,438	899,276

12 催告文書等発送

実績

区分	件数(件)
督促状	6,174
催告書	1,590

13 滞納処分等状況

区 分		件数(件)
差 押	動産	1
	不動産	0
	預貯金	173
	給与(賞与)・年金	13
	国税・県税還付金	23
	その他債権	3
	自動車・小型船舶	0
参加差押	動産	0
	不動産	2
差押・参加差押計		215
交付要求		2
徴収猶予		1
換価の猶予		96
搜索		0
滞納処分執行停止		28

課題
方向性

町税の適切な賦課を行うため、課税事務について税務署を始めとする関係機関と連携を図り、課税資料の収集や各種調査等を実施し適正、公平な課税を行っていく。

滞納整理事務については、現年課税分の徴収に注力し、新規滞納繰越の抑制に努め、税収確保と租税負担の公平性を保つため、早期での差押え等滞納処分を実施する。

また、令和5年度には固定資産税及び軽自動車税で地方税統一QRコードを導入したところであり、今後も納付方法の拡充を図るとともに、納税意識の啓発にも取り組むことで納期内納税者の増加を図る。

一 般 会 計

2	款	3	項	1	目	戸籍住民基本台帳費				
担当部署名				町民福祉課町民サービス班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	64,380		49,633		19,957	18		5,205	24,453	
目的	戸籍法や住民基本台帳法等の各種法令に基づき、住民の居住関係、身分関係等を正確・迅速に記録し、住民ニーズに即した各種証明書やマイナンバーカード等の交付に努め、行政サービスの向上を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	戸籍・住民基本台帳事務 経費		B	-	3.7	身分関係や居所関係等を記録した戸籍や住民基本台帳は、双方とも住民に関する様々な事務処理の基礎となるものであるため、正確な記録等の事務処理を行ったことによって、行政サービスの向上に繋がった。				
	住民基本台帳ネットワー クシステム業務経費		B	-	3.7	住民基本台帳ネットワークシステムは、本人確認情報を記録し、住民票等の記載事項に関する通知等が送受信されるものであるため、正確な記録等の事務処理を行ったことによって、行政サービスの向上に繋がった。				
	番 号 制 度 (マ イ ナ ン バ ー) 導 入 事 業		B	-	3.7	従来の事務にマイナポイントに係る事務が加わったが、マイナンバーカードの誤交付やポイントの紐付けミスのないよう注意を払い事務を行ったことで、普及に寄与することができた。				
	コンビニ交付システム業 務経費		B	-	3.7	トラブルや誤交付の無い安定的なコンビニ交付システムの運用により、住民及び本町に本籍を有する者の利便性向上に繋がった。				
実績	1 戸籍事務									
	・ 本籍数・本籍人口数(令和6年3月31日現在)									
	本 籍 数		7,166							
	本籍人口数		16,638							
	・ 戸籍編纂 (単位:件)									
	新 戸 籍 編 製 数		64							
	除 籍 数		171							
	・ 戸籍届出件数 (単位:件)									
	出 生	76	離 婚	33	入 籍	24	不 受 理 申 出	1		
	認 知	2	法第77条の2※	9	分 籍	3				
養 子 縁 組	16	親 権 者 の 変 更	1	国 籍 選 択	1					
養 子 離 縁	4	死 亡	322	転 籍	72					
婚 姻	117	姻 族 関 係 終 了	1	職 権 訂 正	11	合 計	693			
※ 戸籍法第77条の2 (離婚の際に称していた氏を称する届)										
・ 戸籍謄抄本交付件数 (単位:件)										
種 別	一 般 交 付			公用交付	合 計					
	窓口交付	コンビニ交付	コンビニ交付率							
戸 籍 謄 本	2,168	233	9.7%	559	2,960					
戸 籍 抄 本	299	87	22.5%	21	407					
除 籍 謄 本	2,593	-	-	1,206	3,799					
除 籍 抄 本	18	-	-	3	21					
受 理 証 明	22	-	-	-	22					
戸 籍 届 出 証 明	1	-	-	-	1					
広域交付戸籍謄本	19	-	-	13	32					
広域交付除籍謄本	45	-	-	24	69					
合 計	5,165	320	5.8%	1,826	7,311					
(次頁へ続く)										

2 住民基本台帳事務

・住民基本台帳登録者数（令和6年3月31日現在）

人口及び世帯数	日 本 人	12,925 人	5,639 世帯
	外 国 人	94 人	79 世帯
	合 計	13,019 人	5,718 世帯

・異動関係

区 分		処 理 件 数	
転 入 届		243 件	338 人
転 出 届		284 件	360 人
転 居 届		98 件	195 人
世 帯 主 変 更 届		115 件	
住 民 票 職 権 修 正		407 件	
内 訳	出 生	39 件	
	死 亡	261 件	
	その他修正	107 件	

・交付件数

（単位：件）

種 別	一 般 交 付			公用交付	合 計
	窓口交付	コンビニ交付	コンビニ交付率		
住 民 票 謄 本	1,760	814	15.7%	125	5,473
住 民 票 抄 本	2,615			159	
住 民 票 閲 覧	15	-	-	24	39
附 票	503	35	6.5%	526	1,064
広 域 交 付 住 民 票	7	-	-	-	7
合 計	4,900	849	14.8%	834	6,583

- ・住基カード有効枚数(※) 14 枚
・マイナンバーカード有効枚数(※) 9,456 枚 年度内交付枚数 1,334 枚
※令和6年3月31日現在の累計枚数。転出・転入・死亡等により増減する。

3 印鑑登録事務

- ・新規登録件数 237 件 ・登録済累計 9,366 件 ・印鑑再登録 136 件
・交付件数（単位：件）

種 別	一 般 交 付			公用交付	合 計
	窓口交付	コンビニ交付	コンビニ交付率		
印 鑑 証 明	2,940	544	15.6%	0	3,484

4 埋火葬許可に関する事務

- ・許可件数 255 件

5 戸籍住民基本台帳等手数料

種 別		窓 口 交付数(件)	手数料(円)	コンビニ 交付数(件)	手数料(円)	手数料計(円)
戸 籍 関 係		5,165	3,118,750	320	144,000	3,262,750
住 民 票 関 係		4,900	1,010,500	849	169,800	1,180,300
印 鑑 証 明 (※)		3,076	615,200	544	108,800	724,000
その他証明	身分証明	151	30,200	-	-	30,200
	独身証明	14	2,800	-	-	2,800
	不在住証明等	29	5,800	-	-	5,800
合 計		13,335	4,783,250	1,713	422,600	5,205,850

※ 窓口交付数及び手数料には印鑑再登録分を含む。

実績

課題
方向性

各種法令に基づき、適法な記録・証明等を行い、正確・迅速な事務処理により行政サービスの向上に努める。
なお、今後の戸籍の振り仮名追加対応等の法改正に伴う事務の追加や変更が見込まれることから、新たな事務を正確に行えるよう、制度改正について引き続き注視していく。

一 般 会 計

2 款	4 項	3 目	宮城県議会議員選挙費																																	
担当部署名			選挙管理委員会事務局					(単位:千円)																												
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳																																	
	6,189	6,182	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																													
目的	任期満了に伴う宮城県議会議員一般選挙により、議員を選出する。																																			
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果																															
	宮城県議会議員選挙事務 経費	B	-	3.7	今回より宮城選挙区の議員定数が1名増となる選挙であり、「未来をワンダフルに」のキャッチフレーズのもと、投票を呼びかける啓発等を行った。前回との投票率の比較では、期日前投票者が6.40%、最終的な投票率は10.08%上回った。																															
実績	【宮城県議会議員選挙費】																																			
	1 選挙期日の告示日 令和5年10月13日																																			
	2 選挙の期日（投開票日） 令和5年10月22日																																			
	3 期日前投票者数																																			
	<table><tr><th rowspan="2">投票日</th><th colspan="3">期日前投票者数（人）</th><th colspan="3">期日前投票者数が投票者総数に占める割合（%）</th></tr><tr><th>男</th><th>女</th><th>計</th><th>男</th><th>女</th><th>計</th></tr><tr><td>R5.10.22</td><td>1,010</td><td>1,238</td><td>2,248</td><td>34.94</td><td>37.45</td><td>36.28</td></tr><tr><td>R1.10.27</td><td>725</td><td>862</td><td>1,587</td><td>28.45</td><td>31.20</td><td>29.88</td></tr></table> +6.40									投票日	期日前投票者数（人）			期日前投票者数が投票者総数に占める割合（%）			男	女	計	男	女	計	R5.10.22	1,010	1,238	2,248	34.94	37.45	36.28	R1.10.27	725	862	1,587	28.45	31.20	29.88
	投票日	期日前投票者数（人）			期日前投票者数が投票者総数に占める割合（%）																															
		男	女	計	男	女	計																													
	R5.10.22	1,010	1,238	2,248	34.94	37.45	36.28																													
	R1.10.27	725	862	1,587	28.45	31.20	29.88																													
	4 投票の結果																																			
<table><tr><th>区分</th><th>有権者数（人）</th><th>投票者数（人）</th><th>投票率（%）</th></tr><tr><td>男</td><td>5,513</td><td>2,891</td><td>52.44</td></tr><tr><td>女</td><td>6,049</td><td>3,306</td><td>54.65</td></tr><tr><td>計</td><td>11,562</td><td>6,197</td><td>53.60</td></tr></table> +10.08% *前回(R1.10.27)の投票率 <table><tr><th>投票率（%）</th></tr><tr><td>43.62</td></tr><tr><td>43.43</td></tr><tr><td>43.52</td></tr></table>									区分	有権者数（人）	投票者数（人）	投票率（%）	男	5,513	2,891	52.44	女	6,049	3,306	54.65	計	11,562	6,197	53.60	投票率（%）	43.62	43.43	43.52								
区分	有権者数（人）	投票者数（人）	投票率（%）																																	
男	5,513	2,891	52.44																																	
女	6,049	3,306	54.65																																	
計	11,562	6,197	53.60																																	
投票率（%）																																				
43.62																																				
43.43																																				
43.52																																				
5 開票の結果（得票数）																																				
【候補者別得票数】 <table><tr><td>杉原 たかし</td><td>3,553.186 票</td></tr><tr><td>あべ たかし</td><td>1,927.813 票</td></tr><tr><td>柚木たかみつ</td><td>633.000 票</td></tr></table> ※宮城選挙区全体での得票数 <table><tr><td>杉原 たかし</td><td>4,506.557 票</td></tr><tr><td>あべ たかし</td><td>3,537.441 票</td></tr><tr><td>柚木たかみつ</td><td>8,620.000 票</td></tr></table> 投票総数 6,197 票 有効投票数 6,114 票 無効投票数 83 票									杉原 たかし	3,553.186 票	あべ たかし	1,927.813 票	柚木たかみつ	633.000 票	杉原 たかし	4,506.557 票	あべ たかし	3,537.441 票	柚木たかみつ	8,620.000 票																
杉原 たかし	3,553.186 票																																			
あべ たかし	1,927.813 票																																			
柚木たかみつ	633.000 票																																			
杉原 たかし	4,506.557 票																																			
あべ たかし	3,537.441 票																																			
柚木たかみつ	8,620.000 票																																			
課題 方向性	本選挙区(宮城選挙区)は、今回より定数が1人増の2人となった。今後も、一層の啓発活動等により投票の棄権防止を呼びかけ、投票率を向上させる。 また、選挙事務従事者の確保が継続的な課題となっている。適切な投票管理事務の手続きや処理を徹底しつつ合理化を図り、ミスのない選挙執行に努める。																																			

一 般 会 計

2	款	4	項	4	目	松島町長選挙費 松島町議会議員補欠選挙費					
担当部署名				選挙管理委員会事務局						(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳						
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	2,148 1,780		2,140 1,776						2,140 1,776		
目的		任期満了に伴う松島町長選挙により、町長を選出する。また、松島町議会議員の定数に1名不足が生じていることから松島町議会議員補欠選挙を便乗選挙により実施し選出を行う。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	松島町長選挙事務経費		B	-	3.7	両選挙は共に無投票であったが、告示日(8月22日)までの準備を万全に進め、また、選挙会(8月27日)及び当選証書付与式(8月28日)を円滑に執り行った。					
	松島町議会議員補欠選挙事務経費		B	-	3.7						
実績	1	選挙期日の告示日		令和5年8月22日							
	2	選挙の期日(投開票日)		令和5年8月27日							
	3	投票の結果		無 投 票							
	4	当選人		松島町長選挙 櫻井 公一 松島町議会議員補欠選挙 中島 一都							
	5	有権者数		男 5,588人 女 6,118人 合計 11,706人							
課題 方向性		任期満了に伴う松島町長選挙及び松島町議会議員補欠選挙が行われたが、立候補届出締切日現在で届出した候補者の数が、選挙すべき定数(各1人)を超えなかったため、無投票となった。 無投票となったことについては全戸配布チラシやホームページで周知を行い、混乱等は生じなかった。今後も選挙に関する周知や啓発活動を継続して実施する。									

一 般 会 計

2	款	5	項	1	目	統計調査総務費																			
担当部署名				企画調整課					(単位:千円)																
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																				
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																
	4,465		4,315			20		4	4,291																
目的	本町の統計概要を示すため、松島町統計資料を作成し、発行する。 また、正確かつ円滑な統計調査事務の実施及び向上に資するため、統計調査員の確保を図る。																								
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果																			
	統計調査員確保対策経費		B	-	3.3	松島町統計調査員事務研究会に対する補助金の交付により、移動研修会の実施や宮城県統計大会への参加につながり、統計調査員の資質向上や統計調査員の加入促進を図ることができた。また、各種の統計調査に対して調査員の協力を得ることもできた。																			
実績	【統計書等発行経費】																								
	1 松島町統計資料の発行 (1) 発行時期 令和6年3月 (2) 発行部数 松島町統計資料：100部 松島町統計資料ダイジェスト版：300部																								
課題 方向性	【統計調査員確保対策経費】																								
	1 松島町統計調査員事務研究会会員数（各年度末時点） (単位：人)																								
	<table><tr><td>年度</td><td>総数</td><td>男</td><td>女</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>26</td><td>18</td><td>8</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>25</td><td>18</td><td>7</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>26</td><td>19</td><td>7</td></tr></table>									年度	総数	男	女	令和3年度	26	18	8	令和4年度	25	18	7	令和5年度	26	19	7
年度	総数	男	女																						
令和3年度	26	18	8																						
令和4年度	25	18	7																						
令和5年度	26	19	7																						
	2 松島町統計調査員事務研究会への運営費補助金 64,000 円																								
課題 方向性	松島町統計資料の作成及び発行を継続して行い、庁内での配布や町ホームページへの掲載を通じ、各種行政施策に活用していく。 また、統計調査員事務研究会について、会員数の減少や高齢化が進んでいることから、各行政区や現会員への推薦依頼、町広報紙等を活用した会員の募集により、円滑な統計調査体制の整備をするため、新規会員の増加を図っていく。																								

一 般 会 計

2	款	5	項	2	目	指定統計費				
担当部署名				企画調整課					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
	815		768		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
					749				19	
目的 各種統計調査を迅速かつ正確に実施し、行政施策の企画・立案等の基礎資料を得る。										
評価 成果	事務事業名称			業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	経済センサス調査区設定			B	-	3.0	令和4年度に設定した調査区について、調査区の変更等を確認し、現状の適正な管理及び把握を行った。			
	国勢調査			B	-	3.0	令和7年10月1日を基準日とした次回の国勢調査に向けた円滑な調査が図れるよう、宮城県が開催する実務検討会に参加し、令和6年度からのスケジュール等の確認を行った。			
	農林業センサス			B	-	3.0	2020年農林業センサスで設定した調査区について、調査区の変更等を確認し、現状の適正な管理及び把握を行った。			
	住宅・土地統計調査			B	-	3.0	指導員及び調査員への説明会を通じた調査を実施の上、宮城県へ調査書類一式を提出し、住生活関連施策に必要な基礎資料を得ることができた。			
	漁業センサス			B	-	3.0	客体名簿の整備及び調査員への説明会を通じた調査を実施の上、宮城県へ調査書類一式を提出し、水産行政推進に必要な基礎資料を得ることができた。			
実績	【経済センサス調査区設定】 事業所及び企業を対象に実施する本調査の調査区について、令和4年度に設定した31調査区に変更がなかったことを確認し、宮城県へ報告書を提出した。（基準日：令和5年6月1日）									
	【国勢調査】 日本に住んでいるすべての人及び世帯を対象に実施する本調査について、令和7年10月1日を基準日とした次回の調査に向け、令和6年2月21日に開催された実務検討会に参加した。									
	【農林業センサス】 農林業生産活動を行う者を対象に実施する本調査について、2020年農林業センサスで設定した46調査区に変更がなかったことを確認し、宮城県へ報告書を提出した。（基準日：令和6年2月1日）									
	【住宅・土地統計調査】 調査単位区内から抽出した住宅及び住宅以外で人が居住する建物並びにこれらに居住している世帯を対象に実施する本調査について、令和5年8月30日に指導員及び調査員に対する説明会を開催し、基準日時点での調査を実施の上、宮城県へ調査書類一式を提出した。 1 調査基準日 令和5年10月1日 2 指導員 1名 3 調査員 6名 4 調査客体 13調査区									
	【漁業センサス】 漁業経営体、漁業協同組合、魚市場及び水産加工場等を対象に実施する本調査について、令和5年10月13日に調査員に対する説明会を開催し、基準日時点での調査を実施の上、宮城県へ調査書類一式を提出した。 1 調査基準日 令和5年11月1日 2 調査員 4名（客体把握1名、実査調査3名） 3 調査客体 8調査区									
課題 方向性 円滑な調査が図れるよう、調査スケジュールの整理、指導員及び調査員に対する説明会の開催を通じた適切な指示を行い、各種統計の目的に沿った基礎資料を得るため、引き続き適正な事務の執行に努める。										

一 般 会 計

3	款	1	項	1	目	社会福祉総務費				
担当部署名				町民福祉課福祉班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	222, 114		218, 770		11, 663	37, 070			170, 037	
目的	社会福祉団体、関係機関と連携し、地域社会における諸問題に取り組み、社会福祉の向上を図る。 また、高齢者や障がい者を含めた低所得世帯の相談窓口となり、支援を行うことで、地域住民の生活の安定を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	民生委員等に要する経費		B	-	3.0	民生委員児童委員の活動を支援し、複雑化、多様化する地域課題に対応し、適切な支援やサービスへのつなぎ役として地域住民の安心、安全、生活不安の解消に繋がった。				
	社会福祉協議会に要する経費		B	-	3.0	社会福祉協議会の地域福祉活動を支援し、地域住民の安心、安全に繋がった。				
	社会福祉団体等に要する経費		B	-	3.0	人権擁護委員協議会、遺族会、保護司会、更生保護女性会の活動を支援することにより、町民へ必要情報等を定期的に周知することができた。				
	その他社会福祉に要する経費		B	-	3.0	生活困窮者等への支援や相談を関係機関等と連携しながら適切に行うことができた。				
実績	【民生委員等に要する経費】									
	1 民生委員児童委員活動報償						1, 776, 000 円			
	・ 支給人数 37人									
	【社会福祉協議会に要する経費】									
	1 (福)松島町社会福祉協議会						8, 500, 000 円			
	社会福祉協議会の地域福祉活動に関する事業の経費について助成を行った。									
	【社会福祉団体等に要する経費】									
	1 塩釜地区人権擁護委員協議会						43, 000 円			
	塩釜地区人権擁護委員協議会の事業に要する経費について助成を行った。									
	2 塩釜地区保護司会 松島分会						200, 000 円			
保護司会の行う犯罪・非行予防活動及び研修、会議に要する事業の経費について助成を行った。										
3 松島町更生保護女性会						30, 000 円				
更生保護女性会の行う犯罪・非行予防活動及び研修、会議に要する事業の経費について助成を行った。										
4 松島町遺族会						50, 000 円				
戦没者遺族の援護事業に係る経費について助成を行った。										
(次頁へ続く)										

3	款	1	項	1	目
実績	【その他社会福祉に要する経費】				
	1	生活保護申請受付件数	24 件	相談件数	33 件
	2	行旅死亡人火葬費用等	1 件		219,260 円
課題 方向性	コロナ禍を通して地域が抱える課題や社会の実態が変化したことに伴い、各種社会福祉団体においてもコロナ後の地域の実情に合わせた活動、事業を実施していく必要がある。				

一 般 会 計

3	款	1	項	2	目	障害者福祉費						
担当部署名				町民福祉課福祉班・町民福祉課こども支援班							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳							
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	435, 234		426, 614		182, 210	110, 062		3, 740	130, 602			
目的	障害者自立支援給付事業及び地域生活支援事業の実施により、福祉サービス体制の充実を図り、障がい者・障がい児の自立や社会参加を支援すると共に、家族や支援者の負担の軽減につなげる。 また、心身障がい者の医療費を助成することにより、医療機会を確保し、心身障がい者の家庭の経済的安定と福祉の向上を図る。											
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果						
	障害者自立支援給付事業		B	-	3.0	障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス（介護給付及び訓練給付）の支給決定、補装具費及び自立支援医療給付を実施し、障がい者の日常生活の支援に努めた。 また、児童福祉法に基づく障害児通所支援給付を行った。						
	相談支援事業		B	-	3.0	町内の障がい者（児）からの相談に対し、相談支援専門員による支援を行えるよう、特定指定相談支援事業所を設置し、適切な計画作成業務や障害福祉サービスの適正な利用ができるよう努めた。						
	地域活動支援センター事業		B	-	3.0	障がい者（児）並びに保護者や家族が交流できる場所として、地域活動支援センター希望園を設置し、創作作業等を通して、日常生活や社会生活への支援を実施することができた。						
	地域生活支援事業		B	-	3.0	障がい者（児）に対して、日常生活用具（ストーマ・人工鼻等）購入に係る助成を実施した。 また、外出のための移動支援、訪問入浴サービスの支給を実施し、日常生活の支援を行うことができた。						
	障害者医療対策費		B	-	3.0	重度の身体障がい者（身体障害者手帳1級、2級及び内部障害3級）、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級、特別児童扶養手当1級の方の医療費に関して助成を行い、経済的負担の軽減を図った。						
	在宅酸素療法者酸素濃縮器利用助成事業		B	-	3.0	町内に住所を有する在宅酸素療法を必要とする呼吸器機能障がい者に対し、酸素濃縮器の使用による電気料を一部助成し、経済的負担の軽減を図ることができた。						
	身体障害者相談員事業		B	-	3.0	相談員は、障がい者からの相談を受け、必要に応じ助言や指導を行い、地域活動の促進や関係団体との連携を図り、広く福祉の増進に努めることができた。						
	福祉団体等に要する経費		B	-	3.0	松島町心身障害児（者）を持つ手をつなぐ親の会及び松島町障がい者福祉協会の研修会やスポーツ体験事業などへの助成を行うことで、会員相互の交流や情報交換、関係機関との連携などが図られた。						
	障害者自立支援推進委員会経費		A	3.7	3.0	障がい福祉計画及び障がい児福祉計画、障がい者計画の策定に際し、計画の進捗状況を委員会に報告して、計画への民意の反映や計画の適正な実施が図られた。						
	障害者福祉助成事業		B	-	3.0	在宅で障がいの重い方々を対象に、外出支援として福祉タクシー券及びガソリン利用券の共通券を配布し、また、在宅生活で常時おむつを必要とする方に、紙おむつ購入費用を助成し、経済的負担の軽減を図った。						
	難聴児補聴器購入助成事業		B	-	3.0	町内在住の身体障害者手帳の交付対象とならない軽度または中等度の難聴児の補聴器購入に係る費用を助成し、難聴児を養育する家庭の経済的・精神的負担の軽減に繋がる体制を確保した。						
(次頁へ続く)												

3 款	1 項	2 目
実績	■町民福祉課 福祉班所管	
	【障害者自立支援給付事業】	
	1 障害支援区分にかかる審査判定 障がい福祉サービスのうち介護給付利用申請者について、障害支援区分の審査判定を塩釜地区消防事務組合の障害支援区分審査会にて実施し、審査判定を行った。	
	○ 審査受付数	37 人
	2 障がい福祉サービス等事業	
	○ 障がい福祉サービス	256,847,825 円
	・ 障がい福祉サービス受給者証交付 139 人	
	・ 利用者数及び支給額	
	サービス種類	受給者数（人） 延利用月数（月） 支給額（円）
	居宅介護	30 259 13,002,598
	行動援護	3 — 0
	同行援護	6 29 783,525
	療養介護	2 24 6,137,820
	生活介護	30 354 69,550,493
	短期入所	29 170 6,214,341
	施設入所支援	14 168 22,380,973
	共同生活援助（GH）	25 221 33,567,720
	宿泊型自立訓練	3 12 1,871,449
	自立訓練（生活訓練）	3 12 2,217,454
	就労移行支援	12 74 11,908,079
	就労継続支援（A型）	16 127 20,521,518
	就労継続支援（B型）	48 502 58,995,294
	就労定着支援	4 39 1,032,375
	計画相談支援	128 403 5,138,672
	地域定着支援	3 31 94,860
	特定障害者特別給付費（施設）	— — 1,263,798
	特定障害者特別給付費（GH）	— — 2,166,856
	○ 障がい児通所支援	31,387,279 円
	・ 障がい児通所支援受給者証交付 40 人	
	・ 利用者数及び支給額	
	サービス種類	受給者数（人） 延利用月数（月） 支給額（円）
	障害児相談支援	40 106 1,666,907
	児童発達支援	18 138 10,696,802
	放課後等デイサービス	25 259 18,964,275
	保育所等訪問支援	2 3 59,295
	○ 補装具費給付事業（購入及び修理） （補聴器、短下肢装具、義足、車いす、視覚障害者安全つえなど）	1,713,133 円
	給付件数 延べ 28 件	
	○ 高額障害児通所給付事業	0 円
	給付世帯 0世帯	
	○ 高額障害福祉サービス等給付事業	0 円
	給付世帯 0世帯	
(次頁へ続く)		

3 款	1 項	2 目
実績		○ 自立支援医療（更生医療）給付事業 51,562,840 円 ・ 利用者 実人数 56 人 (肢体不自由1人、内臓障害(腎臓)53人、免疫機能障害1人、心臓機能障害1人) ○ 自立支援医療（育成医療）給付事業 15,888 円 ・ 利用者 実人数 1 人 (音声・言語・そしゃく機能障害1人) ○ 療養介護医療給付事業 1,279,262 円 ・ 利用者 実人数 2 人 (身体障害者2人) 【相談支援事業】 ○ 宮城東部地域生活支援拠点等事業 2,470,600 円 在宅で暮らす障がい者や障がい児とその家族等が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう相談支援事業を実施した。 また、家族等が緊急かつやむを得ない事情等により一時的に不在となる場合等のセーフティネットとして緊急の受け入れ体制を整備した。 さらに、地域における障がい者等への支援体制に関する課題について、地域の実情に応じた体制整備を行うため、二市三町で構成する宮城東部地域自立支援協議会において、情報共有や関係機関等の連携の緊密化を図った。 ・ 相談件数 144 件 ・ 実人数 37 人 ○ 障がい者等一般相談支援事業 6,460,300 円 松島町の障がい者の相談支援並びに計画相談支援への対応、災害時の支援等を委託した。 地域の障がい者及びその家族等からの福祉に関する各般の相談に対して必要な情報提供や援助支援、関係機関との連携を図り、自立した日常生活又は社会生活を送るために必要な相談支援事業を実施した。 ・ 相談件数 2,493 件 ・ 実人数 252 人 【地域活動支援センター事業】 希望園を地域活動支援センターとして開所し、週1日は障がい者の交流サロンとして、週4日は障がい児及び保護者の日中支援事業として、障がい者や障がい児、その家族の方が交流し、社会参加しやすい環境をつくり、日常生活又は社会生活を営むことができるよう事業を実施した。 ○ 地域活動支援センター基礎的事業（毎週水曜） 1,543,000 円 通所者 実11人 延べ 227人 (1日平均4.52人) ○ 地域活動支援センター日中一時支援事業 6,330,000 円 通園児 実19人 延べ 488人 (1日平均4.6人) 【地域生活支援事業】 ○ 日中一時支援事業（町外等利用分） 35,145 円 町外の施設を利用して、障がい児や障がい者の日中一時支援を実施し、療育支援と保護者の介護負担の軽減を図った。 ・ 利用者 実人数 3 人 ・ 利用回数 延べ 11 回 ○ 移動支援事業 1,281,275 円 一人では外出困難な障がい児や障がい者に対して、ガイドヘルパー等を派遣し、外出支援をした。 ・ 利用者 実人数 7 人 ・ 利用時間 延べ 612 時間
		(次頁へ続く)

- 日常生活用具給付事業 4,383,538 円
 障がい者に必要な日常生活用具（ストーマ装具、人工鼻、携帯用会話補助装置、移動用リフト等）の給付を実施し、自立支援を図った。
 ・利用者 実人数 51 人
 ・利用件数 延べ 518 件
- 訪問入浴サービス事業 555,660 円
 居宅において入浴することが困難な障がい者に対し、訪問入浴サービス事業を実施することにより、障がい者の身体の清潔の保持及び心身機能の維持等を図った。
 ・利用者 実人数 1 人
 ・利用回数 延べ 49 回
- 意思疎通支援事業（コミュニケーション支援事業） 12,000 円
 聴覚障がい者等に対し、手話通訳者等を派遣し、他の者との意思疎通の仲介を実施することにより、日常生活上の便宜の供与、社会参加の促進及び交流活動の充実を図った。
 ・利用者 実人数 1 人
 ・利用回数 延べ 1 回

【障害者医療対策費】

身体障害者手帳1・2級及び内部障害の3級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級、特別児童扶養手当1級の方に医療費を助成し、障がい者の適正な医療の確保と経済的負担の軽減に努めた。

年度	対象者数(人)	助成件数(件)	助成額(円)
令和3年度	338	7,521	30,968,067
令和4年度	330	6,863	31,034,799
令和5年度	332	7,872	33,515,477

※対象者数（人）は、各年度10月1日現在

実績

- 【在宅酸素療法者酸素濃縮器利用助成事業】 223,240 円
 在宅酸素の療法を必要とする呼吸器機能障がいのある方に対し、酸素濃縮器の使用に要する電気料金の一部を助成し、障がい者の家庭の経済的負担の軽減を図った。
 ・利用者 13 人
- 【身体障害者相談員事業】 48,960 円
 身体障害者相談員が、障がいのある方の更生援護（身体障害者手帳の交付、自立支援医療、補装具の修理、年金など）に関する相談を受け、助言・指導を行った。
 ・相談員 2 人
 ・相談件数 50 件
- 【福祉団体等に要する経費】
- 松島町心身障害児（者）を持つ手をつなぐ親の会 47,000 円
 障がい者の手をつなぐ親の会事業の助成を通じて、研修や会員相互の親睦を図り、地域在住の障がい者の福祉増進が図られた。
- 松島町障がい者福祉協会 60,000 円
 会員である障がい者の自立更生に努め、ヨガ教室などの事業を通じて、地域在住の障がい者の福祉増進が図られた。

（次頁へ続く）

3 款	1 項	2 目
実績	【障害者自立支援推進委員会経費】 ○報償費 134,300 円 令和6年度から令和11年度を計画期間とする『障がい者計画（第4期）』並びに令和6年度から令和8年度を計画期間とする『障がい福祉計画（第7期）』及び『障がい児福祉計画（第3期）』を策定するため、委員会を開催した。 ・委員 8 名（委員長1名、委員7名） ・開催回数 3 回 ○委託料 3,740,000 円 福4委第197号 松島町第4期障がい者計画ほか基礎調査及び計画策定業務委託 【障害者福祉助成事業】 ○障害者福祉タクシー券・燃料費助成事業 3,207,000 円 障がい者の外出支援及び社会参加の支援のため、在宅で重度の身体・知的・精神・難病等の障がい者を対象にタクシー利用とガソリン等燃料費の共通券の助成を実施した。 ・支援対象者 身体障害者手帳1・2級所持者 療育手帳A所持者 精神保健福祉手帳1・2級所持者 特定疾患・小児慢性特定疾患受給者重症者認定の方 ・交付者数 294 人 ○障害者（児）紙おむつ購入助成事業 12,000 円 在宅で生活する常時おむつを使用している障がい者（児）を対象に、紙おむつ購入に係る費用を助成し、介護者の負担軽減を図った。 ・支援対象者 満64歳以下で松島町の住民基本台帳に登録され、かつ、居住する方で、身体障害者手帳又は療育手帳保持者（社会福祉施設、医療施設に入所又は入院している方、他制度での給付者は除く） ・交付者数 4 人 【難聴児補聴器購入助成事業】 0 円 身体障害者手帳の交付対象とならない軽度又は中等度の難聴児を養育する家庭の経済的負担の軽減を図るため、補聴器購入費用等の一部を助成する体制を確保していたが、令和5年度は申請があったが、条件を満たさず、対象とはならなかった。 ・申請者 2 人 ■町民福祉課 こども支援班所管 【障害者自立支援給付事業】 1 障がい福祉サービス等事業 ○未熟児養育医療給付事業 309,212 円 ・利用者 実人数 1人	
課題 方向性	町内在住又は町外施設に入所している障がい者及び障がい児へ適切な障害サービスを提供するため、相談支援事業所等と連携し、利用者のニーズに対応できるよう努める。 また、二市三町で構成している宮城東部地域自立支援協議会で情報共有や協議を行い、塩釜圏域等の事業所を利用できるよう、地域の実情に応じた支援体制を整備していく。	

一 般 会 計

3	款	1	項	3	目	老人福祉費				
担当部署名				健康長寿課高齢者支援班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	322, 309		319, 895			37, 888		12, 780	269, 227	
目的	高齢者が自ら意欲や目標を持って生活機能の維持・向上が図れるよう、社会参加、社会貢献、健康づくりを推進し、在宅福祉の向上に努める。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	老人クラブ助成事業		B	-	3.7	スポーツ活動、消費トラブル防止研修会、社会奉仕活動、地域での声かけ活動等を実施し、会員相互の交流を図ることで高齢期を楽しく、生きがいを持って暮らしていくための一助となった。				
	ひとりぐらし老人等緊急通報システム事業		B	-	3.7	緊急時に迅速に駆け付け、適切な救急対応を行うことができた。				
	老人福祉施設入所措置事業		B	-	3.7	やむを得ない事情により保護が必要な高齢者に対し適切な措置及び保護を行い、必要な支援を実施した。				
	敬老会関係経費		B	-	3.0	77歳以上の町内高齢者を対象に、祝辞・記念品を郵送した。				
	敬老祝金等支援事業		B	-	3.3	88歳(米寿)の祝金として2万円、99歳(白寿)は10万円支給した。				
	ふれあい施設等維持管理経費		B	-	3.7	高齢者の介護予防に関する事業や余暇活動が安心・安全に行えるよう、ふれあいの家等の維持管理業務として、光熱水費の管理、各種修繕、施設保守点検業務等を適切に実施した。				
	宅配夕食サービス事業		B	-	3.7	食生活に不安を抱えるひとり暮らし高齢者等に栄養バランスのとれた食事を提供した。配達時は見守りも併せて実施し、高齢者が安心して在宅生活を送る一助となった。				
	高齢者福祉助成事業（タクシー利用助成・紙おむつ購入助成）		B	-	3.7	75歳以上の高齢者のみの非課税世帯等の他、在宅の要介護4以上の認定者がいる非課税世帯等に対し、タクシー利用に係る外出支援及び経済的負担の軽減を図ることができた。また、在宅で常時紙おむつを必要とする高齢者に対し紙おむつ購入に係る経済的負担の軽減を図ることができた。				
	避難行動要支援者対策事業		B	-	3.0	対象要件に該当する方の名簿の更新を行い、庁内で連携し、地域の避難協力関係機関へ配布することにより、避難協力関係機関と情報共有を図り、災害協力体制構築の推進が図られた。				
(次頁へ続く)										

3	款	1	項	3	目
---	---	---	---	---	---

高年齢者の状況

(令和5年3月31日現在)

	65歳以上		75歳以上		ひとり暮らし		高齢者のみ世帯	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	世帯数(世帯)	割合(%)
松島町	5,291	39.9	2,927	21.4	1,083	20.5	1,987	34.6
宮城県	654,169	29.1	335,383	14.9	150,736	23.0	267,851	25.8
国	3,623万	29.1	2,005万	16.1	—	—	—	—

※国は令和5年9月15日現在推計（総務省データ）

※ひとり暮らしは、65歳以上人数に対する割合

【老人クラブ助成事業】

- 1 主な活動内容
研修会、スポーツ活動、社会奉仕活動、友愛訪問、県老連東北ブロック研修会、県老連老人クラブ大会、石巻ブロック交流会等
- 2 会員数 421 人
- 3 単位老人クラブ（9クラブ）補助金 473,000 円
- 4 町老人クラブ連合会補助金 240,000 円

【ひとり暮らし老人等緊急通報システム事業】

高齢者ひとり暮らし世帯又は高齢者のみの世帯に対し緊急通報システムにおける緊急時の対応を行った。緊急装置による通報のうち、固定電話利用型の1件が救急搬送に繋がった。

- 1 固定電話回線利用型
 - ・緊急通報システム機器利用実台数（年間） 6 台
 - ・事業費 123,373 円
- 2 携帯端末利用型
 - ・緊急通報システム機器利用実台数（年間） 21 台
 - ・事業費 748,978 円

【老人福祉施設入所措置事業】

家庭の事情や心身の障害、経済的な事情等で在宅生活が困難な方を養護老人ホームへ1人、視覚障害老人ホームへ1人計2人継続して措置を行った。

- 1 施設入所措置者数（養護老人ホーム1人・視覚障害老人ホーム1人） 2 人
- 2 緊急ショートステイ利用者数 0 人
- 3 やむを得ない事由による措置者数 0 人
- 4 事業費 6,526,245 円

【敬老会関係経費】

- 1 対象 77歳以上の高齢者
- 2 内容 対象者に記念品と祝辞を送付した。
- 3 人数 2,545 人
- 4 事業費 1,772,311 円

【敬老祝金等支援事業】

- 1 88歳に達した方（米寿 2万円） 139 人
- 2 99歳に達した方（白寿 10万円） 12 人
- 3 支給総額 3,980,000 円

(次頁へ続く)

3	款	1	項	3	目
---	---	---	---	---	---

【宅配夕食サービス事業】

社会福祉協議会に業務を委託し、調理等が困難な単身または高齢者世帯等の希望する高齢者に、栄養バランスのとれた夕食を宅配し、併せて安否確認を実施した。

延べ実施日数（日）	305
延べ配食数（食）	12,167
1日平均食数（食）	39.9

※登録者数 84人（男性:34人、女性:50人）
 ※利用頻度 週6回：40人、週5回：4人
 週3～4回：22人、週1～2回：18人

・事業費 14,374,240 円

【高齢者福祉助成事業（タクシー利用助成・紙おむつ購入助成）】

① 高齢者等タクシー助成事業

対象要件	対象者数	交付者数	1人(世帯)あたりの助成額
75歳以上の住民税非課税世帯等	372人	302人	6,000円
在宅の要介護4又は5の認定者がいる住民税非課税世帯等	8人	4人	12,000円

② 紙おむつ購入助成事業

対象要件	対象者数	交付枚数	使用枚数	1人あたりの助成額
65歳以上で常時紙おむつが必要な在宅の方	延べ 417人	1,251枚	1,125枚	1,500円×2回(6月・12月) (1回あたり500円券3枚)

・事業費 2,224,192 円

【避難行動要支援者対策事業】

- ・対象者 要介護3～5、身体障害者手帳1,2級、精神障害者手帳1級、療育手帳A,B、その他高齢単身または高齢世帯で登録を希望する方
- ・避難行動要支援者名簿登録者数 422 人
- ・事業費 31,124 円

実績

課題
方向性

高齢化率が進行し、ひとり暮らし高齢者世帯が増加しているものの、元気な高齢者が多いことから、高齢者の生きがいや健康づくりを促進するため、老人クラブ等の活躍の場づくり支援に努めている。
 また、敬老事業等について、実施方法、事業のあり方を検討していく。

一 般 会 計

3	款	1	項	4	目	国民年金費				
担当部署名				町民福祉課町民サービス班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	4,370		4,129		4,129					
目的	法定受託事務である国民年金の事務事業について年金事務所と協力・連携しながら、資格取得・喪失等の届出の受理及び報告事務をはじめ、相談業務や広報を行い、年金事業の円滑な運営を推進する。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	国民年金事務に要する経費		B	-	4.0	国民年金の法定受託業務として、年金事務所と連携を密にし、各種手続きや相談業務について迅速に対応することができた。また、広報紙への年金制度の掲載、チラシの頒布などを通し、制度の周知を図ることができた。				
実績	【国民年金事務に要する経費】									
	1 法定受託事務（町の受付状況）									
	(単位:人)									
	年度 区分		令和5年度	令和4年度	年度 区分		令和5年度	令和4年度		
	資格取得届		183	202	任意加入		2	7		
	資格喪失届		5	3	付加年金加入		3	5		
	種別変更届		21	35	免除申請(一般)		113	174		
	口座振替 納付申出		9	7	免除申請(学生)		10	33		
	老年金 基礎請求		3	3	免除該当(法定)		5	4		
	障害年金 基礎請求		3	0						
未年金 支給請求		42	42							
課題 方向性	2 被保険者状況									
	・ 第1号被保険者状況 (単位:人)									
	年度 区分		令和5年度	令和4年度						
	年間平均被保険者		1,239	1,266						
	内 訳	付加年金加入者数	45	46						
		免除者数	573	604						
		20歳到達者	90	61						
	各種年金制度について、迅速かつ円滑に手続きを進めることができるよう年金事務所との連携を密にしていく。また、年金制度についての広報を強化し、相談対応にあたるとともに、将来の保障の確保へ向け未加入者の加入促進や納付が困難な方への免除制度などについて周知を図る。									

一 般 会 計

3	款	1	項	5	目	介護保険対策費				
担当部署名				健康長寿課高齢者支援班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	312, 626		312, 523		11, 559	5, 916			295, 048	
目的	低所得者の利用者負担額を軽減することにより、施設等のサービス利用を円滑にする。また、軽減措置を実施した社会福祉法人等に対し、軽減額に応じ補助金を交付する。 一般会計から介護保険特別会計へ町負担分の繰り出しを行うことにより、円滑で安定的な介護保険制度の運営を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	介護保険対策費		B	-	4. 7	社会福祉法人等が運営する特別養護老人ホーム等に入所中の低所得者の食費や居住費の利用料の軽減を実施することで、低所得者の円滑なサービス利用に繋がった。				
	介護保険特別会計繰出		B	-	4. 7	介護保険特別会計に法定給付町負担分や必要人件費及び事務費を適切に繰り出すことで、介護保険事業を安定的に運営することができた。				
実績	【介護保険対策費】									
	利用料の軽減対策									
	・ 社会福祉法人等利用者負担軽減措置 特別養護老人ホーム(2施設)						利用者数	3 人		
							軽減額	561, 360 円		
	【介護保険特別会計繰出】									
	介護保険特別会計への繰出金						312, 405, 000 円			
	(内訳)									
	・ 介護給付費分 (12. 5%)						222, 262, 000 円			
	・ 地域支援事業分									
	介護予防・日常生活支援総合事業分 (12. 5%)						6, 066, 000 円			
包括的支援・任意事業分 (19. 25%)						6, 778, 000 円				
・ 低所得者保険料軽減分 (25%)						24, 641, 000 円				
・ 職員給与費等分						27, 737, 000 円				
・ 事務費分						24, 921, 000 円				
課題 方向性	今後も継続的に円滑な介護保険制度の運営を図るため、適切な事務処理を実施すると共に、低所得者の相談業務や制度の周知・情報提供を継続して行う。									

一 般 会 計

3	款	1	項	6	目	保健福祉センター管理費							
担当部署名				健康長寿課高齢者支援班							(単位:千円)		
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳								
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源				
	302, 771		296, 801				254, 100	7, 836	34, 865				
目的	住民の健康保持・増進、及び介護予防の拠点として、また、憩いの場として、安心・安全に利用できるよう、適切に維持管理を実施する。												
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果							
	保健福祉センター維持管理経費		A	4. 3	4. 0	大規模改修工事1期工事を実施した。また、新型コロナウイルスワクチン接種会場として町民の利用に寄与した。ふれあいの湯については、施設の保守点検や修繕を適切に実施し、利用者の安心・安全な利用に寄与することができた。							
実績	【保健福祉センター維持管理経費】												
	1 保健福祉センター利用状況												
	(単位:人)												
		各種保健福祉事業他						ふれあいの湯			合計		
		健康増進 事業	母子保 健事業	地域支援 事業	介護保険 事業	コロナワ ク チン関係他	小計	町内	町外	小計			
	4月	50	28	68	178	18	342	2, 099	170	2, 269	2, 611		
	5月	20	61	66	153	62	362	1, 856	192	2, 048	2, 410		
	6月	37	28	48	236	3, 321	3, 670	1, 842	133	1, 975	5, 645		
	7月	94	37	93	152	0	376	1, 943	154	2, 097	2, 473		
	8月	1, 653	35	59	146	13	1, 906	1, 839	216	2, 055	3, 961		
	9月	1, 246	37	48	143	0	1, 474	1, 971	192	2, 163	3, 637		
	10月	101	41	62	174	18	396	1, 635	158	1, 793	2, 189		
	11月	104	11	52	126	3, 259	3, 552	2, 016	229	2, 245	5, 797		
	12月	60	31	50	159	310	610	1, 914	199	2, 113	2, 723		
	1月	67	32	41	169	33	342	1, 630	162	1, 792	2, 134		
	2月	50	31	49	159	40	329	1, 369	122	1, 491	1, 820		
	3月	88	35	43	184	45	395	2, 256	231	2, 487	2, 882		
	計	3, 570	407	679	1, 979	7, 119	13, 754	22, 370	2, 158	24, 528	38, 282		
	【保健福祉センターで実施した主要保健福祉事業】												
	・ 健康増進事業 健康相談・食生活改善推進委員会												
	・ 母子保健事業 母子健康手帳交付、予防接種手帳交付他												
	・ 地域支援事業 介護予防事業（まっしま元気塾他） 地域包括支援センター業務（総合相談業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント他）												
	・ 新型コロナウイルスワクチン集団接種												
	(次頁へ続く)												

2

ふれあいの湯利用状況（再掲）

(単位：人)

	町 内								町 外				計	入浴料 (円)	
	60歳 以上		高校生 ～59歳			中学生 以下	小計	高校生 以上		小・中 学生	乳幼 児	小計			
	減免 無し	災害 免除	減免 有り	減免 無し	災害 免除			減免 有り	一般						災害 免除
R5年度	18,742	-	1,152	2,145	-	186	145	22,370	2,077	-	43	38	2,158	24,528	3,161,200
R4年度	19,385	49	1,042	2,397	3	170	96	23,142	1,477	15	29	37	1,558	24,700	3,031,500
R3年度	17,189	-	1,122	1,983	-	171	85	20,550	1,297	-	25	18	1,340	21,890	2,656,400

障がい者手帳を所有する町民に対し、ふれあいの湯使用料5割減免を継続実施（延べ1,338人）。

【ふれあいの湯利用登録状況】

・ 60歳以上の方の利用登録

473 人（うち、町内432人、町外41人）

・ 障がい者の利用登録

19 人（うち、60歳未満4人）

3

松島長松園デイサービスセンター利用状況

・ 指定管理期間

令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）

・ 指定管理者

社会福祉法人 千賀の浦福祉会

	年間活動日数（日）	延べ人数（人）	1日平均利用人数（人）
令和5年度	244	5,886	24.1
令和4年度	243	5,664	23.3
令和3年度	242	5,020	20.7

4

保健福祉センター修繕の状況

【修繕】

・ 給湯配管修繕

145,200 円

・ ボイラー燃焼装置修繕

198,000 円

・ 浄化槽調整ポンプ修繕

97,900 円

・ 空調集中コントローラー修繕

259,600 円

・ 通路避難誘導灯修繕

187,000 円

・ 西側トイレ手洗水栓及び洗浄便座修繕

410,520 円

・ ろ過機基盤、コントローラー修繕

482,900 円

計

1,781,120 円

5

大規模改修事業実施状況（令和5年度分）

屋上屋根防水工事、勾配屋根工事、空気調和設備更新工事、内装工事、電気設備工事等を実施した。

(1) 委託料

・ 松島町保健福祉センター大規模改修工事施工監理業務委託

4,500,000 円

(2) 工事請負費

・ 松島町保健福祉センター大規模改修工事

249,600,000 円

課題
方向性

大規模改修工事実施設計に基づく大規模改修工事を計画的に進め、保健福祉センターの長寿命化を図る。また、町民が安心して利用できるよう、日頃から適切な施設運営に努めるとともに、点検や修繕等についてはできるだけ迅速かつ計画的に実施する。

一 般 会 計

3	款	1	項	7	目	電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業					(単位:千円)	
担当部署名				町民福祉課福祉班								
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳							
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	43,452		43,450		43,449					1		
目的	電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増をふまえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯に対し、臨時特別給付金を支給し、経済的負担を軽減する。											
評価 成果	事務事業名称			業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業			A	3.0	3.0	電力・ガス・食料品等の価格高騰による影響を受けている低所得世帯に対し経済的負担の軽減が図られた。					
実績	【電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業】											
	1 給付対象者 ・ 令和5年6月1日において、松島町の住民基本台帳に登録されている令和5年度住民税非課税世帯の世帯主 2 支給額 ・ 1世帯につき30,000円 3 支給実績 ・ 対象世帯数 1,496 世帯 ・ 支給世帯数 1,380 世帯 ・ 支給率 92.2 % ・ 支給額 41,400,000 円											

一 般 会 計

3	款	1	項	8	目	物価高騰対応重点支援給付金事業 物価高騰対応重点支援給付金事業（第二号）				
担当部署名				町民福祉課福祉班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	114, 447 41, 183		102, 382 457		102, 382 457					
目的	エネルギー・食料品価格等の物価高騰による影響が大きい住民税非課税世帯に対し、給付金を支給することで経済的負担を軽減する。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	物価高騰対応重点支援給付金事業		A	3.0	3.0	エネルギー・食料品価格等の物価高騰による影響を受けている低所得世帯に対し経済的負担の軽減が図られた。				
	物価高騰対応重点支援給付金事業（第二号）		—	—	—	令和5年度においては支給準備のためのシステム改修等のみを実施し、実際の給付事業としては令和6年度に繰越した。				
実績	【物価高騰対応重点支援給付金事業】									
	1 給付対象者 ・ 令和5年12月1日において、松島町の住民基本台帳に登録されている令和5年度住民税非課税世帯の世帯主 2 支給額 ・ 1世帯につき70,000円 3 支給実績 ・ 対象世帯数 1,490 世帯 ・ 支給世帯数 1,447 世帯 ・ 支給率 97.1 % ・ 支給額 101,290,000 円									

一 般 会 計

3	款	2	項	2	目	児童措置費				
担当部署名				町民福祉課こども支援班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	138, 625		138, 535		95, 690	21, 451			21, 394	
目的	児童を養育している保護者を対象に、児童手当を支給することにより家庭における生活の安定に寄与し、次代の社会を担う児童の健全な育成を促す。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	児童手当等支給経費		B		3.0	中学校修了前までの児童を養育している保護者に児童手当を年3回(6月、10月、2月)支給し、子育て世帯の生活の安定及び児童の健全な育成に寄与できた。				
実績	【児童手当等支給経費】									
	1 児童手当の支給(令和5年6月・10月、令和6年2月支払分) 中学校修了前までの児童を養育するものに支給される。 ・支給額(月額) 3歳未満 一律 15,000 円 3歳以上小学校修了前 第1子 10,000 円 第2子 10,000 円 第3子以降 15,000 円 中学生 一律 10,000 円 特例給付 一律 5,000 円									
	2 支給実績									
	年 度	給付 区分	3歳未満 対象児童 (人)	3歳以上 小学校修了前 対象児童 (人)		小学校修了後 中学校修了前 対象児童 (人)		支給額 (円)		
	令和3年度	一般	1,834	1,439(第3子～) 6,807(第1・2子)		2,866		147,775,000		
		特例	8	260		122				
	令和4年度	一般	1,674	1,421(第3子～) 6,498(第1・2子)		2,820		141,160,000		
		特例	17	216		78				
	令和5年度	一般	1,616	1,348(第3子～) 6,437(第1・2子)		2,840		138,535,000		
		特例	23	170		68				
課題 方向性	法令に基づいた支給を行っており、児童の健全育成と保護者の経済的負担を軽減する制度であることから、今後も継続して実施していく。									

一 般 会 計

3	款	2	項	3	目	保育所費				
担当部署名				町民福祉課こども支援班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	200, 535		182, 833		1, 174	774	32, 700	17, 031	131, 154	
目的	保護者が就労等で家庭で保育ができない児童を預かり、月齢にあった保育を行うことで、子どもの心身の健やかな成長を促すことを目的とする。 また、子どもたちが安心して快適に楽しく過ごせる環境づくりに努めるとともに、保護者とのよりよい信頼関係を築けるよう保護者との対話を大切にしたい保育所を目指す。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	保育所管理運営費		A	3. 7	3. 7	保護者が就労、疾病等の理由で家庭で保育のできない児童を預かり、保護者が安心して子育てのできる環境を整えた。 保育所の統廃合や給食調理の民間委託により、入所児童の安全確保や保育士の負担軽減、安全安心な給食の提供など、安定した保育所運営をすることができた。				
	一時預かり保育事業		A	3. 0	3. 0	就労、通院、求職活動などで一時的に保育が困難となった保護者のニーズに対応することができた。 また、育児疲れのリフレッシュのために利用してもらうことで、保護者のメンタルケアにもつながった。				
実績	【保育所管理運営費】									
	1 通常保育事業									
	○ 入所児童状況（令和6年3月31日現在）									
	保育所名		定員（人）		保育実児童数（人）		年間延保育児童数(人)		充足率（%）	
	高城保育所		120		110		1, 276		91. 7	
	2 （特別）延長保育事業									
	保護者の就労形態の多様化に対応するため、高城保育所で午前7時30分から午後6時まで延長保育、午前7時から午後7時まで特別延長保育を実施し、勤務先が遠い保護者や勤務時間が長い保護者などが利用した。									
	○ 延長保育（単位：人）									
			高城保育所							
	入所児童数（月平均）		106							
	延長保育 児童数（延べ）	7:30～ 8:00	4, 064							
		16:00～18:00	10, 746							
一日平均 児 童 数	7:30～ 8:00	14								
	16:00～18:00	37								
○ 特別延長保育（単位：人）										
実保育児童数		7:00～7:30			18:00～19:00					
25	延べ児童数	一日平均児童数	平日のみ平均	延べ児童数	一日平均児童数	平日のみ平均				
	3, 327	11	13. 1	2, 370	8. 1	9. 6				

(次頁へ続く)

(次頁へ続く)

3

款

2

項

3

目

3

施設等修繕

761,970 円

・ 高城保育所遊具塗装修繕

・ 高城保育所漏電火災警報器修繕

・ 高城保育所外洗い場給水管修繕 等

4

委託料

13,628,531 円

・ 保育所給食調理等業務委託

・ 保育所機械警備業務委託 等

5

工事請負費

38,497,800 円

・ 保育施設自動水栓等移設工事

・ 松島保育所解体工事

・ 磯崎保育所解体工事

・ 高城保育所雨よけ庇設置及び側溝蓋交換設置工事

6

備品購入費

・ オープンシューズケース、スタックトロッコ4輪他

537,020 円

・ 絵本他 (104冊) ※幼児教育寄附金

382,982 円

・ 移動式絵本ワゴン他 (5品目、11個) ※幼児教育寄附金

419,540 円

【一時預かり保育事業】

1

一時預かり事業

高城保育所において、保護者の就労や求職活動、入院・通院・出産・介護・冠婚葬祭等の緊急時、保護者の育児疲れ等のリフレッシュ・災害時のボランティア活動・学校行事等の際に、預け先のない1歳から就学前までの乳幼児を一時的に預かる事業として実施した。

○ 利用実績（利用延べ人数・年齢別延べ人数）

(単位：人)

登録児童数	利用児童数		利用年齢				
2	半日	1日	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
	1	0	1	0	0	0	0

○ 利用料金

世帯区分	半日利用	1日利用	給食利用
生活保護法による被保護世帯	0円	0円	300円
上記以外の世帯	1,000円	2,000円	300円

【新型コロナウイルス感染症対策事業】

1

保育対策総合支援事業費補助金事業

・ 新型コロナウイルス感染症対策消耗品一式

38,098 円

・ 保育対策総合支援事業費補助金

500,000 円

課題
方向性

核家族世帯及び女性の社会進出の増加により、3歳未満の子どもの入所希望が増えている。特に、育児休暇取得後の1歳児や特別延長保育の利用を希望する子どもが多く、施設規模の理由から待機児童が生じた。一時預かり保育事業は、実施施設が2ヶ所となったため利用実績が減少したが、高城保育所は車のない保護者でも利用ができるなどのメリットがあるため、今後も継続して実施していく。近年、急増している支援が必要な児童について、一人ひとりの個性を生かしたきめ細かい保育ができるよう、保育士の加配や専門的な知識と技術習得などの体制づくりが必要である。

一 般 会 計

3	款	2	項	4	目	母子福祉費				
担当部署名				町民福祉課こども支援班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	2,255		2,083			981			1,102	
目的	ひとり親家庭の父母及び子どもにかかる医療費の自己負担分を助成することにより、当該家庭の経済的負担を軽減し、生活の質を高めることを目的とする。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	母子・父子家庭医療費支給		B	-	3.3	ひとり親家庭の父母及び子どもにかかる医療費のうち、自己負担分を助成することにより、当該家庭における適正な医療機関受診の機会の確保と、医療費の経済的負担軽減をさせることができた。				
実績	【母子・父子家庭医療費支給】									
	1 助成対象者									
	・ 母子・父子家庭の18歳の年度末までの児童									
	・ 母子家庭の母、父子家庭の父									
	・ 父母のいない18歳の年度末までの児童									
実績	2 助成実績									
	年 度		対象者数 (人)		助成件数 (件)		助成額 (円)			
	令和3年度		259		627		1,834,626			
	令和4年度		232		745		1,804,924			
	令和5年度		200		660		1,963,454			
課題 方向性	※対象者数は、各年度10月1日現在									
	母子・父子家庭医療費の助成は、当該家庭の経済的負担の軽減に寄与しており、生活の安定と児童の健全育成に資するものであるため、今後も県補助金を活用して継続的に実施していく。									
	また、病院窓口への申請書の提出忘れがないよう周知を図っていく。									

一 般 会 計

3	款	2	項	5	目	子ども医療対策費																			
担当部署名				町民福祉課こども支援班					(単位:千円)																
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																				
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																
	52, 447		52, 063			6, 451	35, 000		10, 612																
目的	子どもの医療費を助成することにより、医療機会を確保し、経済的安定と福祉の向上に努める。 また、経済的負担を軽減することにより、少子化対策の一助を担うことを目的とする。																								
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果																			
	子ども医療費支給		B	—	3.0	入通院とも対象年齢を18歳までとして医療費の一部負担金を助成することにより、子どもの医療機関受診の機会が確保され、子育て世帯における経済的負担の軽減が図られた。																			
実績	【子ども医療費支給】																								
	1 助成対象年齢 通院・入院 0歳から18歳に達する日以後の最初の3月31日まで																								
課題 方向性	2 助成実績																								
	<table><tr><td>年 度</td><td>対象者数 (人)</td><td>助成件数 (件)</td><td>助成額 (円)</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>1, 558</td><td>19, 727</td><td>44, 636, 269</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>1, 496</td><td>19, 921</td><td>40, 671, 606</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>1, 453</td><td>22, 507</td><td>50, 707, 195</td></tr></table>									年 度	対象者数 (人)	助成件数 (件)	助成額 (円)	令和3年度	1, 558	19, 727	44, 636, 269	令和4年度	1, 496	19, 921	40, 671, 606	令和5年度	1, 453	22, 507	50, 707, 195
	年 度	対象者数 (人)	助成件数 (件)	助成額 (円)																					
	令和3年度	1, 558	19, 727	44, 636, 269																					
	令和4年度	1, 496	19, 921	40, 671, 606																					
	令和5年度	1, 453	22, 507	50, 707, 195																					
※対象者数は、各年度10月1日現在																									

一 般 会 計

3	款	2	項	6	目	子育て支援事業費				
担当部署名				町民福祉課こども支援班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	181, 459		174, 611		85, 474	45, 065		3, 505	40, 567	
目的	子育て支援事業として、子育てについての相談、情報提供、助言、援助を行う。 また、虐待等が心配な家庭や発達に支援が必要な子どもが地域で安心して生活するため、子どもと保護者間の育児に対する負担・不安を軽減し、様々なニーズに対して柔軟に対応できるよう支援体制のネットワークの構築や指導者の育成を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	ファミリー・サポート・センター事業		A	3.3	3.0	昨年度に比べて支援活動回数は減少したが、利用会員、協力会員との信頼関係が築かれ、子育ての多様なニーズに応えることができた。				
	子育て支援事業		A	3.7	3.7	親子教室等で児童館来館の際は、定員を制限するなど感染対策を講じたうえで活動を行い、親子が安心して楽しめる環境づくりに努めた。 発達に関して支援が必要な子ども及びその保護者を対象に発達相談等を実施し、各関係機関と連携して安心して子育てできるよう早期支援を行った。				
	施設型給付費		B	-	3.3	保護者の就労などのため、入所を希望する町外施設に対して経費を負担することで、安定的な施設運営を支援し、希望施設に継続して入所することができた。				
	次世代育成支援対策費		A	4.3	3.7	子ども・子育て支援事業計画（第三期）策定のため、子ども・子育て会議にてアンケート調査票の内容を精査し、アンケート調査を実施した。子育て支援ホームページについては、改修を行い認定こども園に関する情報の追加等を実施した。また、町事業の案内、保育所や児童館等でのイベント情報の周知を積極的に行った。子育て支援ガイドブックについては、子育ての様々な場面で不安や疑問が生じた際に活用してもらえるよう、改訂を行い掲載情報の更新を行った。				
	認定こども園運営事業		A	3.7	3.7	認定こども園に対して、施設型給付費及び子育て支援事業に対して補助金を交付し、安定的な施設運営を支援した。				
実績	【ファミリー・サポート・センター事業】									
	・ 利用会員		39 人							
	・ 協力会員		8 人							
	・ 両方会員		2 人							
	・ 支援活動回数		8 回							
	【子育て支援事業】									
	1 各種相談事業									
	分 類				実施回数 (回)		利用者 (延べ人数)			
	巡回心理相談				8		107			
	電話相談				14		14			
	訪問相談 (こんにちは赤ちゃん訪問等)				43		112			
	来館相談				3		4			
	発達相談 (子育てひろば)				7		42			
	計				75		279			
(次頁へ続く)										

(次頁へ続く)

2 仲間づくり支援事業

事業名	実施回数(回)	参加者(延べ人数)
あそびの広場	295	2,594

3 親子教室関係

教室名	実施回数(回)	参加者(延べ人数)
読み聞かせの会	11	124
リズム遊びの会	6	61
親子ヨガ教室	4	74
なかよし教室	12	132
計	33	391

(参加者は、保護者と子どもの人数)

4 社会全体の子育てへの関心を高めるための取り組み

事業名	回数(回)	備考
児童館だよりの発行	12	毎月5,600部 (※全戸配布)

※広報紙に児童館だよりを掲載

5 子ども虐待防止事業(要保護児童対策地域協議会関係)

事業名	実施回数(回)	参加者(延べ人数)
代表者会議	1	18
実務者会議	2	38
ケース会議	11	88
計	14	144

訪問・面談 12回(延べ22人)
電話件数 35件

6 障がい児等育児支援

事業名	実施回数(回)	参加者(延べ人数)
親の会定例会 (いるかの会)	5	26
発達障害児支援 (のびっこクラブ)	6	106
ペアレント・トレーニング (子育て講座)	7	108
計	18	240

7 子育てボランティア協力・育成事業

事業名	実施回数(回)	参加者(延べ人数)
読み聞かせの会	11	23

8 小学校入学祝金 22人 660,000円

(次頁へ続く)

3	款	2	項	6	目
実績	【施設型給付費】				
	・ 利府町利府第二おおぞら幼稚園				1,069,064 円
	・ 利府町利府葉山保育園				1,139,380 円
	・ 天童市天童しぜん幼稚園				1,025,140 円
	・ 大衡村ききょう平保育園				3,354,360 円
	・ 大崎市鹿島台保育園				2,313,000 円
	・ 大崎市松山子育て支援総合施設あおぞら園				263,030 円
	・ 大崎市さくら保育園				1,608,730 円
	・ 東松島市野蒜保育所				378,680 円
	【施設等利用給付費】				
課題 方向性	利用申請なし				
	【次世代育成支援対策費】				
	1 子ども・子育て会議				
	・ 委員報酬 2回開催				80,600 円
	2 子育て支援ガイドブック改訂				
					1,000 部 204,600 円
	3 委託料				
					5,103,884 円
	・ 子育て支援ホームページ保守管理業務委託				
	・ 子育て支援ホームページ改修業務委託				
	・ 施設等利用給付システム保守管理業務委託				
	・ 子ども・子育て支援事業計画（第三期）策定等業務委託				
	【出産・子育て応援給付金】				
	・ 出産応援給付金				65 人 3,250,000 円
	・ 子育て応援給付金				44 人 2,200,000 円
	【認定こども園運営事業】				
	1 施設型給付費				131,966,790 円
	2 地域子ども・子育て支援事業費補助金				18,672,000 円
	親子教室やファミリーサポートセンター事業等は、指定管理者制度を導入していることから、今後も民間事業者の豊富な知識や柔軟な発想により、事業の更なる充実と参加者の増加を図っていく。				
	ファミリーサポートセンター事業については、利用件数が減少傾向のため、今後も利用促進や会員増を図るため、広報紙や子育て支援サイト等を通じて、サービス内容をPRしていく。				
	子育て支援ホームページについては、アクセス数及びユーザー数共に増加していることから、今後も子育て家庭が求めている情報を発信していくよう努める。				
	子ども・子育て支援事業計画（第三期）については、実施したアンケート調査結果や子ども・子育て会議の意見を踏まえて計画の策定を行う。				
	「子ども家庭総合支援拠点」として実施している要保護児童対策については、タイムリーにケース会議を実施する等、関係機関との連携強化が図れた。				
	次年度は「こども家庭センター」設置による更なる連携強化を図っていく。				
	また、子育て支援事業として、子育て講座（ペアレント・トレーニング講座）を新たに開始したが、効果的な子育てや発達特性に合わせた養育スキルを保護者と関係者が学ぶ場とし大変好評であった。				
	次年度は保護者向け子育て講座に加え、支援者向け講座を検討していく。				

一 般 会 計

3	款	2	項	7	目	児童福祉施設費				
担当部署名				建設課管理班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	9,160		8,898						8,898	
目的	児童等の健康増進や情緒を豊かにすることを目的とし、安全かつ健全な遊び場を提供するため、公園環境の適切な維持管理を行う。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	児童公園・遊園維持管理費		C	-	-	公園内の事故を未然に防ぐために遊具等の点検及び修繕を実施し、児童等が安全に遊べる場所を提供した。 垣の内児童公園のトイレについては、地域の要望により、トイレの施設を改築し、バリアフリー化を図った。				
実績	【児童公園・遊園維持管理費】									
	児童公園（22箇所）の維持管理 ※磯崎児童公園(令和6年4月1日廃止)									
	1 需用費（修繕料）						272,371 円			
	・ 夕陽が丘児童公園（ジャングルジム・シーソー・鉄柵）						99,000 円			
	・ 品井沼児童公園（ブランコ・水飲水栓）						93,500 円			
	・ 高城児童公園（ブランコ）						44,000 円			
	・ 白萩児童公園（給水管）						35,871 円			
	2 委託料						790,188 円			
	・ 児童公園公衆便所清掃業務委託（11箇所：月1回）						346,500 円			
	・ 児童公園遊具定期点検業務委託（19箇所：年1回）						308,000 円			
・ くぬぎ台児童公園公衆便所浄化槽保守点検業務委託（月1回）						47,688 円				
・ くぬぎ台児童公園公衆便所浄化槽清掃業務委託（年1回）						88,000 円				
3 工事請負費						7,095,000 円				
・ 垣の内児童公園公衆用トイレ改築工事 （男女兼用多機能型トイレ 洋式便器1基）										
課題 方向性	安全に利用できる公園環境を提供するために、遊具定期点検やトイレ清掃を行い適切な状態を継続して維持管理を実施していく。防犯面や衛生面においては地域住民の理解と協力を得ながら健全な公園環境を保っていく。 今後は老朽化した遊具の更新を検討していく必要がある。									

一 般 会 計

3	款	2	項	8	目	児童館費									
担当部署名				町民福祉課こども支援班										(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳										
					国庫支出金	県支出金		地方債		その他		一般財源			
	42,720		42,510		10,491		10,491				3,529		17,999		
目的	児童館は、子育て家庭支援の拠点施設として、子どもたちへ遊びの場を提供し、遊びを通して子どもの心身の健全な発達を促す。 また、留守家庭児童学級では、就労等で放課後保護者が家庭にいない子どもに適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る。														
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果									
	児童館運営費		A	3.7	3.7	小・中学生の自由来館は昨年度と比べて増加した。各種事業では、工夫を凝らした内容で実施し、子どもの自主性や創造性を養うことができた。 また、4年ぶりにこどもまつりを開催し、ジュニアリーダー等のボランティアの協力もあり、参加した親子や小学生は楽しいひと時を過ごせた。									
	留守家庭児童学級運営経費		A	3.7	3.7	児童の安全に配慮した運営を行い、大きな事故等がなく過ごすことができた。 定員を超えて入級希望のあったひまわり学級について、旧松島第二幼稚園を開設場所とすることで、児童の受入環境を整えた。 専門的知識を有する指定管理者が主催する研修を支援員が積極的に受講し、資質の向上が図られた。 感染症対策を講じながら学級活動を行い、子どもたちが放課後安心して過ごすことができる場を提供することができた。									
実績	【児童館運営費】														
	1 年間利用者数														
	内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
	小学生	228	227	256	179	172	162	183	186	107	82	103	226	2,111	
	中学生	51	27	38	31	72	15	26	38	13	12	8	26	357	
	高校生	2	16	2	12	9	3	12	15	2	6	7	11	97	
	一般	41	63	68	91	15	47	57	43	45	74	28	38	610	
	相談	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	合計	322	334	364	313	268	227	278	282	167	174	146	301	3,176	
	2 出前事業														
事業名		実施回数 (回)				参加者 (人)									
被災地探検隊		2				40									
3 イベントの開催															
事業名		実施回数 (回)				参加者 (人)									
こどもまつり		1				93									
ハロウィーンまつり		1				92									
クリスマスコンサート		1				172									
計		3				357									
4 備品購入費															
・ジョイントマット		(8セット)								193,600 円					
・図鑑他		(261冊)				※幼児教育寄附金				535,518 円					
・ラックベンチ他		(3品目、4個)				※幼児教育寄附金				170,060 円					
(次頁へ続く)															

【留守家庭児童学級運営費】

1 留守家庭児童学級

- ・学級児童数（令和6年3月31日現在）

（単位：人）

施設名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
松島第一小学校（たんぼぼ学級）	32	23	14	8	0	0	77
松島第二小学校（ひまわり学級）	9	16	12	10	2	0	49
松島第五小学校（どんぐり学級）	1	3	1	1	0	1	7
計	42	42	27	19	2	1	133

※実施場所

- 一小：児童館（土曜日は合同学級）
- 二小：旧松島第二幼稚園
- 五小：品井沼農村環境改善センター

2 年間利用児童数及び開設日数

上段：延べ利用児童数

（単位：人）

下段：開設日数

（単位：日）

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
松島第一小学校 （たんぼぼ学級）	1,102	1,106	1,145	1,061	1,030	955	1,015	964	848	941	835	901	11,903
	23	23	26	25	26	23	24	24	24	23	23	25	289
松島第二小学校 （ひまわり学級）	707	770	787	757	535	818	845	830	741	703	658	710	8,861
	23	22	25	25	26	24	24	24	24	23	19	21	280
松島第五小学校 （どんぐり学級）	109	112	119	110	106	108	111	98	109	88	98	102	1,270
	21	21	23	22	21	20	21	19	20	19	18	21	246
計（児童数）	1,918	1,988	2,051	1,928	1,671	1,881	1,971	1,892	1,698	1,732	1,591	1,713	22,034

実績

3 工事請負費

- ・ ひまわり学級トイレ改修工事

5,640,800 円

4 放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業費補助金

- ・ 対象留守家庭児童学級数 3 学級
- ・ 補助金交付額

946,000 円

課題
方向性

児童館のPRは、広報誌、子育て支援サイト、フェイスブック等を活用した情報発信により、新たな利用者が増えており、今後も最新の情報の更新に努める。

子どもたちの自主性や豊かな創造性を育成するため、年間を通して季節を感じることができるイベントを開催していく。

留守家庭児童学級のニーズが高まり、低学年の入級希望者が増加傾向にあるため、より安全に配慮し安心して過ごすことができる学級運営を行い、子どもが健康で楽しく過ごせる場となるよう努める。

令和6年度から新たな指定管理者となるが、引き続き適正な施設の管理運営と地域の子育て支援活動の拠点としてサービスの向上等に努めていく。

一 般 会 計

3	款	2	項	9	目	低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金事業費				
担当部署名				町民福祉課こども支援班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	7,152		6,586		4,355				2,231	
目的	エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う影響が大きい低所得者の子育て世帯に対し、子育て世帯生活支援特別給付金を支給し、子育て世帯の経済的負担を軽減する。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金事業		B	—	3.0	エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う影響を受けた低所得の子育て世帯における経済的負担の軽減が図られた。				
実績	【低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金事業】									
	1 給付対象者 令和4年度「低所得の子育て世帯生活支援特別給付金」を受給した者または養育要件①に該当し、かつ所得要件A・Bのいずれかに該当する者 〈養育要件〉 ① 令和5年3月31日時点で18歳未満の児童（障害児の場合、20歳未満）を養育する者（令和5年4月から令和6年2月までに生まれた新生児も対象） 〈所得要件〉 A 令和5年度住民税非課税であるもの B 令和5年1月以降の家計急変者 2 支給額 ・ 対象児童1人につき50,000円 3 支給実績 ・ 対象世帯数 36 世帯（うち家計急変 1世帯） ・ 対象児童数 79 名 ・ 支給額 3,950,000 円									

一 般 会 計

3	款	2	項	10	目	低所得の子育て世帯への加算給付金事業費					(単位:千円)	
担当部署名				町民福祉課 こども支援班								
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳							
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	10, 216		6, 003		6, 003							
目的	エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う影響が大きい低所得者の子育て世帯に対し、加算給付金を支給し、子育て世帯の経済的負担を軽減する。											
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果						
	低所得の子育て世帯への加算給付金事業		B	－	3.0	エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う影響を受けた低所得の子育て世帯における経済的負担の軽減が図られた。						
実績	【低所得の子育て世帯への加算給付金事業】											
	1 給付対象者 令和5年度住民税非課税世帯及び均等割のみ課税世帯で、基準日の令和5年12月1日時点において、18歳以下の子どもがいる世帯の世帯主 2 支給額 ・ 対象児童1人につき50,000円 3 支給実績 ・ 対象世帯数 63 世帯 ・ 対象児童数 117 名 ・ 支給額 5,850,000 円											

一 般 会 計

4 款		1 項		1 目		保健衛生総務費				
担当部署名				健康長寿課健康づくり班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	67,450		65,487			227		3,236	62,024	
目的		町民が生涯にわたり、安心して健康的な生活ができるように、保健・医療・福祉の連携を図りながらライフコースアプローチを踏まえた健康づくりを推進する。								
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	休日昼夜間診療に要する経費		A	3.7	3.0	松島病院において休日・昼夜間の急患診療受入体制を確保し、年間を通して地域住民に有効に利用されており、町民の安心と健康の保持に寄与した。				
	保健活動事業経費		A	4.7	3.7	生涯を通じた健康増進のために早期から歯周病の予防の取組が重要であることから、各年代の健康課題に応じた歯科保健事業を実施した。 健康増進総合計画策定委員会を設置し、計画の主旨や指標について協議を行った。				
	塩釜地区休日急患診療センター運営事業		A	3.7	3.0	塩釜医師会管内二市三町で分担金を拠出し、塩釜地区休日急患診療センターを一次診療、7病院を二次医療機関として指定し、休日急患医療体制を継続して確保した。				
	休日歯科診療に要する経費		A	3.0	3.0	塩釜歯科医師会管内二市三町で分担金を拠出し、在宅当番医制により急患対応できる歯科診療体制を維持し、休日及び年末年始の受診機会を確保した。				
	献血推進事業に要する経費		B	－	3.0	献血事業に対して補助金を交付し、必要とする血液を確保することができ、安全な輸血用血液製剤の安定かつ円滑な確保に協力できた。				
	地域医療対策事業に要する経費		B	－	3.7	塩釜地区地域医療対策委員会に参画し、管内の医師会、歯科医師会、薬剤師会、消防事務組合、保健福祉事務所等が連携して地域医療体制の充実を図るための協議を行った。				
	栄養指導業務に要する経費		B	－	3.0	栄養士による健康づくり及び栄養・食生活の改善を推進することにより住民の健康の保持・増進を図った。				
	自死対策強化事業		A	3.7	3.3	悩みや不安を抱える方への個別支援や健康相談を実施した。自死予防やメンタルヘルスケア等に取り組む人材の育成を行い、地域の中で見守り支え合う体制の基盤づくりとなった。				
実績	【休日昼夜間診療に要する経費】 6,750,000 円									
	休日昼夜間診療（松島病院） (単位:人)									
	市町名		松島町	東松島市	その他	計				
	令和5年度		253 (71.1%)	24 (6.7%)	79 (22.2%)	356 (100.0%)				
	令和4年度		238 (65.7%)	38 (10.5%)	86 (23.8%)	362 (100.0%)				
	【保健活動事業経費】									
・ 健康増進総合計画策定業務委託（アンケート調査及び報告書作成等） 2,310,000 円										
・ 健康増進総合計画策定委員会 委員:10人（令和5年10月18日開催）										
(次頁へ続く)										

4	款	1	項	1	目
---	---	---	---	---	---

【塩釜地区休日急患診療センター運営事業】

2,833,695 円

塩釜地区休日急患診療（塩釜地区休日急患診療センター）

（単位：人）

市町名		松島町	塩竈市	多賀城市	七ヶ浜町	利府町	その他	計
年度	土・日 祝日	131 (6.3%)	597 (28.8%)	636 (30.7%)	106 (5.1%)	410 (19.8%)	195 (9.4%)	2,075 (100.0%)
令和5年度	土・日 祝日	42 (4.0%)	340 (32.6%)	287 (27.5%)	64 (6.1%)	207 (19.8%)	103 (9.9%)	1,043 (100.0%)
令和4年度	土・日 祝日							

【休日歯科診療に要する経費】

251,412 円

休日歯科診療（輪番制）

（単位：人）

市町名		松島町	塩竈市	多賀城市	七ヶ浜町	利府町	その他	計
年度	土・日 祝日	10 (3.6%)	89 (32.4%)	77 (28.0%)	33 (12.0%)	33 (12.0%)	33 (12.0%)	275 (100.0%)
令和5年度	土・日 祝日	18 (5.9%)	91 (29.6%)	86 (28.0%)	30 (9.8%)	46 (15.0%)	36 (11.7%)	307 (100.0%)
令和4年度	土・日 祝日							

【献血推進事業に要する経費】

献血種別	採血目標（人）	採血者数（人）	構成比（%）	達成率（%）
全血献血（200ml）	3	6	3.9	200.0
全血献血（400ml）	117	149	96.1	127.4
計	120	155	100.0	129.2

・ 献血推進事業補助金

160,000 円

【栄養指導業務に要する経費】

事業名	回数（回）	参加人数（人）
食生活改善推進員育成講習会	11	198
うす味定着化事業（訪問事業）	308	308
生涯骨太クッキング！	1	25
計	320	延べ 531

・ 食生活改善事業補助金

130,000 円

【自死対策強化事業】

2,566,720 円

町民の孤立を予防し、うつ発症や自死予防を図るため、住民及び地域の支援者を対象にメンタルヘルス向上の取組を実施した。

事業名	実施状況
保健福祉ネットワーク研修	「地域のつながりで支えるこころの健康」をテーマに、医師による研修を開催（1回 支援者18人参加）
自死対策本部会議 （庁舎内戦略会議）	町の現状を共有し、自死を予防するための施策について、今後の取組の方向性を報告（1回 書面による）
自死対策研修事業	過去に研修を受けた心の健康サポーター（一般町民）を対象にフォローアップ研修を開催（1回 9人参加）

【骨髄バンクドナー助成事業補助金】

補助件数：0件

実績

課題
方向性

町民が安心して暮らし、健康寿命が延伸できるよう、塩釜地区二市三町及び宮城県塩釜医師会と連携して救急医療体制を確保する。
また、令和5年度に実施したアンケート調査結果や事業実績を踏まえ、令和6年度は健康増進総合計画を策定し、保健・医療・福祉等の関係機関と連携を図り健康づくり施策を推進していく。

一 般 会 計

4 款	1 項	2 目	予防費				
担当部署名		健康長寿課健康づくり班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	62,169	56,919	864	958		775	54,322
目的	町民が健康を保持し、生涯にわたって健やかな生活を送ることができるよう、個人の生活を尊重した保健・栄養指導を実施し、町民の主体的な健康づくりの取組を支援する。						
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果		
	健康教育	A	3.3	3.0	運動や栄養に関する事業に参加する機会が増え、町民の生活習慣の改善が図られることにより、町内全体の健康意識が高まった。		
	健康診査	A	5.0	3.0	集団健診及び個別検診の実施により、疾病の早期発見、生活習慣病の予防、健康増進が図られた。		
	予防接種事業	A	5.0	3.7	定期予防接種の対象者に適時に接種勧奨し、接種の実施に努めた。定期予防接種の償還払い対応を行い、対象者が契約医療機関以外でも接種を受けられるよう体制を整備したことで住民の利便性が向上した。		
実績	【健康教育】						460,497 円
	1 健康増進事業（対象：40～64歳まで）						
	事業名	回数（回）	参加人数（人）	実施内容			
	総合健康相談	7	101	個別健康相談			
	重点健康相談	23	86	病態別・歯周病・骨粗しょう症等の健康相談			
	集団健康教育	28	167	生活習慣病予防、がん予防、一般健康教育			
	2 健康教育・健康相談事業（対象：全年齢）						
	事業名	回数(回)	人数(人)	実施内容			
	まちかど健康相談	6	116	町内の事業所（6カ所）において、生活習慣病予防や心の健康等について普及啓発及び健康相談を実施			
	食生活改善推進員育成事業	11	198	健康講話、実技研修、調理実習（食生活改善推進員数25人）			
	いちおし健康塾	5	35	食生活改善推進員養成講座 健康講話、実技研修、調理実習他			
	地域栄養教室	4	41	健康講話（保健師・栄養士）、レシピの紹介（食生活改善推進員会）、調理実習			
	地域運動普及講習会	5	70	健康教育（保健師、栄養士）、運動の実践（健康運動指導士他）			
	ノルディックウォーキング教室	4	79	ノルディックウォーキングの実技指導			
	ウォーキングマップ普及事業	通年	—	ウォーキングマップ（手樽編、北部編、西部編、海岸編）の普及			
	運動サポーターフォローアップ講習会	1	27	健康運動指導士による実技指導（筋トレなど）			
	歯科保健指導	14	96	口腔ケア・歯周疾患予防等に関する指導、口腔機能向上トレーニング			
	いきいきフレイル予防講習会	1	12	骨密度測定及び結果説明、保健師及び栄養士によるフレイル予防のための健康講話			
	出前健康講座	5	82	申込のあった団体に対して保健師や栄養士による健康講話を実施			
	健康ポイント事業	—	87	生活習慣病予防のための自主的な取組を実施した者へのインセンティブの付与			
	訪問指導事業	5	5	健診の要指導者、医療機関未受診者など保健指導が必要な者（40～64歳）に対し訪問指導を実施			

(次頁へ続く)

4	款	1	項	2	目
---	---	---	---	---	---

【健康診査】

28,933,833 円

1 各種健（検）診受診状況

検診名	対象者（人）	受診者（人）	受診率（%）
結核・肺がん検診	5,548	1,998	36.0
子宮がん検診（※1）	3,656	1,026	28.1
胃がん検診	5,118	955	18.7
乳がん検診（※2）	1,546	602	38.9
大腸がん検診	5,379	1,636	30.4
前立腺がん検診	1,895	484	25.5
青年健康診査	1,359	134	9.9
骨粗しょう症検診	340	91	26.8
肝炎ウイルス検査	150	20	13.3
歯周病検診（※3）	希望者	10	—

各種健診の対象者は、健診申込み者と総合健康診断申込書の未提出者とした。

（※1）子宮がん検診及び乳がん検診の受診者数は「がん検診推進事業」における無料検診（クーポン券使用）の受診者を含む。（子宮頸がん検診2人、乳がん検診23人）

（※2）乳がん検診は、マンモグラフィー検査により実施した。対象者は40歳以上の女性で偶数年齢とした。

（※3）歯周病検診の対象を40・50・60・70歳とし、一般社団法人塩釜歯科医師会に委託して実施した。

2 申し込み状況

（単位：人）

項目 検診名	申込	病院・職場 等で受ける	入院・入所 中	寝たきりま たは歩行困 難等	その他 （不備を含 む）	未提出	計
結核・肺がん検診	2,393	2,656	106	36	1,080	3,155	9,426
子宮がん検診	1,615	1,028	79	23	1,159	2,041	5,945
胃がん検診	1,333	3,317	107	37	1,917	3,785	10,496
乳がん検診	752	439	39	8	474	794	2,506
大腸がん検診	2,175	2,507	107	31	1,402	3,204	9,426
青年健康診査	232	638	0	0	158	1,127	2,155

実績

3 脳検診費用助成事業

1,196,000 円

40・45・50・55・60・65・70・75歳を対象に頭部MRI検査を含む脳検診費用の一部（上限額10,000円）を助成した。

助成人数：120人

4 がん患者医療用補正具等購入費助成事業

99,800 円

がん患者の治療と就労の両立や療養生活の質の向上を図るため、「医療用ウィッグ及び乳房補正具購入」に係る経費の一部（上限額20,000円）を助成した。

助成人数：5人

（次頁へ続く）

4	款	1	項	2	目
---	---	---	---	---	---

【予防接種事業】

27,523,777 円

1 定期予防接種事業

(単位：回)

種類	接種回数	備考
ロタ	85	
B型肝炎	126	
ヒブ	167	
小児肺炎球菌	167	
四種混合	182	
二種混合	52	
麻しん風しん混合1期	47	
麻しん風しん混合2期	82	
水痘	92	
日本脳炎1期	173	
日本脳炎2期	76	
BCG	47	
HPV（子宮頸がん予防ワクチン）	61	県外医療機関契約1回、償還払い2回含む
HPVキャッチアップ接種	61	
風しん第5期（追加的対策）	7	抗体検査16回（費用全額助成）
高齢者肺炎球菌	73	
高齢者インフルエンザ	3,220	償還払い9回含む
合計	4,718	

* 定期予防接種とは：予防接種法に基づき、誰もが受けるべき「A類疾病」（原則公費負担）と、一部公費負担の「B類疾病」（季節性インフルエンザ、高齢者肺炎球菌）に分類される。

2 風しんワクチン接種費用助成事業

9,900円

対 象 者：風しん抗体価が低く、かつ19歳～49歳までの女性または妊婦の配偶者及び同居者
内 容：風しんワクチン接種費用を全額助成
助成人数：1人

3 予防接種健康被害救済制度

91,510円

給 付 者 数：1人
ワクチンの種類：新型コロナワクチン

課題
方向性

令和6年度末の健康増進総合計画の策定に先立ち、健康教育事业や健康診査事業の評価を行い、健康寿命の延伸や健康格差の縮小を目指した保健事業を展開する。健康増進事業への参加に消極的な若年層や健康無関心層が、いつの間にか健康行動をとっているような有効なアプローチや事業展開を行い、町内全体で健康増進の底上げを図ることが課題である。
予防接種については、対象者が予防接種の機会と情報が得られるよう、また、対象者が接種期間内に接種を終了することができるよう、国の動向をふまえて情報発信・啓発を実施し、感染症のまん延防止に努める。

一 般 会 計

4	款	1	項	3	目	健康館費														
担当部署名				健康長寿課健康づくり班					(単位:千円)											
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳															
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源											
	2,749		2,619					937	1,682											
目的	住民が生涯にわたり安心して健康な生活が送れるよう地域との連携を図り、高齢になっても住み慣れたところでお互いに支え合いながら暮らせるまちづくりを推進する。																			
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果														
	健康館管理運営経費		B	-	2.7	指定管理者がデイサービス事業を安全かつ安心して運営できるよう施設の定期点検及び清掃業務を実施した。また、設備等の故障や破損が生じた際には早急に対処し、適宜に修繕を行った。														
実績	【健康館管理運営経費】																			
	1 松島町健康館デイサービスセンター利用状況																			
	・ 指定管理期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日 (5年間) ・ 指定管理者 社会福祉法人 松島町社会福祉協議会																			
	<table><tr><td></td><td>年間活動日数 (日)</td><td>延べ人数 (人)</td><td>1日平均利用人数 (人)</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>283</td><td>3,948</td><td>14.0</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>289</td><td>4,080</td><td>14.1</td></tr></table>										年間活動日数 (日)	延べ人数 (人)	1日平均利用人数 (人)	令和5年度	283	3,948	14.0	令和4年度	289	4,080
	年間活動日数 (日)	延べ人数 (人)	1日平均利用人数 (人)																	
令和5年度	283	3,948	14.0																	
令和4年度	289	4,080	14.1																	
課題 方向性	2 修繕等の実施状況																			
	・ 研修ホールのカーテン取替修繕 60,500 円 ・ 樹木剪定業務 28,600 円																			
施設・設備等の老朽化によりメンテナンスにかかる費用の増加が見込まれるが、基本協定書第15条により健康館デイサービスセンターの指定管理者である松島町社会福祉協議会と協議を行い、双方が連携して管理運営が継続できるよう努める。																				

一 般 会 計

4	款	1	項	4	目	母子衛生費				
担当部署名				健康長寿課健康づくり班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	9,782		8,436		534	144			7,758	
目的	乳幼児の健全な発育・発達の促進、育児を行う家族の心身の健康の保持増進、良好な親子関係の形成のため、妊娠期から子育て期にわたる様々なニーズに対して総合的に支援する。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	母子保健事業		A	5.0	3.0	母子健康手帳交付、新生児訪問指導、乳幼児健康診査、乳幼児精神発達精密健康診査、母子保健に関する各種教室等を実施し、育児や発達についての情報提供や相談支援、また必要に応じた関連機関との連携を行った。				
実績	【母子保健事業】8,435,115 円									
	1 母子健康手帳交付・育児相談等									
	事業名				回数(回)		人数 *延べ(人)			
	母子健康手帳交付				45		45			
	妊婦支援プラン作成				45		45			
	妊産婦・新生児訪問指導				40		47			
	モグモグ教室				6		50			
	赤ちゃんほっとサロン				11		140			
	どんぐり保健室				11		104			
	2歳児ダイレクトメール事業				12		48			
	保育所・幼稚園児対象わんぱく教室				18		337			
	小学校・中学校歯科指導				10		152			
	希望園歯科指導				3		保護者6、子6			
	栄養だよりの発行				3		3,150			
	まっしらの食育通信				12		総アクセス数 1,803			
2 思春期保健指導										
内容				場所・対象		回数(回)		参加人数(人)		
講話「たばことアルコールの害、薬物乱用防止、インターネット・ゲーム障害について」				松島第五小学校 6学年		1		15		
3 健康相談・訪問指導										
電話相談(件)				来所相談(件)		訪問指導(人)				
						乳児 幼児				
健診	予防接種	発育・発達	健康相談日	随時	実	延	実	延		
65	51	159	262	68	18	26	22	49		
4 乳幼児健康診査事業										
健診名				対象(人)	受診者(人)	受診率(%)				
3～4か月児健康診査				44	43	97.7				
1歳6か月児健康診査				48	49	※102.1				
2歳6か月児歯科健康診査				48	48	100.0				
3歳6か月児健康診査				68	71	※104.4				
※前年度対象で受診した者を含むため										
(次頁へ続く)										

4	款	1	項	4	目																																
実績	5 乳幼児精神発達精密健康診査事業 対象：発達に遅れや偏りが疑われる乳幼児（保護者等の希望による） 内容：臨床心理士、公認心理士に依頼し、乳幼児精神発達精密健康診査を実施した。保護者等への結果説明、報告書の作成、事後指導を行い、所属する幼稚園・保育所の支援計画作成や療育等の継続支援につながった。 実施回数：10回																																				
	6 乳児一般健康診査 548,730 円																																				
	<table><tr><td>健診時期</td><td>2か月</td><td>8～9か月</td><td>合計</td></tr><tr><td>受診人数（人）</td><td>41</td><td>50</td><td>91</td></tr></table>					健診時期	2か月	8～9か月	合計	受診人数（人）	41	50	91																								
	健診時期	2か月	8～9か月	合計																																	
	受診人数（人）	41	50	91																																	
	7 妊婦健康診査 4,252,220 円																																				
	<table><tr><td>妊娠週数</td><td>初回</td><td>12～15週</td><td>16～19週</td><td>20～23週</td><td>24～25週</td><td>26～27週</td><td>28～29週</td><td>30～31週</td><td>32～33週</td><td>34～35週</td><td>36週</td><td>37週</td><td>38週</td><td>39週</td><td>合計</td></tr><tr><td>受診人数（人）</td><td>42</td><td>42</td><td>39</td><td>38</td><td>39</td><td>37</td><td>37</td><td>39</td><td>36</td><td>36</td><td>36</td><td>31</td><td>20</td><td>12</td><td>484</td></tr></table>					妊娠週数	初回	12～15週	16～19週	20～23週	24～25週	26～27週	28～29週	30～31週	32～33週	34～35週	36週	37週	38週	39週	合計	受診人数（人）	42	42	39	38	39	37	37	39	36	36	36	31	20	12	484
	妊娠週数	初回	12～15週	16～19週	20～23週	24～25週	26～27週	28～29週	30～31週	32～33週	34～35週	36週	37週	38週	39週	合計																					
	受診人数（人）	42	42	39	38	39	37	37	39	36	36	36	31	20	12	484																					
	計14回の妊婦健診自己負担分を助成（実人数：66人）																																				
	8 産婦健康診査 428,730 円																																				
	<table><tr><td>健診時期</td><td>2週間</td><td>1か月</td><td>合計</td></tr><tr><td>受診人数（人）</td><td>40</td><td>43</td><td>83</td></tr></table>					健診時期	2週間	1か月	合計	受診人数（人）	40	43	83																								
	健診時期	2週間	1か月	合計																																	
受診人数（人）	40	43	83																																		
9 新生児聴覚検査 290,484 円 受診人数：38人																																					
* 乳児一般（2か月児・8～9か月児）健康診査、妊婦健康診査、産婦健康診査、新生児聴覚検査は、公益社団法人宮城県医師会に委託し、指定医療機関で実施した。																																					
10 妊産婦・乳児健康診査費助成事業 25,000 円 宮城県医師会登録外の医療機関で健康診査を受診した場合の費用について、償還払いによる助成を行った。 助成人数：1人																																					
11 産後ケア事業 367,000 円 出産直後から切れ目のない妊産婦への支援のため4機関に委託し、訪問型、通所型（3時間）、通所型（集団）による3種類の産後ケアを実施した。 訪問型 10 回 通所型（3時間） 19 回 通所型（集団） 11 回																																					
12 伴走型相談支援事業 妊娠期から子育て期まで一貫して相談に応じ、必要な支援につなぐため面談及びアンケートを実施した。 妊娠届出時：45人 妊娠8か月時：41人																																					
課題 方向性	【特定不妊治療助成事業】 令和4年4月から不妊治療が保険適用となったため、助成の対象は保険適用前から不妊治療を行っている場合に限られた。 助成件数：0件																																				
	母子健康手帳交付時から乳幼児期の子育て家庭に寄り添い、面談や情報発信、継続的な相談対応等を行い個別のニーズに対応した支援に繋ぐ。産後も安心して子育てができる支援体制の確保を行う産後ケア事業では、新たに宮城県の集合契約に加入し、広域的なサービス利用ができるよう支援体制拡充を図る。新規事業として、不妊治療費助成事業を実施する。 こども家庭センターが設置されるため、町民福祉課機能とのより強固な連携による支援体制強化を図り、医療機関、保育施設、児童館等関係機関と協働して包括的な支援を実施する。																																				

一 般 会 計

4	款	1	項	5	目	環境衛生費				
担当部署名				総務課環境防災班・水道事業所施設班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	37,610		33,830		698			359	32,773	
目的	健全で安心な町民の生活環境の確保と自然環境保護を目的に、ごみゼロ運動や秋の一斉清掃活動を全町で実施し、環境美化の推進とごみの減量化の意識向上に努める。また、狂犬病の発生を防止するため、飼い犬の登録と予防注射接種を行う。 公共下水道計画区域以外の区域（一部区域内を含む）において、対象者に補助金を交付し合併処理浄化槽の設置整備を推進し、水洗化による町民の生活環境の向上と公共用水域の水質保全を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	環境衛生経費		A	3.7	3.7	ごみゼロ運動や秋の一斉清掃等の環境美化活動を実施し、環境保全とともに環境美化に対する意識を高めることができた。また、公衆衛生組合連合会と連携し、衛生害虫用の殺虫剤を配布し、衛生状態の保持に努めたほか、環境美化推進員による不法投棄の巡回パトロールを実施し、地域環境美化の推進を図ることができた。 犬の転入届や死亡届等の情報処理を適正に行い、正確な台帳の登録に努めながら、関係機関、団体の協力を得て、狂犬病予防注射の集合接種を実施したことにより、狂犬病の発生を未然に防止することができた。				
	塩釜地区斎場運営経費		B	-	3.7	塩釜地区消防事務組合に対して、りふ斎苑(火葬場)の管理運営等に係る負担金を支出し、適正な管理下において運営することができた。				
	合併処理浄化槽設置事業		A	4.7	3.7	公共下水道計画区域以外における合併処理浄化槽設置者に対して補助金を交付し、生活環境の向上及び公共用水域の水質保全に寄与した。				
実績	■総務課 環境防災班所管									
	【環境衛生経費】 1 ごみゼロ運動・秋の一斉清掃 ○各地域にてごみ拾い等の清掃活動を実施し、環境美化意識の高揚を図った。 清掃活動時においては、環境保全への積極的な参加の機会を設けたことで、きれいなまちづくりへの気運を高めることができた。 ・一斉清掃実施回数 2回 (・ごみゼロ運動：6月 ・秋の一斉清掃：9月) (各地区や各種団体においては、年間を通じて清掃活動を実施。) ・ごみ回収量 80 m ³ 2 松島町環境美化推進員の設置 ・環境美化推進員 24名(各行政区2名) ・不法投棄防止巡回パトロール 延べ 219回 3 犬の登録及び狂犬病予防注射 ○窓口において、犬の登録等の申請手続き並びに狂犬病予防注射済票の交付事務を実施。 また、4月・5月に町内各会場において狂犬病予防注射集合接種を行い、狂犬病予防注射の接種率向上を図った。 ・飼い犬台帳登録数 500 頭 ※令和6年3月31日現在 ・飼い犬新規登録数 32 頭 ・狂犬病予防注射済票交付数 448 頭 ※接種率89.60% (R4:91.81%) ・狂犬病予防注射集合接種 (1次集合) 4/26・4/27・4/28 11 会場 (2次集合) 5/21 1 会場									
(次頁へ続く)										

4 款	1 項	5 目
-----	-----	-----

【塩釜地区斎場運営経費】

1 利用実績

種別 \ 年度	令和5年度 (件)	令和4年度 (件)	令和3年度 (件)
火 葬 件 数	239	222	204
前 年 比	17	18	△ 8

2 塩釜地区斎場負担金	16,689,000 円
※内訳 管理費負担金	5,993,000 円
投資的経費負担金	10,696,000 円

■水道事業所 施設班所管

【合併処理浄化槽設置事業】

1 補助金交付実績
公共下水道計画区域外

人槽区分	補助基数 (基)	補助金額 (円)
5人槽	5 (1)	1,660,000
6 ～ 7人槽	2 (0)	828,000
8 ～ 10人槽	0 (0)	0
合 計	7 (1)	2,488,000

※上記表中、補助基数の内 () の数字は、優良田園住宅「くぬぎ台」設置分である。

公共下水道計画区域内

人槽区分	補助基数 (基)	補助金額 (円)
5人槽	0	0
6 ～ 7人槽	0	0
8 ～ 10人槽	0	0
合 計	0	0

2 浄化槽法関連権限移譲事務処理実績

①浄化槽の設置等に関する届出受理件数 (建築確認経由分を含む) ※法第5条第1項、第2項、第4項、法第10条の2に基づく事務	7 件
②浄化槽管理者等への立入検査・報告徴収件数 ※法第12条、第53条に基づく事務	0 件
③浄化槽工事業者への指示件数 ※法第32条第1項に基づく事務	0 件

3 合併処理浄化槽設置等改造資金斡旋状況

斡旋申請 件数 (件)	斡旋金額 (円)	利子補給金額	
		予算額 (円)	決算額 (円)
0	0	97,000	0

実績

課題
方向性

■総務課 環境防災班所管

令和5年6月8日に宣言した、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、環境に配慮した施策等を展開し、地球温暖化の防止を図る。

環境美化については、地区や環境美化推進員、公衆衛生組合連合会の協力の下、ごみゼロ運動などを通じて環境美化意識の向上を図るとともに、不法投棄の抑止に向け、定期的な巡回や啓発看板の設置等を引き続き行い、ごみのない綺麗なまちづくりに努める。

■水道事業所 施設班所管

合併浄化槽は下水道の使用できない区域において、生活排水の処理対策として有効な手段であることから事業を継続していく必要がある。住宅新築及び改築の戸数によって設置基数が左右されやすいことから、引き続き広報等による周知により合併処理浄化槽設置の普及促進を図っていく。

合併処理浄化槽設置整備事業の整備状況

年 度	設置基数 (基)	整備済人口 (人)	設置基数内訳(基)				総事業費 (千円)	内訳(千円)			備 考
			5人槽	6～7人槽	8～10人槽	11人槽以上		国庫補助金	県補助金	一般財源	
平成 3～30 年度	447	28,706	101	237	101	8	222,391	73,817	56,421	92,153	
令和 元 年度	5	1,991	2	2	1	0	2,040	477	0	1,563	下水道計画区域外 4基 下水道計画区域内 1基
令和 2 年度	8	1,994	3	4	1	0	3,200	1,067	0	2,133	下水道計画区域外 8基 下水道計画区域内 0基
令和 3 年度	9	2,011	4	4	1	0	3,532	1,380	0	2,152	下水道計画区域外 9基 下水道計画区域内 0基
令和 4 年度	8	2,027	4	3	1	0	3,118	1,380	0	1,738	下水道計画区域外 6基 下水道計画区域内 2基
令和 5 年度	7	1,975	5	2	0	0	2,488	698	0	1,790	下水道計画区域外 7基 下水道計画区域内 0基
計	484		119	252	105	8	236,769	78,819	56,421	101,529	

※補助金額(平成19年度より改定) (単位:千円)

	5人槽	6～7人槽	8～10人槽	11人槽以上
17年度まで	354	411	519	981
18年度まで	342	414	537	939
現行(19年度から)	332	414	548	939

合併処理浄化槽地域別設置状況

年 度	(単位:基)									
	磯 崎	高 城	桜渡戸	手 樽	根 廻	初 原	幡 谷	竹 谷	北小泉	計
平成 3～30 年度	3	25	17	104	27	32	167	51	21	447
令和 元 年度	0	1	0	0	0	0	3	1	0	5
令和 2 年度	0	1	0	1	0	1	4	1	0	8
令和 3 年度	0	0	1	2	1	1	4	0	0	9
令和 4 年度	0	2	0	1	1	1	2	1	0	8
令和 5 年度	0	0	0	0	1	0	5	1	0	7
計	3	29	18	108	30	35	185	55	21	484

し尿処理の状況(人口内訳の推移)

年 度	計画処理区域面積 (km ²)	計画処理区域内世帯数 (世帯)	総人口															備 考
			計画処理区域内人口															
				非水洗化人口			水洗化人口					水洗化率 (%)						
				し尿汲取り人口 (人)	自家処理人口 (人)		公共下水道人口 (人)	コミプラ人口 (人)	浄化槽人口				単独処理浄化槽人口 (人)					
									合併処理浄化槽人口									
												補助 (人)	農業 (人)	その他 (人)				
平成 26 年度	53.56	5,647	14,918	14,918	961	961	0	13,957	9,929	0	4,028	2,280	1,808	0	472	1,748	93.5	
平成 27 年度	53.56	5,683	14,817	14,817	896	896	0	13,921	9,251	0	4,670	2,929	1,873	0	1,056	1,741	93.9	
平成 28 年度	53.56	5,676	14,632	14,632	626	626	0	14,006	9,238	0	4,768	3,027	1,926	0	1,101	1,741	95.7	
平成 29 年度	53.56	5,652	14,366	14,366	565	565	0	13,801	8,950	0	4,851	3,116	1,984	0	1,132	1,735	96.0	
平成 30 年度	53.56	5,630	14,073	14,073	1,752	1,752	0	12,321	8,993	0	3,328	3,158	2,015	0	1,143	170	87.5	
令和 元 年度	53.56	5,637	13,820	13,820	1,654	1,654	0	12,166	8,939	0	3,227	3,073	1,991	0	1,082	154	88.0	
令和 2 年度	53.56	5,676	13,594	13,594	1,635	1,635	0	11,959	9,182	0	2,777	2,626	1,994	0	632	151	87.9	
令和 3 年度	53.56	5,714	13,445	13,445	1,505	1,505	0	11,940	9,155	0	2,785	2,636	2,011	0	625	149	88.8	
令和 4 年度	53.56	5,742	13,264	13,264	1,455	1,455	0	11,809	9,010	0	2,799	2,651	2,027	0	624	148	89.0	
令和 5 年度	53.56	5,718	13,019	13,019	1,363	1,363	0	11,656	8,933	0	2,723	2,578	1,975	0	603	145	89.5	

○人口は各年度の3月31日現在の人数とする

○用語の解説

コミプラ・・・コミュニティプラント

補助・・・合併処理浄化槽設置整備事業により整備したもの

農業・・・農業集落排水施設

○公共下水道、浄化槽等の人口は当該年度内に設置したもの

一般会計

4	款	1	項	6	目	公害対策費				
担当部署名				総務課環境防災班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
	696		586		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
										586
目的										
生活環境(自動車交通騒音・環境騒音)の騒音に関する実態を把握するため、町内6地点において騒音測定を実施する。										
評価 成果	事務事業名称			業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	公害対策事務事業経費			C	-	-	自動車騒音測定を町内4地点で実施し、昼夜ともに規制基準値及び環境基準値以内であることが確認された。 また、環境騒音測定については、町内2地点で実施し、環境基準値以内の結果であった。			
【公害対策事務事業経費】										
実績	1 自動車交通騒音測定 (主要幹線道路4地点) (単位: dB)									
	測定地点						調査結果			
							昼 間	夜 間		
	①根廻交差点 (国道45号・三陸自動車道)						66	61		
	②初原町営住宅入口 (県道仙台松島線・三陸自動車道)						65	58		
	③磯崎長田 (奥松島松島公園線)						69	62		
	④磯崎美映の丘 (町道根廻磯崎線)						59	45		
	環境基準値						70	65		
	規制 (要請限度) 基準値						75	70		
	※測定実施日: 令和5年10月16日～17日 (昼間: 6時～22時／夜間: 22時～6時)									
	2 環境騒音測定 (町内2地点) (単位: dB)									
	測定地点						調査結果			
							昼 間	夜 間		
	⑤華園集会場						47	39		
	⑥垣ノ内集会場						51	45		
環境基準値						55	45			
※測定実施日: 令和5年10月16日～17日 (昼間: 6時～22時／夜間: 22時～6時)										
○環境基準値 環境基本法に基づき、騒音に係る環境基準について、都市計画法に基づく用途地域の区分毎に設定している。 ①・②: 市街化調整区域で適用外だが、③・④を準用 昼間: 70db／夜間: 65db ③・④: 第2種住居地域で2車線以上の道路に面する地域 昼間: 70db／夜間: 65db ⑤・⑥: 第1種低層住居専用地域・第1種住居地域 昼間: 55db／夜間: 45db										
○規制 (要請限度) 基準値 騒音規制法により、自動車騒音の限度を設定している。 ①～④: 高速自動車国道、一般国道、都道府県道及び市町村道に近接する区域 昼間: 75db／夜間: 70db										
○測定時期について 測定時期は、騒音が1年間を通じて平均的な状況を呈する日(秋期の平日)を選定している。										
課題 方向性										
測定した6地点全てが環境基準値以内であったが、生活環境を保全し、健康の保護に資することを目的に今後も継続して測定を行う。 なお、基準値を超える測定結果や騒音に係る苦情、相談があった場合については、実情を把握し、県や関係機関と連携を図りながら早期解決に努める。										

一 般 会 計

4 款	1 項	7 目	新型コロナウイルスワクチン接種対策費						
担当部署名			健康長寿課健康づくり班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳						
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	59,684	54,215	54,156			59			
目的	新型コロナウイルス感染症に係る予防接種（厚生労働大臣指示）に基づき、町民の接種体制を確保し、安全かつ速やかに希望する者へのワクチン接種を実施する。接種の実施により新型コロナウイルス感染症のまん延防止、重症化予防を図る。								
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	新型コロナウイルスワクチン接種対策費	A	4.7	3.7	医療機関との連携のもと年間を通して接種体制を確保し、令和5年春開始接種、令和5年秋開始接種を適切かつ滞りなく実施した。 厚生労働大臣指示による新型コロナウイルスワクチン接種は令和6年3月末をもって一切を終了した。				
実績	【接種体制の確保業務】								
	1 接種機会の確保								
	・ 需用費（会場光熱水費）						2,202,000円		
	・ 需用費（会場燃料費）						1,891,000円		
	接種体制（確保した接種枠）								
	区分		接種期間		実施回数	接種枠数	接種会場	総実施日数	
	集団 接種	春開始 接種	R5年 6月 6日～ 6月19日		14回	3,920枠	保健福祉センター	31日程	
		秋開始 接種	R5年11月13日～12月 1日		17回	4,760枠			
	個別 接種	医療機関接種 （町内は4医療機関で実施） 高齢者施設等の入所者接種 巡回接種（在宅療養者等）			R5.4月～ R6.3月まで 随時実施	町内医療機 関接種枠 4,500枠	全国の医療機関	随時	
							町内3施設		
							居宅・グループホーム		
	2 相談対応								
	・ 相談対応件数：4,496件								
	・ コールセンター労働者派遣委託料						10,282,853 円		
	相談実績								
	内容					件数			
	接種予約・日程変更に関する相談					1,838件			
	ワクチン接種の手続き、接種券に関する問合せ他					1,262件			
	ワクチン接種を希望しない					1,151件			
	ワクチンの特徴・基礎疾患・副反応について					235件			
	送迎について					5件			
接種証明書について					5件				
3 集団接種時の送迎実施									
・ 送迎業務委託料（バス・ジャンボタクシー）						2,340,452 円			
送迎実績									
区分		送迎便数(往復で1便)		利用者数		車1台あたり乗車人数			
春開始接種		50便		447人		8.9人			
秋開始接種		50便		365人		7.3人			
4 接種券の作成・予約管理の実施									
・ 接種券作成業務委託料						3,649,470 円			
・ システム改修費（2回実施）						891,000 円			
・ 予約システム管理業務委託料						1,980,000 円			
(次頁へ続く)									

【ワクチン接種の実施状況】

1 令和5年度接種実績

総接種回数：8,608回（うち、休日接種1,272回）

* 予診のみ：16回

2 令和3年度からの累計接種率

（各表 令和6年3月31日時点の現存者分）

○年代別接種状況

（単位：上段：人、下段：％）

年齢階級	区分	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	接種計	未接種
6ヶ月～4歳	人数	0	1	7	0	0	0	0	8	277
	率	0	0.4	2.5	0	0	0	0	2.9	97.1
5歳～11歳	人数	0	93	110	6	0	0	0	209	349
	率	0	16.7	19.7	1.1	0	0	0	37.5	62.5
12歳～16歳	人数	3	90	198	135	23	0	0	449	97
	率	0.5	16.5	36.3	24.7	4.2	0	0	82.2	17.8
17歳～19歳	人数	1	70	100	68	19	0	0	258	30
	率	0.3	24.3	34.7	23.6	6.6	0	0	89.5	10.5
20歳～29歳	人数	3	136	247	157	52	16	4	615	85
	率	0.4	19.4	35.4	22.4	7.4	2.2	0.6	87.8	12.2
30歳～39歳	人数	3	170	337	295	107	17	6	935	144
	率	0.3	15.8	31.2	27.3	9.9	1.6	0.6	86.7	13.3
40歳～49歳	人数	6	182	395	519	217	36	18	1,373	182
	率	0.4	11.7	25.4	33.4	14.0	2.3	1.2	82.3	17.7
50歳～59歳	人数	152	2	118	324	615	349	90	1,650	32
	率	9.0	0.1	7.0	19.3	36.6	20.7	5.4	98.1	1.9
60歳～64歳	人数	6	14	72	316	229	158	110	905	47
	率	0.6	1.5	7.6	33.2	24.1	16.6	11.6	95.1	4.9
65歳～74歳	人数	6	29	67	136	273	514	1,267	2,292	71
	率	0.3	1.2	2.8	5.8	11.6	21.8	53.6	97.0	3.0
75歳～	人数	5	29	88	106	268	487	1,402	2,385	75
	率	0.2	1.2	3.6	4.3	10.9	19.8	57.0	97	3.0
総計	人数	185	816	1,739	2,062	1,803	1,577	2,897	11,079	1,389
	率	1.5	6.6	13.9	16.5	14.5	12.6	23.3	88.9	11.1

○令和5年春開始接種の接種率

年齢区分	乳幼児	小児	12歳～64歳	65歳以上
接種率	対象外	対象外	4.6%	67.0%

○令和5年秋開始接種の接種率

年齢区分	乳幼児	小児	12歳～64歳	65歳以上
接種率	0%	1.1%	16.3%	56.7%

- ・ 集団接種業務委託（塩釜医師会）：31日程 6,088,120円
- ・ 集団接種業務委託（塩釜地区薬剤師会）：31日程 806,000円
- ・ 個別接種業務委託 7,037,019円
- ・ 会場業務労働者派遣委託 2,273,700円
- ・ 小児接種体制確保業務委託：1医療機関で実施 90,000円
- ・ 感染性廃棄物処理業務委託 39,600円

課題
方向性

令和3年5月より開始した、厚生労働大臣指示による新型コロナウイルスワクチンの住民接種は令和6年3月31日をもって終了した。この間の総接種回数は56,411回で大きな問題やミスなく完遂できた。令和6年度以降新型コロナ感染症の予防接種は「B類疾病」の定期接種に位置付けられることから、引き続き高齢者等を対象として希望者へのワクチン接種が滞りなく実施されるよう努め、感染症のまん延防止と重症化予防を図っていく。

一 般 会 計

4	款	1	項	8	目	長寿健康対策費															
担当部署名				健康長寿課健康づくり班							(単位:千円)										
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源												
	18,234		17,114					15,594	1,520												
目的	後期高齢者の特性を踏まえ、要介護状態や寝たきりになるリスクを低減させ、健康寿命の延伸につながるよう高齢者保健事業を実施する。																				
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果															
	長寿健康対策費		A	3.0	3.0	健康診査、集団健康教育、保健指導の実施により、高齢者自らが生活習慣を見直す機会を与え、生活改善をすすめたことにより健康状態の改善、健康寿命の延伸につながった。															
	【後期高齢者健康診査事業】 4,111,707 円 後期高齢者医療保険加入者に対し健康診査を実施した。																				
	<table><tr><td>健診名</td><td>対象者 (人)</td><td>受診者 (人)</td><td>受診率 (%)</td></tr><tr><td>お達者健康診査</td><td>2,661</td><td>637</td><td>23.9</td></tr></table>											健診名	対象者 (人)	受診者 (人)	受診率 (%)	お達者健康診査	2,661	637	23.9		
	健診名	対象者 (人)	受診者 (人)	受診率 (%)																	
	お達者健康診査	2,661	637	23.9																	
	【長寿・健康増進事業】 3,361,561 円 宮城県後期高齢者医療広域連合の受託事業として、被保険者の心身の健康保持・増進を目的に、75歳以上を対象とする転倒・骨折予防及び運動器の機能向上のための運動教室を実施した。																				
	<table><tr><td>事業名</td><td>内 容</td><td>人 数</td></tr><tr><td>健康体操教室</td><td>ストレッチ・座位立位運動・歩行練習・リズム運動を実施 (年48回)</td><td>受講者 38人、延べ 495人</td></tr><tr><td>健康水中運動教室</td><td>ストレッチ・水中ウォーキング・バランス及び筋力トレーニングを実施 (年16回)</td><td>受講者 7人、延べ 94人</td></tr></table>											事業名	内 容	人 数	健康体操教室	ストレッチ・座位立位運動・歩行練習・リズム運動を実施 (年48回)	受講者 38人、延べ 495人	健康水中運動教室	ストレッチ・水中ウォーキング・バランス及び筋力トレーニングを実施 (年16回)	受講者 7人、延べ 94人	
	事業名	内 容	人 数																		
	健康体操教室	ストレッチ・座位立位運動・歩行練習・リズム運動を実施 (年48回)	受講者 38人、延べ 495人																		
	健康水中運動教室	ストレッチ・水中ウォーキング・バランス及び筋力トレーニングを実施 (年16回)	受講者 7人、延べ 94人																		
	【高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業】 9,640,026 円 高齢者の医療・介護データ等を分析して地域の健康課題を把握し、疾病予防・重症化予防につながるよう、医療専門職が通いの場等へ関与したり、保健指導等を行い、高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施した。																				
<table><tr><td>事業名</td><td>内 容</td><td>人 数</td></tr><tr><td rowspan="2">糖尿病性腎症重症化予防事業</td><td>糖尿病性腎症重症化予防に対する通知、電話による受診勧奨及び保健指導</td><td>実 65人</td></tr><tr><td>糖尿病性腎症重症化予防プログラムによる保健指導 (電話、面接)</td><td>実 3人、延べ 18人</td></tr><tr><td>通いの場における健康教育事業</td><td>通いの場の参加者に対し、フレイル予防、生活習慣病重症化予防をテーマに健康教育を実施</td><td>延べ 10団体 実 103人、延べ 310人</td></tr></table>											事業名	内 容	人 数	糖尿病性腎症重症化予防事業	糖尿病性腎症重症化予防に対する通知、電話による受診勧奨及び保健指導	実 65人	糖尿病性腎症重症化予防プログラムによる保健指導 (電話、面接)	実 3人、延べ 18人	通いの場における健康教育事業	通いの場の参加者に対し、フレイル予防、生活習慣病重症化予防をテーマに健康教育を実施	延べ 10団体 実 103人、延べ 310人
事業名	内 容	人 数																			
糖尿病性腎症重症化予防事業	糖尿病性腎症重症化予防に対する通知、電話による受診勧奨及び保健指導	実 65人																			
	糖尿病性腎症重症化予防プログラムによる保健指導 (電話、面接)	実 3人、延べ 18人																			
通いの場における健康教育事業	通いの場の参加者に対し、フレイル予防、生活習慣病重症化予防をテーマに健康教育を実施	延べ 10団体 実 103人、延べ 310人																			
課題 方向性	本町の後期高齢者健康診査受診率は県、国に比較し低い状況である。さらに後期高齢者では慢性腎不全患者（透析あり）の増加や脳血管疾患、心疾患の標準化死亡比が高い状況が続いている。																				
	運動習慣がある人の割合が低く筋力低下、フレイルに移行する可能性が高い人も多い。これらの健康課題を踏まえ、その解決に向けて今後も継続して各事業を実施していく。																				

一 般 会 計

4	款	2	項	1	目	塵芥処理費					(単位:千円)
担当部署名				総務課環境防災班							
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳						
	192,684		191,285		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
							23,121	168,164			
目的 一般廃棄物の処理に関する計画に基づき、収集運搬を行うとともに廃棄物の減量化を図り、再利用を促進することで、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。											
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	塵芥処理経費		A	4.0	4.3	家庭系ごみについては、ごみカレンダーによる分別方法の周知や関係団体との連携により、適正な分別収集とごみの減量化に努めた結果、清潔な生活環境の保全を図ることができた。					
	宮城東部衛生処理組合負担金		B	-	4.0	多賀城市、七ヶ浜町、利府町、松島町で構成する宮城東部衛生処理組合において、ごみ処理施設等でのごみ処理及び施設管理に係る事務の経費に関し、構成市町が負担金を支出して適正な処理を行うことができた。					
実績	【塵芥処理経費】										
	1 ごみ処理実績										
	(単位：t)										
	区 分	年度 種別		令和5年度		令和4年度		令和3年度			
	家庭系ごみ	可燃ごみ		2,537		2,658		2,662			
		不燃ごみ		82		134		99			
		プラスチック製 容器包装		106		99		99			
		粗大ごみ		225		199		234			
		資源物		572		641		754			
		小計		3,522		3,731		3,848			
	事業系ごみ	可燃ごみ		1,631		1,533		1,348			
		不燃ごみ		11		10		10			
小計		1,642		1,543		1,358					
直接搬入ごみ			846		654		593				
合計			6,010		5,928		5,799				
2 松島町一般廃棄物収集運搬業務委託（家庭系ごみの収集）											
67,320,000 円											
【宮城東部衛生処理組合負担金】											
1 宮城東部衛生処理組合負担金											
123,549,319 円											
※内訳 ごみ処理負担金											
115,731,319 円											
投資的経費負担金											
7,818,000 円											
課題 方向性 ごみ処理実績については、新型コロナウイルス感染症が感染症法上において5類へと移行し、人流が増加したことに伴い、事業系ごみの量が増加した。 令和6年度から分別収集を開始する製品プラスチックについては、回収できるプラスチックの周知に努めながら、関係機関、団体と連携し、再資源化、再利用による二酸化炭素排出量の削減を図る。 また、災害廃棄物については、東日本大震災や令和元年東日本台風、令和4年7月豪雨等の災害を踏まえ、さらには、今後の日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に備え、災害時に適正かつ円滑・迅速に処理できるよう、実効性のある処理計画の策定を進める。											

一 般 会 計

4	款	2	項	2	目	し尿処理費				
担当部署名				総務課環境防災班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	66, 979		66, 979						66, 979	
目的	町内のし尿・浄化槽汚泥の処理を促進し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	塩釜地区環境センター負担金		B	-	3. 7	各家庭や事業所から出された、し尿及び汚泥について、塩釜地区環境センターで処理を行ったことにより、公衆衛生の保全を行うことができた。				
実績	【塩釜地区環境センター負担金】									
	1 塩釜地区環境センター負担金								66, 979, 000 円	
	2 し尿・汚泥処理実績								(単位 : t)	
			年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	種別									
	し 尿				2, 423		2, 565		2, 593	
	汚 泥				1, 326		1, 170		1, 208	
	合 計 (前 年 比)				3, 749 (14)		3, 735 (△ 66)		3, 801 (△ 384)	
課題 方向性	塩釜地区環境センターは、施設の老朽化（平成11年4月供用開始）が進行しており、また、供用開始当時と比べ搬入量が減少していることから、施設の更新を見据えた整備方針や運転手法を検討する必要がある。 当該センターの整備方針等について、構成市町と協議を重ねながら、日々のし尿処理が適正な管理の下で安定した稼働が行われるよう情報を共有し、迅速かつ適切な処理により公衆衛生の向上を図る。									

一 般 会 計

5 款	1 項	1 目	勤労青少年ホーム費					
担当部署名		勤労青少年ホーム					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳				
	13, 222	12, 195		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
							527	11, 668
目的	勤労青少年ホームの維持管理及び社会教育事業等を実施することにより、生涯学習の振興を図る。 また、図書室の充実を図り、芸術文化の振興を促進する。							
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	管理運営費	B	-	3.0	町民や自主グループへの安全安心で利用しやすい施設維持に努めたことで、利用者数は増加した。また、図書室の環境整備や、蔵書の充実を図ることで、町民等に学習、調査、研究の場を提供し、社会教育の推進が図られた。			
	図書館管理運営費	A	3.3	4.0	寄付を活用することで主に幼児向け図書の充実が図られた。			
実績	【管理運営費】11, 687, 465 円							
	1 事業 (単位:回)							
	名 称	内 容			期 日	回 数		
	一箱古本市	図書室の利用促進と廃棄本の再活用を図るため古本市を開催した。			7月2日	1		
	親子料理教室	親子で楽しくフライパンでピザを作った。			2月23日	1		
	2 施設利用状況 (単位:人、件)							
		音楽室	集会室	講座室	調理室	研修室	合計	
	人数	1, 471	2, 216	301	96	395	4, 479	
	件数	264	293	56	9	55	677	
	3 図書室利用人数等 (単位:人、冊)							
	区 分	利用人数及び貸出冊数		1日平均				
		人数	冊数	人数	冊数			
松 島 町 内	一 般	4, 326	14, 737	14. 3	48. 8			
	児 童	1, 357	6, 447	4. 5	21. 3			
松 島 町 外	一 般	19	42	0. 1	0. 1			
仙 台 都 市 圏	一 般	43	107	0. 1	0. 4			
県 図 書 館	一 般	91	299	0. 3	1. 0			
団 体		38	200	0. 1	0. 7			
閲 覧 者	全	1, 295	—	4. 3	—			
合 計	—	7, 169	21, 832	23. 7	72. 3			
※開館日数 302 日								
※上表に、図書巡回文庫の利用は含んでいない。								
4 ブックラリー参加者 (単位:人、冊)								
	実施期間			参加者数	貸出冊数			
春のブックラリー				4月15日 ~ 5月28日	36	360		
秋のブックラリー				10月21日 ~ 11月26日	37	370		
※上表は、「利用人数等」の利用人数、冊数に含む。								
(次頁へ続く)								

5	款	1	項	1	目
---	---	---	---	---	---

5 巡回図書

(単位：回)

名 称	内 容	期 日	回 数
図書巡回文庫	幼稚園、保育所、児童館、小学校などに移動文庫を設置し、子どもが本と触れ合い親しむ機会を提供した。	毎月	○幼稚園 11 ○保育所 12 ○児童館 12 ○小学校 11 ○こども園 11

6 蔵書内訳

(単位：冊、%)

区 分	蔵書冊数	蔵書比率
一 般 図 書	30,047	67.72
児 童 図 書	13,147	29.63
洋 書	96	0.22
参 考 図 書	17	0.04
郷 土 資 料	1,060	2.39
合 計	44,367	100.00

令和5年度図書増減内訳

(単位：冊、%)

区 分	冊 数	比 率
一 般 図 書	269	0.59
児 童 図 書	527	1.16
寄 贈	437	0.97
抹 消	△ 2,147	△4.74
合 計	△ 914	△2.02

(前年度45,281冊からの比率)

※令和6年3月末日の蔵書冊数は、44,367冊である。

7 子どもの本移動展示会

実施期間 令和5年7月22日～7月30日まで 8日間（休館日を除く）

展示冊数 200冊（期間中の閲覧者 82人）

※「子どもの本展示会」は県内の希望する市町村図書館・図書室を巡回展示し、児童書にふれる機会や新しい本との出会いの場として、また選書の参考として宮城県図書館が実施する事業である。

※「子どもの本展示会」閲覧者は、利用人数の閲覧者に含まない。

【図書館管理運営費】

寄贈・助成

(1) 町内在住者から幼児教育に資する絵本等の購入費用50万円

(絵本・児童書・育児本等の購入)

413 冊

507,430 円

(2) 日本図書協会助成（令和4年3月発災 福島県沖地震の被災支援）

一般図書の現物給付（195,492円分）

126 冊

実績

課題
方向性

町民が集い、サークル活動や学びの場として有効に利用できるよう施設の維持管理に努める。図書室については、利用者のニーズも反映しつつ蔵書の充実を図ることと利用促進となる事業の実施に努める。

一 般 会 計

5	款	1	項	2	目	労働諸費				
担当部署名				産業観光課産業振興班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	38,781		38,781					33,000	5,781	
目的	シルバー人材センターの支援、勤労者融資制度運営のための預託、職業訓練校の事業支援等を行う。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	労働振興経費		B	-	3.3	各補助金、預託金の支払いを行い、健全な事業運営に寄与することができた。				
実績	1 松島町勤労者生活安定資金融資預託金 15,000,000円 ・令和5年度融資状況(令和6年3月末現在)									
	融資の種類	融資限度額	返済期間	金利	融資件数	融資金額				
	生活資金	100万円	7年以内	年2.75%	1件	184,566円				
	教育資金	300万円	10年以内	年1.45%	2件	2,406,408円				
	福祉資金	100万円	7年以内	年1.25%	0件	0円				
	自動車資金	200万円	7年以内	年1.45%	12件	9,348,421円				
	うち令和5年度中新規				3件	3,860,000円				
	2 勤労者福祉一般預託金 18,000,000円 ・令和5年度融資状況(令和6年3月末現在)									
	資金使途				融資件数	融資金額				
	住宅ローン、教育ローン、マイカーローン等				311件	1,308,835,724円				
	うち令和5年度中新規				26件	155,140,000円				
	3 塩釜建設技能者訓練協会補助金 171,000円 ・令和5年度訓練生…5名(松島町からの訓練生1名)									
	4 宮城県労働保険事務組合連合会負担金 10,000円									
	5 松島町シルバー人材センター事業補助金 5,600,000円 ・令和5年度事業実績									
	項目	令和5年度実績		令和4年度実績		前年度との比較				
	会員数	160人		148人		12人				
	うち男性	116人		109人		7人				
	うち女性	44人		39人		5人				
	受注件数	467件		460件		7件				
	うち公共	22件		23件		△1件				
	うち民間	443件		437件		6件				
	うち派遣	2件		0件		2件				
	契約金額	52,553千円		49,260千円		3,293千円				
	うち公共	24,790千円		22,961千円		1,829千円				
	うち民間	27,375千円		26,299千円		1,076千円				
	うち派遣	388千円		0千円		388千円				
	就業延人数	8,293人		8,036人		257人				
	就業率	70.00%		62.20%		7.80%				
課題 方向性	勤労者に向けた融資制度については、東北労働金庫と連携し制度活用について周知を継続していく、勤労者の生活安定に努める。 シルバー人材センター事業は、会員増加、請負・派遣就業の拡大、新規就業の開拓により、高齢者の就業機会の確保に取り組む。									

一 般 会 計

6 款		1 項		1 目		農業委員会費																						
担当部署名				産業観光課産業振興班					(単位:千円)																			
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																							
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																			
	13, 004		12, 532			1, 739		476	10, 317																			
目的	農地法等に基づく農地に関する事務を執行し、農地等の利用の最適化の推進（担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進）に向け、地域の実態に応じた対策の強化を図る。																											
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果																						
	農業委員関係経費		A	3. 7	3. 0	遊休農地の発生防止・解消について、農地パトロールにより発生防止に努めたが解消までには至っていない。 農地中間管理事業等による、担い手への農地の利用集積が図られた。 新規参入の相談、農地あっせん等の情報を提供し、新規就農へ繋がられた。																						
実績	※ 農地等の利用の最適化の推進とは (1) 遊休農地の発生防止・解消 (2) 担い手への農地利用の集積・集約化 (3) 新規参入の促進																											
	1 農地等の利用状況																											
	(1) 遊休農地の発生状況																											
	<table><tr><td>年 度</td><td>農地面積</td><td>遊休農地面積</td><td>遊休農地割合</td><td>遊休農地面積（前年比）</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>1, 043 ha</td><td>55. 40 ha</td><td>5. 31 %</td><td>3. 12 ha 増</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>1, 041 ha</td><td>47. 69 ha</td><td>4. 58 %</td><td>7. 71 ha 減</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>1, 034 ha</td><td>49. 80 ha</td><td>4. 82 %</td><td>2. 11 ha 増</td></tr></table> (農地面積は、農業委員会が行う農地利用状況調査から集計)									年 度	農地面積	遊休農地面積	遊休農地割合	遊休農地面積（前年比）	令和3年度	1, 043 ha	55. 40 ha	5. 31 %	3. 12 ha 増	令和4年度	1, 041 ha	47. 69 ha	4. 58 %	7. 71 ha 減	令和5年度	1, 034 ha	49. 80 ha	4. 82 %
年 度	農地面積	遊休農地面積	遊休農地割合	遊休農地面積（前年比）																								
令和3年度	1, 043 ha	55. 40 ha	5. 31 %	3. 12 ha 増																								
令和4年度	1, 041 ha	47. 69 ha	4. 58 %	7. 71 ha 減																								
令和5年度	1, 034 ha	49. 80 ha	4. 82 %	2. 11 ha 増																								
実績	(2) 担い手への農地利用の集積・集約化																											
	<table><tr><td>年 度</td><td>農地面積</td><td>担い手への集積面積</td><td>担い手への集積率</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>935 ha</td><td>548 ha</td><td>58. 6 %</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>918 ha</td><td>541 ha</td><td>58. 9 %</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>922 ha</td><td>542 ha</td><td>58. 8 %</td></tr></table> (農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積)									年 度	農地面積	担い手への集積面積	担い手への集積率	令和3年度	935 ha	548 ha	58. 6 %	令和4年度	918 ha	541 ha	58. 9 %	令和5年度	922 ha	542 ha	58. 8 %			
	年 度	農地面積	担い手への集積面積	担い手への集積率																								
	令和3年度	935 ha	548 ha	58. 6 %																								
令和4年度	918 ha	541 ha	58. 9 %																									
令和5年度	922 ha	542 ha	58. 8 %																									
(次頁へ続く)																												

6	款	1	項	1	目
実績	2 農地法等に基づく権限に属する事務 (1) 農地法第3条に基づく許可事務 (12 件 : 34,479 m²) (前年度 16 件 : 79,106.91 m²) (2) 農地転用に関する事務 (意見を付して知事への送付) (17 件 : 34,873 m²) (前年度 18 件 : 25,793.21 m²) 農地転用に関する事務 (市街化区域内) (1 件 : 542 m²) (前年度 2 件 : 952 m²) (3) 非農地証明願 (5 件 : 5,716 m²) (前年度 10 件 : 4,778.53 m²) (4) 農業経営基盤強化法促進法による農用地利用集積 所有権の移転 (0 件 : 0 m²) (前年度 4 件 : 10,638 m²) 利用権の設定 (43 件 : 459,857 m²) (前年度 38 件 : 405,742 m²) (5) 農業者年金事業 (受給者) (76 人) (前年度 82 人)				
課題 方向性	農業従事者の高齢化や後継者不足により耕作者の確保が困難な状況となっている。農地中間管理事業の活用による地域の担い手への農地の集積・集約化の促進と新たな担い手の確保、新規就農者への支援を関係機関と取り組み、農地の有効活用と遊休農地の解消や発生防止等の対策の強化を図っていく。				

一 般 会 計

6	款	1	項	3	目	農業振興費				
担当部署名				産業観光課産業振興班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	29, 590		28, 106			8, 525		7, 392	12, 189	
目的	町の農業振興については、経営所得安定対策により担い手農家の経営安定、米の安定供給、食料自給率・食料自給力の向上を図り、水田を最大限に有効活用できるよう、地域の特色をいかした魅力的な産地づくり等の支援を実施する。 また、新規就農者や農業関係の各種団体活動への補助金の交付を実施し、担い手の育成及び農業振興に資する。 手樽海浜公園及び農村公園3箇所の維持管理を行い、利用者の憩いの場として安全な公園環境を提供する。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	経営所得安定対策等推進事業費		B	-	3.7	仙台農業協同組合等の関係機関と連携し、需要に応じた米の計画的生産と大豆・飼料用米・飼料作物の団地化や、町振興作物の作付け推進により水田の有効活用が円滑に行われるよう推進した。				
	農業振興経費		A	3.3	3.7	次世代を担う農業者となることを志向する新規就農者に対し補助金を交付し、担い手の育成を図った。 また、中間管理事業を活用し、農業経営の規模拡大や効率化を図る担い手農家への農地集積を行った。				
	農村環境改善センター管理運営経費		B	-	3.3	指定管理者による適切な管理運営がなされた。				
	中山間地農業ルネッサンス推進事業		A	3.3	3.7	バイオ炭の農地への利用による二酸化炭素削減の仕組み等に関する説明会を開催した。 また、竹やもみ殻を用いてバイオ炭を製造し、農地利用に適しているか成分分析を実施した。				
	手樽海浜公園等管理経費		B	-	3.0	手樽海浜公園及び農村公園について、適切な維持管理を行った。				
	農村集落活性化推進事業		A	3.3	3.7	農村集落の営農組織等に対し、農村集落活性化を推進する支援金を交付した。				
1 経営所得安定対策等推進事業										
○事業実施主体 松島町地域農業推進協議会 補助額 626, 000 円										
○国から農業者への交付実績										
・水田活用の直接支払交付金										
戦略作物助成 大豆 4 件 13, 279, 000 円										
飼料用米 39 件 117, 746, 293 円										
飼料作物 (牧草) 9 件 362, 000 円										
産地交付金 46 件 13, 532, 300 円										

(次頁へ続く)

(次頁へ続く)

6	款	1	項	3	目
---	---	---	---	---	---

転作実施面積	372.6 ha
一般作物	186.5 ha
大豆	37.9 ha
飼料用米	145.7 ha
飼料作物	2.9 ha
備蓄米	25.4 ha
永年作物（果樹・花木他）	7.5 ha
特例作物（野菜）	24.1 ha
調整水田・養魚水田	1.1 ha
自己保全管理	124.0 ha
その他	4.0 ha

対 象 水 田：	820.4 ha
生産の目安面積換算：	469.0 ha
生産の目安割合：	57.2 %
主食用水稻作付面積：	447.4 ha
主食用米作付割合：	54.5 %
実 施 農 家 数：	448 戸

実績

- 2 農業経営基盤強化資金利子助成事業
○融資対象農家数：1戸
利子助成額 901 円
- 3 農地集積・集約化対策事業補助金
○対象者：1地域、1戸
補助額 1,037,800 円
- 4 地域計画策定推進緊急対策事業
○農地利用目標地図素案等作成業務委託 1,501,060 円
○地域計画策定に係る現況地図データ作成業務委託 119,240 円
- 5 新規就農者育成総合対策事業（経営開始資金）
○対象者：1名
補助額 1,500,000 円
- 6 市町村初期投資促進事業
○対象者：1名
補助額 3,129,000 円
- 7 品井沼農村環境改善センター管理運営経費
○指定管理料 4,929,372 円
・ 利用件数：738件 利用者数：8,454人
- 8 農山漁村振興交付金事業（中山間地農業ルネッサンス事業）
○バイオ炭の農地利用に関する説明会
・ 参加者数：25名
○バイオ炭が農地利用に適しているかの成分分析
・ もみ殻くん炭 有害物質検出なし
・ 牡蠣棚柱竹 有害物質検出なし
・ 牡蠣棚梁竹 有害物質検出なし
・ 真竹 有害物質検出なし
・ 孟宗竹 有害物質検出なし

（次頁へ続く）

6	款	1	項	3	目
実績	9 手樽海浜公園等管理経費 ○委託料 ・手樽海浜公園他除草業務委託（年4回） 2,244,488 円 ・手樽海浜公園他清掃業務委託（週1回） 1,246,465 円 ・手樽海浜公園他遊具定期点検業務委託（年1回） 605,000 円 ・手樽海浜公園公衆便所浄化槽保守点検業務委託（月1回） 55,000 円 ・手樽海浜公園公衆便所浄化槽清掃業務委託（年1回） 64,783 円 273,240 円				
	10 農村集落活性化推進事業 ○交付対象団体：11団体 交付額 7,230,000 円				
課題 方向性	農業経営安定のため、実需に応じた米の生産を推進し、水田を活用した高収益作物である「ネギ、玉ねぎ、白菜、ばれいしょ」及びその他高収益作物の生産面積の拡大を図り、農業所得の向上に働きかける。併せて特色のある農産物の生産を推進していく。 また、町の農業振興のためには、農業従事者の高齢化に伴う離農に歯止めをかける施策が必要となることから、新規就農者の確保や支援を継続し、担い手の育成、後継者の育成について県や仙台農業協同組合と協力し支援体制の充実に努める。 品井沼農村環境改善センターについては、施設運営を適切に実施できるよう指定管理者に働きかけていく。 手樽海浜公園等については、利用者が安全に、安心して利用できるよう設備や遊具の点検や修繕を実施し施設の維持管理に努める。				

一般会計

6	款	1	項	4	目	農地費			
担当部署名				産業観光課産業振興班・建設課建設班				(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳				
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	51,369		50,328			17,431	4,300		28,597
目的	松島農業振興地域整備計画に位置づけられている農業生産基盤整備事業を、各種農業農村整備事業により実施し、優良農地の効率的利用と、基幹水利施設の更新により、湛水・冠水被害の軽減を図り、農作物の安定生産と農業経営の効率化に資する。 また、農村・農地の多面的機能の維持・発揮を図り、農業振興に寄与するとともに、土地改良施設を後世まで保全することを目的とする。								
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	多面的機能支払交付金事業		B	-	3.7	各地域の6協議会によって草刈り・水路の土砂上げ等が実施され、地域環境等の保全管理が図られた。			
	土地改良事業費＜営農に係る経費＞		B	-	3.7	土地改良事業に係る団体の会議・研修会に参加することで、地域への指導・助言が行えた。			
	みやぎの地域資源保全活用支援事業		A	3.3	3.3	歴史旧跡や農村・農地等の地域資源の保全並びに活性化が図られた。			
	県営土地改良事業		B	-	3.7	県営湛水防除事業として補修工事を実施している志田谷地排水機場について、ポンプ整備を実施し、機能保全が図られた。			
	土地改良施設維持管理経費		B	-	3.3	土地改良施設の管理団体により、施設の運転管理等が実施され、適切な維持管理が図られた。			
	農村地域防災減災整備事業		A	3.7	3.3	町内の転落の恐れのあるため池について、ネットフェンスを設置し、ため池への転落事故を未然に防ぐことができた。			
	農業水利施設危機管理対策事業		A	3.3	3.7	町内の転落の恐れのあるため池について、救助ネットを設置し、ため池への転落事故防止が図られた。			
実績	■産業観光課 産業振興班所管								
	【多面的機能支払交付金事業】 多面的機能支払交付金事業補助金 ・ 協議会数 6協議会 補助額 21,762,180 円 【みやぎの地域資源保全活用支援事業】 みやぎの地域資源保全活用支援事業補助金 ・ 事業主体:根廻ふるさと保全隊 補助額 200,000 円								

(次頁へ続く)

(次頁へ続く)

6	款	1	項	4	目
実績	【土地改良施設維持管理経費】				
	1	委託料			1,741,300 円
	・ 土地改良施設維持管理業務委託他			1,741,300 円	
	2	負担金及び補助金			5,787,656 円
	・ 土地改良施設維持管理等負担金 国営造成施設2箇所、排水機場14箇所他			5,038,656 円	
	・ 土地改良施設維持管理補助金 土地改良事業（補修事業）			749,000 円	
	【農業水利施設危機管理対策事業】				
	1	工事請負費			1,052,700 円
	・ 萱野ため池救助ネット設置工事 救助ネット設置工 N=1箇所、L=48.0m、A=100㎡			1,052,700 円	
	【農村地域防災減災整備事業】				
	1	工事請負費			18,000,400 円
	(繰越明許費)				
	・ 農業用ため池ネットフェンス設置工事 ネットフェンス設置工 N=8箇所、L=635.1m			14,512,300 円	
	(繰越明許費)				
	・ 古浦3ため池外ネットフェンス設置工事 ネットフェンス設置工 N=2箇所、L=116.0m 救助ネット設置工 N=1箇所、L=40.0m、A=114㎡			3,488,100 円	
■建設課 建設班所管					
【県営土地改良事業】					
水利施設整備事業負担金 県営事業により、志田谷地排水機場のポンプ設備の整備工事を実施した。					
1	県営水利施設整備事業負担金			845,000 円	
・ 県営湛水防除事業負担金（志田谷地地区） （町負担割合 4.18%） 事業費 270,000,000 円 事業内容 第1ポンプ整備工、補機類整備工			845,000 円		
課題 方向性	■産業観光課 産業振興班 多面的機能の維持活動のため、農道の草刈りや補修等、農家と地域が連携して農村環境の保全をするため今後も6協議会への支援を行う。 また、農業用施設の安全確保のため、ため池ネットフェンス等設置工事を実施した。				
	■建設課 建設班 県営土地改良事業については、宮城県や関係市町と連携しながら事業の完了を目指していく。				

一 般 会 計

6 款	1 項	5 目	園芸振興費						
担当部署名			産業観光課産業振興班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳						
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	1,809	1,731				54	1,677		
目的	本町で開催する地産地消イベントへの支援等を行い、町内の生産者と消費者の交流を深めながら、地産地消の推進を図り、本町の地域産業の活性化に寄与していく。さらに町花である石斛の再生を目指し、培養事業を支援していく。また、引き続き農村婦人の家の適切な施設維持管理を行っていく。								
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	園芸振興関係経費	A	3.3	3.0	松島町地産地消実行委員会が開催する「まつの市」及び「まつしま産業まつり」においては、感染対策を講じながらのイベント企画・運営であったが、想定を上回る賑わいとなり、本町の地産地消の推進が図られた。				
	農村婦人の家等維持管理経費	B	-	3.0	適切な施設維持管理を行うことができた。				
実績	【園芸振興関係経費】								
	1 松島町地産地消実行委員会への補助金						700,000 円		
	・実施イベント								
	イベント名	開催日	会 場			来場者数(人)			
	第1回まつの市	5月27日	松島グリーン広場 (松島パークフェスティバル同時開催)			300			
	第2回まつの市	7月30日	松島町役場駐車場			200			
	第3回まつの市	9月24日	石田沢防災センター駐車場 (松島・利府地区商業まつり同時開催)			1,500			
	まつしま産業まつり	10月29日	松島町文化観光交流館駐車場 (文化観光交流まつり同時開催)			4,000			
	計					6,000			
	・滑川まつり出店 11月3日埼玉県滑川町で開催された「滑川まつり」において、松島産かきをはじめとする海産物の他、農産物の加工品、松島ブランド認定品等を販売し、本町の地場産品のPRを実施した。								
2 松島・夢・農業農村活性化推進協議会への補助金						500,000 円			
町花「石斛」の再生を目指し、培養施設の環境整備を図った。									
【農村婦人の家等維持管理経費】						456,847 円			
1 消耗品費、光熱水費、修繕料等									
2 利用実績 みそづくり 7 件									
課題 方向性	地産地消の推進を図るため、これまで以上に関係機関との連携を深め、地産地消イベントの開催、地産地消推進へ向け検討を進めていく。 町花「石斛」については、培養作業再開に向けて培養施設の環境整備を図り、再生に向けて支援を継続していく。 また、農村婦人の家については、引き続き加工施設として適切な維持管理に努める。								

6 款	1 項	6 目	畜産振興費																											
担当部署名			産業観光課産業振興班				(単位:千円)																							
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳																											
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																							
	105	103		5			98																							
目的	稲作と畜産の複合経営推進と優良仔牛の生産のため、畜産団体への支援を図る。 また、家畜伝染病への対策として関係機関との連携を図りながら情報収集を図る。																													
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果																									
	畜産業振興関係経費	A	3.3	3.3	本町の畜産農家は稲作との複業経営が主であり、経営推進のための支援を実施するとともに、家畜伝染の発生予防を図った。																									
実績	【畜産業振興関係経費】																													
	1 和牛生産団体育成支援事業 - 事業主体 松島町和牛改良組合 12戸 補助額 50,000 円 - 事業内容 繁殖牛の資質向上による優良仔牛の生産並びに母牛の生産率向上及び町内産優良仔牛の保留 2 令和5年度出荷実績 - 仔牛出荷頭数 75 頭 - 仔牛出荷額（平均） 555,609 円 - 高額販売額※ 去勢牛 972,400 円 牝牛 825,000 円 ※松島町和牛改良組合の組合員個人が販売した牛1頭価格の最高額 3 松島町の飼養頭羽数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>畜種別 年度</th> <th>繁殖牛 (頭)</th> <th>乳用牛 (頭)</th> <th>採卵鶏 (千羽)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>112</td> <td>27</td> <td>143</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>106</td> <td>34</td> <td>141</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>103</td> <td>33</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>105</td> <td>38</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>95</td> <td>40</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>							畜種別 年度	繁殖牛 (頭)	乳用牛 (頭)	採卵鶏 (千羽)	令和元年度	112	27	143	令和2年度	106	34	141	令和3年度	103	33	115	令和4年度	105	38	0	令和5年度	95	40
畜種別 年度	繁殖牛 (頭)	乳用牛 (頭)	採卵鶏 (千羽)																											
令和元年度	112	27	143																											
令和2年度	106	34	141																											
令和3年度	103	33	115																											
令和4年度	105	38	0																											
令和5年度	95	40	0																											
課題 方向性	近年、仔牛出荷額が下落及び飼料等の価格高騰により畜産団体を取りまく経営環境が悪化していることから、引き続き関係機関と連携を図りながら畜産団体を支援していく。																													

一 般 会 計

6 款	2 項	2 目	林業振興費							
担当部署名		産業観光課産業振興班							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳						
	45,755	45,534		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
					23,382		4,008	18,144		
目的	特別名勝松島の景観保全のため、松くい虫被害の拡大防止に努め、林業関係団体事業の支援と緑化推進を図る。									
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	松くい虫防除事業	A	4.0	4.0	地域の松林等を守るために、薬剤の空中散布や地上散布、樹幹注入を実施し、併せて被害木の伐倒駆除などを行い、松くい虫被害の拡大防止が図られた。					
	林業振興事務経費	B	-	4.0	民有林の林業振興・担い手育成並びに特用林産の振興に寄与した。また、松島町緑化推進委員会を支援し、地域や町内小中学校の緑化活動や、町内小学生へ森林体験教室を通して緑化推進が図られた。					
実績	【松くい虫防除事業】									
	1 特別防除事業（空中散布）									
	区 分	実施面積 (ha)		事業費 (円)		主な実施箇所				
	宮城県分	40.33		2,895,881		雁金森・湯ノ原 白坂山・三十刈				
	松島町分	39.58		2,842,028						
	全 体	79.91		5,737,909						
	事務委託契約締結により、県下全体を宮城県が一括発注									
	2 地上散布事業									
	区 分	実施面積 (ha)		事業費 (円)		主な実施箇所				
	宮城県分	6.52		631,516		大沢平・雁金森 銭神・西ノ浜 長松園				
	松島町分	19.28		1,867,427						
	全 体	25.8		2,498,943						
	事務委託契約締結により、県下全体を宮城県が一括発注									
	3 伐倒駆除事業（上段：R4実績・下段：R5実績）									
	区 分	被害本数 (本)		材積 (m³)		事業費 (円)				
	補 助 対 象	894		647.623		23,798,772				
		576		532.199		20,773,334				
	対 象 外	137		93.336		2,988,353				
		83		85.621		2,861,122				
	計	1,031		740.959		26,787,125				
		659		617.820		23,634,456				
	4 樹幹注入事業									
	実施本数 (本)		事業費 (円)		主な実施箇所					
	219		4,180,000		松島字雁金森・愛宕裏、桜渡戸字土井下					
	5 松くい虫被害木調査業務委託		825,000 円							
	6 森林機能回復事業業務委託（森林環境譲与税事業）		1,518,000 円							
	松島字雁金森周辺に抵抗性松を植樹した箇所周辺の下刈を実施した。									
	7 ナラ枯れ被害木駆除事業業務委託									
	実施本数 (本)		材積 (m³)		事業費 (円)		主な実施箇所			
69		45.347		2,145,000		松島字桜岡入・雁金森、手樽字銭神				
(次頁へ続く)										

(次頁へ続く)

6	款	2	項	2	目
---	---	---	---	---	---

【林業振興事務経費】

1 林業振興事業

- 長松園等生活環境保全林施設管理及び道刈業務委託 3,630,000 円
 - ・ 刈払面積：81,800㎡
- 森林情報管理システム保守管理業務委託 297,000 円

2 林業団体活動育成事業補助

No.	団 体 名 等	補助額
1	広域森林組合運営推進事業補助	200,000 円
2	松島町緑化推進委員会緑化推進事業補助	100,000 円

主な事業内容

- ・ 林業振興・林業諸施策等の情報提供及び林業後継者の育成・組織強化への支援
- ・ 町内の地域緑化活動、みどりの少年団活動への支援

実績

課題
方向性

松くい虫防除事業として、薬剤散布や伐倒駆除、松林保全のための樹幹注入、これまで植樹した抵抗性松の下刈り等保育事業を実施し、引き続き特別名勝「松島」の景観を守る。
また、地域緑化活動やみどりの少年団活動への継続支援や、町内小学5年生を対象とした林業体験や木工教室などの森林に触れる機会を引き続き提供していく。

特別名勝「松島」における松くい虫被害対策(被害発生状況)

1 年度別松くい虫被害発生状況

令和6年3月末現在 (単位:m³)

年度 市町	昭和 57	58	59	60	61	62	63	平成 元	2	3	4	5	6	7
塩 竈 市	16	18	11	30	41	41	65	249	923	281	456	561	313	1,719
多 賀 城 市	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	16	27	15	50
松 島 町	9	6	21	25	57	45	45	61	277	415	249	923	602	1,189
七 ケ 浜 町	2	7	10	11	4	19	9	63	188	158	207	306	469	362
利 府 町	1	6	11	3	18	13	24	7	22	23	35	19	169	370
東松島市(旧鳴瀬町)	109	107	277	846	765	1,058	1,560	1,315	1,699	1,952	2,203	1,865	2,502	3,115
特別名勝計(A)	137	144	330	915	885	1,180	1,703	1,695	3,109	2,830	3,166	3,701	4,070	6,805
県全体 (B)	5,181	5,826	7,797	12,841	14,060	14,324	13,952	13,756	18,552	18,255	18,402	17,651	21,185	27,731
(A)／(B) (%)	2.6%	2.5%	4.2%	7.1%	6.3%	8.2%	12.2%	12.3%	16.8%	15.5%	17.2%	21.0%	19.2%	24.5%

年度 市町	平成 8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
塩 竈 市	2,644	1,473	1,235	900	688	316	1,298	574	364	293	325	364	198	120
多 賀 城 市	13	10	-	34	-	-	-	-	15	9	3	-	-	-
松 島 町	1,198	1,178	628	622	637	827	887	737	734	959	643	779	577	457
七 ケ 浜 町	760	1,863	1,060	1,351	389	1,048	907	1,276	654	429	630	256	161	125
利 府 町	524	1,414	896	871	651	459	734	1,037	1,198	773	1111	672	597	260
東松島市(旧鳴瀬町)	3,108	3,819	4,173	5,300	2,595	1,884	1,682	1,982	1,607	2,250	1,715	1,705	1,681	1,751
特別名勝計(A)	8,247	9,757	7,992	9,078	4,960	4,534	5,508	5,606	4,572	4,713	4,427	3,776	3,214	2,713
県全体 (B)	28,986	28,353	26,195	26,287	20,465	21,562	23,447	23,455	23,132	19,253	18,428	17,445	14,213	13,742
(A)／(B) (%)	28.5%	34.4%	30.5%	34.5%	24.2%	21.0%	23.5%	23.9%	19.8%	24.5%	24.0%	21.6%	22.6%	19.7%

年度 市町	平成 22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和 元	2	3	4	5
塩 竈 市	206	261	617	708	223	518	629	442	393	178	86	170	168	223
多 賀 城 市	-	-	-	1	-	-	2	-	4	0	0	0	0	0
松 島 町	506	312	655	933	1658	3,192	2,416	2,271	1,632	1,433	1,201	797	920	750
七 ケ 浜 町	134	157	349	2167	987	1249	105	821	594	612	653	267	819	674
利 府 町	308	40	649	731	1069	1513	1,204	907	1,141	622	533	409	366	412
東 松 島 市	2,041	1,014	3,357	3,665	3,503	2,884	1,786	3,109	2,386	1,944	1,511	1,297	1,779	1148
特別名勝計(A)	3,195	1,784	5,627	8,205	7,440	9,356	6,142	7,550	6,150	4,789	3,984	2,940	4,052	3,208
県全体 (B)	13,742	11,160	15,401	17,335	15,208	16,523	13,700	14,935	13,215	9,612	10,151	9,305	9,111	8,493
(A)／(B) (%)	23.2%	16.0%	36.5%	47.3%	48.9%	56.6%	44.8%	50.6%	46.5%	49.8%	39.2%	31.6%	44.5%	37.8%

特別名勝「松島」における松くい虫被害対策(防除事業実施状況:空中散布)

2-1 年度別松くい虫防除事業実施状況(空中散布)

(単位:ha)

年度		昭和							平成						
市町		57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7
空中散布	塩竈市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	多賀城市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	松島町	113	113	150	150	150	160	160	160	160	160	100	90	90	90
	七ヶ浜町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	利府町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	東松島市(旧鳴瀬町)	33	33	33	33	156	156	188	189	189	182	96	75	75	73
	特別名勝計(D)	146	146	183	183	306	316	348	349	349	342	196	165	165	163
	県全体(E)	327	327	391	424	577	622	636	654	647	625	402	312	312	310
	(D)／(E) (%)	44.6%	44.6%	46.8%	43.2%	53.0%	50.8%	54.7%	53.4%	53.9%	54.7%	48.8%	52.9%	52.9%	52.6%

年度		平成													
市町		8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
空中散布	塩竈市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	多賀城市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	松島町	90	90	90	90	90	90	90	90	98	98	98	98	98	98
	七ヶ浜町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	利府町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	東松島市(旧鳴瀬町)	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	67	67	67
	特別名勝計(D)	163	163	163	163	163	163	163	163	171	171	171	165	165	165
	県全体(E)	344	459	388	386	418	417	415	415	434	392	392	386	386	386
	(D)／(E) (%)	47.4%	35.5%	42.0%	42.2%	39.0%	39.1%	39.3%	39.3%	39.4%	43.6%	43.6%	42.7%	42.7%	42.7%

年度		平成									令和				
市町		22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5
空中散布	塩竈市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	多賀城市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	松島町	98	-	-	98	98	98	98	98	98	95	95	93	93	80
	七ヶ浜町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	利府町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	東松島市	67	-	-	67	61	58	58	57	57	57	80	80	79	79
	特別名勝計(D)	165	-	-	165	159	156	156	155	155	151	174	173	172	159
	県全体(E)	386	-	-	386	379	377	377	376	376	370	392	388	387	374
	(D)／(E) (%)	42.7%	-	-	42.7%	42.0%	41.4%	41.4%	41.2%	41.2%	40.8%	44.4%	44.6%	44.4%	42.5%

※H23,24は東日本大震災の影響ため実施せず

特別名勝「松島」における松くい虫被害対策(防除事業実施状況:地上散布)

2-2 年度別松くい虫防除事業実施状況(地上散布)

(単位:ha)

年度		昭和	57	58	59	60	61	62	63	平成	元	2	3	4	5	6	7
市町		57	58	59	60	61	62	63	63	元	2	3	4	5	6	7	7
地上散布	塩竈市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	6	6	6	6	6	6
	多賀城市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	松島町	80	80	90	90	90	75	73	73	73	73	73	74	74	74	74	74
	七ヶ浜町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	利府町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	東松島市(旧鳴瀬町)	-	-	-	-	-	-	10	15	15	15	17	17	17	17	17	17
	特別名勝計(D)	80	80	90	90	90	75	83	88	94	96	97	97	97	97	97	97
	県全体(E)	88	93	103	115	120	138	192	196	203	207	240	243	279	323	323	323
(D)／(E) (%)		90.9%	86.0%	87.4%	78.3%	75.0%	54.3%	43.2%	44.9%	46.3%	46.4%	40.4%	39.9%	34.8%	30.0%	30.0%	30.0%

年度		平成	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
市町		8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21
地上散布	塩竈市	6	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
	多賀城市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	松島町	74	91	91	91	90	94	62	62	62	62	62	61	66	65	65
	七ヶ浜町	40	40	40	61	50	45	45	50	50	50	51	50	50	50	50
	利府町	11	11	14	15	15	13	8	8	8	8	9	8	8	8	8
	東松島市(旧鳴瀬町)	17	17	17	37	37	37	37	37	26	37	67	68	67	67	67
	特別名勝計(D)	148	181	184	226	214	211	174	179	168	179	211	209	213	212	212
	県全体(E)	412	477	452	540	478	487	487	490	524	430	593	547	580	577	577
(D)／(E) (%)		35.9%	37.9%	40.7%	41.9%	44.8%	43.3%	35.7%	36.5%	32.1%	41.6%	35.6%	38.2%	36.7%	36.7%	36.7%

年度		平成	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和	元	2	3	4	5
市町		22	23	24	25	26	27	28	29	30	30	元	2	3	4	5	5
地上散布	塩竈市	22	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	18.93	19	19	19	19
	多賀城市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	松島町	65	43	65	65	64	64	61	61	52	47.03	40	36	29	26	26	26
	七ヶ浜町	50	0	28	36	36	35	33	25	25	25	25.45	25	25	25	25	25
	利府町	8	0	6	8	8	8	8	8	8	8	8.45	8	5	5	5	5
	東松島市	67	0	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	特別名勝計(D)	212	62	126	128	127	126	121	113	104	99	92	88	78	75	75	75
	県全体(E)	586	106	200	227	223	221	211	183	178	157	143	139	89	86	86	86
(D)／(E) (%)		36.2%	58.5%	63.0%	56.4%	57.0%	57.0%	57.3%	61.7%	58.4%	63.1%	64.3%	63.3%	87.6%	87.2%	87.2%	87.2%

特別名勝「松島」における松くい虫被害対策(防除事業実施状況:樹幹注入)

2-3 年度別松くい虫防除事業実施状況(樹幹注入)

(単位:本)

年度		昭和							平成						
市町		57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7
樹幹注入	塩竈市	-	-	-	-	-	-	25	20	90	66	139	69	90	69
	多賀城市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	松島町	-	-	746	1,367	1,198	738	585	738	708	738	725	833	793	838
	七ヶ浜町	-	-	-	21	-	21	21	20	22	23	21	22	25	25
	利府町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
	東松島市(旧鳴瀬町)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	53	47	112	422	440
	特別名勝計(D)	0	0	746	1,388	1,198	759	631	778	820	880	932	1,036	1,330	1,393
	県全体(E)	0	0	746	1,794	1,649	1,266	1,178	1,412	1,611	1,702	1,951	3,213	3,463	3,629
	(D)／(E) (%)	0.0%	0.0%	100.0%	77.4%	72.7%	60.0%	53.6%	55.1%	50.9%	51.7%	47.8%	32.2%	38.4%	38.4%

年度		平成													
市町		8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
樹幹注入	塩竈市	154	776	848	1,097	832	841	900	799	845	-	809	797	466	258
	多賀城市	-	-	-	60	34	76	28	41	25	34	44	-	66	69
	松島町	793	838	887	819	419	588	661	430	-	691	722	363	253	696
	七ヶ浜町	68	105	114	243	466	81	269	442	-	68	256	306	96	68
	利府町	58	60	101	115	177	140	111	140	-	120	111	117	0	133
	東松島市(旧鳴瀬町)	780	702	613	366	-	596	394	453	-	325	587	364	94	673
	特別名勝計(D)	1,853	2,481	2,563	2,700	1,928	2,322	2,363	2,305	870	1,238	2,529	1,947	975	1,897
	県全体(E)	4,130	4,845	4,787	4,480	3,392	4,318	4,337	4,456	3,333	3,293	5,020	2,818	2,914	3,773
	(D)／(E) (%)	44.9%	51.2%	53.5%	60.3%	56.8%	53.8%	54.5%	51.7%	26.1%	37.6%	50.4%	69.1%	33.5%	50.3%

年度		平成									令和				
市町		22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5
樹幹注入	塩竈市	845	248	170	177	-	-	1945	52	846	151	155	0	70	551
	多賀城市	-	73	43	70	44	68	29	51	80	37	28	29	24	-
	松島町	558	105	31	-	-	551	1258	1793	705	744	62	657	792	649
	七ヶ浜町	203	0	292	-	-	-	891	195	114	0	0	51	0	459
	利府町	93	93	115	-	-	134	432	-	-	819	1,178	200	557	20
	東松島市	455	566	108	65	-	-	183	477	152	29	0	0	0	264
	特別名勝計(D)	2,154	1,085	759	312	44	753	4,738	2,568	1,897	1,780	1,423	937	1,443	1,943
	県全体(E)	4,067	2,274	1,846	2,495	1,856	2,070	6,269	4,976	4,519	3,310	2,311	2,221	2,660	2,911
	(D)／(E) (%)	53.0%	47.7%	41.1%	12.5%	2.4%	36.4%	75.6%	51.6%	42.0%	53.8%	61.6%	42.2%	54.2%	66.7%

一 般 会 計

6	款	3	項	2	目	水産業振興費				
担当部署名				産業観光課産業振興班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	3,616		3,612						3,612	
目的		カキ・アサリ等の浅海養殖漁業の振興を図る。								
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	水産業振興関係経費		A	3.3	3.3	高水温による生育不良等の影響により生産経営が厳しい状況ではあったが、安心安全なカキが供給できるよう支援を継続できた。また、アサリ漁場についても資源の回復を図るなど水産振興に寄与できた。				
実績	【水産業振興関係経費】									
	1 宮城県漁業協同組合松島支所への補助金									
	(1) 水産振興事業補助金 3,000,000 円									
	① カキ衛生対策支援 ・ 目的… 生食用カキ出荷に求められる衛生対策、検査体制の強化。 ・ 状況… 夏場の記録的な猛暑による生育不良や、コロナ禍の状況改善がみられたものの影響を受け消費が落ち込み、依然厳しい生産経営となった。 ・ 効果… 上記のような厳しい状況下においても、処理施設を停止することなく安心安全なカキを常時供給できるよう、施設の衛生管理や各種検査を徹底することができた。 ② アサリ稚貝撒布支援・サキグロタマツメタ貝駆除支援 ・ 目的… 混獲されるアサリ稚貝購入による再放流、自然増殖の増加及びサキグロタマツメタ貝の駆除による漁場整備。 ・ 状況… 磯崎、名籠、古浦地区で採取時に混獲されるアサリ稚貝購入により、再放流し増殖を図った。 また、サキグロタマツメタ貝の成貝又は卵塊の駆除を実施しアサリ資源の保全を図った。 ・ 効果… 稚貝撒布や漁場環境の整備等により、徐々にではあるが資源が回復傾向に向かっている。									
実績	(2) 松島産カキPR事業補助金 300,000 円									
	・ 目的… 催事におけるカキの無料試食を実施し、松島産カキの魅力をPRをし、消費拡大を図った。 ・ 状況… 「まつしま産業まつり」や「大漁かきまつりin磯島」において無料試食の提供や、展示パネル、パンフレット配付により、松島産かきのPRに努めた。 ・ 効果… 松島産カキの魅力を発信することにより、消費拡大を図った。									
	2 宮城県漁業協同組合松島支所青年研究会への補助金									
	漁業後継者育成支援事業補助金 50,000 円 ・ 目的… 漁業後継者育成のための新たな養殖方法への取組等。 ・ 状況… 従来の垂下式による養殖に加え、石巻湾や牡鹿半島周辺で実施されている延縄式による養殖を実施するための漁場の見極め等を行った。 ・ 効果… 新たな養殖方法の研究や、青年研究会による催事へ出店するなど、今後の後継者育成のため事業を実施した。									
課題 方向性		近年の厳しい気象状況や、カキの斃死、生育不良など水産業をとりまく環境が悪化しているが、生産者と関係機関の連携を図りながら、更なる水産振興を図って行く。また、安心安全な松島産かきをPRするために町内イベントの他、県外イベントへの出店など引き続きPRに努めていく。								

令和5年度 カキ水揚げ高調べ

(資料:宮城県漁業協同組合松島支所)

令和5年9月～令和6年3月

地 区	磯 崎		名 込		古 浦		合 計	
月	数量(kg)	金額(円)	数量(kg)	金額(円)	数量(kg)	金額(円)	数量(kg)	金額(円)
9月	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
10月	739.1	2,371,227	50.0	118,746	50.0	134,945	839.1	2,624,918
11月	4,089.1	9,073,048	570.0	1,325,636	0.0	0	4,659.1	10,398,684
12月	1,902.6	4,521,612	420.0	1,092,397	0.0	0	2,322.6	5,614,009
1月	3,514.4	7,649,770	640.0	1,400,641	640.0	1,346,812	4,794.4	10,397,223
2月	2,695.8	5,748,052	849.0	1,827,705	620.0	1,354,070	4,164.8	8,929,827
3月	2,780.3	5,616,566	710.0	1,437,912	410.0	825,787	3,900.3	7,880,265
計	15,721.3	34,980,275	3,239.0	7,203,037	1,720.0	3,661,614	20,680.3	45,844,926
kg当たり単価		2,225		2,224		2,129		2,217

一 般 会 計

6	款	3	項	3	目	漁港管理費				
担当部署名				建設課建設班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	13, 809		13, 554					161	13, 393	
目的	漁港施設の機能を適切に維持管理することにより、漁港施設の機能保全と水産物の安全供給、水産業の健全な発展を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	漁港施設機能保全事業		A	4. 0	3. 7	県営の磯崎漁港において、宮城県が実施する水産基盤整備事業として、北防波堤の防食工に着手し、事業の進捗が図られた。				
実績	1 県営漁港事業負担金 12, 000, 000 円									
	・ 県営磯崎漁港機能保全事業負担金 12, 000, 000 円 (町負担割合 15%) 事業費 80, 000, 000円 事業内容 北防波堤防食工事 L=45m									
課題 方向性	漁港施設機能保全事業については、引き続き北防波堤の防食工事に実施していく。北防波堤の防食工事以降は西防波堤及び東防波堤、物揚場等の防食工事等を実施していく。									

一 般 会 計

7	款	1	項	2	目	商工業振興費				
担当部署名				産業観光課産業振興班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	55,077		52,276					43,000	9,276	
目的	商工業振興と商工業者の経営安定等を図るため、商工団体と連携し適正な育成と指導を行うとともに、消費者保護と消費生活トラブル防止を図るため、相談や啓発活動を実施する。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	商工業振興経費		A	3.3	3.3	利府松島商工会と連携し、コロナ禍の影響を受けている中小企業・小規模企業者の経営支援を行い、金融機関と連携した町制度融資のあっせんも迅速に対応することができた。				
	消費者生活相談員設置事業費		A	3.0	3.0	関係機関と協力し寄せられた相談については適切に対応し、啓発品の配付など消費者トラブルを未然に防ぐ活動も実施することができた。				
実績	【商工業振興経費】									
	1 利府松島商工会への補助金									
	(1) 地域総合振興事業 6,000,000円									
	・ 利府松島商工会 会員数(松島地区)									
	業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	その他	計		
	会員数	20	76	11	80	152	13	352		
	(2) 松島ブランド推進事業 300,000円									
	・ 令和5年度新規認定品…2品(特産品部門2品、観光部門0品)									
	(3) 販路拡大支援事業 販路拡大6件 300,000円									
	・ ITを活用した業務改善・販路開拓塾の開催 参加者 14 名									
	・ 業務改善・事業収益向上にかかる個別相談会 参加者 6 名									
	(4) 創業支援事業 300,000円									
	・ 「創業・第二創業塾」(全6回開催) 参加者数11名(うち修了者数 9名)									
	2 中小企業振興資金融資預託金 42,000,000円									
	・ 融資利用状況(令和6年3月末現在)									
	事業者数…48件、融資残額…160,614,400円									
	3 保証料補給金 1,506,010円									
	・ 保証料補給件数…13件(新規融資11件、条件変更2件)									
	4 宮城黒川地域地場産業振興協議会負担金 65,880円									
	5 創業者支援事業補助金 1,740,000円									
	・ 交付件数…3件									
	【消費者生活相談員設置事業費】 38,288円									
	・ 相談件数…15件(電話勧誘・インターネット詐欺等)									
	・ 啓発活動…啓発品送付(成人式記念品に同封)									
課題 方向性	商工業振興については、事業者のニーズが多様化する中、利府松島商工会や金融機関等との連携強化に努める。 消費生活相談については、窓口設置や啓発活動を継続し、消費者トラブルの未然防止に努めていきたい。									

一 般 会 計

7	款	1	項	3	目	観光費				
担当部署名				産業観光課観光班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	65,306		63,924			2,485		12,173	49,266	
目的	松島観光の復興とともに、観光客の来訪を促進するため、積極的な情報提供や宣伝活動を行う。 また、観光客の安全・安心と利便性を確保するため、観光施設等の整備・維持管理を行う。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	観光行政費		A	3.7	3.3	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、観光客の入込数はコロナ禍前の水準に戻りつつあり、宿泊数はコロナ禍前の水準の概ね9割まで回復がみられた。 中止や縮小傾向にあったイベント等については、基本的な感染症対策を講じた上で、コロナ禍以前同様の規模で事業を実施した。				
	国際交流関係経費		A	3.3	3.0	世界で最も美しい湾クラブ事業として、韓国で開催された世界大会に出席し、松島湾の取組みを各国の参加者に向けて発信した。 新型コロナウイルス感染症収束後のインバウンド需要回復を見据え、宮城県やDMO、関係関連部署との連携し、情報発信を行った。				
	施設維持管理経費		B	-	3.7	観光施設及び駐車場、公衆トイレ等の維持管理について、安全性を第一に観光客が快適に利用できる環境整備に努めた。 また、維持管理の手法について、業務委託とすることにより、効率化を図った。				
実績	【観光客等年別入込数】									
	・観光客等年別入込数(令和5年1月～令和5年12月) 2,952,712 人 (前年 2,123,521 人) ・観光客等年別宿泊数(令和5年1月～令和5年12月) 503,342 人 (前年 413,255 人) ・主要観光イベント入込数 別頁(123頁)のとおり ・観光案内所外国人観光客利用者実績 23,917 人 (前年 3,541 人)									
	【観光行政費】 35,816,551 円									
	1 松島町観光審議会の開催 ・第1回 日程 令和6年1月19日 内容 ・松島町観光振興計画(案)について ・第2回 日程 令和6年3月28日 内容 ・松島町観光振興計画について ・令和5年度取組状況等について ・令和6年度当初予算等について 2 「日本三景の日」記念事業 ・日程 令和5年7月21日 ・場所 松島海岸中央広場及び松島海岸エリア ・内容 航空自衛隊第4航空団所属ブルーインパルスの展示飛行等の実施 ・入込数 20,000人									

(次頁へ続く)

(次頁へ続く)

7	款	1	項	3	目
実績		3	松島ファンクラブ事業		
			・協力店 29店舗		
			・ホームページ閲覧数 特典一覧ページ（令和6年3月31日時点）	8,774件	
		4	松島湾アマモ再生事業「松島湾SDGs（探そう 誰もが Go!!する社会）」		
			・「橋の日」記念イベント（アマモ生育環境整備）		
			日程 令和5年8月5日		
			場所 福浦橋		
			参加者 一般参加者 約1,500人		
			・「文化の日」記念イベント（アマモ生育環境整備）		
			日程 令和5年11月3日		
			場所 福浦橋		
			参加者 一般参加者 約1,500人		
		5	JR東日本「TRAIN SUITE 四季島」おもてなし		
			・日程 令和5年12月7日～令和6年3月28日（全10回）		
			・場所 JR松島駅構内		
		6	第69回松島芭蕉祭並びに全国俳句大会		
			・日程 令和5年11月12日		
			・場所 瑞巖寺本堂、松島町文化観光交流館		
			・参加者 130人（1,935句）		
		7	仙石線松島海岸駅観光案内業務委託	2,327,600 円	
			・内容 観光案内業務他		
			・場所 JR仙石線松島海岸駅		
		8	松島町観光振興計画策定業務委託	1,975,600 円	
		9	松島町交通社会実験における賑わい空間創出事業業務委託	4,970,690 円	
		10	松島町交通社会実験における賑わい空間創出事業その2業務委託	1,155,000 円	
		11	松島町交通社会実験における賑わい空間創出事業その3業務委託	770,000 円	

（次頁へ続く）

7	款	1	項	3	目
実績	【国際交流関係経費】				1,724,045 円
	1	世界で最も美しい湾事業			
		・ 世界で最も美しい湾2023年総会			
		日程 令和5年10月19日～10月24日			
		場所 大韓民国麗水市			
	【施設維持管理経費】				26,382,424 円
	1	観光施設清掃業務委託			4,870,800 円
		・ 内容 観光施設公衆便所清掃他			
		・ 場所 西行戻しの松公園公衆便所、富山観音公衆便所、 西行戻しの松公園防災器具庫脇公衆便所、三十刈駐車場公衆便所、 双観山公衆便所、松島パノラマハウス			
	2	観光施設除草業務委託			4,243,800 円
	・ 内容 除草・集草・側溝清掃他				
	・ 場所 国際交流村、双観山、新富山、西行戻しの松公園				
	3	観光施設樹木剪定等業務委託			2,552,000 円
		・ 内容 樹木剪定・枯枝撤去他			
		・ 場所 国際交流村、双観山、新富山、白衣観音周辺、はす池広場			
	4	観光施設日常清掃業務委託			2,570,700 円
		・ 内容 観光施設清掃他			
		・ 場所 三十刈駐車場、西行戻しの松公園、国際交流村、白衣観音周辺、 新富山、双観山、雁金森			
課題 方向性	新型コロナウイルス感染症流行前と比較し、宿泊者数が約9割の回復に留まっていることから、宿泊者数の増加を目指し、県や関係市町村、事業者等と連携を図り、教育旅行の誘致、日本遺産等を活用した新たなコンテンツの充実に努め、広域観光を視野に入れた滞在型の観光振興を推進していく。 インバウンドについては、全国的に増加傾向にある中、国や県の施策・動向を注視しながら町としての方向性を検討していく。				

観光客年別月別入込数

月 年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	年	備 考
16年	161,000	174,000	193,000	273,000	406,000	294,000	374,000	641,000	316,000	360,000	331,000	137,000	3,660,000	16年	新潟中越地震
17年	124,000	259,000	175,000	223,000	374,000	304,000	258,000	600,000	308,000	366,000	278,000	150,000	3,419,000	17年	東北楽天イーグルス誕生、名古屋万博「愛地球博」
18年	120,000	240,000	173,000	211,000	395,000	303,000	279,000	816,000	313,000	366,000	342,000	153,000	3,711,000	18年	8月 五大堂御開帳祭典
19年	132,000	267,000	168,000	222,000	364,000	321,000	273,000	681,000	349,000	384,000	356,000	168,000	3,685,000	19年	3月18日仙台空港アクセス鉄道運行開始
20年	133,000	247,000	205,000	210,000	331,000	289,000	235,000	610,000	282,000	348,000	391,000	192,000	3,473,000	20年	8月松島温泉開湯、10月～12月宮城デスティネーションキャンペーン
21年	138,000	246,000	203,000	216,000	379,000	295,000	280,000	719,000	380,000	343,000	381,000	155,000	3,735,000	21年	3月ETC1,000円割引スタート、9月シルバーウィーク、9月瑞巖寺大改修開始
22年	137,986	216,572	183,737	192,126	337,265	287,199	281,213	714,110	302,772	341,763	385,404	188,474	3,568,621	22年	1～3月天候不順、2月28日大津波警報、7～8月夏猛暑
23年	150,024	245,152	45,739	93,634	186,917	152,531	195,141	319,965	194,921	227,657	280,565	145,552	2,237,798	23年	3月11日：東日本大震災 4月7日：余震 9月：台風15号
24年	114,862	173,494	151,754	149,475	240,288	228,818	222,488	430,654	257,229	270,335	287,176	124,211	2,650,784	24年	8/19,8/20宮城国際ヒーローサミット
25年	120,852	189,307	173,579	187,347	290,227	258,377	235,265	446,261	259,475	272,864	360,992	186,647	2,981,193	25年	4月～6月仙台・宮城デスティネーションキャンペーン 9/28～10/13ルツェルンフェスティバルアークノヴァ松島2013
26年	140,419	170,119	179,370	181,883	284,594	253,048	218,269	434,181	273,807	280,683	365,518	149,358	2,931,249	26年	4/1消費税増税(8%) 9/20GLAY EXPO 2014 TOHOKU
27年	137,404	197,490	204,441	226,092	327,278	199,567	201,279	345,945	246,345	260,335	320,530	143,047	2,809,753	27年	3月1日常磐自動車道全線開通 5月10日マリンピア松島水族館営業終了 5月30日JR仙石線全線運転再開・JR仙石東北ライン開業
28年	124,268	162,947	168,439	187,834	269,559	218,218	228,138	367,364	242,795	305,635	343,858	149,785	2,768,840	28年	3月26日北海道新幹線開業 4月5日瑞巖寺本堂再拝観開始 9月2日 ザ・ミュージアム松島開館
29年	135,376	162,751	173,411	177,345	257,875	210,339	214,368	356,531	250,260	284,240	378,292	145,997	2,746,785	29年	7月22日～9月10日Reborn-Art Festival開催 9月2日松島ファンタスティック音楽祭×Reborn-Art Festival開催
30年	129,264	173,653	181,893	193,763	272,621	300,750	233,850	387,109	282,472	328,299	400,468	170,617	3,054,759	30年	6月22日国宝瑞巖寺落慶慶祝前夜祭開催、6月24日国宝瑞巖寺落慶法要
31年 1年	137,010	181,601	190,319	221,053	316,807	239,124	234,554	399,082	266,907	259,114	371,814	164,131	2,981,516	31年 1年	8月3日～9月29日Reborn-Art Festival開催 10月12日台風19号
2年	147,773	197,429	115,921	9,957	6,708	46,128	86,997	159,264	162,208	223,674	331,578	119,535	1,607,172	2年	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行(4月7日緊急事態宣言) 10月17日宮城県松島離宮オープン
3年	35,884	29,129	69,467	39,869	74,411	63,679	111,157	132,600	91,271	168,102	264,872	158,714	1,239,155	3年	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行(8月27日緊急事態宣言) 8月11日～9月26日Reborn-Art Festival2021-2022開催
4年	97,324	63,437	107,519	109,079	199,237	144,714	151,021	283,010	194,759	260,666	354,764	157,991	2,123,521	4年	3月16日福島県沖地震発生、東北新幹線一部区間運行停止 5月13日完全復旧 10月28-30日松島町交通社会実験
5年	119,588	150,778	230,812	196,625	292,807	209,719	251,105	373,203	236,319	311,987	384,222	195,547	2,952,712	5年	5月8日新型コロナウイルス感染症(COVID-19)5類移行 10月14～15日松島町交通社会実験

(過去20年分を記載)

観光客年別月別宿泊数

(単位:人)

月 年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
16年	54,300	52,100	61,400	53,800	67,000	66,300	63,700	91,200	71,200	71,300	69,500	63,800	785,600
17年	43,900	44,000	50,700	49,300	56,500	59,100	53,400	77,800	54,000	67,900	58,600	62,300	677,500
18年	47,200	43,000	48,300	45,500	56,300	58,500	56,200	80,400	56,000	66,200	60,900	57,000	675,500
19年	41,200	42,800	48,000	43,600	59,100	62,400	54,900	81,900	56,300	66,700	60,500	56,600	674,000
20年	41,100	40,700	49,700	42,600	53,900	55,500	46,700	70,500	50,000	60,100	65,600	59,500	635,900
21年	43,900	44,200	53,400	48,500	55,500	57,800	55,200	77,800	56,000	64,700	65,100	53,800	675,900
22年	46,024	46,298	51,355	48,866	50,291	55,790	55,814	78,530	58,583	65,692	67,783	64,314	689,340
23年	52,920	45,625	20,160	76,163	112,004	95,693	96,112	90,645	69,615	71,293	79,045	74,298	883,573
24年	54,141	47,519	53,988	38,062	45,862	49,791	48,300	67,930	56,037	59,760	60,032	52,867	634,289
25年	45,365	46,384	55,053	45,577	49,530	52,843	50,484	69,728	54,325	57,997	62,038	55,036	644,360
26年	47,470	42,827	53,948	42,223	48,086	50,962	48,792	63,377	49,044	57,751	58,453	55,356	618,289
27年	46,546	41,827	51,065	44,506	48,781	48,279	52,348	73,764	54,644	62,202	61,563	56,752	642,277
28年	50,178	45,779	55,307	48,836	48,407	51,041	51,221	64,660	52,888	62,426	57,760	54,828	643,331
29年	45,810	39,996	50,164	49,948	43,635	46,174	50,259	67,636	51,340	56,585	57,330	50,279	609,156
30年	43,769	42,257	51,278	43,053	47,504	51,915	43,149	62,364	51,495	56,507	55,090	51,671	600,052
31年・1年	40,633	39,006	48,477	41,905	44,838	47,644	45,317	64,063	47,142	47,869	53,754	48,997	569,645
2年	41,496	40,485	28,413	3,671	708	7,255	19,739	36,220	33,545	44,342	50,457	34,030	340,361
3年	8,628	5,341	15,088	7,245	10,984	11,312	20,037	26,690	15,333	28,466	45,086	48,180	242,390
4年	26,875	15,753	29,916	24,286	32,625	31,611	32,877	48,415	36,294	43,910	46,358	44,335	413,255
5年	31,990	31,959	49,478	35,940	39,786	36,978	41,984	56,137	42,458	47,019	47,898	41,715	503,342

(過去20年分を記載)

松島町主要観光イベント入込数

(単位:人)

年度	瑞巖寺灯灯道	灯籠流し花火大会	松島流灯会 海の盆	園遊茶会	紅葉ライトアップ	芭蕉祭並びに全国俳句大会	松島かき祭り	冬のとおき松島
16	第 8 回 78,500	180,000		第16回 2,500		第50回 300人 2,536句	第27回 125,000	10,043
17	第 9 回 63,000	110,000		第17回 3,000		第51回 275人 2,019句	第28回 115,000	7,912
18	第10回 61,000	160,000		第18回 3,500	第 1 回 15,000	第52回 250人 2,145句	第29回 120,000	10,711
19	第11回 50,000	120,000		第19回 3,000	第 2 回 22,000	第53回 250人 2,098句	第30回 100,000	11,295
20	第12回 56,500	140,000		第20回 3,500	第 3 回 32,000	第54回 250人 1,839句	第31回 100,000	10,882
21	第13回 64,000	143,000		第21回 3,500	第 4 回 39,000	第55回 250人 1,722句	第32回 73,000	14,851
22	第14回 69,100	154,000		第22回 3,000	第 5 回 52,000	第56回 300人 2,054句	第33回 95,000	8,733
23	第15回 24,800	—	第1回 58,000	—	第 6 回 33,600	第57回 280人 2,108句	第34回 67,000	3,141
24	第16回 25,900	—	第2回 42,000	—	第 7 回 43,384	第58回 250人 1,710句	第35回 52,000	—
25	第17回 16,500	—	第3回 42,500	—	第 8 回 47,926	第59回 160人 1,852句	第36回 52,500	5,046
26	第18回 10,000	—	第4回 47,000	—	第 9 回 54,065	第60回 200人 1,893句	第37回 51,500	5,047
27	—	—	第5回 28,000	—	第10回 55,005	第61回 200人 1,758句	第38回 30,000	6,196
28	—	—	第6回 42,000	—	第11回 69,546	第62回 150人 1,790句	第39回 35,000	—
29	—	—	第7回 20,000	—	第12回 76,487	第63回 160人 1,710句	第40回 36,000	—
30	—	—	第8回 33,000	—	第13回 82,696	第64回 190人 1,731句	第41回 38,000	—
31・1	—	—	第9回 33,000	—	第14回 62,050	第65回 200人 1,731句	第42回 43,000	—
2	—	—	—	—	—	第66回 — 1,536句	—	—
3	—	—	—	—	松島 ライトアップ 3,169	第67回 190人 1,820句	—	—
4	—	—	第10回 30,000	—	瑞巖寺・円通院 ライトアップ 70,000	第68回 110人 1,701句	第45回 20,000	—
5	—	—	第11回 35,000	—	瑞巖寺・円通院他 ライトアップ 76,000	第69回 130人 1,935句	第46回 40,000	—

(過去20年分を記載)

年度別観光案内所外国人観光客利用者実績

(単位:人)

年度 国名	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
アメリカ	803	1,078	848	1,098	879	838	875	276	524	643	609	712	770	1,713	2,333	2,803	260	146	603	1,125
台湾	617	976	1,149	1,270	1,201	1,081	1,525	248	876	1,139	1,695	2,491	4,074	33,815	32,304	51,158	21	22	1,043	17,379
フランス	200	354	373	493	671	557	627	65	152	204	232	293	317	223	425	431	37	29	56	269
シンガポール	130	127	184	264	301	406	613	52	101	93	116	143	149	225	137	217	2	0	71	221
ドイツ	231	243	326	311	397	395	442	61	105	202	216	268	306	274	331	403	13	2	81	271
韓国	682	665	598	752	581	597	750	80	260	223	166	219	288	328	617	397	6	7	43	157
イギリス	202	266	245	324	337	227	239	78	112	167	255	186	291	201	244	322	26	17	74	171
香港	1,326	966	1,135	2,497	1,674	1,505	1,936	87	260	242	485	389	478	418	571	567	0	0	198	716
中国	263	457	271	463	499	402	646	260	605	688	908	1,886	2,206	1,042	983	1,173	91	60	114	646
オーストラリア	240	240	289	373	514	378	478	39	188	158	308	291	397	399	688	1,029	17	7	241	998
カナダ	163	195	144	177	211	185	217	41	78	103	98	124	136	135	138	217	6	29	26	111
スイス	57	82	51	88	125	148	154	7	51	78	64	87	105	62	71	142	0	0	6	43
スペイン	77	94	288	171	272	308	320	29	67	80	109	131	143	118	133	140	9	2	14	57
ブラジル	33	34	23	28	44	17	42	13	33	16	71	27	32	62	21	91	8	4	2	54
アフリカ諸国	9	20	6	20	19	0	0	0	0	1	21	26	41	27	50	36	6	1	9	19
イスラエル	19	30	75	55	55	53	83	16	4	44	45	46	82	146	118	186	1	0	54	74
タイ	76	107	207	472	637	779	899	94	406	936	780	603	780	1,602	1,413	5,366	18	2	305	367
ロシア	32	52	58	53	30	61	57	18	51	40	47	39	52	80	56	116	17	1	18	24
ポーランド	14	14	39	45	48	42	119	14	21	64	28	60	49	26	34	40	4	4	3	25
フィリピン	23	47	19	23	31	25	20	3	20	29	57	44	61	39	63	74	33	18	61	33
スウェーデン	10	34	36	49	41	50	24	12	38	22	26	20	38	14	25	64	3	1	19	14
インド	135	80	86	125	133	72	73	33	61	57	93	88	125	106	84	115	103	32	115	145
マレーシア	38	38	35	32	85	49	125	35	52	71	99	88	99	114	79	399	2	6	98	163
イタリア	39	34	86	95	98	167	161	7	23	29	55	84	125	56	53	107	9	7	16	56
その他	2,713	2,515	3,708	630	528	646	709	185	458	564	592	537	614	630	1,041	1,262	168	115	271	779
人 数	8,132	8,748	10,279	9,908	9,411	8,988	11,134	1,753	4,546	5,893	7,175	8,882	11,758	41,855	42,012	66,855	860	512	3,541	23,917
国 数	66	71	76	79	79	84	87	66	74	78	90	69	79	76	92	85	49	38	56	69

※平成28年度まで松島海岸駅前観光案内所外国人利用者実績
 ※平成29年度から松島観光協会観光案内所外国人利用者実績
 ※年度ごとの数値

一 般 会 計

7	款	1	項	4	目	文化観光交流館費				
担当部署名				中央公民館					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	24,036		23,872						23,872	
目的	町の文化創造の拠点として、質の高い舞台芸術や音楽文化鑑賞などの学習機会を提供し、生涯学習の推進と芸術文化の裾野拡大を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	文化観光交流館施設維持管理経費		A	3.3	3.3	感染症対策に留意し、指定管理者による貸館業務や主催事業の「アンブレラスカイ」や各種教室が行われ、利用者数は回復してきている。				
	文化観光交流館運営経費		A	3.3	3.0	文化観光交流館の施設内の修繕等を行い、利用者が安心・安全に施設を利用できるようにした。				
実績	【文化観光交流館施設維持管理経費】									
	1 文化観光交流館指定管理									
	・ 指定管理料 21,949,000円（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）									
	・ 指定管理期間 令和2年10月1日から令和7年9月30日まで（5年間）									
	・ 指定管理者 株式会社BBI花座									
	2 指定管理者主催事業									
	(単位:人)									
	名 称				内 容		実施日	来館者数		
	マクラメ教室				オーガニックコットンを使ってプラントハンガー（鉢を吊り下げる紐）を作った。		6月18日 7月2日	22		
	アンブレラスカイ				文化観光交流館の中庭に色とりどりの傘を吊り下げて展示した。		7月11日～ 10月9日	1,268		
	米粉パン講座				親子で協力し、100%の米粉で麴ベーグルを作った。		9月3日	17		
	味噌づくりワークショップ				ミヤギシロメの大豆を使った手作り味噌の仕込みを行った。		10月7日	11		
	ミモザリースワークショップ				生のミモザを使い自分だけのオリジナルリースを作った。		3月3日	17		
	第3回カラオケのど自慢大会				一般の方を対象に老若男女の歌好きの皆様がのど自慢に参加した。熱い応援もあり大変盛り上がった。		3月31日	158		
(次頁へ続く)										

3 利用状況

(単位：人) 括弧内は申請件数

	一般	町外	社教	役場	教室	計
4月	651 (31)	297 (16)	132 (13)	244 (16)	360 (39)	1,684 (115)
5月	206 (28)	302 (16)	395 (21)	300 (15)	337 (35)	1,540 (115)
6月	220 (31)	253 (13)	276 (24)	1,212 (36)	407 (42)	2,368 (146)
7月	620 (34)	893 (36)	989 (49)	347 (26)	304 (31)	3,153 (176)
8月	703 (29)	330 (11)	48 (6)	429 (27)	334 (37)	1,844 (110)
9月	642 (55)	777 (34)	381 (17)	590 (17)	310 (32)	2,700 (155)
10月	944 (37)	167 (13)	293 (36)	2,739 (119)	254 (32)	4,397 (237)
11月	438 (39)	1,462 (58)	131 (12)	635 (76)	324 (35)	2,990 (220)
12月	463 (47)	524 (39)	100 (9)	191 (37)	263 (33)	1,541 (165)
1月	146 (25)	585 (35)	279 (26)	662 (105)	283 (34)	1,955 (225)
2月	398 (43)	801 (77)	1,396 (70)	725 (175)	328 (40)	3,648 (405)
3月	436 (84)	388 (14)	111 (13)	728 (150)	364 (42)	2,027 (303)
合計	5,867 (483)	6,779 (362)	4,531 (296)	8,802 (799)	3,868 (432)	29,847 (2,372)

※ 施設別利用状況

(単位：人)

大ホール	会議室	調理室	リハーサル室	研修室	和室	講座室	その他
16,261	2,950	549	1,382	2,354	1,369	2,217	2,765

【文化観光交流館運営経費】

1 委託料	810,829 円
・ 機械警備業務委託	389,400 円
・ 自家用電気工作物保守点検業務委託	289,925 円
・ 消防設備保守点検業務委託	108,954 円
・ 油分分離沈殿槽清掃業務委託	22,550 円
2 需用費（修繕費）	671,000 円
・ 西口玄関自動ドアエンジン装置修繕	209,000 円
・ 調理室コンセント修繕	88,000 円
・ 調理室分電盤修繕	44,000 円
・ 二階防火扉修繕	330,000 円

課題 方向性

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行後の利用は増えつつあるが、施設の利活用については、教育旅行や楽器練習など、これまで利用のない分野へも働きかけ、さらに利用者増となるよう指定管理者と共に事業の企画・運営に努める。

一 般 会 計

8	款	2	項	2	目	道路維持費				
担当部署名				建設課建設班・管理班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	64,031		63,157				8,900	4,284	49,973	
目的	町道等を健全な状態に保つため、補修や草刈、除雪・融雪などを実施し、住民等が利用しやすい道路環境を保全する。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	道路維持工事経費		A	4.3	4.7	維持工事として水路改修工事を実施し、環境の保全が図られた。				
	道路施設長寿命化対策事業（橋梁長寿命化対策事業）		A	4.7	3.7	舗装長寿命化修繕計画に基づき道路舗装補修工事を実施し、道路環境の保全が図られた。				
	定期点検		A	4.7	4.3	道路法に基づき町道橋及びトンネルの状態と健全性を把握するため専門の技術者による定期点検を5年に1度実施する必要があるが、令和5年度は対象施設がなかった。町独自で道路や施設の点検を実施し安全性の確認を行った。				
	道路維持管理経費		B	-	3.7	町道等の維持管理を実施したことにより、道路環境の保全が図られた。また、地域住民と協働で草刈及び除融雪を実施し交通安全等に努めた。				
実績	■建設課 建設班所管									
	【道路維持工事経費】 水路の改修工事を実施した。									
	1 工事請負費								4,999,500 円	
	・ 磯崎字待井地区水路改修工事 水路改修工 L=100m								4,999,500 円	
	【道路施設長寿命化対策事業】 町道の舗装補修工事を実施した。									
1 工事請負費								9,999,000 円		
・ 町道藤ノ巻・大日向線外舗装補修工事 舗装補修工 L=182m								4,335,100 円		
・ 町道磯崎・高城線舗装補修工事 舗装補修工 L=230m								5,663,900 円		
(次頁へ続く)										

8 款	2 項	2 目
実績	■建設課 管理班所管 【道路維持管理経費】 1 需用費（消耗品費） - 融雪剤購入費 400袋（10,000kg） 853,600 円 - 融雪箱等 85箇所（補充回数19回） - 草刈機刈刃（チップソー）購入費 480枚 897,600 円 - 各行政区の道路除草作業時に支給 2 委託料 36,377,935 円 - 道路維持管理業務委託（その1～その3） 13,013,000 円 - 道路補修、側溝補修、側溝清掃、道路支障木伐採等 - 道路除草業務委託 9,436,735 円 8路線（年2回）、通学路等（随時実施） - 道路除雪業務委託（北部・南部・西部） 9,006,800 円 - 幹線道路等 1回（2月） - 小型除雪機6台を行政区に貸出し、地域住民と協働の除雪を実施 - 道路融雪剤散布業務委託 4,921,400 円 8路線 計11回（1月4回、2月3回、3月4回） 3 原材料費 - 維持管理用原材料 2,299,895 円 - 常温合材、碎石、セメント、側溝蓋他	
課題 方向性	■建設課 建設班所管 道路施設長寿命化対策事業については、各施設の長寿命化修繕計画に基づき計画的に補修工事等を実施し、適切な維持管理を継続的に行っていく。 道路維持工事経費については、交通の安全と快適性を保つため、工事を行っていく。町全体のなかで優先順位を付け、継続して進めていく。 ■建設課 管理班所管 地域住民から除草や除雪・融雪についての要望が増加している。適切な道路維持管理のため、地域と連携を図り安全な道路環境の確保に努めていく。また、道路補修等については、地域の要望を踏まえながら優先順位を見極め実施していく。	

一 般 会 計

8	款	2	項	3	目	道路新設改良費				
担当部署名				建設課建設班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	24,700		24,621					13,650	10,971	
目的	砂利道や狭くて車両が通りづらい道、見通しが悪い道路などを改善して、住民が快適で利用しやすい道路環境の整備を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	道路舗装事業		A	4.0	3.3	砂利道について舗装を行い、住民が快適で利用しやすい道路環境の整備が図られた。				
	品井沼地区道路整備事業		A	4.0	3.3	計画路線のうち、東北本線沿いの道路1路線を拡幅するための測量業務を実施し、事業の進捗が図られた。				
	狭隘道路改良事業		A	3.0	3.0	狭隘な道路に対し、整備工事や用地買収を実施し、交通安全及び道路環境の改善が図られた。				
実績	【道路舗装事業】 町道の砂利道について舗装工事を実施した。 1 工事請負費 6,487,800 円 ・ 町道長田北1号線外舗装工事 6,487,800 円 道路舗装工 L=403m 【品井沼地区道路整備事業】 品井沼地区道路の整備に向けた測量業務を実施した。 1 委託料 4,287,800 円 ・ 品井沼地区道路整備測量業務委託 4,287,800 円 測量業務 L=190m 【狭隘道路改良事業】 狭隘な道路に対し、整備工事や用地買収を実施した。 1 工事請負費 1,504,800 円 ・ 町道町東一号線狭隘道路整備工事 1,504,800 円 道路舗装工 L=70m 2 土地購入費 3,649,890 円 ・ 帰命院下一地区狭隘道路整備事業土地購入 3,649,890 円									

8 款	2 項	3 目
-----	-----	-----

実績	町道整備等の状況				
	(令和5年度末現在)				
	区分	延長 (m)	改良済延長 (m)	改良率 (%)	舗装済延長 (m)
	町道全体	165,616	118,665	71.65	134,704
課題 方向性	うち幹線町道	32,883	24,716	75.17	27,917
課題 方向性	道路舗装事業については、砂利道舗装について町全体のなかで優先順位を付けて行っており、今後も継続して進めていく。				
	品井沼地区道路整備事業については、事業計画路線の整備に向けて、今後も継続して進めていく。				
	狹隘道路改良事業については、交通安全や道路環境に著しく支障がある箇所については、実施していく。				

一 般 会 計

8	款	3	項	1	目	河川総務費				
担当部署名				建設課管理班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	2,919		2,563						2,563	
目的	河川公園施設について住民や見学者等が利用しやすい環境を整備する。また、明治潜穴の歴史構造物について見学しやすい施設管理に努める。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	明治潜穴公園等維持管理 経費		C	-	-	河川公園の清掃及び除草並びに高城川桜並木の剪定及び薬剤散布を実施し、住民や施設見学者等が利用しやすい環境整備が図られた。				
実績	【明治潜穴公園等維持管理経費】									
	明治潜穴公園、ふれあいの広場、やすらぎの水辺、かたらいの水辺の維持管理									
	1 需用費（修繕料）						56,100 円			
	・ 明治潜穴公園公衆トイレ（多機能トイレ扉・浄化槽ブローア）									
	2 委託料						1,741,979 円			
	・ 明治潜穴公園公衆便所他清掃業務委託						605,000 円			
	明治潜穴公園（週4回）、その他の河川公園（月2回）									
	・ 河川公園遊具定期点検業務委託（年1回）						17,600 円			
	・ 明治潜穴公園公衆便所浄化槽保守点検業務委託（月1回）						80,979 円			
	・ 明治潜穴公園公衆便所浄化槽清掃業務委託（年1回）						290,400 円			
	・ 高城川桜並木樹木剪定業務委託（年1回）						506,000 円			
	・ 高城川桜並木薬剤散布業務委託（隔年1回）						242,000 円			
課題 方向性	河川公園施設の適切な維持管理を行い、継続して住民や施設見学者等が利用しやすい環境を提供していく。 また、明治潜穴公園施設については、宮城県と連携を図りながら管理に努める。									

一 般 会 計

8	款	5	項	1	目	都市計画総務費				
担当部署名				企画調整課・建設課建設班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	11,543		11,009		1,100			41	9,868	
目的	本町の将来像を踏まえ、バランスのとれた計画的な土地利用を図り、緑豊かな潤いのある都市を創出する。 昭和32年に決定された都市計画道路について、社会・経済情勢の変化により未整備となっている路線や都市計画道路の周辺道路を東日本大震災後に避難道路として整備された路線があるなか、時代にあわせた計画とするため都市計画道路の見直しを図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	都市計画事業運営経費		B	-	4.3	令和5年5月9日に認可された松島町初原土地区画整理組合と松島イノベーションヒルズに関する協議や指導・助言を行い、同地区の整備に関する管理進捗を図った。				
	都市計画審議会運営経費		B	—	3.3	初原地区における用途地域の変更、地区計画の決定について、諮問に先立ち、説明を行った。				
	地区計画事業推進経費		A	4.3	3.7	初原地区における地区整備計画について、条例に基づく説明会を実施した。				
	松島町都市計画道路の見直し事業		A	4.0	4.0	都市計画道路を見直しするため業務委託を実施した。また、見直し対象路線の抽出を行い、事業の進捗を図られた。				
実績	■企画調整課所管									
	【都市計画事業運営経費】									
	1 建築の許可に関する業務（都市計画法第53条第1項）									
	・都市計画施設の区域内における建築物の建築に関する申請書類の審査及び許可証の発行を実施するもの。 申請件数：0件（指導・助言は通年で実施）									
実績	【都市計画審議会運営経費】									
	1 都市計画審議会の開催									
	開催日	諮問・報告内容			内容			場 所		
	令和6年 2月26日	（報告事項） ・初原地区における土地利用状況並びに今後の用途地域及び地区計画の予定について ・仙塩広域都市計画道路の見直しについて			・都市計画変更決定に向けた宮城県との調整について、計画内容を説明した。 ・都市計画道路の見直しについて、計画内容を説明した。 （出席委員:9人、欠席委員:1人）			役場3階 大会議室		
(次頁へ続く)										

実績	【地区計画事業推進経費】
	1 地区計画内における行為の届出に関する業務
	- 品井沼地区地区整備計画に基づき、地区計画内における行為の届出に関する受付及び審査事務を実施するもの。 届出件数：2件（住宅地区A：1件、住宅地区B：0件、沿道地区：1件） - 明神地区地区整備計画に基づき、地区計画内における行為の届出に関する受付及び審査事務を実施するもの。 届出件数：0件
	2 初原地区における仙塩広域都市計画地区計画の決定に向けた地区内地権者等説明会の開催

開催日	内 容	場 所
令和6年 3月27日	松島イノベーションヒルズにおける土地利用計画（地区計画案）について	初原コミュニティーセンター

課題 方向性	■建設課 建設班所管
	【松島町都市計画道路の見直し事業】 都市計画道路の見直し対象路線を検討した。

1 委託料	3,300,000 円
・松島町都市計画道路見直し検討業務委託	

課題 方向性	■企画調整課所管
	初原地区における用途地域の変更、地区計画の決定に向けて、法手続きを進めると共に、既存の地区計画決定区域についても、都市計画マスタープランに基づき、計画的な土地利用を図っていく。

■建設課 建設班所管
都市計画道路の見直し事業について、今後は、見直し道路網(素案)を設定し、都市計画審議委員会へ諮りながら最終案を策定していく。

一 般 会 計

8 款	5 項	3 目	公園管理費				
担当部署名		教育課生涯学習班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
	73, 020	66, 571	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
						52	66, 519
目的	スポーツを通じた町民の健康増進及びスポーツ競技力向上のため、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の利用者が、安全かつ快適にスポーツを楽しめるような施設の提供を図る。						
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果		
	運動公園管理事務所経費	A	3. 7	3. 3	新型コロナウイルス感染症の活動制限が見直されたことで、前年度に比べ3, 535人の利用増となった。子どもから高齢者までの幅広い年齢層の方々に対して、スポーツに親しむ機会や交流の場を提供することができた。		
	温水プール管理経費	A	3. 7	3. 3	利用者数については、前年度より減少したものの、指定管理者と連携を図りながら幼少期の体力向上や高齢者の健康維持等に寄与する事業運営及び施設管理を行った。		
実績	【運動公園管理事務所経費】						16, 881, 938 円
	1 運動公園指定管理料						15, 983, 000 円
	・ 指定管理期間 令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日 (5年間)						
	2 運動公園施設利用状況						(単位:人)
	月	野球場	テニスコート	多目的運動広場	会議室	グラウンドゴルフ	合 計
	4	485	533	2, 001	11	245	3, 275
	5	496	853	1, 531	44	155	3, 079
	6	120	580	1, 761	17	262	2, 740
	7	881	569	1, 696	41	174	3, 361
	8	898	518	2, 040	78	198	3, 732
	9	165	485	2, 086	79	94	2, 909
	10	131	440	2, 778	90	390	3, 829
	11	285	395	1, 246	27	95	2, 048
	12	18	280	1, 281	81	278	1, 938
	1	25	244	1, 340	77	172	1, 858
2	16	223	1, 101	81	197	1, 618	
3	25	278	2, 088	95	209	2, 695	
計	3, 545	5, 398	20, 949	721	2, 469	33, 082	
3 運動公園リース料							
・ 運動公園管理乗用芝刈り機リース						679, 800 円	
(次頁へ続く)							

【温水プール管理経費】

49,415,864 円

1 温水プール指定管理料

47,926,000 円

・指定管理期間 令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日（5年間）

2 温水プール施設利用状況

（プール）

（単位：人）

月	町内(個人)			町外(個人)			計			コース貸切		減免	幼児	合計
	学生	一般	計	学生	一般	計	学生	一般	計	利用者数	団体数			
4	34	130	164	63	282	345	97	412	509	116	15	1	14	640
5	71	132	203	67	234	301	138	366	504	137	15	1	8	650
6	91	142	233	77	265	342	168	407	575	221	23	0	20	816
7	263	232	495	253	367	620	516	599	1,115	301	26	3	51	1,470
8	255	268	523	289	523	812	544	791	1,335	235	21	3	73	1,646
9	96	220	316	63	412	475	159	632	791	227	19	3	28	1,049
10	52	141	193	46	271	317	98	412	510	169	16	4	11	694
11	41	143	184	27	203	230	68	346	414	150	20	2	9	575
12	35	139	174	35	174	209	70	313	383	141	14	1	12	537
1	33	123	156	80	221	301	113	344	457	228	18	0	16	701
2	30	147	177	28	331	359	58	478	536	129	13	6	17	688
3	59	128	187	104	371	475	163	499	662	116	16	9	9	796
計	1,060	1,945	3,005	1,132	3,654	4,786	2,192	5,599	7,791	2,170	216	33	268	10,262

（トレーニングジム）

（単位：人）

（シルバートレーニングルーム）

（単位：人）

月	町内計	町外計	講習会		減免	合計
			参加者数	件数		
4	260	97	6	4	0	363
5	276	95	5	3	0	376
6	261	105	10	4	0	376
7	306	123	6	3	0	435
8	287	134	2	2	0	423
9	304	117	7	4	0	428
10	230	68	3	1	0	301
11	268	99	7	5	0	374
12	254	96	5	4	0	355
1	304	117	4	3	0	425
2	338	144	10	4	0	492
3	347	139	6	3	0	492
計	3,435	1,334	71	40	0	4,840

月	町内計	町外計	教室		減免	合計
			参加者数	件数		
4	0	0	0	0	0	0
5	18	1	0	0	0	19
6	13	0	22	2	0	35
7	10	0	40	4	0	50
8	1	0	20	2	0	21
9	4	1	0	0	0	5
10	2	3	0	0	0	5
11	2	1	0	0	0	3
12	3	0	0	0	0	3
1	1	0	0	0	0	1
2	8	0	0	0	0	8
3	5	2	0	0	0	7
計	67	8	82	8	0	157

（スタジオ）

（単位：人）

（会員）

（単位：人）

月	教室		減免	合計
	参加者数	件数		
4	431	15	0	431
5	302	9	0	302
6	399	10	0	399
7	402	19	0	402
8	279	17	0	279
9	386	15	0	386
10	286	10	0	286
11	446	11	0	446
12	365	14	0	365
1	352	13	0	352
2	369	11	0	369
3	353	14	0	353
計	4,370	158	0	4,370

月	スクール	フルタイム	合計
	会員	会員	
4	906	771	1,677
5	673	645	1,318
6	879	662	1,541
7	910	658	1,568
8	721	639	1,360
9	968	671	1,639
10	816	438	1,254
11	1,076	631	1,707
12	1,032	507	1,539
1	1,014	498	1,512
2	1,056	568	1,624
3	1,041	585	1,626
計	11,092	7,273	18,365

実績

（次頁へ続く）

8 款	5 項	3 目
-----	-----	-----

実績	(温水プール全施設月別集計人数)				(単位：人)		
	月	プール	トレーニング ジム	シルバートレー ニングルーム	スタジオ	会員	合計
	4	640	363	0	431	1,677	3,111
	5	650	376	19	302	1,318	2,665
	6	816	376	35	399	1,541	3,167
	7	1,470	435	50	402	1,568	3,925
	8	1,646	423	21	279	1,360	3,729
	9	1,049	428	5	386	1,639	3,507
	10	694	301	5	286	1,254	2,540
	11	575	374	3	446	1,707	3,105
	12	537	355	3	365	1,539	2,799
	1	701	425	1	352	1,512	2,991
	2	688	492	8	369	1,624	3,181
	3	796	492	7	353	1,626	3,274
	計	10,262	4,840	157	4,370	18,365	37,994
	3 需用費（修繕料）					638,000 円	
	・ 温水プール昇降機・電気設備修繕					638,000 円	
	4 温水プールリース料					599,280 円	
	・ トレーニングマシンリース					427,680 円	
	・ 複合機リース					171,600 円	

一 般 会 計

8	款	5	項	5	目	街路事業費				(単位:千円)
担当部署名				建設課建設班						
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	386,552		86,848		42,881			42,970	997	
目的	松島イノベーションヒルズの開発整備に併せ、都市計画道路の整備を行い、国道346号と主要地方道大和松島線を結び、三陸縦貫自動車道ICへのアクセスや国道、県道等での渋滞に対して分散化を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	根廻・初原線道路整備事業		A	4.0	4.0	測量設計及び道路整備工事等を実施し、事業の進捗が図られた。				
実績	【根廻・初原線道路整備事業】									
	1 委託料								690,800 円	
	・ (都) 根廻・初原線道路整備事業に伴う標準地鑑定評価書作成業務委託								690,800 円	
	2 工事請負費								1,609,300 円	
	・ (都) 根廻・初原線水道管移設工事 水道管移設工 L=200m								1,609,300 円	
	3 補償金								3,001,633 円	
	・ (都) 根廻・初原線道路整備事業電柱等移転補償金								3,001,633 円	
	(繰越明許費)									
	1 委託料								15,876,000 円	
	・ (仮) 根廻・初原線道路測量設計業務委託								15,876,000 円	
	2 工事請負費								65,669,500 円	
	・ (都) 根廻・初原線道路整備工事 (出来高払)								65,669,500 円	
課題 方向性	根廻・初原線道路整備事業について、引き続き道路整備工事を進めていく。									

一 般 会 計

8 款	6 項	1 目	住宅管理費					
担当部署名		建設課管理班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳				
	8,014	7,541		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,541								
目的	住宅に困窮する低所得者等に低廉な家賃で住宅を提供し、町民生活の安定と福祉増進に寄与する。 また、入居者の居住性を確保するため維持管理を行う。							
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	町営住宅管理経費	B	-	3.3	町営住宅入居者の安定した住環境を提供するため、施設修繕にあたっては主に入居者から要望があった箇所の修繕を実施し維持管理に努めた。 住宅使用料については、未納者に対し納付相談を行い生活状況を把握した上で実情に即した対応を行った。なお、収入が不安定な入居者が増加傾向であることから徴収率は前年度比で減少している。			
実績	【町営住宅管理経費】							
	町営住宅（156戸77棟）、災害公営住宅（52戸30棟）の維持管理							
	1 需用費（修繕料）							
	・住宅別修繕内訳							
	住宅名	設置年	修 繕 内 訳				金 額	
	愛 宕	S39～43	床、外壁				173,104 円	
	上初原	S42～45	屋根				49,500 円	
	幡 谷	S42	屋根				48,400 円	
	小石浜	S45	アンテナ				16,500 円	
	高 城	S56～57 H7	台所、浴室、洗面所、トイレ、建具、床、天井、壁塗装、給湯器、排水管、ガス管、電気設備、他				3,319,768 円	
	災害公営住宅 華園・美映の丘	H27	浴室、給湯器、電気設備、台所、手摺り、鴨居				249,634 円	
	合 計						3,856,906 円	
	2 委託料							
							1,278,200 円	
	・町営住宅除草業務委託（年2回）						746,900 円	
	・町営住宅高城団地定期調査業務委託（3年に1回）						495,000 円	
	・町営住宅遊具定期点検業務委託（年1回）						36,300 円	

(次頁へ続く)

(次頁へ続く)

3 町営住宅管理戸数及び住宅使用料徴収状況

住宅名	管理戸数	年度末入居戸数	住宅使用料徴収状況				備考
			調定額(円)	収入済額(円)	収入未済額(円)	徴収率(%)	
愛 宕	11	10	674,900	671,900	3,000	99.6%	
上初原	50	31	1,780,800	1,711,800	69,000	96.1%	
幡 谷	10	6	282,300	268,800	13,500	95.2%	
小石浜	7	2	98,400	98,400	0	100.0%	
高 城	78	63	18,164,800	16,159,000	2,005,800	89.0%	
災害公営住宅 華園・美映の丘	52	48	13,708,600	13,040,100	668,500	95.1%	
現年度分	208	160	34,709,800	31,950,000	2,759,800	92.0%	
滞納繰越分			7,199,657	1,128,157	6,071,500	15.7%	
合 計			41,909,457	33,078,157	8,831,300	78.9%	

実績

4 町営住宅駐車場利用数及び駐車場使用料徴収状況（高城住宅）

区 分	利用数	駐車場使用料徴収状況				備考
		調定額(円)	収入済額(円)	収入未済額(円)	徴収率(%)	
現年度分	33	752,400	752,400	0	100.0%	
滞納繰越分		6,000	6,000	0	100.0%	
合 計		758,400	758,400	0	100.0%	

5 町営住宅敷金会計別状況

	戸 数 (戸)	金 額 (円)	備 考
一般会計分	65	1,802,700	3世帯退居 △ 87,900円
歳計外現金分	57	2,429,280	2世帯退去 △129,660円 2世帯入居 126,600円
合 計	122	4,231,980	

課題
方向性

町営住宅は災害公営住宅（華園・美映の丘）を除き、建築年数の経過に伴い修繕の必要箇所が増加している。入居者の居住性確保のため緊急性が高いものから修繕対応を行っていく。高城団地の1号棟から3号棟は長寿命化して活用していくにあたり大規模な改修が必要となっている状況下にあることから、具体的な改修内容を検討する必要性がある。耐用年数が経過している住宅入居者に対しては、継続して特定入居制度による転居を促していく。

住宅使用料については、引き続き、滞納者との納付相談を適宜行い、計画的な納付を促し滞納額の縮減を目指す。

一 般 会 計

8 款	6 項	2 目	木造住宅等震災対策事業費				
担当部署名		建設課管理班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,304	2,298	1,038	393			867
目的	昭和56年5月以前に建築確認許可を受けた旧耐震基準の木造住宅に対して耐震化促進を図り、今後発生する恐れのある大規模地震での被害を最小限に抑えるため助成を行う。 また、通学路等に面した危険ブロック塀の倒壊による事故を未然に防止するため、ブロック塀等の除却及び除却箇所への新たなフェンス等の設置に対し助成を実施する。						
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果		
	木造住宅等震災対策事業	B	-	3.7	木造住宅の耐震診断助成事業及び耐震改修工事助成事業並びに危険ブロック塀等除却事業の実施にあたり、広報による周知や戸別訪問を行い事業の推進に努めた。		
実績	【木造住宅等震災対策事業】						
	1 木造住宅耐震診断助成事業業務委託						
	・ 事業概要	町が耐震診断士を派遣を行い耐震一般診断及び耐震改修計画の作成し、木造住宅の地震に対する安全性の確保・向上を図り、震災に強いまちづくりを推進する。					
	・ 実績	3件（耐震性あり 0件・耐震性なし 3件） 【国1/2・県1/4の補助あり】					427,200 円
実績	2 木造住宅耐震改修工事助成事業補助金						
	・ 事業概要	大規模地震による住宅被害を軽減するため、木造住宅の所有者が住宅の耐震改修工事、又は同じ場所で建替工事を実施する場合に補助金を交付する。					
	・ 実績	1件 【国1/2・県1/4の補助あり】					1,100,000 円
	3 危険ブロック塀等除却事業補助金						
実績	・ 事業概要	通学路等に面した危険ブロック塀等の倒壊による事故を未然に防止し、通行人の安全を確保するため、ブロック塀の除却及び除却箇所に生垣・フェンス等を設置する場合に補助金を交付する。					
	・ 実績	3件（除却事業 3件・設置事業 2件） 【国1/2の補助あり】					687,000 円
課題 方向性	近年地震が頻発していることから、地震防災対策は生命の安全面からも必要な事業であると町民の認識も高まってきている。木造住宅耐震診断助成事業においては引き続き広報等での周知を行い事業の推進に取り組んでいく。木造住宅耐震改修工事助成事業及び危険ブロック塀等除却事業においては、事業実施にあたり経済的負担があることから事業対象となる所有者に対して連絡を行い耐震助成事業の活用を促していく。						

一 般 会 計

9	款	1	項	1	目	非常備消防費						
担当部署名				総務課環境防災班							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳							
	40,536		37,619		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
					9,641	2,400	5	25,573				
住民の生命、財産を火災や自然災害から守るため、消防団員の確保に努めるとともに、常備消防や防災関係機関等との連携強化、情報共有の促進、資機材等の充実を図り、相互協力の下、消防防災活動に努める。												
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果						
	消防団活動運営経費		B	-	4.7	各種災害へ迅速に対応するため、ポンプ操法や規律訓練、さらに実災害を想定した松島町総合防災訓練において倒壊家屋や海上での救出訓練等を実施したことにより、対応力の向上を図ることができた。また、4年ぶりに開催された塩釜地区消防団連合演習では、塩釜地区二市三町の消防団が一同に集い演習を行うことで、近隣の消防団との連携を強化することができた。 火災現場においては、各種訓練の成果を発揮して常備消防の後方援護を行うとともに、警戒活動時においては、各分団が迅速かつ的確に巡回・広報を行い、人的被害を未然に防ぐことができた。						
	消防施設整備事業		A	5.0	4.7	火災をはじめとした各種災害時に機能が果たせるよう、消防車両の更新及び小型動力ポンプの点検整備などを行ったほか、分団配備の消防ホースを更新するとともに、老朽化した消火栓の更新を行い、消防資機材の充実強化と適正な管理を行った。						
	自主防災組織運営経費		A	4.0	3.0	各種災害に備え、共助の中心となる自主防災組織の防災力の強化を図るべく、訓練実施における助言や運営支援を行った。						
実績	1 松島町内における火災発生状況 (単位:件)											
		令和5年	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年	平成30年					
	発生件数	6	7	9	4	3	4					
	(前年比)	(△ 1)	(△ 2)	(5)	(1)	(△ 1)	(△ 2)					
	建物火災	5	4	3	1	1	4					
	林野火災	1	1	3	0	0	0					
	車両火災	0	0	1	1	1	0					
	その他	0	2	2	2	1	0					
	※期間は、各年1月1日から12月31日まで											
	2 消防団員数 191人 (令和5年4月1日現在) 役職: 団長1人・副団長2人・分団長6人・副分団長14人・班長37人・団員131人											
	本部	第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団					
	3人	24人	39人	52人	20人	36人	17人					
3 消防団員出場状況												
○ 火災出場 81人												
○ 警戒出場												
・ 災害警戒 (暴風警報発表に伴う警戒) 2人												
・ 火気警戒 (行事等) 90人												
・ 行方不明者捜索活動 5人												
○ 訓練												
・ 放水訓練及び規律訓練 66人												
・ 塩釜地区消防団連合演習 (事前訓練含む) 216人												
・ 松島町総合防災訓練 (事前訓練含む) 56人												
・ 文化財防火デー警防演習 (事前会議含む) 12人												
・ 防災訓練等 (各地区及び自主防災組織等) 9人												
(次頁へ続く)												

9	款	1	項	1	目																			
実績	○ 研修																							
	・ 警防研修会(消防団安全管理セミナー)				8 人																			
	・ 松島町消防団幹部研修(岩手県)				16 人																			
	・ 防災講演会(七ヶ浜町)				1 人																			
	○ 火災予防啓発																							
	・ 春及び秋の火災予防運動一斉広報、防火査察及び消防水利点検等				203 人																			
	・ 火災多発に伴う車両広報、啓発チラシ配布				114 人																			
	○ 出初式(リハーサル含む)				171 人																			
	4 防火思想啓発事業																							
	・ 火災予防運動【秋：令和5年11月9日～11月15日 春：令和6年3月1日～3月7日】 活動内容（消防団一斉広報、防火指導、消防水利点検、広報活動【防災行政無線他】）																							
・ 文化財防火デー警防演習(令和6年1月29日)																								
5 災害時の消防団活動状況																								
・ 9月8日 台風13号に係る警戒活動等				3 人																				
活動内容（警戒巡回、防潮堤閉鎖）																								
6 車両及び安全装備品等購入																								
・ 消防小型動力ポンプ付軽積載車（第1分団配備）				6,908,000 円																				
・ 消防ホース 80本				3,124,000 円																				
7 消防施設整備																								
・ 本郷地内消火栓更新工事負担金				3,399,160 円																				
8 自主防災組織育成事業																								
・ 自主防災組織訓練運営補助金 150,328 円 （実施団体数 4団体）																								
<table><tr><td colspan="2">訓練実施地区</td><td colspan="2">実施日</td></tr><tr><td>1</td><td>上竹谷区</td><td>6 月</td><td>18 日</td></tr><tr><td>2</td><td>根廻区</td><td>9 月</td><td>17 日</td></tr><tr><td>3</td><td>初原区</td><td>9 月</td><td>24 日</td></tr><tr><td>4</td><td>手樽区早川地区</td><td>10 月</td><td>22 日</td></tr></table>					訓練実施地区		実施日		1	上竹谷区	6 月	18 日	2	根廻区	9 月	17 日	3	初原区	9 月	24 日	4	手樽区早川地区	10 月	22 日
訓練実施地区		実施日																						
1	上竹谷区	6 月	18 日																					
2	根廻区	9 月	17 日																					
3	初原区	9 月	24 日																					
4	手樽区早川地区	10 月	22 日																					
課題 方向性	有事に備え、全ての団員が小型ポンプの操作や資機材の取扱いが正確に行えるよう、常備消防と連携し、夏季訓練や総合防災訓練等の各種訓練を通じて操法等の習得を図り、迅速な消火・災害活動のための対応力の向上に努める。また、老朽化した消防車両など各種施設の定期的な更新を図るとともに、活動服について、災害現場で消防団員が安全に活動できるよう、視認性の高いものへの切り替えを検討する。 自主防災組織については、組織を活性化するためには地域防災活動を指導できる人材が重要であることから、宮城県と連携し、宮城県防災指導員の養成に努めるとともに、自主防災組織の活動（訓練）への助言や支援を行い、自助及び共助の意識向上に努め、地域防災力の強化を図っていく。																							

一 般 会 計

9	款	1	項	2	目	水防費				
担当部署名				総務課環境防災班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	702		646			386			260	
目的	大雨による河川氾濫等の洪水や津波被害による水災害を警戒、防御及び抑制するため、定期的な水防関連施設の確認や点検を行い被害の軽減を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	水防活動経費		B	-	3.7	河川の重要水防合同巡視により、危険が予測される箇所等の実態把握に努めるとともに、水防施設の設置箇所及び操作方法の確認を毎月の陸閘点検時に行ったことにより、水防施設を適正に管理することができた。また、有事の際を想定した陸閘閉扉訓練を実施したことにより、水防活動の強化を図ることができた。				
実績	【水防活動経費】									
	1 漁港・海岸・河川の陸閘点検【毎月1回】 延べ 157人 対象箇所：○松島区【15箇所】（第1分団） ○高城区【6箇所】（第2分団）（河川） ○磯崎区【6箇所】（第3分団） ○手樽区【23箇所】（第3分団） 2 河川（吉田川等）の重要水防箇所合同巡視 目 的：台風等に伴う本格的な大雨時期を前に、洪水時に危険になる重要水防箇所や要注意区間を関係機関が合同で巡視を行い、迅速な水防活動に必要な情報共有を図る。 実 施 日：令和5年6月14日（水） 巡視箇所：① 吉田川右岸 10.1km付近 重要水防箇所（小川排水樋管、黒森排水ピット） ② 吉田川右岸 11.0km付近 重要水防箇所（堤防嵩上げ要望箇所） ③ 吉田川右岸 13.6km付近 重要水防箇所（R4河道掘削による越水解消箇所） 参 加 者：26人 北上川下流河川事務所【河川管理者】 7人 各行政区代表（北小泉区長、下竹谷区長、上竹谷区長、幡谷区長） 4人 水防団【消防団】（団長、副団長2人、第5副分団長、第6分団長） 5人 松島消防署（署長、副署長） 2人 松島町（町長、総務課、産業観光課、建設課） 8人									
(次頁へ続く)										

(次頁へ続く)

9 款	1 項	2 目
実績	3 高城川水系高城川における津波災害に対する河川陸閘閉扉訓練 内 容 : 津波災害発生時に伴う高城川での遡上水を防ぐことを目的として、松島町水防団【消防団】による陸閘閉扉作業及び作業終了後の避難について訓練を実施した。 実 施 日 : 令和5年8月24日 (木) 場 所 : 二級河川高城川水系高城川 (松島町高城地内) 参 加 者 : 松島町水防団【消防団】 (第2分団長、団員4名)	
	鳴瀬川水系吉田川及び高城川水系高城川等の特定都市河川指定に伴う流域水害対策計画の策定について、国、県及び流域市町村で進めており、策定後も関係機関と連携し、流域治水の取り組みを効果的かつ計画的に進めていく。 また、河川や海岸の水害発生時における対応力向上を目指し、定期的な水防施設の点検や所管毎の合同巡視、水防工法等の訓練を行うとともに、水防資機材の適正管理や充実を図る。	

一 般 会 計

9	款	1	項	3	目	災害対策費				
担当部署名				総務課環境防災班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	23, 947		22, 619		1, 490			7, 818	13, 311	
目的	地震や津波災害をはじめ、台風、高潮等の風水害から住民の生命保護と財産被害を最小化するため、防災体制の構築と地域防災力強化、更には啓発活動や訓練をととして防災意識の高揚を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	防災会議運営経費		C	-	-	令和3年3月に見直しを行った松島町地域防災計画について、次期見直しに向けた内容の整理等を行った。				
	防災行政無線関係経費		A	4. 0	3. 7	防災情報通信機器の保守等を実施し、災害時の情報発信が確実に行えるよう、適正な管理運営を行うことができた。				
	災害応急対策経費		C	-	-	災害対応にあたった職員に対し、手当等を支払った。				
	災害対策経費		A	4. 0	3. 3	宮城県が公表した津波浸水想定や第五次地震被害想定調査を踏まえ、防災マップ及び津波避難計画の見直しを行い、災害時の避難行動の迅速化を図った。 また、SNS等の一斉配信システムにより、気象警報等の防災情報を的確かつ早急に発信し、被害の未然防止を図った。				
実績	1 松島町総合防災訓練の実施 ・実 施 日 : 令和5年11月3日 (土) ・想 定 : 地震災害発生に伴う津波災害及び土砂災害 ・訓練内容 : 緊急地震速報対応訓練、情報伝達訓練、災害対策本部設置・運営訓練、広報訓練、交通誘導訓練、被害状況偵察訓練、水難救助訓練、倒壊家屋等救出訓練、応急手当訓練、初期消火訓練、救急救護訓練、二次被害防止訓練、炊き出し訓練 ・実施場所 : 磯島 (磯崎字磯島地内) ・参加人数 : 303名 (各防災関係機関、行政区、自主防災組織、消防団、婦人防火クラブ、町職員、一般参加者) ・そ の 他 : アルファ米試食体験、宮城県LPガス協会・くろしおLPガス協議会展示ブース、佐川急便株式会社展示ブース、宮城三菱自動車販売株式会社展示ブース、共栄防災株式会社展示ブース									
	2 防災行政無線・全国瞬時警報システム(J-ALERT) ・親局 1箇所 (松島町役場) ・遠隔操作卓 2箇所 (松島消防署・石田沢防災センター) ・屋外拡声子局 38箇所 (町内各所) ・施設スピーカー連動 2箇所 (松島海岸レストハウス・石田沢防災センター) ※全国瞬時警報システム(J-ALERT)は防災行政無線に連動									
	3 委託料 ・防災行政無線等施設保守点検業務委託 6, 160, 000 円 ・松島町津波避難計画見直し業務委託 2, 981, 000 円 ・松島町防災マップ等作成業務委託 7, 818, 800 円									
(次頁へ続く)										

9 款	1 項	3 目
実績	4 安全安心メール配信状況 ○登録件数(令和6年3月31日現在) 2,416 件 ○配信件数 90 件 ・防災情報 34 件 (災害:6件・防災無線放送内容:4件・訓練関係:24件) ・防犯情報 21 件 (不審者:7件・事件:5件・特殊詐欺等:9件) ・交通情報 2 件 (交通安全啓発:2件) ・生活情報 33 件 (その他:33件)	
	課題 方向性 更新した防災マップや津波避難計画については、作成した内容を関係機関や団体などに様々な機会を通じて周知するとともに、有事の際に的確な避難行動に繋がるよう、自主防災組織の訓練などにおいて説明に努め、活用を促す。 また、発災時にすべき対応や対策を自らが考える、職員を対象とした災害図上訓練や、自主防災組織などの住民参加型の総合防災訓練を企画し、対応力の強化や防災意識の向上に努め、防災関係機関との相互連携の強化を図る。 防災情報については、発信情報技術が高度化し、行政から住民への災害時における情報伝達手段の多様化が求められていることから、今後も継続して安全安心メールやSNS、テレビ回覧板等を活用し、情報発信の即時性の向上に努める。	

一 般 会 計

9 款	1 項	4 目	避難施設管理費					(単位:千円)
担当部署名		総務課環境防災班						
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	22, 997	20, 014		582		2, 993	16, 439	
目的	避難施設や避難場所等の適正な管理を行い有事における防災機能の確保に努めるとともに、平常時の有効活用により、地域の防災拠点としての機能強化を図る。 また、災害時における食料や資機材等に不足が生じないように備蓄倉庫へ災害用備蓄品を計画的に購入し充足させるとともに、防災関連施設の維持管理に努める。							
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	松島地区等避難施設管理費	C	-	-	避難施設（8施設）や緊急避難場所について、災害時に避難者を円滑に受け入れできるよう、適切な管理を行うことができた。			
	備蓄倉庫管理費	B	-	3.7	松島町備蓄計画に則り、災害時の避難者に対して提供する食料品、飲料水、更には災害時の避難所で使用する資機材などを計画的に購入し、備蓄品の充足を図った。			
	高城津波避難施設管理経費	B	-	3.3	災害時に避難者を受け入れできるよう、業務委託により適正な維持管理を行うことができた。			
	石田沢防災まちづくり拠点施設管理費	B	-	3.3	防災まちづくり拠点施設及び避難施設として災害時に避難者を受け入れできるよう、業務委託により適正な維持管理を行うことができた。			
	自家発電装置整備管理費	C	-	-	災害時に停電となった状況において、最小限の電力を確保し、避難生活等に支障がでないよう、適切な管理を行うことができた。			
実績	1 災害時用備蓄品購入事業							
	・ 消耗品費（災害時用備蓄食料品購入）					1, 260, 576 円		
	アルファ米					3, 300 食		
	飲料水（500ml）					3, 600 本		
	・ 備品購入費					486, 200 円		
	ワンタッチパーティション					10 個		
	毛布					40 枚		
	2 委託料							
	・ 避難施設指定管理業務委託（10施設）					3, 115, 992 円		
	・ 高城避難所機械警備業務委託					620, 400 円		
	・ 石田沢防災センター浄化槽清掃業務委託					715, 000 円		
	・ 石田沢防災センター浄化槽保守点検業務委託					412, 993 円		
	・ 石田沢防災センター機械警備業務委託					290, 400 円		
	・ 石田沢防災センター清掃業務委託					836, 000 円		
	・ 石田沢防災センター草刈業務委託（年3回）					785, 400 円		
	・ 石田沢防災センター自家用電気工作物保守点検業務委託					209, 141 円		
	・ 石田沢防災センター消防設備保守点検業務委託					133, 750 円		
	・ 石田沢防災センター他施設管理業務委託					3, 393, 500 円		
	・ 石田沢防災センター防火対象物点検業務委託					60, 500 円		
	・ 石田沢防災センター交通整理業務委託					284, 900 円		
	・ 東浜避難場所草刈業務委託（年3回）					264, 000 円		
	・ 東浜避難場所法面草刈業務委託					910, 800 円		
	・ 東日本大震災伝承記録誌作成業務委託					627, 000 円		
(次頁へ続く)								

3 負担金補助及び交付金

- ・ 高城避難所維持管理負担金 1,100,880 円
(清掃業務、空調設備保守点検、エレベーター保守点検)
- ・ 高城避難所防火設備点検負担金 18,480 円

4 石田沢防災センター利用状況

内訳 \ 年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
駐車場利用台数	9,444 台	9,942 台	6,062 台
防災まちづくりセンター棟利用者数	2,225 人	2,077 人	1,236 人
会議室棟利用者数	4,475 人	4,378 人	841 人

5 高城避難所利用者数

内訳 \ 年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
多目的室利用者数	1,366 人	1,325 人	1,565 人

実績

課題
方向性

備蓄品については、幅広い年齢層の人が避難することを想定し、食料や資機材等の災害用備蓄品の確保に努め、災害時における受入体制を整備する。

防災拠点である石田沢防災センター及び高城避難所の管理については、有事の際に迅速に対応できるよう適正な維持管理に努めるとともに、施設利用者にとって利用しやすい環境を構築し、施設の有効活用を図る。

なお、大雨災害時に住民の安全確保を図り地域防災力の向上に資することを目的に計画を進める、上竹谷地区への避難所建設については、地権者や地区等と協議を重ね、計画の推進を図る。

一 般 会 計

10 款	1 項	2 目	事務局費																																																																																																													
担当部署名			教育課学校教育班											(単位:千円)																																																																																																		
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																																																																																																											
					国庫支出金	県支出金		地方債		その他		一般財源																																																																																																				
	113, 239		109, 811			2, 753				167		106, 891																																																																																																				
目的	児童・生徒における家庭学習の習慣形成、基礎基本を着実に定着させ、「わかる喜び」、「学ぶ楽しさ」を体感させ、学習に対する自信を持たせることを目標とする。																																																																																																															
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果																																																																																																										
	事務局運営経費		B	-	3. 7	教育指導専門員を任用し、小・中学校・幼稚園の指導を行った。																																																																																																										
	子供安全対策事業		B	-	3. 3	スクールガードリーダーを配置し、週2回の見守り活動を実施し、登下校時における安全確保が図られた。（長期休暇時等を除く）																																																																																																										
	外国青年招致事業		B	-	3. 7	外国語指導助手（ALT）を小学校、中学校、幼稚園、保育所等へ派遣し、国際教育の機会を増やすことで、外国語及び外国文化に慣れ親しむ国際理解教育の一助となった。																																																																																																										
	松島こども英語ガイド事業		A	3. 3	3. 3	松島在住の参加を希望する小学5年生から中学3年生の児童生徒に対し、授業において学んだ英語を使って実際に言語活動にチャレンジできる場を提供した。																																																																																																										
	心のケア・不登校対策事業		B	-	3. 3	スクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒が抱える諸問題に対し、教職員等とのケース会議や面談を通して、児童生徒の置かれている様々な環境への働きかけや関係機関等との連携・調整を行ったことにより、学校生活復帰への一助となった。																																																																																																										
	心のケアハウス事業		B	-	3. 7	心理的要因等により不登校（傾向含む）となっている児童生徒やその保護者に対し、教育相談、生活相談を行った。また、学習支援等を通して、児童生徒の自立及び学校生活への自発的な復帰に向けた支援を行った。																																																																																																										
	通学バス運行事業		A	3. 7	3. 3	手樽・北小泉・下竹谷地区の児童が松島第二小学校へ通学するため、送迎バスの運行を行った。																																																																																																										
実績	【子供安全対策事業】 （スクールガードリーダーの配置） 児童・生徒の安心安全対策として登下校時に週2回の見守り活動を実施 1名（活動回数 79回にかかる報酬） 465, 888 円																																																																																																															
	【外国青年招致事業】 （外国語指導助手（ALT）事業） ・年間指導実績 (単位:延べ日数)																																																																																																															
	<table><tr><td>学校名</td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td><td>計</td></tr><tr><td>松島第一小学校</td><td>6</td><td>10</td><td>11</td><td>4</td><td>2</td><td>10</td><td>8</td><td>9</td><td>7</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>91</td></tr><tr><td>松島第二小学校</td><td>4</td><td>9</td><td>10</td><td>3</td><td>2</td><td>8</td><td>7</td><td>10</td><td>6</td><td>8</td><td>8</td><td>6</td><td>81</td></tr><tr><td>松島第五小学校</td><td>5</td><td>9</td><td>9</td><td>3</td><td>1</td><td>7</td><td>7</td><td>10</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>5</td><td>80</td></tr><tr><td>小計</td><td>15</td><td>28</td><td>30</td><td>10</td><td>5</td><td>25</td><td>22</td><td>29</td><td>20</td><td>24</td><td>25</td><td>19</td><td>252</td></tr><tr><td>松島中学校</td><td>11</td><td>17</td><td>19</td><td>11</td><td>1</td><td>20</td><td>18</td><td>17</td><td>12</td><td>16</td><td>17</td><td>12</td><td>171</td></tr><tr><td>総計</td><td>26</td><td>45</td><td>49</td><td>21</td><td>6</td><td>45</td><td>40</td><td>46</td><td>32</td><td>40</td><td>42</td><td>31</td><td>423</td></tr></table>														学校名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	松島第一小学校	6	10	11	4	2	10	8	9	7	8	8	8	91	松島第二小学校	4	9	10	3	2	8	7	10	6	8	8	6	81	松島第五小学校	5	9	9	3	1	7	7	10	7	8	9	5	80	小計	15	28	30	10	5	25	22	29	20	24	25	19	252	松島中学校	11	17	19	11	1	20	18	17	12	16	17	12	171	総計	26	45	49	21	6	45	40	46	32	40	42	31	423
	学校名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計																																																																																																		
	松島第一小学校	6	10	11	4	2	10	8	9	7	8	8	8	91																																																																																																		
	松島第二小学校	4	9	10	3	2	8	7	10	6	8	8	6	81																																																																																																		
	松島第五小学校	5	9	9	3	1	7	7	10	7	8	9	5	80																																																																																																		
	小計	15	28	30	10	5	25	22	29	20	24	25	19	252																																																																																																		
	松島中学校	11	17	19	11	1	20	18	17	12	16	17	12	171																																																																																																		
	総計	26	45	49	21	6	45	40	46	32	40	42	31	423																																																																																																		
※ 上記の学校教育活動の他、幼稚園に計27回、保育所に計13回訪問し、未就学児への英語に親しむ機会を設けた。																																																																																																																
(次頁へ続く)																																																																																																																

10 款	1 項	2 目											
実績	【松島こども英語ガイド】 松島の魅力を英語で案内する動画を作成し、世界に向けて発信した。												
	期間 令和5年7月26日から令和5年8月24日 (オリエンテーション1回、現地研修2回、英語サロン5回、修了式1回)												
	場所 観瀾亭他2か所												
	参加者 町内の小学5年生～中学生 16名												
	【心のケア・不登校対策事業】 (県委託事業 SSW (スクールソーシャルワーカー) 活用事業)												
	・SSW活動にかかる報酬	623,125 円											
	・SSWとして雇用した実人数	2人											
	・年間勤務時間数及び年間勤務日数												
	年間勤務時間数	195.0 時間											
	年間勤務日数	67.0 日											
平均勤務時間数	2.9 時間／日												
・訪問活動の回数													
学校	67 回												
家庭	24 回												
教育委員会	26 回												
その他関係機関	1 回												
・ケース会議の開催状況													
①教職員等とのケース会議													
開催回数	1 回												
ケース件数	1 件												
参加教職員数	6 人												
参加関係機関の人数	0 人												
②関係機関等とのケース会議													
開催回数	11 回												
ケース件数	20 件												
参加教職員数	0 人												
参加関係機関の人数	6 人												
【心のケアハウス事業】 (県補助事業 みやぎ子どもの心のケアハウス運営支援事業)													
・年間活動状況	(単位：延べ)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
児童生徒支援人数 (人)	1	2	3	5	3	7	6	3	6	5	7	7	55
保護者支援人数 (人)	1	2	2	4	1	2	1	4	3	3	3	4	30
開所日数 (日)	15	20	22	13	4	20	21	20	16	17	19	16	203
【通学バス運行事業】													
○ 通学バス運行业務委託料	5,638,956 円												
○ 通学バスリース料 (2台)	3,164,040 円												
○ 通学バス運行日数													
・ 手樽コース	205 日												
・ 北小泉・下竹谷コース	205 日												
課題方向性	外国語青年招致事業については、引き続き外国語指導助手 (ALT) を学校に配置し、幼稚園児から中学生までの全学年において、生きた英語を学ぶ機会を提供する。 松島こども英語ガイド事業については、引き続きSNSを活用し町の魅力を発信するとともに、外国人観光客への対面による観光ガイド活動の再開を検討していく。 心のケアハウス事業については、不登校等様々な問題を抱える児童生徒や保護者を支援する重要な存在となっており、引き続き事業継続について関係機関との連携をとりながら事業を継続していく。												

一 般 会 計

10 款	2 項	1 目	小学校管理費						
担当部署名		教育課学校教育班					(単位:千円)		
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳					
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	72, 128	69, 254			2, 922		2, 400	63, 932	
目的	町の教育基本方針である「かしこく、やさしく、たくましい児童・生徒の育成」と「特色ある学校づくりの推進」のため、児童の安心・安全な学習環境の充実と学校施設整備の向上を図る。								
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	第一小学校	B	-	3.0	児童の安全・安心な教育環境を維持するため、学校施設の維持管理等を実施した。				
	第二小学校	B	-	3.0	児童の安全・安心な教育環境を維持するため、学校施設の維持管理等を実施した。				
	第五小学校	B	-	3.0	児童の安全・安心な教育環境を維持するため、学校施設の維持管理等を実施した。				
実績	1 児童数及び学校職員数 (令和5年5月1日現在) (単位:人)								
	学 校 名	児童数	教職員数						
			学校教員	事務職員	養護教員	栄養職員	教育補助員	業務員	総 計
	松島第一小学校	308	25	1	1	0	4	1	32
	松島第二小学校	129	12	1	1	0	2	1	17
	松島第五小学校	59	10	1	1	0	1	1	14
	合計	496	47	3	3	0	7	3	63
	2 校務用コンピュータ整備状況								
	項目/学校名	整備年度	整備台数						
	松島第一小学校	R4	29台						
松島第二小学校	R1	17台							
松島第五小学校	R2	17台							
合計		63台							
3 需用費 (修繕料)								2, 775, 982 円	
・ 松島第一小学校	廊下分電盤修繕他	(18 件)						1, 172, 732 円	
・ 松島第二小学校	プールろ過修繕他	(8 件)						1, 285, 250 円	
・ 松島第五小学校	トイレブース修繕他	(5 件)						318, 000 円	
4 工事請負費								4, 200, 900 円	
・ 松島第一小学校	体育館照明LED化工事						3, 127, 300 円		
・ 松島第五小学校	高圧受電機器更新工事						1, 073, 600 円		
(次頁へ続く)									

10 款	2 項	1 目	
実績	5	備品購入費	3,939,346 円
		(序用備品)	
	・松島第一小学校	学習用机・椅子、プリンター他	(5 品目、 28 個) 434,654 円
	・松島第二小学校	放送設備、学習用机他	(11 品目、 18 個) 3,152,292 円
	・松島第五小学校	暖房機、システムウォッチ他	(3 品目、 4 個) 352,400 円
課題 方向性	各施設の状況に合わせて、必要な維持修繕等を実施しているが、各学校とも建設後の年数が経過しているため、施設の修繕や備品の更新などが必要となる学校が多い状況である。 修繕箇所等の優先順位を検討することで経費の平準化を図りながら、今後を見据えた計画的な維持管理及び更新を行う。		

一般会計

10 款	2 項	2 目	教育振興費（小学校）					
担当部署名		教育課学校教育班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	34,189	31,138	236			5,000	25,902	
目的	児童の学習に必要な教材・教具の整備充実により教育環境保全向上に努めると共に、経済的理由により就学困難な児童又は就学予定者の保護者並びに特別支援学級に在籍する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、必要な援助を行う。							
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	義務教育教材費	B	-	3.0	児童がよりよい環境の下、授業が受けられるように教育上必要な教材の整備等が図られた。 また、教科書改訂に伴う教師用教材の整備が図られた。			
	要保護・準要保護関係経費	B	-	4.0	経済的理由によって、就学困難と認められる児童の保護者に対し必要な援助を行い、教育環境の向上・義務教育の充実が図られた。			
	特別支援教育就学奨励経費	B	-	4.0	特別支援学級に在籍する児童の保護者に対して、負担能力に応じて必要な援助を行い、教育環境の向上・義務教育の充実が図られた。			
実績	1 教育用コンピュータ整備状況							
	項目／学校名		松一小	松二小	松五小	計		
	貸 借	整備年度	R2	R1	R1	－		
		整備台数	58 台	62 台	39 台	159 台		
		(うちタブレット)	58 台	30 台	16 台	104 台		
	購 入	整備年度	R2			－		
		整備台数 (タブレット)	276 台	131 台	77 台	484 台		
	2 備品購入費						692,594 円	
	(教材備品)							
	・ 松島第一小学校	キスター付パターション3連他	(2 品目、	2 個)	98,868 円			
	・ 松島第二小学校	教師用時計模型 ほか	(4 品目、	8 個)	292,116 円			
	(図書備品)							
	・ 松島第一小学校	課題図書、一般図書	(44 冊)	102,827 円				
	・ 松島第二小学校	課題図書、一般図書	(42 冊)	99,441 円				
	・ 松島第五小学校	課題図書、一般図書	(52 冊)	99,342 円				
	3 ICT支援員配置業務委託料						6,050,000 円	
	・ 期間：令和5年5月1日～令和6年3月31日							

(次頁へ続く)

(次頁へ続く)

4 要保護・準要保護家庭及び特別支援学級児童に対する教育扶助費

(単位：円)

学校名 該当人員 内容(一人当たり限度額)	就学援助費				特別支援 教育就学 奨励費	合計
	松一小	松二小	松五小	小計		
	35 人	7 人	3 人	45 人		
学用品費11,630	337,269	81,410	34,890	453,569	64,020	517,589
通学用品費2,270	56,749	11,350	6,810	74,909	12,485	87,394
校外活動費(泊有)3,690	40,590	0	3,690	44,280	1,845	46,125
校外活動費(泊無)1,600	27,200	580	2,500	30,280	7,200	37,480
新入学用品費54,060	54,060	54,060	0	108,120	0	108,120
通学交通費	0	0	0	0	0	0
修学旅行費22,690	22,690	68,070	22,091	112,851	21,580	134,431
医療費(実費)0	0	0	0	0	0	0
給食費(実費)1,447,642	329,280	145,040	1,921,962	267,400	2,189,362	
入学準備金54,060	270,300	0	0	270,300	0	270,300
支給総額	2,256,500	544,750	215,021	3,016,271	374,530	3,390,801

※ 小学校全体：就学援助費45人【準要保護（従来要件）40人・就学予定者5人】
特別支援教育就学奨励費11人

5 教科書改訂に伴う教師用教材購入

3,939,328 円

実績

種別 教科	教科書		指導書		副教材		備 考
国語	39 冊	19,977 円	24 冊	132,000 円	18 冊	462,000 円	
書写	32 冊	5,504 円	— 冊	— 円	18 冊	297,000 円	指導書単品販売なし
社会	26 冊	13,426 円	5 冊	37,950 円	15 冊	207,900 円	
地図帳	4 冊	2,028 円	3 冊	52,800 円	— 冊	— 円	教員の要望により指導書のみ
算数	46 冊	17,018 円	7 冊	46,750 円	21 冊	298,650 円	
理科	16 冊	14,928 円	4 冊	30,800 円	12 冊	277,200 円	
生活	6 冊	5,916 円	3 冊	13,200 円	— 冊	— 円	副教材の販売なし
音楽	32 冊	7,552 円	18 冊	188,100 円	18 冊	291,060 円	
図画工作	17 冊	3,995 円	— 冊	— 円	9 冊	346,500 円	指導書単品販売なし
家庭	6 冊	1,806 円	1 冊	5,500 円	6 冊	198,000 円	
保健	11 冊	2,519 円	— 冊	— 円	6 冊	214,500 円	指導書単品販売なし
英語	12 冊	2,600 円	9 冊	49,500 円	6 冊	561,000 円	
道德	32 冊	12,849 円	24 冊	118,800 円	— 冊	— 円	教員の要望により指導書のみ
合計	279 冊	110,118 円	98 冊	675,400 円	129 冊	3,153,810 円	

課題
方向性

授業に必要な教材、備品等を整えるとともに、ICT支援員を有効に活用しながら、充実した授業の展開を図っていく。
また、1人1台端末の更新にあたっては、県や他自治体との情報共有を図り、より効果的なICTの推進に繋がるよう検討を進めていく。

一 般 会 計

10 款	2 項	3 目	学校保健衛生費（小学校）							
担当部署名		教育課学校教育班							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳						
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	7,824	7,121					210	6,911		
目的	学校保健安全法に定められた各種健診を実施し、児童及び教職員の健康保持増進に努める。									
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	就学時健康診断費	B	-	3.7	学校保健安全法に基づき、就学前の各種健康診断を実施した。健康な状態または就学が可能な心身の状態で入学できるように適切な治療の勧めや保健上の助言を行った。					
	児童健康診断費	B	-	3.7	学校医の指導、助言を受けながら各種健康診断・健康教育を実施し、児童及び教職員の健康保持増進が図られた。					
	その他学校保健衛生経費	B	-	3.0	小学校における児童の健康保持のため、衛生面の強化や感染症対策、災害時に適切な対応をするために必要な維持管理が図られた。					
実績	1 教職員検診									
	(単位:人)									
	項 目			受診者	要精検	備考				
	結核検診 (全教職員対象)			63	0					
	胃がん検診 (30歳以上希望者)			18	1	※公立学校共済組合の人間ドック受診者を除く。				
	一般健診 (20歳以上希望者)			40	8	※重篤な疾患なし。				
	2 備品購入費									
	(保健衛生備品)									
	松島第一小学校	全自動洗濯機	(	1 品目、	1 個)	41,690 円				
	松島第二小学校	サーキュレーター他	(	3 品目、	9 個)	81,422 円				
松島第五小学校	保健室用冷蔵庫	(	1 品目、	1 個)	39,600 円					
(次頁へ続く)										

4 児童検診 ※内科・心電図・結核・眼科・耳鼻科については要精検、要受診となった人数を掲載
(単位：人)

学年 項目		小学校							備考
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
在籍者数		73	81	86	92	79	85	496	
内 科	肥満傾向	5	9	11	19	10	6	60	※肥満傾向=軽度肥満以上
	脊柱・胸郭	0	0	0	0	0	0	0	
	心雑音	1	1	1	4	0	0	7	
	皮膚	アトピー	1	1	0	0	1	0	3
		その他	0	0	0	0	0	0	
	尿	1次所見有り	0	0	0	0	0	0	
		2次所見 有り	蛋白	0	0	0	0	0	0
			糖	0	0	0	0	0	0
			潜血	0	0	0	0	0	0
	四肢	事前問診所見有り	0	0	0	0	0	0	
		精密検査	0	0	0	0	0	0	
	血液（貧血検査）		-	-	-	-	1	1	※ 要再検（130mg/dl以下）
	血液（LDLコレステロール）		-	-	-	-	8	8	
	心電図二次検査		-	-	-	2	-	2	
結 核	問診 要検討者	0	0	0	0	0	0	0	
	結核対策委員会	0	0	0	0	0	0	0	
眼 科	視力矯正0.7未満	3	6	9	16	19	36	89	※裸眼視力1.0未満の割合 小学校 28.2% (R6. 5. 31現在： 県37.7%、国37.9%)
	アレルギー-結膜炎	18	16	21	32	26	19	132	
	その他（斜視他）	3	2	6	6	6	5	28	
耳 鼻 科	聴力所見有り	-	0	0	-	0	-	0	
	耳疾患（中耳炎等）	-	13	15	-	12	-	40	
	鼻・副鼻腔疾患等	-	1	7	-	8	-	16	
歯 科	健全歯者	62	75	68	72	43	55	375	※12歳永久歯平均う歯本数 松島町0.89本 (県0.6本、国0.6本)
	C0所有者	8	4	14	13	20	12	71	
	処置完了者	2	2	6	13	16	16	55	

5 保健教育

	内 容	対 象	日 程
松島第一小学校	児童集会「熱中症・感染症予防」に関するクイズ	全学年	9月
	保健学習「育ちゆく体とわたし」	4年生	12月
	薬物乱用防止教室	6年生	2月
松島第二小学校	第80回全国小学生歯みがき大会	5年生	6月
	ALSOC防犯教室	1～4年生	7月
	歯科保健学習・食育学習	全学年	10～11月
	薬物乱用防止教室	6年生	10月
松島第五小学校	家庭学習強調週間	全学年	6月・12月・2月
	歯科衛生士と栄養士による歯と栄養の保健指導	1・2・3・4年生	6月・7月
	講演会「健康なからだとは？～水・食べ物から考える～」	保護者と児童（希望者）	11月
	薬物乱用防止教室	6年生	1月

課題
方向性

児童及び教職員の健康保持増進のため、必要な健康診断や健康教育を引き続き実施する。
児童へ薬物乱用防止等をテーマに各学校で保健教育を引き続き実施する。
新型コロナウイルス感染症による活動制限が緩和され児童の活動範囲も広がったが、引き続き感染症対策を継続しながら健康安全に関する教育活動を行う。
感染予防のための保健衛生用品の調達等を今後も継続していく。
また、肥満傾向の児童が一定数いることから、関係機関と連携を図りながら、肥満減少に向けて児童や家庭への指導に取り組む。

一 般 会 計

10 款	3 項	1 目	中学校管理費						
担当部署名		教育課学校教育班					(単位:千円)		
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳						
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	29,903	28,460					28,460		
目的	町の教育基本方針である「かしこく、やさしく、たくましい児童・生徒の育成」と「特色ある学校づくりの推進」のため、生徒の安心・安全な学習環境の充実と学校施設整備の向上を図る。								
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	中学校管理経費	B	-	3.0	生徒の安全・安心な教育環境を維持するため、学校施設の維持管理等を実施した。				
実績	1 生徒数及び学校職員数 (令和5年5月1日現在) (単位:人)								
	学 校 名	生徒数	教職員数						
			学校教員	事務職員	養護教員	栄養職員	教育補助員	業務員	総 計
	松島中学校	264	21	1	1	1	2	1	27
	2 校務用コンピュータ整備状況								
	項目/学校名		整備年度	整備台数					
	松島中学校		R2	34台					
	3 需用費 (修繕料)								
	・ 松島中学校	電灯分電盤修繕他	(6 件)			752,400 円			
	4 工事請負費								
	・ 松島中学校	難聴学級空調設備設置工事	869,000 円						
	5 備品購入費 (庁用備品)								
	・ 松島中学校	裁断機、会議テーブル他	(3 品目 、 4 個)			137,588 円			
課題 方向性	各施設の状況に合わせて、必要な維持修繕等を実施しているが、建設後の年数が経過しているため、施設の修繕や備品の更新などが多い状況である。 修繕箇所等の優先順位を検討することで経費の平準化を図りながら、今後を見据えた計画的な維持管理及び更新を行う。								

一 般 会 計

10 款	3 項	2 目	教育振興費（中学校）				
担当部署名		教育課学校教育班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	13, 673	12, 514	459	476			11, 579
目的	生徒の学習に必要な教材・教具の整備充実により教育環境保全向上に努めると共に、経済的理由により就学困難な生徒又は就学予定者の保護者並びに特別支援学級に在籍する生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、必要な援助を行う。						
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果		
	義務教育教材経費	B	-	3.0	生徒がより良い環境の下、授業が受けられるように教育上必要な教材の整備が図られた。		
	要保護・準要保護経費	B	-	4.0	経済的理由によって、就学困難と認められる生徒の保護者に対し必要な援助を行い、教育環境の向上・義務教育の充実が図られた。		
	特別支援教育就学奨励経費	B	-	4.0	特別支援学級に在籍する生徒の保護者に対して、負担能力に応じて必要な援助を行い、教育環境の向上・義務教育の充実が図られた。		
実績	1 教育用コンピュータ整備状況						
	項目／学校名		松島中学校				
	貸 貸 借	整備年度	R1				
		整備台数	42 台				
		(うちタブレット)	0 台				
	購 入	整備年度	R2				
		整備台数	304 台				
		(タブレット)					
	2 備品購入費						
	(教材備品)						
	・ 松島中学校	カルピタ水書板、得点板他	(11 品目、	42 個)	1,256,288 円		
(図書備品)							
・ 松島中学校	課題図書、一般図書	(125 冊)	179,449 円				

(次頁へ続く)

(次頁へ続く)

3 要保護・準要保護家庭及び特別支援学級生徒に対する教育扶助費

(単位：円)

内容(一人当たり限度額)	該当人員	就学援助費	特別支援教育 就学奨励費	合計
		37 人	4 人	41 人
学用品費	22,730	710,312	34,110	744,422
通学用品費	2,270	45,400	3,405	48,805
校外活動費(泊有)	6,210	0	0	0
校外活動費(泊無)	2,310	0	2,310	2,310
新入学用品費	63,000	153,000	0	153,000
通学交通費	26,180	73,142	13,090	86,232
修学旅行費	60,910	551,240	28,860	580,100
体育実技用具費(柔道着)	7,650	0	0	0
医療費	(実費)	0	0	0
給食費	(実費)	1,678,710	58,080	1,736,790
入学準備金	63,000	252,000	0	252,000
支給総額		3,463,804	139,855	3,603,659

※ 中学校： 就学援助費37人【準要保護（従来要件）29人・準要保護（被災要件）4人・就学予定者（従来要件）4人】
特別支援教育就学奨励費4人

実績

課題
方向性

授業に必要となる教材、備品等を整えるとともに、ICT支援員を有効に活用しながら、充実した授業の展開を図っていく。
また、1人1台端末の更新にあたっては、県や他自治体との情報共有を図り、より効果的なICTの推進に繋がるよう検討を進めていく。

一 般 会 計

10 款	3 項	3 目	学校保健衛生費（中学校）							
担当部署名		教育課学校教育班							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳							
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	3,886	3,544				105	3,439			
目的	学校保健安全法に定められた各種健診を実施し、生徒及び教職員の健康保持増進に努める。									
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	生徒健康診断経費	B	-	3.7	学校医の指導、助言を受けながら各種健康診断・健康教育を実施し、生徒及び教職員の健康保持増進が図られた。					
	その他学校保健衛生経費	B	-	3.0	中学校における生徒の健康保持のため、衛生面の強化や感染症対策、災害時に適切な対応をするために必要な維持管理が図られた。					
実績	1 教職員検診 (単位:人)									
	項 目		受診者	要精検	備考					
	結核検診 (全教職員対象)		25	2						
	胃がん検診 (30歳以上希望者)		6	0	※公立学校共済組合の人間ドック受診者を除く。					
	一般健診 (20歳以上希望者)		17	5	※重篤な疾患なし。					
2 備品購入費 (保健衛生備品)										
・ 松島中学校 聴力検査機他 (4 品目 、 4 個) 185,790 円										

(次頁へ続く)

4 生徒検診 ※内科・心電図・結核・眼科・耳鼻科については要精検、要受診となった人数を掲載

(単位：人)

学年 項目			中学校				備考	
			1年	2年	3年	計		
在籍者数			79	87	98	264		
内科	肥満傾向		20	8	11	39	※肥満傾向=軽度肥満以上	
	脊柱・胸郭		0	0	0	0		
	心雑音		1	2	3	6		
	皮膚	アトピー	3	1	3	7		
		その他	0	0	0	0		
	尿	1次所見有り		3	3	8	14	
		2次所見 有り	蛋白	0	0	0	0	
			糖	0	0	0	0	
			潜血	1	0	3	4	
	四肢	事前問診所見有り		0	0	0	0	
精密検査		0	0	0	0			
血液（貧血検査）				2		2	※ 要再検（130mg/dl以下）	
血液（LDLコレステロール）				2		2		
心電図二次検査			0			0		
結核	問診 要検討者		0	0	0	0		
	結核対策委員会		0	0	0	0		
眼科	視力矯正0.7未満		35	46	54	135	※裸眼視力1.0未満の割合 中学校 27.6% (R6.5.31現在： 県65.1%、国61.2%)	
	アレルギー-結膜炎		0	0	0	0		
	その他（斜視他）		0	0	1	1		
耳鼻科	聴力所見有り		0		0	0		
	耳疾患（中耳炎等）		13		10	23		
	鼻・副鼻腔疾患等		1		5	6		
歯科	健全歯者		44	51	42	137	※12歳永久歯平均う歯本数 松島町0.89本 (県0.6本、国0.6本)	
	C0所有者		30	26	40	96		
	処置完了者		20	17	37	74		

実績

5 保健教育

	内 容	対 象	日 程
松島中学校	薬物乱用防止教室	2年生	12月
	SNS安全教室	全学年	4月
	肥満傾向生徒・歯肉炎・貧血予防指導	全学年	9月・10月
	防災歯科について	1・2年生	5月

課題
方向性

生徒及び教職員の健康保持増進のため、必要な健康診断や健康教育を引き続き実施する。
 生徒へ薬物乱用防止等をテーマとした保健教育を引き続き実施する。
 新型コロナウイルス感染症に活動制限が緩和され生徒の活動範囲も広がったが、引き続き感染症対策を継続しながら健康安全に関する教育活動を行う。
 感染予防のための保健衛生用品の調達等を今後も継続していく。
 また、肥満傾向の生徒が増加傾向にあることから、関係機関と連携を図りながら、肥満減少に向けて生徒や家庭への指導に取り組む。

一 般 会 計

10 款	4 項	1 目	社会教育総務費				
担当部署名		教育課生涯学習班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	28,218	27,299		414			26,885
目的	松島の「自然と歴史」を通じた生涯学習を地域・学校・家庭との協働により展開し、子どもから高齢者まで自発的に学習・交流する機会を提供することで、地域への郷土愛を醸成し、生活の豊かさを育み広げていく。						
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果		
	社会教育・芸術文化振興関係経費	A	3.7	3.3	社会教育団体8団体に補助金を交付し、社会教育の振興に努めた。「こころ・はぐくみ隊」では、児童の興味関心に応じた創作活動をとおして、芸術に関する関心・意欲や表現力の向上、社会性や思いやりなどを育む場が創出できた。また、ジュニア・リーダー育成事業では、地域行事等や各種技術研修会、二市三町合同事業へ積極的に参加して研鑽を積むほか、自主事業の計画を通じて会員の主体性を育んだ。		
	家庭教育推進事業等経費	A	4.0	3.7	地域学校協働活動推進事業では、地域・学校・家庭が協働することにより世代を超えた交流を図ることができた。特に、松島まるごと学やまつしま放課後子供教室では地域人材を講師とした体験活動を取り入れ、郷土愛の醸成につなげることができた。		
	マイクロバス貸出に要する経費	B	-	3.3	学校行事によりマイクロバスが多く活用され、さらに新型コロナウイルス感染症が感染法上の5類に移行したことにより、社会教育団体等の利用件数が増加した。		
	社会教育委員経費	B	-	3.7	年4回の会議を開催し、各種社会教育事業に対する貴重な意見を得た。特に、視察を行った地域学校協働活動推進事業やジュニア・リーダー育成事業については、今後につながる評価・検証を得ることができた。		
実績	【社会教育・芸術文化振興関係経費】						1,783,291 円
	1 社会教育団体の活動・育成事業補助金						
	・ 青少年健全育成松島町民会議						180,000 円
	・ 松島町子ども会育成連合会						120,000 円
	・ 松島町女性団体連絡協議会						40,000 円
実績	・ 松島町婦人会						160,000 円
	・ 松島町PTA連合会						18,000 円
	・ 松島町芸術文化協会						80,000 円
	・ 松島町小・中・高生徒指導連絡協議会						36,000 円
	・ ジョイントコンサート						55,000 円
実績	2 芸術文化振興事業						
	・ 宮城県巡回小劇場（音楽公演）の実施						308,000 円
	令和5年10月17日 演目：ハンガリーの風コンサート						
	町内小学校4・5年生178人鑑賞						
	・ 子ども落語体験・落語会						
実績	令和6年1月14日						
	落語体験参加者 28人 ・ 落語会参加者 82人						

(次頁へ続く)

3 青少年健全育成事業

- ・中学生リーダー研修会（夫婦町：秋田県にかほ市との中学生交流事業）
開 催 日：令和5年8月1日～8月2日
研修場所：松島町内・外（西行戻しの松公園 他）
参 加 者：松島中学校生徒会執行部員7人、秋田県にかほ市参加中学生11人
- ・青少年健全育成松島町民会議研修会（特殊詐欺の手口と被害に遭わないための対策）
開 催 日：令和5年11月2日
研修場所：松島町文化観光交流館 1階 会議室
参 加 者：13人

4 こころ・はぐくみ隊事業

275,000 円

- ・こころ・はぐくみ隊の実施
小学校低学年(1～3年生)を対象とした創作活動ワークショップ

実施日	テーマ（内容）	参加人数	場 所
令和5年10月15日	ダンボールで自分だけのおめんをつくろう！	11 人	手樽地域交流センター 松島町文化観光交流館
令和5年11月12日	大きな段ボールに絵を描くよ！	12 人	
令和5年11月19日	のりものをつくる！	17 人	
令和5年12月 3日	木と鳥をつくる！	17 人	

5 ジュニア・リーダー育成事業

※登録者数 39人（令和6年3月末時点）

実績

実施日	内 容	参加人数	場 所
令和5年 4月23日	第1回二市三町ジュニア・リーダー代表者会議	2 人	ふれあいエスプ塩竈
令和5年 5月28日	二市三町合同研修会	17 人	ふれあいエスプ塩竈
令和5年 6月17日	宮城県ジュニア・リーダー1年生研修会	1 人	宮城県青年会館
令和5年 6月25日	第2回二市三町ジュニア・リーダー代表者会議	2 人	多賀城市中央公民館
令和5年 7月 1日	児童館派遣	5 人	松島町児童館
令和5年 7月 9日	キャンドルファイヤー研修会	9 人	松島町文化観光交流館
令和5年 7月27～28日	二市三町合同キャンプ	8 人	松島自然の家
令和5年 7月29日	しおかぜホーム「ふれあいキャンプ」派遣	7 人	松島町野外活動センター
令和5年 8月 4日	まつしま放課後子供教室「ジュニア・リーダーとあそぼう！」	5 人	松島町文化観光交流館
令和5年 8月 5日	初原分館「お楽しみ会」派遣	8 人	初原コミュニティセンター
令和5年 8月11日	児童館「こどもまつり」派遣	9 人	松島町児童館
令和5年 8月15日	松島流灯会「海の盆」派遣	17 人	松島海岸
令和5年 8月17～18日	仙台管内ジュニア・リーダー中級研修会	6 人	松島自然の家
令和5年 8月20日	高城地区子ども会「〇×クイズ」派遣	8 人	高城中央広場
令和5年 9月 9日	第3回二市三町ジュニア・リーダー代表者会議	2 人	リフノス
令和5年10月 9日	二市三町合同スポーツ大会	12 人	利府町総合体育館
令和5年10月15日・ 11月12日・11月19日・ 12月3日	「こころ・はぐくみ隊」派遣	延べ10 人	手樽地域交流センター 松島町文化観光交流館
令和5年10月29日	児童館「ハロウィンまつり」派遣	10 人	松島町児童館
令和5年12月2～3日	みやぎジュニア・リーダー交流会	5 人	花山青少年自然の家
令和5年12月 9日	児童館派遣	1 人	松島町児童館
令和6年 1月14日	「仙台管内青年文化祭」派遣	3 人	七ヶ浜国際村
令和6年 2月18日	松五小子ども会「6年生を送る会」派遣	2 人	松島第五小学校
令和6年 2月25日	松っ子まつり	10 人	松島町文化観光交流館
令和6年 3月16～17日	初級研修会	延べ19 人	松島町文化観光交流館他

定例会 11回 参加者数 延べ108人

（次頁へ続く）

【家庭教育推進事業等経費】

624,554 円

1「松島まるごと学」（歴史文化教育カリキュラムの推進・推進委員会の開催）
歴史文化教育カリキュラムをもとに、町内各小学校で統一的な体験の実施

小学4年生：品井沼干拓学習（2学期）
（対象：89人）・品井沼干拓に関する史跡・施設を見学

小学5年生：森林学習（1～3学期）
（対象：76人）・檀山での見学、チェーンソー体験、松くい虫の講話、木工体験等

小学6年生：歴史出前授業
（対象：80人）

- 出前授業「縄文時代の松島」（1学期）
- 出前授業「瑞巖寺の歴史」（1学期）
- 瑞巖寺の見学（1学期）
- 座禅体験（2学期）
- 松島海岸付近の史跡見学（松二小、松五小）

2「まつしま放課後子供教室」事業
児童の安全・安心な放課後の活動拠点を確保し、地域ボランティアによる見守りを実施

- 活動概要 令和5年6月～令和6年2月（各小学校月に約1回・合同イベント1回 合計24回）
各小学校体育館・特別教室を利用
- 参加者数 松一小：延べ207人、松二小：延べ153人、松五小：延べ83人

実績

【マイクロバス貸出に要する経費】

2,556,308 円

マイクロバス貸出件数

1 社会教育・社会体育等行事	35 件	
2 学校行事	118 件	
3 その他（他課事業への貸出等）	9 件	計 162 件

【社会教育委員経費】

279,310 円

実施日	主な協議事項	出席委員数	場 所
令和5年 5月23日	年間予定並びに活動内容の確認 社会教育団体への補助金の交付について	10 人	松島町文化観光交流館
令和5年 8月 4日	地域学校協働活動推進事業の報告と評価・ 検証 ※視察事業「まつしま放課後子供教室」 「ジュニア・リーダー育成事業」	7 人	松島町文化観光交流館
令和5年11月16日	地域学校協働活動推進事業の視察と評価・ 検証 ※視察事業「松島まるごと学」	5 人	松島町文化観光交流館・品井沼干拓資料館
令和6年 2月15日	令和5年度活動報告・社会教育事業報告	10 人	松島町役場

課題
方向性

青少年健全育成活動については、各関係機関と連携し、現在の青少年を取り巻く環境を注視しながら健全育成活動事業を展開していく。また、夫婦町である秋田県にかほ市の中学生とのリーダー研修会を通じ、先導者としての資質向上に繋がる研修や体験活動を継続して行っていく。

ジュニア・リーダー活動については、会員が増加する一方で活動に参加する会員が固定化していることから、自主事業企画など意欲を持って活動できるよう促していく。また、実践の場で活躍できる人材育成のため、引き続きOB・OGや高校生から中学生への技術継承の場を設け、全体のレベルの底上げを図っていく。

地域学校協働活動推進事業については、引き続き地域・学校と連携しながら「松島まるごと学」を推進し、松島に愛着や誇りを持つ児童生徒の育成に努めていく。また、「まつしま放課後子供教室」等における地域人材や教育資源の活用をより一層推進していけるよう、地域学校協働本部会議の体制を見直していく必要がある。

一 般 会 計

10 款	4 項	2 目	公民館費					
担当部署名		中央公民館					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳					
	29,820	29,076	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
						185	28,891	
目的	町民のニーズに合わせた生涯学習の環境をつくるとともに、その事業の推進に努める。また、分館活動を通じて、町民の健康の増進・生活文化の振興に努める。							
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	成人教育事業	A	3.0	4.0	コロナ以降、少しずつ教室を再開した。教室開催により、受講者同士が教え合ったり学び合ったりしてお互いの教養を高め、学びの場として活用された。			
	文化観光交流祭事業	A	3.0	3.0	1日開催で実施し、出演・出店する側も参加者も楽しめるよう内容を工夫した。			
	成人式典関係経費	B	-	3.3	成人者も保護者も成人の喜びを分かち合えるよう、アトラクションなどを工夫した。			
	分館活動経費	A	4.0	3.0	分館毎の状況に合わせて事業を再開したことで、地域の事業実施数は増加した。分館長会議の実施により地域の情報共有の場として活かした。			
	公民館一般活動経費	A	3.0	3.0	分館との情報共有の場を設け意見交換することで、地域活動の理解と工夫に生かされ、より円滑な公民館活動に寄与することができた。工夫した事業づくりや学習の機会の環境づくりに努めた。			
実績	【成人教育事業】 ・中央公民館教室・講座						71,000 円	
							(単位:人、回)	
	名 称	内 容			開催期間	受講者 (延べ 人数)	回数	
	お花見と音楽の 茶ロン	日本の伝統文化である裏千家のお手前体験にて茶の湯に親しむとともにロビーコンサートと同時に実施し、ピアノやトランペットの演奏を楽しんだ。			4月15日	50	1	
	春を探しに ウォーキング	健康増進と施設のPRを兼ね町民の森を訪れ、ウォーキングをしながら動植物の観察などを行った。			4月18日	17	1	
	プロギング	健康増進と地域美化活動推進のため、ウォーキングをしながらゴミ拾いを行った。			5月 9日 7月11日 9月 5日 10月13日	21	4	
	R5子どもなつまつり	地域の盆踊り継承の一端として盆踊り講習会を行い、同時にロビーコンサートでピアノデュオ演奏や縁日コーナーを設け夏の行事を楽しんだ。			7月15日	50	1	
	スターウォッチ ング	町民の森において親子星空観測会を行った。また、仙台市天文台から移動天文車ベガ号を招集し、より本格的な天体観測となった。			7月24日	46	1	
	普通救命講習会	心肺蘇生法を学ぶため、普通救命講習Ⅰを実施し、基礎的な救命方法を学んだ。			7月28日	13	1	
	夏休み親子料理 教室	宮城県の食材王国みやぎ「伝え人」から講師を招き、「手作りウインナーを作ろう」と題し、肉捏ね、腸詰めなどを親子で行った。			8月2日	14	1	
町歩き歴史講座	町外での歴史講座として、利府町内の史跡巡りを行った。			9月11日	8	1		
(次頁へ続く)								

(次頁へ続く)

(単位：人、回)

名 称	内 容	開催期間	受講者 (延べ 人数)	回数
秋満喫ウォーキング	健康増進と施設のPRを兼ね、扇谷・大仰寺・町民の森でウォーキングを行った。	11月8日	8	1
チーズセミナー	雪印メグミルク食のコミュニティー事業を活用し、～チーズを美味しく楽しむために～美味しい食べ方や組み合わせ食材などを学んだ。	11月17日	12	1
飾り巻き寿司教室	四海巻きなどを調理し味わうことにより料理体験を通じて伝統の味を愉しんだ。	12月17日 2月18日	36	2
仙臺さすり絵付け体験	どんな困難にも負けないで笑顔でいたいとの思いから生まれた縁起物である「仙臺さすり」の絵付け体験を行った。	1月21日	12	1

【文化観光交流祭事業】

110,742 円

昨年から1日開催としたが、産業まつりと同日開催ということもあり1,862人が参加する町民の文化・芸術の発表の場となった。

(展示・販売の32団体、舞台の部23団体 同時開催：ハロウィン祭り、子どもアート広場)

【成人式典関係経費】

428,274 円

実績

名 称	内 容	開催日	参加人数
第75回松島町成人式（二十歳を祝う会）	成人年齢が20歳から18歳に引き下げられ、2度目の開催となった。町ではこれまで通り20歳となった節目のお祝いとし、実施した。新成人が社会人としての自覚を高め、新しい一歩を歩む記念となるよう、式典構成も工夫した。（保護者からのエール、アトラクションの松島祭連竹谷舞、思い出のスライドショーなど）	令和6年 1月7日	新成人出席者 66人

【分館活動経費】

3,253,145 円

分館毎に感染症の予防対策に努め、夏祭りや収穫祭などの地域イベントを開催した。

○ 分館数

12 分館

○ 松島町公民館分館事業補助金

1,459,000 円

・ 主な分館活動

グラウンド・ゴルフ大会、夏祭り、お茶っこ飲み会、収穫祭 等

○ 分館長会議開催回数

8 回

○ 第61回町民ふれあいスポーツ大会

実施日 6月4日

分館参加者 687名

優勝

上竹谷分館

準優勝

北小泉分館

第3位

松島分館

○ 研修会

・ 分館長移動研修

実施日 12月3日

分館参加者 11名（11分館）

山形県中山町方面（町立歴史民俗資料館、霞城セントラル、シェルターインクルーシブプレイス コパルなど）

・ 分館長・主事・会計移動研修

実施日 7月29日

分館参加者 22名（11分館）

南三陸町方面（南三陸311メモリアル、震災復興祈念公園・献花など）

(次頁へ続く)

実績	【公民館一般活動経費】 3, 552, 538 円 ○ 社会教育施設自習室利用 ・ 期間 4月1日～3月31日 ・ 対象 小学生、中学生、高校生、大学生 (単位：人) <table> <tr> <th>実施場所</th><th>利用者数</th></tr> <tr> <td>文化観光交流館</td><td>89</td></tr> <tr> <td>勤労青少年ホーム</td><td>351</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>440</td></tr> </table> ※「自習室」 町内の児童及び生徒等が自学自習する場として、令和4年8月から文化観光交流館と勤労青少年ホーム内に自習スペースを設置し開放した。 学びの場として、居場所や集いの場としても活用されている。	実施場所	利用者数	文化観光交流館	89	勤労青少年ホーム	351	合 計	440
	実施場所	利用者数							
文化観光交流館	89								
勤労青少年ホーム	351								
合 計	440								
課題 方向性 新型コロナウイルス感染症が蔓延した以降、働き方や生活全般が見直され利用者層も変化していることから、サークル活動や生涯学習の機会が損なわれないよう利用者ニーズ調査を行い、教室・講座の創意工夫に努める。 分館活動については、地域の実情に応じた様々な活動が町民の生きがいや交流を育み、活発に実施されるよう分館長会議等で情報共有を図りながら支援に努める。 芸術文化活動については、さらに推進するよう、「文化観光交流まつり」など、発表の場の催しを継続していく。									

一般会計

10 款	4 項	3 目	文化財保護費				
担当部署名			教育課生涯学習班				
			(単位:千円)				
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	19,999	18,892	1,661	231		1,409	15,591
目的	文化財の保全・活用を通じて、町の歴史文化に対する町民の理解を深め、ふるさとを誇りに思う人材を育み、松島の魅力を広く発信する。						
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果		
	文化財関係一般経費	A	4.0	3.3	特別名勝松島の現状変更申請及び埋蔵文化財の発掘届受理・進達事務を通じて文化財の保護に努めた。活用面では近隣市町と連携して各種事業の実施や講座等を開催しPR活動を行った。また、松島第一小学校及び松島中学校において常設の展示室を設置し文化財を身近に感じてもらえるような取り組みを行った。他にも町史編さん作業に関する文化財調査も実施した。		
	文化財関係施設維持管理経費	B	-	3.3	品井沼干拓遺構及び資料館、西の浜貝塚公園の適正な維持管理を実施し、施設環境の維持に努めた。		
	文化財保護委員会運営経費	B	-	3.7	文化財保護委員会を2度開催し、町内文化財の維持管理・調査状況について報告を行ったほか、町史編さん事業についても報告及び意見の聴取を行った。		
実績	町内遺跡出土遺物再整理事業	B	-	3.3	瑞巖寺ライフライン整備等工事に合わせ、必要な調査を行った。想定以上に遺構が多く残存しており、令和5年度までに出土した遺物の整理作業を順次行った。また、西の浜貝塚出土品（土器等）の再整理を行った。		
	【文化財関係一般経費】						846,622 円
	1	特別名勝松島の現状変更の指導及び許可申請受付・進達					141 件
	2	埋蔵文化財の管理及び諸開発事業の事前協議書申請受付・進達					16 件
	3	埋蔵文化財包蔵地の現況調査（文化財保護地区指導員と共同調査）					5 箇所
	4	町内文化財調査					
	(1)	所在確認調査					
		① 高城S家文書		資料写真撮影	23 点	(38コマ)	
		② 幡谷T家文書		資料写真撮影	71 点	(147コマ)	
		③ 桜渡戸K家文書		資料写真撮影	45 点	(179コマ)	
		④ 高城N家旧蔵文書		資料写真撮影	14 点	(16コマ)	
		⑤ 松島D家文書	津波被災資料のレスキュー作業	資料写真撮影	21 点	(47コマ)	
		⑥ 高城A家文書		資料写真撮影	9 点	(48コマ)	
	(2)	その他調査対応					
		① 伊達家化粧道具		調査主体：瑞鳳殿資料館			
		② 西の浜貝塚出土土器		調査主体：東北大学埋蔵文化財調査室			
		③ 瑞巖寺境内遺跡出土柿経		調査主体：愛媛県久万高原町教育委員会			
	5	文化財資料の寄贈					
	(1)	東洋館防空用桶					1 点
	(2)	中通契約講関係資料					1 式
	(3)	昭和12年度松島尋常高等小学校卒業アルバム					1 点

(次頁へ続く)

10 款	4 項	3 目
実績	6	町所蔵資料の公開・活用に関する業務
	(1)	文化財の展示
	①	町民スペース
		・ 令和5年2月13日～令和6年1月23日 松島御仮屋龕絵図面（パネル）
		・ 令和6年1月24日～ 郡山合戦関係資料（伊達政宗文書パネル）
	②	松島博物館
		・ 令和5年 1月13日 ～ 令和5年 7月30日 日本遺産パネル展
		・ 令和5年 6月23日 ～ 令和5年 9月22日 松島町周辺の赤子養育仕法関係史料
		・ 令和5年 7月31日 ～ 令和5年 9月21日 鳥海山・飛鳥ジオパーク展
		・ 令和5年 9月22日 ～ 令和5年11月21日 松島湾三町文化財展・寄贈文化財展
		・ 令和5年11月22日 ～ 令和6年 1月22日 松尾芭蕉・おくのほそ道関連展示
		・ 令和6年 1月23日 ～ 日本遺産パネル展
	③	松島湾三町文化財展
		・ 令和5年 7月 1日 ～ 令和5年 9月 3日 御船行列写 会場：七ヶ浜町歴史資料館
		・ 令和5年11月30日 ～ 令和6年 2月12日 西の浜貝塚出土資料 会場：リフノス
	④	学校への民具資料展示
		・ 令和5年 8月24日 松島第一小学校（漁業関連民具 40点）
		・ 令和6年 3月27日 松島中学校（実用・意匠性のある民具 31点）
	(2)	出前講座の実施
		・ 学校向け出前授業・見学学習（松島まるごと学等） 19 件 延べ 522 人
		・ 一般向け（町内所在の文化財に関する講演、町歩き等） 11 件 218 人
		・ 二市三町歴史体験事業 縄文土器づくり体験
		令和5年 8月26日 土器成型 11 人（町内参加者）
		令和5年 9月30日 野焼き 11 人（町内参加者）
		・ むすび丸春日パーキングエリア「歴史体験祭り」（宮城県道路公社・3市2町と共同開催） 令和5年 9月18日 来場者 76 人
	(3)	日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」の活用
		・ 日本ガイドプログラム 1 回 12 人
		「景観と信仰 松島四大観富谷・扇谷と大仰寺 講話・坐禅体験」
		・ セタシマクエスト 4 回 延べ 34 人
	(4)	松島歴史体験ボランティア養成講座の実施
		・ 活動概要 令和5年6月～令和6年3月 月に1回程度、計9回開催 文化財の整理、保存、調査、活用などについての座学・実習 登録者：町民8人
	7	指定文化財の保存修理等事業補助
		・ 瑞巖寺、圓通院、陽徳院維持管理事業（自動火災報知設備等） 112,000 円
	【文化財関係施設維持管理経費】	
	1	国指定史跡西の浜貝塚公園の維持管理（施設・樹木管理業務委託） 2,029,500 円
	2	品井沼干拓遺構及び資料館の維持管理（草刈・浄化槽保守点検業務委託他） 1,175,963 円
	3	品井沼干拓資料館の利用（町内小学校も含む） 26 件 404 人

（次頁へ続く）

【文化財保護委員会運営経費】

52,461 円

実施日	主な協議事項	出席委員数	場 所
令和5年5月31日	・町史編さん事業について ・現地視察：東部地域交流センター	6人	松島町役場
令和6年3月25日	・各種事業報告	4人	

【町内遺跡出土遺物再整理事業】

2,759,280 円

(1) 瑞巖寺ライフライン整備等工事に伴う文化財調査

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで、瑞巖寺防災設備工事およびライフライン整備工事の進捗に合わせ発掘調査を行った。凝灰岩切石の石切場跡とみられる遺構や近代の通路跡など境内地内にて多数の遺構を確認した。出土遺物は中世から近代の陶磁器・瓦などがあり、整理作業を進めている。

(2) 松島れきし再発見講座

① Lesson6 北部に残る古代の足跡

講 演：「蝦夷穴横穴墓にみるヤマト王権の東北支配―大化の改新の頃の松島地域―」

講 師：東北学院大学非常勤講師 佐藤 敏幸 氏

開催日：令和5年4月15日 松島町文化観光交流館 研修室

参加者：27人

② Lesson7 近世瓦の見方・楽しみ方

講 演：「鹽竈神社と御釜神社出土の瓦について」

講 師：松島町文化財保護委員 高橋 守克 氏

開催日：令和6年2月17日 松島町文化観光交流館 会議室

参加者：22人

実績

課題
方向性

松島の自然景観や文化財保全における特別名勝松島の現状変更申請等の事務処理には指導・事前協議を含め時間を要している状況となっている。中・長期的には宮城県と調整を図り効率的な手法を見出していきたい。

文化財の活用面においては、小学校出前授業や各種講座の実施に加えて近隣市町と連携したイベントの開催などにより、参加者には文化財への理解・興味を示していただいている。一方で、効果的な見せ方や活用についてはさらに工夫を凝らしていき、今後は町史編さん事業や町内遺跡出土再整理事業の成果を絡めながら事業展開が図れるよう努めていく。

一般会計

10 款	4 項	4 目	町民の森費						
担当部署名			中央公民館					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳						
	13,617	13,528	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
						1	13,527		
目的	民間の活力を活かして、町民の森施設の施設管理及び生涯学習の場として有効利用促進に努める。								
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	町民の森維持管理経費	A	3.7	3.0	利用者の安心安全に留意し、必要な維持管理に努めた。				
	町民の森運営経費	A	3.0	3.0	長松園まつり事業については、実行委員会の協力により参加者制限なしで実施した。				
実績	【町民の森維持管理経費】								12,600,000 円
	1 指定管理業務委託								
	・ 指定管理料								12,600,000円（令和5年4月から令和6年3月まで）
	・ 指定管理期間								令和2年4月から令和7年3月まで（5年間）
	・ 指定管理者								特定非営利活動法人 ウイザス
	2 利用状況								
									(単位：人)
		利用者数	内 訳						
			センター ロッジ	テント	多目的 ホール	研修室	円形広場	炊事棟	
	4月	1,445	0	223	20	0	1,197	5	
	5月	1,289	0	354	0	0	922	13	
	6月	965	0	161	0	0	748	56	
	7月	1,518	96	253	153	153	863	0	
	8月	1,524	126	261	158	91	888	0	
	9月	842	0	233	0	0	609	0	
10月	1,549	42	406	58	42	956	45		
11月	1,418	82	260	135	92	849	0		
12月	321	0	64	0	0	257	0		
1月	271	0	0	0	0	271	0		
2月	293	0	0	0	0	293	0		
3月	860	0	200	6	0	596	58		
合計	12,295	346	2,415	530	378	8,449	177		
								利用者内訳 町内 3,704 人 町外 8,591 人	
3 指定管理者自主事業									
								(単位：人)	
事 業 名				実 施 日		参加人数			
木工教室				4月1日		20			
わんぱくデイキャンプ				10月2日		13			
ウォーク＆ゲームラリー				11月17日		56			
松島の四季写真コンテスト				12月1日～2月29日		45			
(次頁へ続く)									

10	款	4	項	4	目
実績	【町民の森運営経費】				927,128 円
	・ 補助金 長松園まつり事業補助金				100,000 円
課題 方向性	適正な施設の維持管理を行い、円形広場などで子ども達が自由に遊べる場所の確保と自然体験が出来る施設の有効活用に努める。 指定管理者の民間活力による自主事業が活発化・充実していくよう連携を図っていく。				

一 般 会 計

10 款	4 項	5 目	地域交流センター費							
担当部署名		中央公民館							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳							
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	5,229	4,694				1	4,693			
目的	地域活動の拠点施設として適切な維持管理を行い、生涯学習の場として教育講座を開催し、利用促進に努める。									
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	手樽地域交流センター管理費	A	3.0	3.0	適切な維持管理を行い、保管資料等の整理にも着手した。					
	松島東部地域交流センター管理費	A	3.0	3.0	利用者がいつでも利用できるよう適切な維持管理を行った。					
実績	1 松島町地域交流センター施設利用一覧表									
	(単位:人)									
	区分	利用者数	内訳(手樽地域交流センター)		内訳(松島東部地域交流センター)					
			センター施設	グラウンド	センター施設	グラウンド	体育館			
	4月	331	95	144	0	60	32			
	5月	452	173	136	23	88	32			
	6月	370	145	136	18	55	16			
	7月	425	148	180	0	65	32			
	8月	354	45	195	17	65	32			
	9月	380	140	180	0	60	0			
	10月	506	183	195	0	90	38			
	11月	693	152	395	18	105	23			
	12月	252	166	0	0	65	21			
	1月	176	112	0	0	50	14			
	2月	241	164	0	0	60	17			
	3月	235	154	0	0	65	16			
	合計	4,415	1,677	1,561	76	828	273			
	2 主催事業									
	・手樽地域交流センター									
	(単位:人)									
	名 称	内 容					開催期間	参加者		
	親子創作教室	大小の大きさの異なる色紙を使って親子でことばのアート作品の製作をした。					8月11日	7		
課題 方向性	地域と協議・調整を図りながら、施設の有効活用について検討していく。									

一 般 会 計

10	款	4	項	6	目	町史編纂費				
担当部署名				教育課町史編さん室					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	500		428						428	
目的	町制施行100周年記念事業として刊行する町史を編さんするもの。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	町史編纂事業		A	3.7	3.0	近年自治体史を作成、または作成中の近隣自治体に聞き取りを行うとともに、編さんに関わる基礎資料の収集を行った。また町公式Facebook等を通じて情報発信を行った。				
実績	【近隣自治体への聞き取り調査】									
	・ 岩沼市 令和5年5月16日 普及版（子ども市史）の編さんについて ・ 名取市 同上 編さん体制（部会や専門員の役割）について ・ 利府町 同6月30日 コンサル業務委託について									
課題 方向性	【町史編さんにかかる資料調査】									
	1 古文書資料 7/35 件 (進捗率20%) 2 近世石碑 144/620 基 (進捗率23%)									
課題 方向性	【町史編さんに関する情報発信】									
	町公式Facebookへの投稿 41 件									
課題 方向性	近隣自治体への聞き取り及び内部協議の結果、町史編さんについてはコンサルに委託せず学識経験者に監修・執筆を依頼することとし、職員は資料調査及び情報発信その他の調整に従事することとなった。									
	刊行する町史は通史編・資料編の2本立てとなり多くの作業を抱えるが、令和6年度から新たに会計年度任用職員を採用し調査員や関係機関と協力しながら進捗させる。 また、調査した内容を広く普及していくための取り組みについて、引き続き検討する。									

一 般 会 計

10 款	5 項	1 目	保健体育総務費						
担当部署名			教育課生涯学習班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳						
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	8, 868	8, 187					8, 187		
目的	町民が心身ともに健康で活力に溢れた生活が営めるよう、スポーツ活動へのきっかけを提供する。 また、体育施設を町民の健康と体力づくり、コミュニケーションづくりの場として提供し、地域に おける生涯スポーツの普及と振興を図る。								
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	スポーツ推進委員経費	B	-	3.3	町民ふれあいスポーツ大会をはじめ各種スポーツ大会 の運営協力を行った。また、スポーツ研修会等への参加 などスポーツ推進員としての資質向上に努めた。				
	町民グラウンド管理経費	B	-	3.3	利用者数については、前年度より減少したものの、高 齢者のグラウンド・ゴルフやスポーツ少年団の活動の場 として町民の体力向上や健康維持に貢献した。				
	社会体育一般経費	B	-	3.3	第43回クイーンズ駅伝in宮城のコース整理等の大会運 営に寄与した。また、町内スポーツ団体の活動支援とし て、松島町体育協会に対し補助金を交付したほか、学校 体育施設利用についても適切に対応を行った。				
実績	【スポーツ推進委員経費】							259, 484 円	
	1 会議								
	・ 第1回 令和5年5月19日 (参加委員10人)								
	・ 第2回 令和6年3月25日 (参加委員 7人)								
	2 その他								
	・ 第61回町民ふれあいスポーツ大会 運営協力								
	・ 心の震災復興・障がい者就労支援グラウンド・ゴルフ大会 運営協力								
	・ みやぎスポーツDAY2023 運営協力								
	・ 仙台管内スポーツ推進委員協議会等への参加								
	【町民グラウンド管理経費】							1, 213, 000 円	
1 町民グラウンド指定管理料							1, 213, 000 円		
・ 指定管理期間 令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日 (5年間)									
2 町民グラウンド利用状況									
		月	件数 (件)	人数 (人)					
		4	31	746					
		5	31	804					
		6	18	1, 123					
		7	20	678					
		8	15	840					
		9	22	769					
		10	25	898					
		11	25	723					
		12	5	285					
		1	6	225					
		2	10	252					
		3	13	218					
		計	221	7, 561					
(次頁へ続く)									

【社会体育一般経費】

2,578,036 円

1 松島町立学校体育施設利用状況（一般開放分）

学校名		松島第一小学校	松島第二小学校	松島第五小学校	松島中学校	合 計
体 育 館	利用人数(人)	1,874	939	92	4,886	7,791
	利用件数(件)	202	55	4	233	494
校 庭	利用人数(人)	2,296	0	52	0	2,348
	利用件数(件)	57	0	10	0	67
合 計	利用人数(人)	4,170	939	144	4,886	10,139
	利用件数(件)	259	55	14	233	561

2 ・ クイーンズ駅伝in宮城 第43回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会の運営協力

開 催 日：令和5年11月26日（スタート地点：松島町文化観光交流館前）

協力内容：町内スポーツ団体等へのコース整理員(68人)の協力依頼、大会副賞の提供

・ ふれあい陸上教室の開催

開 催 日：令和5年11月27日

参 加 者：松島第二小学校（6年生）19名

内 容：クイーンズ駅伝参加チーム「ニトリ」の監督及び選手によるランニング指導等

3 松島町体育協会事業補助金

2,400,000 円

実績

課題
方向性

スポーツ推進委員の活動については、研修会などを通して資質向上を図り、町民がスポーツにふれあう機会を通して指導や普及活動に努める。

町民グラウンドの管理については、指定管理者と連携を図りながら、利用者が安全・安心にスポーツを楽しめる施設環境を提供するため、引き続き適切な維持管理を行っていく。

スポーツの普及と振興及びスポーツ団体の育成については、松島町体育協会や指定管理者と連携を図りながら、幅広い年齢層の方々が生涯スポーツに取り組めるよう、さらには学校部活動の地域移行を見据えた事業運営を図っていく。

一 般 会 計

10 款	5 項	2 目	海洋センター費					
担当部署名		教育課生涯学習班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	11, 097	10, 966					24	10, 942
目的	海洋性スポーツ事業を通して幼少期から身体を動かすことの楽しさを提供するとともに、安心・安全にスポーツに親しむことができる施設運営を図る。							
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	海洋センター管理運営経費	A	3. 3	3. 0	指定管理者の自主事業として、ボールを使用した教室や水にふれる教室など、未就学児を対象にした自主事業を展開し、子どもたちが楽しく気軽に運動遊びに親しむ機会を提供した。また、令和5年度は県内13海洋センターの事務局として各種事業等の企画・運営を行った。			
実績	【海洋センター管理運営経費】							10, 965, 202 円
	1 B&G海洋センター指定管理料 ・ 指定管理期間 令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日 (5年間)							10, 172, 000 円
	2 B&G海洋センター事業							
	名称	内容・目的			参加人数	実施日	会場	
	2023B&G東北・宮城マリンスポーツフェスティバル	水とふれあい、青少年の健全育成と生涯スポーツの推進、海洋性スポーツの普及を図る。			全参加者数 78人 (町内4人参加)	7月28日	登米市迫長沼ボート場	
	2023B&G宮城ウインタースポーツフェスティバル	雪に親しみ、冬の自然の美しさを学ばせ、ウインタースポーツの普及を図る。			全参加者数 31人 (町内3人参加)	1月27日	蔵王町みやぎ蔵王えぼしリゾート	
	3 海洋センター施設利用状況 (単位:人)							
	月	体育館	会議室	屋外多目的運動場	計			
	4	800	161	311	1, 272			
	5	872	185	169	1, 226			
6	953	215	345	1, 513				
7	1, 004	274	194	1, 472				
8	716	112	234	1, 062				
9	1, 162	204	267	1, 633				
10	883	345	337	1, 565				
11	892	184	233	1, 309				
12	721	163	83	967				
1	804	131	57	992				
2	961	246	109	1, 316				
3	1, 191	239	243	1, 673				
計	10, 959	2, 459	2, 582	16, 000				
4 備品購入費 ・ バスケットゴール購入 (2基)							455, 400 円	
課題 方向性	利用者が安全・安心にスポーツを楽しめる利用環境を提供するために、指定管理者と連携を図りながら、引き続き適切な施設管理に努めていく。 また、子どもたちの運動機会を確保するため、県内のB&G海洋センター等の関係機関と情報交換を行いながら事業運営を図っていく。							

一 般 会 計

10	款	5	項	3	目	給食施設費					(単位:千円)
担当部署名				学校給食センター							
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳						
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	118,713		115,609					46,149	69,460		
目的	栄養バランスの取れた食事の提供と、園児や児童生徒の心身の健全な発達と食生活の改善を図り、成長期にある子どもの健康保持や増進、望ましい食習慣の確立に努める。食事の時間を通して、豊かな人間関係を作り、共同作業を通じて、勤労の大切さや協調、感謝の心を養うことに努める。										
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	学校給食センター施設設備更新事業		A	3.3	3.0	主要な調理設備の更新は完了したが、経年劣化による施設設備の修繕等を実施し、安全面及び衛生面での環境整備が図られた。					
	学校給食センター管理運営に要する経費		B	-	3.3	栄養バランスの取れた給食提供のため、献立内容や調理方法の工夫に努め、また、予定献立表や教育委員会のホームページを活用し、食に関する情報等を広く発信することができた。					
	学校給食センター運営審議会に要する経費		B	-	3.3	学校給食の運営に関する重要事項を調査審議する組織であり、学校給食の運営方針や地場産品の利用促進等について審議することができた。					
実績	【学校給食センター施設設備更新事業】										
	1 使用料及び賃借料									9,642,864 円	
	・ 厨房機器等リース（浸漬槽付超高压洗浄機、食缶洗浄機、スチームコンベクション、連続揚物機、フードスライサー）										
	・ 真空冷却機等リース（真空冷却機、包丁まな板殺菌庫）										
	・ 蒸気回転釜リース										
	・ 消毒保管機リース										
	2 備品購入費									1,265,550 円	
	・ 弁当箱：幼稚園・小学校用 750個、中学校用350個 合計1,100個										
	【学校給食センター管理運営に要する経費】										
	1 委託料									23,958,000 円	
・ 学校給食調理等業務委託 調理、食材の検収・保管、盛り付け・配食、食器具等の洗浄・消毒・保管、施設設備の清掃・点検、残滓・厨芥の処理、集配送（車両2台配備）、ボイラー運転及び付帯業務											
2 工事請負費									1,430,000 円		
・ 貯湯槽逃し弁改修工事											
(次頁へ続く)											

3 年間給食回数と給食費

区 分	給食人員 (人)	年間給食回数(回) 最多食数	1食当たりの給食費 (円)
幼稚園	54	160 (年少)	260
		165 (年中・年長)	
小学校	492	182	280
中学校	252	178 (1・2年生)	330
		168 (3年生)	

4 食育の推進

○ 栄養教諭による食育指導等

- ・ 栄養教諭が中学校1・2年生の家庭科で『栄養バランスの良い、1日分の献立を考えよう』と題し、献立作成に関する授業を行った。(9月12日・13日・15日)
- ・ 栄養教諭が毎月作成し配布している給食に関する情報を活用し、各幼稚園・小中学校の昼食時間に校内放送によりアナウンスを行い、食への知識と関心を高めるよう働きかけた。
- ・ 毎月の予定献立表・給食だよりや教育委員会のホームページを通じて、児童生徒及び保護者に対して、学校給食の目的や食育に関する情報を発信した。

○ 宮城県の名産及び町内産の食材を使用した給食

- ・ 6月の食育月間期間中に、『食』に興味・関心を持ってもらうことを目的に宮城県や松島町の地場産物を使った献立の他に世界の料理を提供した。
- ・ 1月末の全国学校給食週間に宮城県の名産及び町内産の食材を使ったメニューを提供した。

実績

5 地場産品の利用促進

- ・ 松島産の野菜などの使用
給食メニューとして使用及び納品が可能な地元産の食材については、JA仙台（東部営農センター）等関係団体の協力により、積極的に使用するよう努めた。
- ・ 学校給食用野菜等の使用状況
(野菜・主要品目)

品 目	令和4年度			令和5年度		
	使用数量(kg)	うち町内産(kg)	比率(%)	使用数量(kg)	うち町内産(kg)	比率(%)
じゃがいも	3,358	282	8.4	3,260	330	10.1
白菜	936	718	76.7	579	433	74.8
大根	1,567	724	46.2	959	545	56.8
人参	1,906	0	0.0	2,237	0	0.0
ねぎ	1,217	804	66.1	923	726	78.7
キャベツ	2,329	389	16.7	2,348	207	8.8
玉ねぎ	3,305	119	3.6	3,440	662	19.2
きゅうり	1,231	104	8.4	656	29	4.4
合計	15,849	3,140	19.8	14,402	2,932	20.4

(米、その他の町内産使用数量・Kg)

品 目	令和4年度	令和5年度
環境保全米	8,466	7,552
トマト	384	389
赤かぼちゃ	10	0
たけのこ	43	0

(次頁へ続く)

6 食物アレルギー等対応

- 食物アレルギー等の児童生徒への対応として、保護者からの個人調査票の提出により、給食対応（給食の一部停止と詳細献立の提供）を実施した。

対 応	人数
全部停止	0人
一部停止(牛乳停止)	12人
一部停止(パン)	1人
詳細献立の提供	15人

7 学校給食費の収入状況

- 現年度分 (単位：円、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
調 定 額 (A)	48,696,923	48,356,038	47,074,212
収 入 済 額 (B)	47,597,948	47,165,653	45,678,377
不 納 欠 損 額 (C)	0	0	0
収 入 未 済 額 (A-B-C)	1,098,975	1,190,385	1,395,835
徴 収 率 (B/A*100)	97.7	97.5	97.0

- 滞納繰越分 (単位：円、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
調 定 額 (A)	8,836,821	9,653,866	10,541,571
収 入 済 額 (B)	281,930	302,680	470,751
不 納 欠 損 額 (C)	0	0	0
収 入 未 済 額 (A-B-C)	8,554,891	9,351,186	10,070,820
徴 収 率 (B/A*100)	3.2	3.1	4.5

実績

【学校給食センター運営審議会に要する経費】

- 学校給食センター運営審議会（年1回） 7月26日開催
（運営委員数 10名）
- 学校給食担当者会議（年2回）
1回目 5月24日開催
2回目 1月24日開催

課題
方向性

給食センターの設備、機器類に関しては、修繕、交換を適宜行い、適切な維持管理を努める。
また、学校給食衛生管理基準に則り、腸内細菌検査等を定期的に行い、衛生面に十分な配慮をする
とともに、給食従事者に係る安全対策を徹底する。
食育の推進に関しては、各学校並びに栄養教諭等と連携を図り、「食の大切さ」「栄養バランス」
等について積極的に取り入れていく。
また、宮城県産や松島産の地場産物をより多く使用することや、郷土の料理や世界の料理を取り入
れるなど献立も工夫しながら、子ども達が「食」に興味を持ってもらうよう取り組んでいく。
学校給食費の未納対策については、翌年度に滞納を繰り越さないように、文書、電話、訪問による
催告並びに納付相談を早い段階で着手し収納率の向上に努めていく。

一 般 会 計

10 款	6 項	1 目	幼稚園費					
担当部署名		教育課学校教育班						(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	64,739	61,578		608	304		1,028	59,638
目的	幼稚園教育方針の趣旨に基づく、「元気で伸びのびとし、表現豊かな松島っ子の土台づくり」に向けた教育体制及び施設の充実を図る。							
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	第一幼稚園管理費	B	-	3.0	松島第一幼稚園の維持管理修繕等を実施し、適切な維持管理が図られた。様々なケースに対応できるよう研修会に積極的に参加し、円滑な園運営が図られた。			
	第五幼稚園管理費	B	-	3.0	松島第五幼稚園の維持管理修繕等を実施し、適切な維持管理が図られた。様々なケースに対応できるよう研修会に積極的に参加し、円滑な園運営が図られた。			
	保健診療費	B	-	3.7	食育・生活習慣・運動習慣の早期指導等を実施した。健診結果は各学校保健委員会等で報告し、様々な健康問題について研究協議した。			
	幼保無償化関係事業	B	-	3.0	幼児期の教育及び保育を行う施設の利用費を給付し、子育てを行う家庭の経済的負担の軽減を図った。			
実績	1 園児数及び教諭数 (令和5年5月1日現在) (単位:人)							
	幼稚園名	定員		園児数		教職員数		
	松島第一幼稚園	70		42		8		
	松島第五幼稚園	40		14		6		
	計	110		56		14		
	※教職員数は、園長・教育補助員を含む							
	2 一時預かり保育事業 (単位:人)							
	幼稚園名	利用実人数	延べ利用人数	利用事由				
	松島第一幼稚園	23	56	学校行事(授業参観、懇談会、				
	松島第五幼稚園	8	29	役員会)、健診、通院等				
	計	31	85					
	3 幼小との交流の取組							
	事業名	内容						
	あそびうたコンサート	幼稚園合同で音楽表現活動の実施						
	小学校との交流	1年生との遊び会の実施。年長児による授業参観及び学校探検の実施						
	小学校との合同行事	合同避難訓練及び引き渡し訓練の実施						
(次頁へ続く)								

(次頁へ続く)

4 幼稚園教育推進の取組

事業名	内容
体力づくり事業	マリソルボール遊びの会・リズムダンスの会の活用や外遊びの推奨
国際理解教育の推進	ALTを活用した初歩的な英語コミュニケーションの推進
保護者アンケート	保護者のニーズや教育環境についてのアンケートを実施し、行事の実施や保育環境での支援に取り入れた
巡回支援専門員整備事業（のびっ子クラブ）	発達障害支援を提供できる専門知識とスキルを習得し、保育環境での支援を実施
健康づくり事業	むし歯や歯周病の予防方法の理解と実践。食べる機能や食べ方を通じた食育に関する実践的な歯・口の健康づくり指導

5 需用費（修繕料）

・松島第一幼稚園	職員室引戸修繕他	（ 3 件）	102,102 円
・松島第五幼稚園	遊具屋根塗装他	（ 2 件）	139,876 円

6 備品購入費

（庁用備品）

・松島第一幼稚園	災害用敷マット他	（ 4 品目、 9 個）	277,332 円
・松島第五幼稚園	スキップバイク他	（ 2 品目、 4 個）	71,500 円

（図書備品：幼児教育寄附金）

・松島第一幼稚園	絵本他	（ 101 冊）	504,900 円
・松島第五幼稚園	絵本他	（ 130 冊）	502,700 円

実績

7 園児検診

（単位：人）

項目			学年	幼稚園			
			年少	年中	年長	計	
在籍者数			13	18	24	55	
内科	肥満傾向		1	0	6	7	
	脊柱・胸郭		0	0	0	0	
	心雑音		0	0	0	0	
	皮膚	アトピー	0	0	0	0	
		その他湿疹	0	0	0	0	
	尿	1次所見有り		0	0	0	0
		2次所見有り	蛋白	0	0	0	0
			糖	0	0	0	0
			潜血	0	0	0	0
眼科	視力矯正0.7未満		－	－	1	1	
	アレルギー結膜炎		0	1	3	4	
	その他（斜視他）		0	1	0	1	
歯科	健全歯者		8	12	19	39	
	う歯所有者		0	3	1	4	
	処置完了者		0	2	2	4	

（次頁へ続く）

10 款	6 項	1 目			
実績	8 施設等利用給付費				
	・子育てのための施設等利用給付 <table><tr><td>利用料 (3人)</td><td>636,140 円</td></tr><tr><td>預かり保育料(2人)</td><td>101,250 円</td></tr></table>		利用料 (3人)	636,140 円	預かり保育料(2人)
利用料 (3人)	636,140 円				
預かり保育料(2人)	101,250 円				
課題 方向性	増加傾向にある特別な支援を必要とする園児について、巡回支援専門員整備事業や研修を通して専門知識を深め、保育園・小学校・関係機関と連携しながら相談や支援体制の充実を継続する。 むし歯や歯周病の予防方法の理解と実践。食べる機能や食べ方を通した食育に関する実践的な歯・口の健康づくり指導を継続する。				

一 般 会 計

11 款	1 項	1 目	農地災害復旧費					(単位:千円)	
担当部署名		建設課建設班							
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳						
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	2,600	1,815	1,654			80	81		
目的	令和4年7月15日・16日の大雨により被災した農地の復旧を行う。								
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	農地災害復旧費（雨災）	B	-	3.7	令和4年7月15日・16日の大雨により被災した農地の災害復旧工事が完了し、農地の復旧が図られた。				
実績	【農地災害復旧費（補助・雨災）】								
	令和4年7月15日・16日の大雨により被災した農地について、災害復旧工事を実施した。								
課題 方向性	(繰越明許費)								
	1 工事請負費 1,815,000 円								
	・ 4災第17-1号竹谷地区農地災害復旧工事 1,815,000 円								
	災害復旧工 N=1箇所（畑1箇所）								
	令和4年7月15日・16日の大雨で被災を受けた農地について、令和5年度ですべて完了した。								

一 般 会 計

11 款	1 項	2 目	農業用施設災害復旧費							
担当部署名		建設課建設班							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳							
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	68, 196	65, 290	30, 805		3, 900			30, 585		
目的	令和4年7月15日・16日の大雨により被災した農業用施設の復旧を行う。									
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	農業用施設災害復旧費 (雨災)	B	-	3.7	令和4年7月15日・16日の大雨により被災した農業用施設の災害復旧工事が完了し、施設の復旧が図られた。					
実績	【農業用施設災害復旧費（単独・雨災）】									
	令和4年7月15日・16日の大雨により被災した農業用施設について、災害復旧工事を実施した。 (繰越明許費) 1 工事請負費 ・ 令和4年7月大雨農業用施設災害復旧工事 27, 866, 300 円 災害復旧工 N=32箇所（農道5箇所、水路23箇所、その他4箇所）									
実績	【農業用施設災害復旧費（補助・雨災）】									
	令和4年7月15日・16日の大雨により被災した農業用施設について、災害復旧工事を実施した。 (繰越明許費) 1 工事請負費 37, 224, 700 円 ・ 4災第17-101号桜岡地区外1地区農業用施設災害復旧工事 19, 639, 400 円 災害復旧工 N=2箇所（ため池1箇所、水路1箇所） ・ 4災第17-105号滝ノ入地区外1地区農業用施設災害復旧工事 2, 145, 000 円 災害復旧工 N=2箇所（ため池2箇所） ・ 4災第17-107号梅ヶ沢排水機場災害復旧工事 13, 363, 900 円 災害復旧工 N=1箇所（排水機場1箇所） ・ 4災第17-108号富山第1排水機場災害復旧工事 2, 076, 400 円 災害復旧工 N=1箇所（排水機場1箇所）									
課題 方向性	令和4年7月15日・16日の大雨により被災した農業用施設について、令和5年度ですべて完了した。									

一 般 会 計

11 款	2 項	1 目	公共土木施設災害復旧費							
担当部署名		建設課建設班							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳						
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	68, 631	67, 611		27, 333		20, 000		20, 278		
目的	令和4年7月15日・16日の大雨により被災した公共土木施設の復旧を行う。									
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	公共土木施設災害復旧費 (雨災)	B	-	3.7	令和4年7月15日・16日の大雨により被災した公共土木施設の災害復旧工事が完了し、施設の復旧が図られた。					
実績	【公共土木施設災害復旧費（単独・雨災）】									
	令和4年7月15日・16日の大雨により被災した公共土木施設について、災害復旧工事を実施した。 (繰越明許費) 1 工事請負費 ・ 令和4年7月大雨公共土木施設災害復旧工事 22, 687, 500 円 災害復旧工 N=58箇所（町道30箇所、河川12箇所、その他16箇所）									
課題 方向性	【公共土木施設災害復旧費（補助・雨災）】									
	令和4年7月15日・16日の大雨により被災した公共土木施設について、災害復旧工事を実施した。 (繰越明許費) 1 工事請負費 40, 978, 700 円 ・ 4災第29002号町道愛宕団地幹線外道路災害復旧工事 27, 768, 400 円 災害復旧工 N=4箇所（町道4箇所） ・ 4災第29007号町道松島墓地線外道路災害復旧工事 5, 357, 400 円 災害復旧工 N=4箇所（町道4箇所） ・ 4災第29010号普通河川新川外河川災害復旧工事 7, 852, 900 円 災害復旧工 N=3箇所（河川3箇所）									

国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計

- 款		- 項		- 目		国民健康保険特別会計				
担当部署名				町民福祉課町民サービス班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	1,754,532		1,673,003		52	1,231,007		187,197	254,747	
目的		国民健康保険事業の健全な運営を確保し、社会保障及び福祉の向上に寄与する。 また、国民健康保険被保険者の適切な医療を確保するため各種給付を行う。								
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	【国保】総務費		B	-	3.0	国民健康保険被保険者の資格及び給付管理を適切に行い、被保険者の適正な医療の確保に努めた。また、国民健康保険税の賦課徴収が適正に行われた。				
	【国保】保険給付費		B	-	3.0	被保険者の疾病、負傷、出産及び死亡の際の保険給付について速やかに行うことができた。				
	【国保】保健事業費		B	-	3.0	特定健康診査及び特定保健指導を実施し、被保険者の健康維持増進に努めた。また、第二期データヘルス計画に基づく保健事業を実施し、生活習慣病の重症化予防、医療費の適正化を図るとともに、第二期計画の評価と現状分析を行い、第三期データヘルス計画を策定した。				
	【国保】国民健康保険事業費納付金		B	-	3.0	財政の運営主体である宮城県に、国民健康保険事業費納付金を納めることにより、被保険者の適切な医療の確保に努めることができた。				
	【国保】基金積立金		B	-	3.0	国民健康保険の財政を調整し、健全な財政運営を確保することができた。				
	【国保】諸支出金		B	-	3.0	保険税や保険給付費の還付金等、被保険者の適切な医療の確保に努めることができた。				
実績	1 運用状況									
	年度 区分		単位	令和5年度		令和4年度		比 較		
	年間平均世帯数		世帯	1,888		1,975		△ 87		
	年間平均被保険者数		人	2,826		2,992		△ 166		
	年間平均介護保険第2号被保険者数		人	891		928		△ 37		
	2 保険給付状況									
	年度 区分		令和5年度		令和4年度		比 較			
			件数 (件)	支給額 (千円)	件数 (件)	支給額 (千円)	件数 (件)	支給額 (千円)		
	療 養 給 付 費		55,780	1,024,967	58,389	1,116,575	△ 2,609	△ 91,608		
	療 養 費		761	5,052	772	4,742	△ 11	310		
高 額 療 養 費		2,956	165,243	2,742	171,896	214	△ 6,653			
移 送 費		1	14	0	0	1	14			
出 産 育 児 一 時 金		6	2,920	3	1,260	3	1,660			
葬 祭 費		30	1,500	26	1,300	4	200			
傷 病 手 当 金		1	4	29	1,164	△ 28	△ 1,160			
計		59,535	1,199,700	61,961	1,296,937	△ 2,426	△ 97,237			
年度 区分		令和5年度		令和4年度		比 較				
		(円)		(円)		(円)				
療 養 給 付 費		一般被保険者		362,692		373,187		△ 10,495		
平均1人当たりの額		退職被保険者等		0		0		0		
療 養 費		一般被保険者		1,788		1,585		203		
平均1人当たりの額		退職被保険者等		0		0		0		
高 額 療 養 費		一般被保険者		58,472		57,452		1,020		
平均1人当たりの額		退職被保険者等		0		0		0		
(次頁へ続く)										

(次頁へ続く)

課

項

目

6

国民健康保険税課税状況

年度		令和5年度	令和4年度	比較
区分		(円)	(円)	(円)
現年度課税分額 調定済額	医療給付費分	135,448,100	139,670,000	△ 4,221,900
	後期支援金分	49,368,700	50,841,100	△ 1,472,400
	介護納付費分	17,104,800	17,655,900	△ 551,100
	計	201,921,600	208,167,000	△ 6,245,400
現年度課税分額 収入済額	医療給付費分	130,860,647	135,840,867	△ 4,980,220
	後期支援金分	47,712,232	49,447,264	△ 1,735,032
	介護納付費分	16,223,220	16,655,486	△ 432,266
	計	194,796,099	201,943,617	△ 7,147,518

年度		令和5年度	令和4年度	比較
区分		(%)	(%)	(%)
収納率	医療給付費分	96.61	97.26	△ 0.65
	後期支援金分	96.64	97.26	△ 0.62
	介護納付費分	94.85	94.33	0.52
	計	96.47	97.01	△ 0.54

7

国民健康保険税軽減状況

	令和5年度		令和4年度	
	(世帯数)	(被保険者数)	(世帯数)	(被保険者数)
	平等割軽減額 (円)	均等割軽減額 (円)	平等割軽減額 (円)	均等割軽減額 (円)
7割軽減	586	757	605	782
	9,066,740	16,135,038	9,366,975	16,500,598
5割軽減	309	509	345	607
	3,331,798	7,930,439	3,730,784	9,156,423
2割軽減	264	456	248	433
	1,127,479	2,769,230	1,063,846	2,682,960
計	1,159	1,722	1,198	1,822
	13,526,017	26,834,707	14,161,605	28,339,981

※未就学児及び産前産後期間に係る保険税軽減状況

	令和5年度		令和4年度	
	(世帯数)	(被保険者数)	(世帯数)	(被保険者数)
	所得割軽減額 (円)	均等割軽減額 (円)	所得割軽減額 (円)	均等割軽減額 (円)
未就学児	23	30	25	30
		247,861		261,767
産前産後	3	3		
	6,131	8,677		

8

国民健康保険税減免状況

減免事由	令和5年度		令和4年度	
	世帯数	金額 (円)	世帯数	金額 (円)
旧被扶養者減免	24	354,100	16	318,300
新型コロナウイルス感染症の影響による収入が減少した被保険者に対する減免			8	1,622,000
収監減免	1	14,200	1	14,200
火災減免	1	87,300		
子どもの均等割額全額減免	102	2,292,900	122	2,616,800
令和4年7月15日・16日の大雨被災による減免			28	690,700
計	128	2,748,500	175	5,262,000

令和6年4月からの国民健康保険税率について、基金残高等を勘案し、5千円引き下げることができた。

被保険者の高齢化と医療の高度化の進展による医療費の増加及び被保険者数の減少により、1人当たりの医療費が増加傾向にあるため、医療費の適正化を図りながら、若い世代からの健康意識の向上と生活習慣病等の重症化予防事業を継続的に実施し、国保財政の安定的な運営に努める。

さらに、令和6年12月の被保険者証の廃止に向けて、円滑に移行できるよう制度の周知・広報に努めていく。

課題方向性

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計

- 款		- 項		- 目		後期高齢者医療特別会計																																													
担当部署名				町民福祉課町民サービス班					(単位:千円)																																										
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳																																															
	238, 102	226, 863		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																											
							222, 376	4, 487																																											
目的 高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、運営主体である宮城県後期高齢者医療広域連合との連携のもと、適正な申請受付事務並びに保険料徴収事務等を遂行する。																																																			
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果																																													
	【後期高齢】 一般管理費		B	-	3.0	後期高齢者医療に係る各種申請の受付、説明、勧奨等を行い、適正な医療の確保に努めることができた。また、新たに保健事業担当課が主体となった後期高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業を開始し、重症化予防に取り組んだ。																																													
	【後期高齢】 徴収費		B	-	3.0	後期高齢者医療保険料の納付及び還付事務を適切に行うことができた。また、分納相談や個別訪問を行い、現年分保険料収納率を上げることができた。																																													
	【後期高齢】 納付奨励費		B	-	3.0	後期高齢者医療保険料の納期内納付を行った納税貯蓄組合に対し事務費補助金を交付し、未納防止と納期内納付が確保できた。																																													
	【後期高齢】 後期高齢者医療広域連合納付金		B	-	3.0	後期高齢者医療広域連合に保険料及び保険基盤安定負担金を納付し、75歳以上の高齢期における被保険者の適切な医療の確保に努めることができた。																																													
実績	1 被保険者数 2, 960人 (令和6年3月末日現在)																																																		
	2 申請書受付状況 (令和6年3月末日現在)																																																		
	<table><tr><td></td><td>申請・届書名</td><td>受付件数 (件)</td></tr><tr><td>1</td><td>葬祭費支給申請書</td><td>204</td></tr><tr><td>2</td><td>受領申出・送付先届出書</td><td>206</td></tr><tr><td>3</td><td>高額療養費支給申請書</td><td>433</td></tr><tr><td>4</td><td>基準収入額適用申請書</td><td>12</td></tr><tr><td>5</td><td>限度額適用・標準負担額認定申請書</td><td>99</td></tr><tr><td>6</td><td>特定疾病認定申請書</td><td>3</td></tr><tr><td>7</td><td>療養費支給申請書</td><td>49</td></tr><tr><td>8</td><td>被保険者証等再交付申請書</td><td>102</td></tr><tr><td>9</td><td>資格取得喪失届出書</td><td>15</td></tr><tr><td>10</td><td>送付先変更申請書</td><td>18</td></tr><tr><td>11</td><td>高額介護合算療養費等支給申請書</td><td>187</td></tr><tr><td>12</td><td>負担区分等証明書</td><td>3</td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>1, 331</td></tr></table>										申請・届書名	受付件数 (件)	1	葬祭費支給申請書	204	2	受領申出・送付先届出書	206	3	高額療養費支給申請書	433	4	基準収入額適用申請書	12	5	限度額適用・標準負担額認定申請書	99	6	特定疾病認定申請書	3	7	療養費支給申請書	49	8	被保険者証等再交付申請書	102	9	資格取得喪失届出書	15	10	送付先変更申請書	18	11	高額介護合算療養費等支給申請書	187	12	負担区分等証明書	3		計	1, 331
		申請・届書名	受付件数 (件)																																																
	1	葬祭費支給申請書	204																																																
	2	受領申出・送付先届出書	206																																																
	3	高額療養費支給申請書	433																																																
	4	基準収入額適用申請書	12																																																
	5	限度額適用・標準負担額認定申請書	99																																																
	6	特定疾病認定申請書	3																																																
7	療養費支給申請書	49																																																	
8	被保険者証等再交付申請書	102																																																	
9	資格取得喪失届出書	15																																																	
10	送付先変更申請書	18																																																	
11	高額介護合算療養費等支給申請書	187																																																	
12	負担区分等証明書	3																																																	
	計	1, 331																																																	
3 保険料納付方法状況 (賦課決定日：令和5年7月1日現在)																																																			
(単位：人) (再掲) 普通徴収内訳 (単位：人)																																																			
特別徴収		2, 665		口座振替		196																																													
普通徴収		570		納税組合		10																																													
計		3, 235		※うち併徴		325人 納付書 364																																													
(次頁へ続く)																																																			

-	款	-	項	-	目			
実績	4	保険料収納状況 現年分					(単位：円)	
		徴収方法	調定額	収入済額※	不納欠損額	収入未済額	還付未済額	徴収率
		特別徴収	122,953,900	122,965,900	0	0	12,000	100.00%
		普通徴収	49,859,300	49,049,080	0	826,220	16,000	98.37%
		計	172,813,200	172,014,980	0	826,220	28,000	99.54%
		※収入済額には過誤納金還付未済額28,000円（相続放棄等）を含む						
		滞納繰越分					(単位：円)	
		調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	徴収率		
		1,704,360	413,060	248,300	1,043,000	24.24%		
	5	保険料納付方法変更申請状況（令和6年3月末日現在） ・ 53人（特別徴収から普通徴収（口座振替）へ）						
6	負担割合別被保険者数（令和6年3月末日現在）							
	負担割合	被保険者数						
	1割	2,333						
	2割	510						
	3割	117						
	計	2,960						
課題 方向性	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、運営主体である宮城県後期高齢者医療広域連合との連携のもと、適正な申請受付事務を行う。また、被保険者の増加にともない、保険料の納付が困難な被保険者や納付管理ができない被保険者が増えているため、関係部署と情報共有を図りながら個々の状況を把握し適切な保険料徴収を行う。							
	さらに、令和6年12月の被保険者証の廃止へ向け、円滑に移行できるよう制度の周知とマイナ保険証の利用を推進する。							

介護保険特別会計

介護保険特別会計

- 款 - 項 - 目			介護保険特別会計				
担当部署名			健康長寿課高齢者支援班				
			(単位:千円)				
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2, 015, 437	1, 969, 288	508, 074	278, 663		888, 180	294, 371
目的	介護保険事業の運営を健全、かつ、円滑に行うために、公正な要介護認定、住民の相談体制の充実を図り、適正な介護給付管理及び介護保険料の賦課徴収を実施する。 また、日常生活が自立している高齢者を対象に、生活機能の維持又は向上に向けた取り組みを行い、虚弱な状態にある高齢者については、生活機能低下の早期発見・早期対応を行うことにより、要介護状態若しくは要支援状態となることを予防する。 さらに、要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい生活をできる限り継続することができるよう、介護予防や生活支援、サービス提供が一体的に提供される地域包括ケアシステムの取組を強化する。						
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果		
	一般管理経費（含職員人件費）	B	-	4.3	前期計画の評価を行い、第9期介護保険事業計画を策定するなど、介護保険制度の適切な運営を図った。		
	介護認定審査会負担金	B	-	3.0	新規申請数は前年度より増加したが、全体の申請件数は前年度より減少した。 申請から認定までの平均日数は二市三町平均よりやや長くなっているが、前年度より改善が図られた。		
	介護保険給付費	B	-	4.3	適正な保険給付を実施するため利用者に対し、給付費通知を送付し、給付内容に不正請求や不要なサービスがないか確認してもらった。		
	介護予防・日常生活支援サービス事業	B	-	4.0	総合事業の訪問型サービス及び通所型サービスを実施することで、事業対象者及び要支援認定者の心身の機能の維持・改善に努め、介護予防の支援を図った。		
	介護予防ケアマネジメント事業費	B	-	4.0	介護予防・日常生活支援サービス事業を利用する事業対象者及び要支援認定者に対し、ケアマネジメントを行うことで心身の機能の維持・改善に努め、介護予防の支援を図った。		
	介護予防普及啓発事業	A	4.0	4.0	介護予防教室「まつしま元気塾」を松島町社会福祉協議会に委託し、町内の各会場で高齢者が集い、定期的に介護予防活動が継続できるよう支援した。		
	地域介護予防推進事業	A	3.3	3.0	町内の各地域で高齢者の自主グループの活動が継続できるよう、補助金の助成や講師の派遣を行う事業で、啓発事業を行ったが、希望団体は無かった。		
	地域リハビリテーション活動支援事業	A	3.3	3.7	総合事業の通所型サービス事業所やまつしま元気塾に対し、専門職を派遣し、介護予防の取組の機能強化を図った。		
	包括的支援事業	A	4.0	3.0	地域包括支援センターの運営費であり、高齢者の増加により、ニーズも多様化・複雑化しているが、包括支援センター及び関係機関の連携により、適正な対応が図られている。		
	在宅医療・介護連携推進事業	A	4.3	3.0	塩釜地区二市三町の関係機関と協力して作成した医療・介護連携シートを運用している。また、地域包括支援センターが相談窓口として個別対応し、医療と介護の関係機関の連携推進に努めた。		
	生活支援体制整備事業	A	4.3	3.0	事業を松島町社会福祉協議会に委託し、生活支援コーディネーターが地域のサロンや団体からの相談に対応したり、普及啓発活動や研修会を行うことで、介護予防活動を継続し、地域の繋がりが図られるよう支援した。		
	認知症総合支援事業	A	4.7	3.7	認知症初期集中支援チームの活動、認知症地域支援推進員や関係機関との連携により、認知症の本人や家族の支援体制の構築が図られた。また、認知症サポーター養成講座を実施し、認知症の知識の普及啓発を行った。		

(次頁へ続く)

(次頁へ続く)

- 款	- 項	- 目
-----	-----	-----

4 地域密着型（介護予防）サービス受給者数 ※1号・2号含む

(単位：人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
総数	6	4	39	28	26	17	5	125

※地域密着型サービス受給者数：松島町が指定する認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型通所介護を利用している人数

5 施設介護サービス受給者数

(単位：人)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
介護老人福祉施設	0	3	19	32	18	72
第1号被保険者	0	3	18	32	18	71
第2号被保険者	0	0	1	0	0	1
介護老人保健施設	11	13	15	12	10	61
第1号被保険者	11	13	15	12	10	61
第2号被保険者	0	0	0	0	0	0
介護医療院	8	14	14	28	29	93
第1号被保険者	8	14	14	28	28	92
第2号被保険者	0	0	0	0	1	1
総数	19	30	48	72	57	226

6 介護保険給付費の推移

(単位：千円)

サービス区分	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
居宅介護サービス	544,663	520,183	482,998	507,402	503,994
地域密着型介護サービス	241,501	231,922	261,586	280,384	273,169
施設介護サービス	778,565	801,558	816,870	837,290	734,737
特定入所介護サービス	54,107	55,764	62,559	70,914	60,959
居宅介護サービス計画給付費	74,662	72,915	71,017	72,691	70,516
高額介護サービス	45,967	46,395	46,755	48,237	39,819
審査支払手数料	1,407	1,429	1,397	1,482	1,378
合計	1,740,872	1,730,166	1,743,182	1,818,400	1,684,572

(単位：円)

	令和5年度	令和4年度
第1号被保険者1人当たりの給付月額		
町	28,521	28,032
県	24,937	24,242
国	26,350	25,476

※令和5年度は、令和5年3月から令和5年12月サービス利用分までの給付額から算出。

(単位：円)

	令和5年度		令和4年度	
	在宅	施設	在宅	施設
1人当たりの給付月額	98,580	319,731	94,774	329,545
月平均給付総額	55,401,942	69,061,851	53,168,405	71,181,698

7 要介護度別支給限度額利用状況（月平均）

(単位：%)

	要介護度別対支給限度額比率						
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
令和5年度	34.3	20.0	54.9	66.1	62.1	71.8	81.5
令和4年度	35.9	20.0	52.5	63.9	55.6	79.7	77.1

(次頁へ続く)

- 款	- 項	- 目
-----	-----	-----

8 第8期介護保険事業計画値との比較（令和5年度）

区分	計画値		実 績		計画値と実績の比較		
	件 数 (件)	総 額 (千円)	件 数 (件)	総 額 (千円)	件 数 (件)	総 額 (千円)	率
居宅介護サービス	12,648	577,046	13,948	544,663	1,300	△ 32,383	94.4%
訪問サービス	3,948	144,321	5,415	145,263	1,467	942	100.7%
通所サービス	3,144	261,435	3,180	256,684	36	△ 4,751	98.2%
短期入所サービス	864	67,639	675	50,438	△ 189	△ 17,201	74.6%
福祉用具貸与	4,248	51,766	4,383	53,243	135	1,477	102.9%
福祉用具購入	72	1,382	63	2,062	△ 9	680	149.2%
住宅改修費	72	6,276	36	3,743	△ 36	△ 2,533	59.6%
特定施設入居者生活介護	300	44,227	196	33,230	△ 104	△ 10,997	75.1%
地域密着型介護サービス	2,100	295,013	1,550	241,501	△ 550	△ 53,512	81.9%
施設介護サービス	3,396	931,905	2,756	778,565	△ 640	△ 153,340	83.5%
介護老人福祉施設	1,020	244,855	859	220,051	△ 161	△ 24,804	89.9%
介護老人保健施設	1,908	517,734	1,397	381,042	△ 511	△ 136,692	73.6%
介護医療院	468	169,316	500	177,472	32	8,156	104.8%
特定入所介護サービス	-	62,817	-	54,107	-	△ 8,710	86.1%
居宅介護サービス計画給付費	6,744	83,361	6,173	74,662	△ 571	△ 8,699	89.6%
高額介護サービス	-	48,682	-	45,967	-	△ 2,715	94.4%
審査支払手数料	22,305	1,338	24,272	1,407	1,967	69	105.2%
合計	47,193	2,000,162	48,699	1,740,872	1,506	△ 259,290	87.0%

(対象期間：令和5年4月審査から令和6年3月審査まで)

9 介護予防・日常生活支援サービス事業

介護予防ケアマネジメント事業費

	件数（件）	費用総額（円）
訪問型・通所型サービス費	1,613	28,194,474
介護予防ケアマネジメント	830	3,796,980
高額介護予防サービス相当事業	44	133,736
審査支払手数料	2,440	141,685
合計	4,927	32,266,875

※利用件数：訪問型・通所型サービス 131件、介護予防ケアマネジメント 61件
 審査支払手数料 192件（令和6年3月審査分）

10 一般介護予防事業

(1) 介護予防普及啓発事業

① 介護予防教室「まつしま元気塾」

事業を松島町社会福祉協議会へ委託し、概ね65歳以上の介護認定を受けていない方を対象に町内9カ所（11教室）において、高齢者の「閉じこもり防止」「介護予防」の観点から、脳トレ・体操・趣味活動・各種講話等を実施した。

地区	松島	高城		磯崎		品井沼	本郷	初原	全地区	計
会場	ほほえみの家	ふれあいの家	高城避難所	白萩避難所	華園集会所	農村環境改善センター	ふれあいセンター	コミュニティセンター	どんぐり	
開催頻度	週2日	週4日	週1日	週2日	週1日	週2日	週1日	週1日	週1日	－
開催回数（回）	95	193	45	93	48	94	47	46	43	704
実人数（人）	6	16	10	10	9	11	5	11	3	81
延参加者数(人)	434	864	276	695	324	567	219	407	59	3,845

※実人数に4人重複あり（品井沼）

- 款	- 項	- 目
-----	-----	-----

② 地域包括支援センター機関紙「スマイル」の発行

発行回数	配布状況	内 容
年4回	全戸配布並びに役場、保健福祉センターに配置	介護保険、介護予防に関するお知らせ、各種行事案内、健康増進、感染症予防に関すること、高齢者虐待防止、権利擁護に関する啓発、認知症に関する情報、在宅医療（終活）に関すること、地域活動に関すること等

(2) 地域介護予防活動支援事業

・地域サロン活動状況

時期	令和4年3月末	令和5年3月末	令和6年3月末
活動団体数	37団体	37団体	36団体

(3) 地域リハビリテーション活動支援事業

地域における介護予防の取組を機能強化するため、介護予防教室や総合事業通所型サービス事業所に専門職を派遣した。

リハビリテーション専門職の派遣 15回

11 包括的支援事業

(1) 総合相談支援業務

高齢者の生活全般に係る相談に対応し、不安の軽減や必要な社会資源の活用につながった。

相談件数 950件 うち勤務時間外対応 2件

相談方法内訳

相談方法	件数（件）
来所	273
訪問	325
電話	348
その他	14

※その他：医療機関

相談者内訳

相談者内訳	件数（件）
本人	347
家族・親戚	283
ケアマネジャー	247
介護サービス事業所	44
医療機関	84
行政各係	14
その他	82

※その他：民生委員、地域住民、警察署等

相談内容内訳

相談内容	件数（件）
介護相談	29
健康疾病	48
認知症・精神	112
医療・入退院	70
在宅医療介護連携	38
介護保険関係	103
介護保険サービス	76
保険外サービス	2
虐待関係	30
財産管理・成年後見	11
独居等把握	8
施設入所	22
高齢福祉	56
経済困窮	13
生活全般	119
予防支援	358
その他	63

他機関への連絡 165件

連絡先内訳

連絡先	件数（件）
ケアマネジャー	106
介護サービス事業所	22
医療機関	15
行政各係	4
県・保健所	3
家族・親戚	12
民生委員	2
その他	12

実績

(次頁へ続く)

(次頁へ続く)

- 款		- 項		- 目																																										
実績	・ 松島町認知症地域支援推進員の設置 認知症の方やその家族に対する支援体制の構築、町民等に対する認知症に関する正しい理解の普及啓発等を行うため、平成28年6月から認知症地域支援推進員を設置している。 委嘱者 2人（R6. 3. 31時点） ・ 認知症カフェの開催と運営補助金交付 認知症の本人や家族、地域の人が情報交換し、認知症の知識を深めたり、本人や介護者の不安や負担の軽減を図ることを目的とし、町内4ヶ所で開設している。（うち1ヶ所は開催見合わせ） <table><tr><th>名称</th><th>運営団体</th></tr><tr><td>SaKuRaカフェ</td><td>グループホーム桜の家</td></tr><tr><td>秋桜カフェ</td><td>グループホームコスモス松島</td></tr><tr><td>わいわいカフェ「かこまち」</td><td>ひまわり会（松島医療生協）</td></tr><tr><td>ほっと・ココア</td><td>合同会社心・愛</td></tr></table> 松島町認知症カフェ運営補助金交付団体 2団体 ※カフェ開設1回8, 000円に開催回数（月2回を限度）を乗じた額を上限として交付 ・ 松島町はいかい高齢者SOSネットワーク事業 <table><tr><td>登録者数</td><td colspan="4">26人 うち令和5年度新規登録5人 （令和6年3月末時点）</td></tr><tr><td>稼働実績</td><td colspan="4">なし</td></tr><tr><td>協力団体</td><td colspan="4">37団体（近隣自治体、警察署、消防署、タクシー会社、介護サービス事業所、シルバー人材センター、ガソリンスタンド等）</td></tr></table> (6) 地域ケア会議 ・ 個別会議 本人、家族、介護サービス事業者、行政各担当、担当ケアマネジャー、医療機関、地域包括支援センター職員等の関係者で協議、検討した。 <table><tr><th>回数(回)</th><th>参加延べ人数(人)</th><th>場所</th><th>内容</th></tr><tr><td>5</td><td>21</td><td>保健福祉センター他</td><td>認知症状や精神症状のある高齢者の支援、独居困難となった高齢者の支援、虐待ケースの検討等</td></tr></table> ・ 全体会議 在宅医療・介護連携推進事業の研修会と合同で関係機関連携部会を実施した。 また、令和6年3月に介護保険法改正に伴う変更点についてケアマネジャーや介護事業所職員等に対し、書面により情報提供を実施した。 12 任意事業 (1) 家族介護支援事業 介護者交流会 <table><tr><th>実施回数(回)</th><th>実人数(人)</th><th>延人数(人)</th><th>内容</th></tr><tr><td>5</td><td>9</td><td>23</td><td>情報交換、介護保険等の情報提供、体操の実施</td></tr></table> (2) 成年後見制度利用支援事業 首長申立て被後見人の支援 0件 報酬助成 0件					名称	運営団体	SaKuRaカフェ	グループホーム桜の家	秋桜カフェ	グループホームコスモス松島	わいわいカフェ「かこまち」	ひまわり会（松島医療生協）	ほっと・ココア	合同会社心・愛	登録者数	26人 うち令和5年度新規登録5人 （令和6年3月末時点）				稼働実績	なし				協力団体	37団体（近隣自治体、警察署、消防署、タクシー会社、介護サービス事業所、シルバー人材センター、ガソリンスタンド等）				回数(回)	参加延べ人数(人)	場所	内容	5	21	保健福祉センター他	認知症状や精神症状のある高齢者の支援、独居困難となった高齢者の支援、虐待ケースの検討等	実施回数(回)	実人数(人)	延人数(人)	内容	5	9	23	情報交換、介護保険等の情報提供、体操の実施
	名称	運営団体																																												
	SaKuRaカフェ	グループホーム桜の家																																												
	秋桜カフェ	グループホームコスモス松島																																												
	わいわいカフェ「かこまち」	ひまわり会（松島医療生協）																																												
	ほっと・ココア	合同会社心・愛																																												
	登録者数	26人 うち令和5年度新規登録5人 （令和6年3月末時点）																																												
	稼働実績	なし																																												
	協力団体	37団体（近隣自治体、警察署、消防署、タクシー会社、介護サービス事業所、シルバー人材センター、ガソリンスタンド等）																																												
	回数(回)	参加延べ人数(人)	場所	内容																																										
5	21	保健福祉センター他	認知症状や精神症状のある高齢者の支援、独居困難となった高齢者の支援、虐待ケースの検討等																																											
実施回数(回)	実人数(人)	延人数(人)	内容																																											
5	9	23	情報交換、介護保険等の情報提供、体操の実施																																											
課題方向性	介護保険の適正な運営を図り、持続可能なものとするため、第9期介護保険事業計画を策定した。 後期高齢者が増加し、要介護高齢者も年々増加しており、介護サービスは高齢者の生活を支える重要な資源となっている。介護が必要になっても安心して暮らし続けることができるよう、今後も増加する需要に対応するため、関係機関との連携、相談体制、サービス基盤の整備、制度の周知を推進していく。 また、高齢者自身が自ら生きがいを持って元気に暮らせるよう、介護予防の取組や住民主体の通いの場の充実に支援し、健康寿命の延伸を目指す。																																													

介護サービス事業特別会計

介護サービス事業特別会計

1 款	1 項	1 目	介護サービス事業特別会計 居宅介護支援事業費						
担当部署名			健康長寿課高齢者支援班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳						
	10,254	9,519	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
目的									
要支援認定者及び総合事業対象者に対し、心身の状況等に応じ、適切なサービスが提供されるよう介護予防サービス計画もしくは介護予防ケアマネジメントを作成する。 また、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援し、要支援状態の軽減、悪化の防止を図る。									
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	居宅介護支援事業費	B	-	3.7	介護予防サービス計画や介護予防ケアマネジメントの作成を居宅介護支援事業所に委託し、要支援状態の軽減や悪化防止を図ることができた。				
実績	【居宅介護支援事業】								
	・利用実人数 241人 ・作成人数 延べ 2,179人 ・事業費 9,518,430円								
	1 要支援認定者及び総合事業対象者サービス利用状況 (単位:人)								
		要支援認定者		総合事業 事業対象者	計	委託管理数		計	未利用者数
		支援1	支援2			介護予防 サービス計画	介護予防ケア マネジメント		
	令和5年度	127	103	29	259	112	64	176	83
	令和4年度	129	105	28	262	112	71	183	79
	※人数及び利用状況については3月末時点集計								
	2 介護予防サービス計画及び介護予防ケアマネジメント委託状況 (単位:件)								
		事業所名				介護予防 サービス計画	介護予防ケア マネジメント	計	
1	介護相談センター				406	215	621		
2	松島病院訪問看護ステーション居宅介護支援事業所				361	115	476		
3	松島町社協指定居宅介護支援事業所				244	181	425		
4	桜の家居宅介護支援事業所				108	133	241		
5	松島長松園居宅介護支援事業所				82	121	203		
6	ライフアップ介護相談センター				50	61	111		
7	その他の事業所				71	31	102		
令和5年度合計					1,322	857	2,179		
令和4年度合計					1,249	787	2,036		
※介護予防サービス計画：要支援認定者が介護予防給付のみ又は介護予防給付と総合事業のサービスを利用する場合の計画作成 ※介護予防ケアマネジメント：要支援認定者又は総合事業対象者が総合事業のサービスのみを利用する場合の計画作成									
課題 方向性	要支援者や総合事業事業対象者のうち、状態を維持している方がいる一方、要介護状態に移行する方もいる。状態の悪化を防止するため、委託している各居宅介護支援事業所やサービス事業所と連携を図り、個々の評価を行いながら事業を進めていく。								

觀瀾亭等特別會計

観瀾亭等特別会計

1	款	1	項	1	目	(観瀾亭等特別会計) 観瀾亭費：管理費					(単位：千円)	
担当部署名				産業観光課観光班								
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳							
	55,416		51,393		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	51,356		
目的	松島の重要な観光財産である観瀾亭・松島博物館の運営・維持管理等を行い、誘客に努める。											
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果						
	観瀾亭博物館管理運営経費		A	3.0	3.0	運営については、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の5類移行に伴い、観覧料はコロナ禍前の水準に戻りつつあり、売上収入はコロナ禍前の水準を上回る収益となった。観光スポットとして更なる魅力向上のため、飲食メニューの見直しや、日本遺産をテーマとしたイベントにおいて観瀾亭のお土産品の販売をすど、PRを行った。 プロモーション事業については、引き続き「月の松島in観瀾亭」を感染症拡大防止対策を講じながら実施し、松島の月景色の魅力発信に努めた。 また、歴史・文化を後世に継承するための環境整備や、良好な施設管理に努めたほか、利用者の利便性向上を図るため、公衆トイレ建設工事を行った。						
実績	【観瀾亭博物館管理運営経費】											
	1 観覧者数及び観覧料・売上収入 ○観覧者数 (令和5年4月～令和6年3月) 36,755 人 (前年度 24,797 人) ○観覧収入 (令和5年4月～令和6年3月) 6,787,950 円 (前年度 4,579,600 円) ○売上収入 (令和5年4月～令和6年3月) 16,209,200 円 (前年度 9,934,066 円) 2 イベント開催に係る観覧者数及び観覧料・売上収入 ○月の松島in観瀾亭 ・日 程 令和5年9月29日 ・観覧者数 30 人 (前年 32 人) ・売上収入 91,500 円 (前年 38,400 円) 3 観瀾亭・松島博物館及び明月庵の管理業務 ○観光施設樹木剪定等業務委託 1,095,600 円 ・内容 樹木剪定・枯枝撤去他 ○観光施設除草業務委託 419,100 円 ・内容 除草・集草・側溝清掃他 ○観光施設日常清掃業務委託 316,800 円 ・内容 観光施設床清掃他 ○松島町各施設機械警備業務委託 382,800 円 ○観瀾亭火災報知器保守点検業務委託 86,900 円 ○観瀾亭厨房機器保守点検業務委託 26,400 円 (次頁へ続く)											

1 款	1 項	1 目
実績	4 販売品等仕入	
	○ 菓子・抹茶・土産品等	4,722,520 円
	5 工事請負費	
	○ 観瀾亭・松島博物館公衆トイレ建設工事 ・ 内容 観瀾亭・松島博物館脇に多機能トイレの建設工事	21,340,000 円
	6 備品購入費	
	○ 観瀾亭土産品販売木製ショーケース 2 台	473,000 円
課題 方向性	売上収入がコロナ禍前を上回ったことから、松島湾のさざ波を見ながら伊達家の茶室で抹茶を一服するという非日常の体験を味わうことができる観光施設としての魅力を発信できた。 今後は、何かを体験する「コト消費」、そのときその場所でしかできない特別な体験をする「トキ消費」といった消費スタイルに合わせた体験型コンテンツを検討していく。 また、明月庵については、地域の事業者に対して活用の提案等を行い、利用率を上げる。	

観瀾亭・松島博物館入込及び売上

観覧料

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和5年度	2,685 人	3,624 人	2,486 人	2,519 人	3,543 人	3,319 人	4,722 人	4,847 人	1,945 人	1,605 人	2,637 人	2,823 人	36,755 人
	496,450 円	654,100 円	476,750 円	475,400 円	649,500 円	636,250 円	802,600 円	916,450 円	376,600 円	302,900 円	489,200 円	511,750 円	6,787,950 円
令和4年度	1,145 人	2,643 人	1,841 人	1,651 人	2,602 人	2,332 人	2,903 人	3,769 人	1,432 人	1,030 人	1,227 人	2,222 人	24,797 人
	208,150 円	458,000 円	344,900 円	304,250 円	482,550 円	435,450 円	542,800 円	704,650 円	267,750 円	196,900 円	231,500 円	402,700 円	4,579,600 円
比較増減	1,540 人	981 人	645 人	868 人	941 人	987 人	1,819 人	1,078 人	513 人	575 人	1,410 人	601 人	11,958 人
	288,300 円	196,100 円	131,850 円	171,150 円	166,950 円	200,800 円	259,800 円	211,800 円	108,850 円	106,000 円	257,700 円	109,050 円	2,208,350 円

令和5年度

個 人	35,280 人	6,496,550 円
団 体	1,475 人	291,400 円
合 計	36,755 人	6,787,950 円

令和4年度

個 人	23,447 人	4,316,700 円
団 体	1,350 人	262,900 円
合 計	24,797 人	4,579,600 円

売上収入

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和5年度	1,268,330 円	1,454,600 円	945,050 円	1,123,750 円	1,557,900 円	1,629,852 円	1,941,000 円	2,078,168 円	878,300 円	748,150 円	1,265,300 円	1,318,800 円	16,209,200 円
令和4年度	472,700 円	934,165 円	698,636 円	615,110 円	1,024,900 円	951,550 円	1,128,400 円	1,501,800 円	608,800 円	449,800 円	583,050 円	965,155 円	9,934,066 円
比較増減	795,630 円	520,435 円	246,414 円	508,640 円	533,000 円	678,302 円	812,600 円	576,368 円	269,500 円	298,350 円	682,250 円	353,645 円	6,275,134 円

2	款	1	項	1	目	(観瀾亭等特別会計) 福浦橋費：管理費				
担当部署名				産業観光課観光班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	70,805		68,485						68,485	
目的	松島の重要な観光財産である福浦橋の運営・維持管理等を行い、誘客に努める。 また、カフェ・ペイランドを利用する観光客等へのサービスの向上を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	福浦橋等管理運営経費		A	3.0	3.0	運営については、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の5類移行に伴い、通行料、売上収入ともにコロナ禍前の水準を上回る収益となった。 福浦橋を活用した観光PRについては、「アマモ場再生事業」を開催し、SDGs（持続可能な開発目標）に関する本町の取り組みについて、参加者や観光客に広く周知した。 環境整備については、適宜施設の修繕等を実施し、良好な施設維持管理に努めた。				
実績	【福浦橋等管理運営経費】 1 通行者数及び通行料・売上収入 ○ 通行者数 （ 令和5年4月～令和6年3月 ） 379,303 人（前年度 307,587 人） ○ 通行料収入 （ 令和5年4月～令和6年3月 ） 73,431,270 円（前年度 59,370,400 円） ○ 売上収入 （ 令和5年4月～令和6年3月 ） 6,013,422 円（前年度 3,602,485 円） 2 地場産品の提供に係る売上収入 ○ かきおにぎり （ 令和5年12月～令和6年3月 ） 93,200 円 3 福浦橋を活用した観光PR ○ 松島の夜の魅力発信事業 ・ 内容 福浦橋のライトアップを実施。 （満月とその前後を含む3日間を除き夜間点灯※午後10時まで） ○ 「橋の日」記念イベント ・ 日程 令和5年8月5日 ・ 内容 観光客を対象とした藻場造成のための底質改善活動（砂団子の投入） ○ モニターツアー世界で最も美しい松島湾（ツアー広告） 330,000 円 ・ 日程 令和5年11月4日 ・ 内容 湾の清掃活動及び「世界で最も美しい湾クラブ」の周知 ・ 参加人数 27名（定員40名） 4 福浦橋・福浦島パンフレット印刷 260,590 円 ・ 部数 80,000部 ・ 内容 漫画家の手代木史織氏（松島町出身）による表紙デザインで作成									
	(次頁へ続く)									

2 款	1 項	1 目
実績	5	福浦橋及びカフェ・ベイランド管理業務等
	○	福浦橋通行券券売機保守点検業務委託 615,120 円
	○	観光施設日常清掃業務委託 118,800 円 ・ 床清掃他
	○	松島町各施設機械警備業務委託 72,600 円
	○	松島町役場他消防設備保守点検業務委託 7,514 円
	○	カフェ・ベイランド自動扉開閉装置保守点検業務委託 105,600 円
	○	カフェ・ベイランド厨房機器保守点検業務委託 105,600 円
	6	主な使用料及び賃借料
	○	福浦橋券売機リース(12ヶ月) 818,400 円
	○	カフェ・ベイランド施設賃貸料(12ヶ月) 686,400 円
	○	清掃用具賃貸借(年24回) 184,440 円
	7	販売品等仕入
	○	ソフトクリーム・飲み物等 2,453,017 円
	8	備品購入費
	○	カフェ・ベイランド備品購入 215,380 円 ・ 内容 空気清浄機 2台
課題 方向性	松島町を訪れる観光客の観光周遊拠点として、魅力ある施設になるように演出照明などの設備を検討していく必要がある。 「訪問客、産業、環境、受け入れ地域の需要に適合しつつ、現在と未来の環境、社会文化、経済への影響に十分配慮した観光」を意味するサステナブル・ツーリズムを意識し、松島湾の環境保全に関する取組みを行う事業者と連携し、SDGsを探究的な学習のテーマとする教育旅行に合わせたコンテンツを検討する。	

福浦橋カフェ・ベイランド入込及び売上

通行料

月 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和5年度	29,582 人	39,631 人	22,961 人	25,405 人	45,759 人	31,773 人	34,772 人	33,421 人	20,480 人	20,840 人	29,475 人	45,204 人	379,303 人
	5,678,620 円	7,635,580 円	4,441,530 円	4,898,450 円	8,706,880 円	6,260,340 円	6,780,600 円	6,534,440 円	3,976,270 円	4,023,230 円	5,756,760 円	8,738,570 円	73,431,270 円
令和4年度	15,910 人	32,038 人	16,596 人	16,894 人	39,995 人	30,506 人	31,566 人	28,811 人	19,356 人	15,820 人	18,023 人	42,072 人	307,587 人
	3,014,050 円	6,118,240 円	3,232,270 円	3,254,770 円	7,607,300 円	5,967,220 円	6,111,950 円	5,621,070 円	3,746,500 円	3,046,090 円	3,534,640 円	8,116,300 円	59,370,400 円
比較増減	13,672 人	7,593 人	6,365 人	8,511 人	5,764 人	1,267 人	3,206 人	4,610 人	1,124 人	5,020 人	11,452 人	3,132 人	71,716 人
	2,664,570 円	1,517,340 円	1,209,260 円	1,643,680 円	1,099,580 円	293,120 円	668,650 円	913,370 円	229,770 円	977,140 円	2,222,120 円	622,270 円	14,060,870 円

令和5年度

個 人	377,230 人	73,067,400 円
団 体	2,073 人	363,870 円
合 計	379,303 人	73,431,270 円

令和4年度

個 人	305,569 人	59,030,900 円
団 体	2,018 人	339,500 円
合 計	307,587 人	59,370,400 円

売上収入

月 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和5年度	294,440 円	506,235 円	434,357 円	700,606 円	1,452,345 円	808,095 円	507,848 円	388,004 円	211,279 円	179,594 円	239,742 円	290,877 円	6,013,422 円
令和4年度	156,523 円	339,286 円	267,827 円	378,794 円	758,929 円	337,937 円	334,512 円	220,200 円	153,587 円	173,115 円	166,809 円	314,966 円	3,602,485 円
比較増減	137,917 円	166,949 円	166,530 円	321,812 円	693,416 円	470,158 円	173,336 円	167,804 円	57,692 円	6,479 円	72,933 円	▲ 24,089 円	2,410,937 円

